

取扱説明書



AVN078HDmkII

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD/ワンセグ 7.0WVGA 1DIN AVシステム

AVN978HDTVmkII

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD 7.0WVGA1DIN AVシステム
地上デジタルTVチューナバック

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要ときに

すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行する

- GPS マークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自転車位置がずれる場合があります。

走行中は、一部の細街路を消去します

- 安全のため、走行中は細街路を地図に表示しません。(ただし、細街路を走行している場合は除きます)

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なる場合があります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
機器が故障したときにしていただきたいこと



知っておいていただきたいこと



操作する前に知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。



表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

お使いになる前に 22

ナビゲーション 85

SECTION 1 | はじめに 86

SECTION 2 | 基本操作 88

SECTION 3 | ナビゲーション案内 165

SECTION 4 | 地点の登録 233

SECTION 5 | VICS・渋滞考慮機能 248

SECTION 6 | 情報機能 270

SECTION 7 | オプション機能 295

SECTION 8 | こんなときは 308

オーディオ・ビジュアル 323

SECTION I | はじめに 324

SECTION II | 基本操作 329

SECTION III | オーディオの操作 359

SECTION IV | MUSIC JUKEの操作 379

SECTION V | ビジュアルの操作 429

SECTION VI | ポータブルオーディオ機器接続時の操作 479

SECTION VII | マルチウィンドウの操作 487

ご参考に 493

目次一覧

お使いになる前に

1. 安全上のご注意	22
2. 本書の見方	26
3. 特長	28
4. 本機について	35
各部の名称と操作	35
パネルスイッチ	35
タッチスイッチ	36
電源の入れ方・切り方	38
ディスプレイの立ち上げ・収納	39
ディスプレイを立ち上げる	39
ディスプレイを収納する	40
ディスプレイの角度調整	41
ディスプレイの位置（前後）の調整	41
ディスクの出し入れ	42
各ディスク（CD・DVD）の入れ方	42
各ディスク（CD・DVD）の出し方	45
液晶パネルについて	46
本機のモードについて	46
本機の作動条件について	47
各モードの呼び出し	48
5. E-iSERVについて	49
E-iSERVへのアクセスについて	50
赤外線通信について	51

6. 本機の設定	52
ディスプレイの自動立ち上げの設定	52
操作音の設定	53
ナビゲーション音声の出力位置切り替え	54
壁紙（Pic-CLIP）の設定	55
壁紙を切り替える	55
お好みの画像データに書き換える	56
携帯電話に保存した画像データを壁紙に設定する	58
使用できる画像データについて	60
画像データを保存する	61
画像データを消去する	63
オープニング画面の設定	64
オープニング画面を切り替える	64
お好みの画像データに書き換える	65
携帯電話に保存した画像データをオープニング画面に設定する	67
使用できる画像データについて	69
画面の調整・設定	70
画質調整画面を表示する	70
夜画・昼画表示に切り替える	70
画面を消す	70
画質の調整	71
パネルスイッチ照明の設定	72
ラジオアンテナの設定	73
ESNの設定	74
ESN設定画面を表示する	75
ESNを作動する	75
ESNのロックを解除する	77
ESNを解除する	79

ACCセキュリティを作動する	79
ACCセキュリティのロックを 解除する	80
ACCセキュリティを解除する	80
暗証番号を変更する	81
セキュリティインジケータの 表示を設定する	82
個人情報の初期化	83

ナビゲーション

1.はじめに

1.GPSボイスナビゲーション について	86
GPSボイスナビゲーションを お使いになる前に	86
ナビゲーション画面の見方	86

2.基本操作

1.ナビメニュー画面・リスト 画面について	88
ナビメニュー画面	88
リスト画面の切り替え方	91
▲・▼の切り替え表示	91
前・次の切り替え表示	91
50音順の切り替え表示	91
行の切り替え表示	91
ページの切り替え表示	91
マークの切り替え表示	92
種類の切り替え表示	92
地域の切り替え表示	92
施設項目の切り替え表示	92
文字の表示範囲の切り替え方	92
2.画面の調整・音声の設定	93
地図の表示色の切り替え	93
自車マークの切り替え	93
地図の名称（文字）サイズの 切り替え	94
画面切り替え時の 動画表現の設定	95

時計表示の切り替え	95	市街図の表示	108
音量の設定	96	市街図表示に切り替える	108
音量を調節する	96	市街図の縮尺を切り替える	108
高速走行時の自動音量切り替えを 設定する	96	市街図表示を解除する	109
操作説明音声（ボイスヘルプ） の設定	97	施設の内容を表示する（ビルディング クイックサーチ）	109
操作説明音声を設定する	97	走行軌跡の表示	110
ハートフル音声の設定	98	走行軌跡を表示する	110
ハートフル音声を設定する	98	走行軌跡の消去・ 表示解除をする	110
3. 地図の表示	99	地図向きの切り替え	111
現在地の表示	99	地図の向きを切り替える	111
地図の移動（ワンタッチ スクロール）	100	フロントワイド表示の 切り替え	112
地図の移動	100	フロントワイド表示を設定する	112
スクロール時の地名表示を 設定する	100	2画面表示の切り替え （Wサイトナビ）	113
タッチスイッチの表示 切り替え	101	2画面表示に切り替える	113
タッチスイッチの表示を 切り替える	101	右画面を操作する	113
タッチスイッチの表示を 設定する	102	2画面表示を解除する	114
ショートカットスイッチ 表示の設定	103	シティドライブモード画面	115
ショートカットスイッチを 設定・表示する	103	シティドライブモード画面を 操作する	116
ショートカットスイッチの 設定・表示を解除する	104	シティドライブモード画面を 解除する	116
地図縮尺の切り替え	105	高速路線マップ	117
希望の縮尺に切り替える	105	高速路線マップの縮尺を 切り替える	117
目的地までの縮尺に切り替える	106	高速路線マップの自動表示を 設定する	118
縮尺切替メッセージ表示を 設定する	107	高速路線マップ表示を解除する	118
		高速路線マップに表示を 切り替える	119

駐車場マップ 120

駐車場マップの自動表示を
設定する 120

駐車場マップを解除する 120

3D表示の設定 121

3D表示に切り替える 121

バーチャタウンマップを表示する 121

バーチャタウンマップの視点を
調整する 122

見下ろす角度を調整する 122

バーチャタウンマップのビル表示を
設定する 123

バーチャタウンマップのビル表示の
高さを設定する 123

地図向きを回転する 124

ルート方向アップ表示を
設定する 124

3D表示、バーチャタウンマップを
解除する 125

リアルワイドマップ 126

リアルワイドマップ表示を
設定する 126

行政区画塗り分け表示を
設定する 127

シーズンレジャーランドマークの 表示 128

シーズンレジャーランドマーク
表示を設定する 128

3Dランドマークの表示 129

3Dランドマークの表示を
設定する 129

3Dランドマークの内容を
表示する 129

交通事故多発区間警告の設定 130

交通事故多発区間警告を
設定する 130

道路形状警告（踏切警告・合流警告・ カーブ警告・レーン警告） の設定 131

道路形状警告を設定する 131

県境案内の設定 132

県境案内表示を設定する 132

施設の表示 133

走行中に簡易操作で表示する 133

施設ランドマークを消去する 134

複数ジャンルを表示する 134

周辺の施設を検索する 136

ルートを考慮したリストを
表示する 137

施設の情報を表示する
（クイックサーチ） 137

周辺施設走行中呼び出し ジャンルの変更 138

4. 地図の呼び出し方法 139

50音・名称で地図を呼び出す 141

漢字・カタカナ・英数字を
入力する 143

漢字を入力するには 144

エリア別で絞り込みする場合 145

施設ジャンル別で
絞り込みする場合 148

主要施設で地図を呼び出す 150

住所で地図を呼び出す 152

電話番号で地図を呼び出す 153

郵便番号で地図を呼び出す 155

ジャンルで地図を呼び出す 155

エリアを指定して施設を
表示する 156

メモリ地点で地図を呼び出す	158	全ルート図表示	174
履歴で地図を呼び出す	159	ルートの表示について	174
マップコードで地図を 呼び出す	159	細街路の表示について	174
赤外線通信で地図を呼び出す	160	全ルート図の表示・タッチ スイッチについて	175
5. 呼び出した地図の操作	161	季節規制区間の表示・回避	177
表示した地図の操作	161	季節規制区間を回避する	177
位置の変更	162	季節規制区間メッセージ表示を 設定する	177
施設内容の表示	162	ルート情報（案内道路情報）の 表示	179
提携駐車場の検索	163	5ルート同時表示（5ルート 探索機能）	180
住所の検索	164	3. 探索ルートの変更	181
住所一覧から検索する	164	目的地の追加	182
周辺住所から検索する	164	区間別探索条件の変更	184
		目的地の並び替え	185
		目的地の消去	186
		ルート変更 から消去する	186
		MENU から消去する	186
		地図画面から消去する	187
		乗降インターチェンジ（IC） の指定	188
		インターチェンジ（IC） 指定の解除	189
		通過道路の指定	190
		全ルート図画面から指定する	190
		ルート変更 から指定する	191
		通過道路指定の修正	193
		通過道路指定の解除	194

3. ナビゲーション案内

1. 目的地設定・ルート探索 について	165
2. 目的地を設定して ルート探索	166
目的地の設定	167
地図スクロールから設定する	167
登録地点から設定する	168
地図の呼び出し方法から 設定する	169
ルート探索	170
ルート学習探索	171
ルート学習を設定する	171
ルート学習結果を消去する	172
渋滞考慮ルート探索	173
渋滞考慮探索を設定する	173

4. 目的地履歴（ラストゴール メモリー）に ついて 195

目的地履歴（ラストゴールメモリー）
の消去 195

5. 目的地案内の開始・中止・ 再開 196

案内の開始 196

案内の中止・再開 196

デモンストレーション（デモ） 196

6. 目的地案内について 197

交差点・側道・レーン（車線）
案内 197

分岐しない交差点について 197

分岐する交差点（交差点拡大図）に
ついて 197

交差点拡大図の自動表示を
設定する 198

交差点拡大図を解除する 198

拡大解除 から解除する 198

案内図替 から解除する 198

3Dイラスト拡大図について 199

立体交差点拡大図について 199

難交差点拡大図について 199

リアル交差点拡大図について 199

リアル交差点拡大図を
設定する 200

カットインムービーガイドに
ついて 200

カットインムービーガイドを
設定する 200

カットインムービーガイドを
解除する 201

拡大解除 から解除する 201

案内図替 から解除する 201

3D 交差点拡大図について 202

3D 交差点拡大図を設定する ... 202

側道案内拡大図について 202

側道案内拡大図を解除する 202

拡大解除 から解除する 202

案内図替 から解除する 203

レーン（車線）リスト図表示
（ハイパーレーンアシスト）
について 203

レーンリスト自動表示を
設定する 203

レーンリスト図を解除する 204

細街路の案内 204

フェリー航路の案内 205

到着予想時刻表示の設定 205

平均車速を設定する 205

料金案内 207

料金案内表示を設定する 207

車両情報を設定する 208

料金所レーン案内 210

料金所レーン案内図の自動表示を
設定する 210

料金所レーン案内図を解除する ... 211

拡大解除 から解除する 211

案内図替 から解除する 211

ターンリスト図案内 212

ターンリスト自動表示を
設定する 213

ターンリスト図を解除する 213

一般道路走行中に解除する 213

高速道路走行中に解除する 214

高速分岐案内（ジャンクション レーンアシスト） 215 高速分岐模式図の自動表示を 設定する 215 高速分岐模式図を解除する 216 拡大解除 から解除する 216 案内図替 から解除する 216 都市高速マップ 217 都市高速マップの自動表示を 設定する 217 都市高速マップ表示を解除する 218 音声案内 219 自動音声案内を設定する 220 交差点目印案内を設定する 221 他モードでの案内 221 7.案内ルートの操作 222 全ルート図の再表示 222 到着予想時刻／残距離表示の 切り替え 222 オンルートスクロール 223 オンルートスクロールを 開始する 223 オンルートスクロールの施設を 設定する 223 オンルートスクロール画面の 操作について 224 8.ルートの再探索 225 ルートの再探索について 225 ルートの再探索 228 自動再探索（ハイパー リルート） 229 自動再探索を設定する 229 9.目的地の予約 230 目的地予約の設定 230 目的地予約の案内 231 目的地予約の消去 232 4.地点の登録 1.地点の登録とは 233 2.メモリ地点の登録・修正・ 消去 234 メモリ地点の登録 234 ワンタッチで登録する 234 離れた場所を登録する 234 メモリ地点の修正・入力 235 MENU からメモリ地点修正 画面を表示する 235 地図画面からメモリ地点修正画面を 表示する 236 メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ） を変更する 237 自宅、特別メモリ地点を 解除する 237 メモリ地点のマークを変更する 238 メモリ地点の名称を入力する 240 ひらがな・漢字を 入力するには 241 メモリ地点の名称を表示する 242 メモリ地点の名称読みを 入力する 242 メモリ地点の位置を修正する 243 メモリ地点の電話番号を 入力する 243 メモリ地点の消去 244 MENU から消去する 244 8

地図画面から消去する	244
3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去	245
迂回メモリ地点の登録	245
迂回メモリ地点の修正	246
迂回メモリ地点の消去	247

5.VICS・渋滞考慮機能

1. VICS 情報について	248
VICSとは	248
VICSのメディア概要	249
VICS特有の事項	250
FM多重放送特有の事項	250
電波ビーコン特有の事項	250
光ビーコン特有の事項	251
VICS 情報提供内容と表示について	252
レベル1	252
レベル2	252
レベル3	252
2. 放送局の受信	253
VICS 提供放送局の選択	253
自動で選択する	254
エリアで選択する	254
周波数を手動で選択する	254
3. VICS 情報の表示・案内	256
VICS 情報表示の設定	256
VICS 表示道路色を切り替える	257
VICS 情報の表示	258
VICS 情報を地図表示する	259

VICS マークの 内容表示について	259
VICS 情報を消去する	259
渋滞・規制音声案内	260
渋滞・規制の音声自動発声を 設定する	260
渋滞・規制を音声で案内する	260
VICS 図形情報の表示	261
VICS 文字情報の表示	262
地図に表示される VICS 表示 マークについて	263
VICS の用語説明	264
VICS の問い合わせ先	264
4. 渋滞考慮機能について	265
渋滞考慮とは	265
5. 交通データ情報の表示	266
交通データ情報表示の設定	266
交通データ情報の表示	267
6. 交通状況学習機能	268
交通状況学習機能とは	268
交通状況学習結果の表示	268
交通状況学習結果の消去	269

6. 情報機能

1. 情報メニュー画面について	270
情報メニュー画面	270
2. FM 多重放送	272
FM 多重放送の番組について	272

FM多重放送の表示	272	ブラウザ画面を（ブックマーク）に 登録する	286
放送局の切り替え	272	ブックマークを呼び出す	286
番組の切り替え	273	ブックマークを編集する	287
独立情報番組のページ送り	273	ブックマークを削除する	287
連動情報番組の文字情報を 繰り返し見る	274	ソフトウェアキーボードの 使い方	288
文字情報の記録・呼び出し・ 消去	275	ソフトウェアキーボード画面	288
記録する	275	漢字に変換するには	290
呼び出す	275	入力したい漢字に 変換されないときは	290
消去する	275	6.電話帳機能	291
3.メンテナンス機能	276	電話帳の検索	291
メンテナンスメニュー画面	276	7.カレンダー機能	292
メンテナンス時期の設定	277	カレンダー画面の表示	292
メンテナンス案内の設定	279	8.操作ヒント機能	293
メンテナンスの案内	279	操作ヒント画面	293
メンテナンス設定の更新	279	操作ヒントの表示	294
メンテナンス設定の消去	280		
販売店の設定	281	7.オプション機能	
販売店の修正・消去	282	1.2メディア/3レベル対応 VICSユニットの 操作	295
4.SYSTEM CHECK 機能	283	2メディア/3レベル対応VICS ユニットの構成	295
SYSTEM CHECK画面の 表示	283	割り込み情報（ビーコン即時案内） の表示	296
5.スポットインフォメーション （情報付施設）の 検索	284	割り込み情報の表示を設定する	296
情報付施設の検索・表示・ 編集	284	割り込み情報の表示時間を 調整する	297
ブラウザ画面を操作する	285	割り込み情報を呼び出す	297

渋滞考慮探索	298	ナビゲーション設定の記憶	312
2.ETCシステムの操作	299	記憶の呼び出し	313
ETC車載器を初めて使う	299	名称の変更	313
車両情報などをETC車載器に登録する (セットアップ)	299	ナビゲーション設定の 記憶の消去	314
ETCカードを入手する	299	3.地図データの情報	315
ETCとは	300	地図データの情報表示	315
ETCメニュー画面	301	4.車両情報の表示	316
走行中の表示	302	車両情報の表示	316
ETCレーンの通過案内	303	5.精度と誤差	317
ETCレーン(精算用)通過時.....	303	測位精度について	317
履歴の表示	304	GPS衛星の電波の性質と 受信状態について	317
登録情報の表示	304	現在地表示の誤差について	318
ETCの設定	305	タイヤによる誤差について	318
ETCの各項目を設定する	305	マップマッチングによる 自車位置検出の補正 について	318
3.バックアイカメラの操作	306	現在地表示、ルート案内の 精度について	319
バックアイカメラの 映像を映す	307	道路、地名データについて	320
		ルート案内について	320
8.こんなときは			
1.補正が必要なとき	308		
現在地の修正	308		
距離の補正	309		
自動補正するとき	310		
手動補正するとき	310		
2.ナビゲーションの設定を 記憶したいとき	311		
記憶することのできる 設定項目	311		

オーディオ・ ビジュアル

I .はじめに

1.ご使用になる前に	324
ディスクについて	325
使用できるディスクについて	325
地上デジタルTV放送について ...	328

II .基本操作

1.ソースの切り替え方	329
ソースを切り替える	329
操作画面の表示	330
2.各ソースの操作画面	332
3.音の調整	334
主音量の調整	334
4.音質の調整	335
音質調整画面の表示	335
SOUND調整画面を表示する	338
SETTING画面の表示	338
SFC（音場）の設定	339
SFC（音場）の調整、記憶	340
SFC（音場）レベルを リセットする	340
EQ（イコライザ）の調整	341
イコライザカーブを選択する	341
イコライザカーブの調整、記憶	342
イコライザの調整値の呼び出し	343

EQカーブをリセットする	343
イコライザを自動で調整する	343

POS（ポジショニングセレクター） の調整

ポジションを設定する	344
FADER BALANCE（音量バランス） の調整	345

音質補正の設定 （ハーモナイザー）

LOUDNESSの設定

サブウーファの設定

位相を切り替える （Phase Control）	347
サブウーファの出力を調整する ...	347

サラウンドシステムの設定

Dolby Pro Logic IIを設定する ...	348
CENTER WIDTHを設定する	349
COMPRESSIONを調整する	349
CENTER LEVELを調整する	350
REAR LEVELを調整する	350

スピーカーの調整

スピーカーサイズを設定する	351
タイムアライメントの調整	353
手動で調整する	353
自動で調整する	354
出力レベルの調整	355

5.画面の設定

タッチスイッチの設定

画面スイッチの表示 切り替えについて	356
機能スイッチの表示について	356

時計表示の切り替え

画面モード切り替え

Ⅲ. オーディオの操作

1. ラジオの使い方 359

ラジオを聞く 359

聞きたい放送局を選ぶ 359

手動で選ぶ 359

自動で選ぶ 359

プリセットスイッチから選ぶ 359

放送局を記憶する 360

マニュアル（手動）で記憶する 360

AUTO.P（自動）で記憶する 360

AUTO.Pで記憶した放送局を
変更する 361

エリアスイッチについて 361

局名スイッチについて 361

ラジオを止める 361

2. CDプレーヤーの使い方 362

CDを聞く 362

聞きたい曲を選ぶ 363

早送り・早戻しする 363

同じ曲を繰り返し聞く 363

曲の順番をランダムに聞く 363

携帯電話でアルバム情報を
見る 364

CDを止める 364

3. MP3/WMA プレーヤーの 使い方 365

MP3/WMAを聞く 366

聞きたいフォルダを選ぶ 366

聞きたい音楽ファイルを選ぶ 366

フォルダ・ファイル選択
スイッチから選ぶ 366

選曲・頭出しスイッチから選ぶ 366

早送り・早戻しする 367

1つ上の階層を表示する 367

現在の階層を表示する 367

同じ音楽ファイルを
繰り返し聞いて聞く 367

順番をランダムに聞く 367

音楽ファイル情報などを
表示する 368

MP3/WMAを止める 368

MP3/WMAについて 369

再生可能なMP3 ファイルの
規格について 369

再生可能なWMA ファイルの
規格について 369

ID3タグ/WMAタグについて 369

使用できるメディアについて 370

使用できるディスクの
フォーマットについて 370

ファイル名について 372

CD-R、CD-RWについて 372

MP3/WMAの再生について 372

MP3/WMAの演奏時間
表示について 372

MP3/WMA ファイル、フォルダの
リスト表示順番 372

MP3/WMA ファイルの作り方、
楽しみ方 373

インターネット上のMP3/WMA
音楽配信サイトから
入手する場合 373

音楽CDからMP3/WMAファイルに
変換する場合 373

CD-R/RWに書き込む場合 373

4. CDチェンジャーの使い方 ... 374

CDを聞く 374

聞きたい曲を選ぶ 374

早送り・早戻しする 374

聞きたいCDを選ぶ 374

聞きたい曲や同じCDを
繰り返し聞く 375

いま聞いている曲を繰り返し
再生する 375

いま聞いているCDを繰り返し
再生する 375

曲の順番をランダムに聞く 375

いま聞いているCDの中から
ランダムに聞く 375

チェンジャー内全CDの中から
ランダムに聞く 375

CDを止める 375

5. MDチェンジャーの使い方 ... 376

MDを聞く 376

聞きたい曲を選ぶ 376

早送り・早戻しする 376

聞きたいMDを選ぶ 376

聞きたい曲や同じMDを
繰り返し聞く 377

いま聞いている曲を
繰り返し再生する 377

いま聞いているMDを
繰り返し再生する 377

曲の順番をランダムに聞く 377

いま聞いているMDの中から
ランダムに聞く 377

チェンジャー内全MDの中から
ランダムに聞く 377

MDのタイトルや
曲名などを表示する ... 378

MDを止める 378

IV. MUSIC JUKEの操作

1. MUSIC JUKEをお使いに
なる前に 379

MUSIC JUKEの概要 379

MUSIC JUKEの構成に
ついて 379

プレイモード・プレイリスト
について 380

データベースについて 381

Gracenote メディアデータベース
について 381

メディアクリックデータベース
(MCDB) について 382

オートタイトリング
機能について 383

ジャケット写真について 384

データベース情報の
表示について 385

データベースの更新について 386

Gracenote メディアデータベースを
更新する 386

メディアクリックのデータベースを
更新する 387

タイトル情報の受信について	388	MUSIC JUKEへの録音	402
タイトル情報の受信について	388	CDを再生しながら自動で 録音する	403
タイトル情報の保存について	388	CDの中から好みのトラック（曲）を 録音する	404
タイトル情報の表示について	388	CDプレーヤー以外のソースから 録音する	405
タイトル情報の受信	389	3.MUSIC JUKEの使い方	406
タイトル情報の表示	389	MUSIC JUKEを聞く	406
CDタイトルを表示する	389	表示・再生について	407
CD情報インジケータの表示を 設定する	391	再生中のプレイリストの中で 聞きたいトラック（曲） を選ぶ	407
新譜情報を表示する	392	選曲・頭出しスイッチから選ぶ	407
新譜情報受信メッセージの表示を 設定する	393	トラック切り替えスイッチ から選ぶ	407
携帯電話で新譜情報を見る	394	プレイモード・プレイリストから 聞きたいトラック（曲） を選ぶ	408
タイトル情報の更新	395	“AGENT” から選ぶ	410
CDタイトルを更新する	395	早送り・早戻しする	411
新譜情報を更新する	395	聞きたいトラック（曲）を 繰り返し聞く	411
ハードディスクの容量確認	396	いま聞いている曲を 繰り返し再生する	411
操作の流れについて	397	いま聞いているプレイリストを 繰り返し再生する	411
2.MUSIC JUKEへの録音	398	トラック（曲）の順番を ランダムに聞く	412
MUSIC JUKEへの 録音について	398	いま聞いているプレイリストの 中からランダムに 再生する	412
録音できるソースと 録音方式について	398	いま聞いているプレイモードの 中からランダムに 再生する	412
録音についての注意	398		
デジタル録音（4倍速録音）に ついて	399		
アナログ録音（等倍速録音）に ついて	399		
録音方式の設定	400		
デジタル録音モードを設定する	400		
オートトラックマークを 設定する	401		
録音ビットレートを設定する	401		

トラック（曲）情報などを 表示する	413
携帯電話でアルバム 情報を見る	413
MUSIC JUKEを止める	413
4. プレイリストの編集	414
マイセレクトへのプレイリストの 作成	414
プレイリスト名を入力する	414
作成したプレイリストに トラックを追加する	416
プレイリストの名称入力	417
カナ、英字、数・記号の入力	418
プレイリスト名称の編集	419
ジャケット写真の表示を 設定する	420
タイトル情報の再取得	420
プレイリストの並び替え	422
お好みに合わせて並び替える	422
作成した順番に並び替える	422
プレイリストの削除	423
5. トラックの編集	424
トラック情報の編集	424
トラック編集画面の呼び出し	424
トラックタイトルを変更する	425
アーティストを変更する	426
ジャンルを変更する	426
トラックの消去	427

V. ビジュアルの操作

1. DTVをお使いになる前に	429
B-CASカードについて	430
取り扱いについての注意	430
B-CASカードに関する 問い合わせ	431
B-CASカードを差し込む	432
B-CASカードを取り出す	433
初回起動時の設定	433
2. DTVの使い方	434
DTV（地上デジタルTV放送） を見る	434
バンドを切り替える	435
見たいチャンネルを選ぶ	436
地上デジタルTVのチャンネル 構成について	436
手動で選ぶ	436
番組（サービスチャンネル） を選ぶ	436
放送局（リモコンチャンネル） を選ぶ	436
自動で選ぶ	436
プリセットスイッチから選ぶ	437
放送局名から選ぶ	437
チャンネルを記憶する	437
手動設定で記憶する	437
自動設定で記憶する	438
エリアスイッチについて	439
音声多重放送を切り替える	439
画面表示・音声の切り替え	440
映像を切り替える	440

音声を切り替える	440	B-CASカードの動作確認	451
字幕を切り替える	440	B-CASカードの情報を見る	452
緊急警報放送を		B-CASカードの動作確認をする ...	452
受信したときは	441	個人情報を初期化する	453
DTV（地上デジタルTV放送）を		6. ワンセグの使い方	454
終わる	441	ワンセグを見る	454
3. EPG（電子番組表）の		見たいチャンネルを選ぶ	455
使い方	442	手動で選ぶ	455
EPG（電子番組表）を見る	442	自動で選ぶ	455
見たい番組を探す	442	プリセットスイッチから選ぶ	455
日付で探す	442	チャンネルを記憶する	455
チャンネルで探す	442	マニュアル（手動）で記憶する ...	455
番組の情報を見る	443	AUTO.P（自動）で記憶する	456
4. データ放送の使い方	444	AUTO.Pで記憶したチャンネルを	
データ放送を見る	444	変更する	456
データ放送を操作する	445	ワンセグ設定画面の切り替え	457
色ボタン・カーソルの		音声多重放送を切り替える	457
操作について	445	字幕を切り替える	458
10キー（テンキー）の		緊急警報放送を	
操作について	445	受信したときは	458
文字入力操作について	446	EPG（電子番組表）を見る	458
カナ、英数字、数記号の入力 ...	447	ワンセグを終わる	458
5. DTVの設定	448	7. DVDプレーヤーをお使いに	
初期設定画面に切り替える	448	なる前に	459
初期設定をする	448	DVDビデオの特長	459
文字スーパーを設定する	448	マルチ音声機能について	459
居住地域を設定する	449	マルチアングル機能について	459
県域から設定する	449	字幕表示機能について	460
郵便番号から設定する	450	ディスクについて	460
イベントリレーを設定する	450	再生できるディスクの	
ワンセグ自動切換を設定する	451	種類について	460

再生可能なディスクの地域番号 (リージョンコード) について	460	字幕言語を切り替える	470
ディスクに表示されている マークについて	461	音声言語を切り替える	470
ディスクの構成について	461	DVD プレーヤーの設定	471
操作の流れについて	462	音声言語を設定する	472
8. DVD プレーヤーの使い方	463	コードを入力する	472
DVD を見る	463	字幕言語を設定する	472
映像を操作する	464	コードを入力する	473
映像を再生する	464	メニュー言語を設定する	473
早送り・早戻しする	464	コードを入力する	473
パネルスイッチから早送り・ 早戻しする	464	マルチアングルマークの表示を 設定する	474
タッチスイッチから早送り・ 早戻しする	464	視聴制限を設定する	475
いま見ているチャプターを 繰り返し再生する	464	映像出力を切り替える	476
映像を一時止める	465	言語コード一覧	477
映像を止める	465	9. VTR の使い方	478
ディスクメニューを操作する	465	VTR を見る	478
画面を直接タッチして操作する	465	VTR 設定画面の切り替え	478
タッチスイッチから操作する	466	VTR を終わる	478
DVD を止める	466		
見たい映像を探す	467	VI. ポータブルオーディオ機器接続時の操作	
チャプターから探す	467	1. iPod プレーヤーの使い方	479
タイトル番号から探す	467	iPod を接続する	479
メニュー番号から探す	468	iPod を取りはずす	480
スイッチの表示を切り替える	469	iPod を聞く	481
タッチスイッチを消す	469	早送り・早戻しする	481
タッチスイッチの表示場所を 切り替える	469	聞きたい音楽ファイルを選ぶ	481
画面表示・音声の切り替え	469	聞きたい音楽ファイルを リストから探す	482
アングルを切り替える	469	再生中のリストを表示する	483

同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	483
音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	483
今聞いているリストの中から ランダムに聞く	483
リストをランダムに聞く	483
iPodを止める	483
対応可能なiPodについて	484
2. AUXの使い方	485
ポータブルオーディオを お使いになる前に	485
ポータブルオーディオを接続する (取りはずす)	486
ポータブルオーディオを聞く	486
ポータブルオーディオを 終わる	486

VII. マルチウィンドウの操作

1. マルチウィンドウ機能	487
マルチウィンドウについて	487
マルチウィンドウ画面の表示	487
マルチウィンドウ画面の操作	489
画面サイズの調整	489
DTV・ワンセグ・DVD 画面の操作	490
ルート情報画面の操作	491
オーディオ画面の操作	491
ソースを切り替える	491
電卓画面の操作	492

ご参考に

1. 知っておいていただき たいこと	494
ナビゲーションの機能概要および 初期状態について	494
こんなメッセージが 表示されたときは	497
共通操作関係	497
ナビゲーション関係	498
オーディオ・ビジュアル関係	503
故障とお考えになる前に	507
共通操作関係	507
ナビゲーション関係	508
オーディオ・ビジュアル関係	512
2. 用語説明	515
3. 市街図収録都市リスト	520
4. 地図データについて	527
地図データについて	527
交通規制データ・高速道路料金 データについて	528
VICSサービスエリアについて ...	528
個人宅電話番号・名称 データについて	528
5. VICS 情報有料放送サービス 契約約款	529
6. Gracenoteメディア データベースの ご利用について	531
7. FM de TITLEサービス 放送局について	532

8.商標について	533
9.バッテリーの 交換時について	534
10.お手入れについて	535
本機のお手入れについて	535
アンテナのお手入れについて	535
11.仕様	536
12.索引	539
共通索引	539
ナビゲーション索引	541
オーディオ索引	546

MEMO

1. 安全上のご注意



- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスク差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が降りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

1. 安全上のご注意



ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

< A / T車の場合 >

- ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA / Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- チルト位置を設定する際、PまたはⒺ、Nレンジで手などが干渉しないように設定しで使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

< M / T車の場合 >

- ディスク等を取り出す際、1・3・5・Ⓔ ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓔ ポジションで手などが干渉しないように設定しで使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)



- 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- お客様がハードディスク内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。
- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。



- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD 及び DVD 読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは 1 時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくすると GPS の測位によって表示位置などが修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータ等が変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

2. 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo.とタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

チェック

操作前におこなうことなどを記述しています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

ナビゲーション案内

3. 探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して最大5ヵ所まで目的地を設定することができます。
以下のようなときに、追加して目的地を設定します。
①設定した目的地と現在地の間で、立ち寄る地点を設定するとき。
②設定した目的地を立ち寄る地点に変更し、新しく目的地を設定するとき。

① 追加した目的地
② ルート
③ 追加した目的地
④ ルート
⑤ 追加した目的地
⑥ ルート
⑦ 追加した目的地
⑧ ルート
⑨ 追加した目的地
⑩ ルート
⑪ 追加した目的地
⑫ ルート
⑬ 追加した目的地
⑭ ルート
⑮ 追加した目的地
⑯ ルート
⑰ 追加した目的地
⑱ ルート
⑲ 追加した目的地
⑳ ルート
㉑ 追加した目的地
㉒ ルート
㉓ 追加した目的地
㉔ ルート
㉕ 追加した目的地
㉖ ルート
㉗ 追加した目的地
㉘ ルート
㉙ 追加した目的地
㉚ ルート
㉛ 追加した目的地
㉜ ルート
㉝ 追加した目的地
㉞ ルート
㉟ 追加した目的地
㊱ ルート
㊲ 追加した目的地
㊳ ルート
㊴ 追加した目的地
㊵ ルート
㊶ 追加した目的地
㊷ ルート
㊸ 追加した目的地
㊹ ルート
㊺ 追加した目的地
㊻ ルート
㊼ 追加した目的地
㊽ ルート
㊾ 追加した目的地
㊿ ルート

300m、スケール図に示す詳細は地図で、目的地の設定をすることができます。

3 地図の呼び出し方法

●「地図の呼び出し方法」に「呼び出した地図の操作」(139、161ページ参照)。

1 ルート変更 にタッチします。

2 目的地：通過目的地の「追加」にタッチします。

● 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことで使えます。(最大100カ所まで)。100カ所を超えた場合は、古いものから自動的に消去されます。不要な目的地は、消去することもできます。[目的地図鑑(ラストゴールメモリー)の指表](165ページ参照)。

● インターチェンジ(IC)や通過道路(188、190ページ参照)が指定されていると、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ(IC)・通過道路の指定が削除されることがあります。

● 目的地の設定と同じ方法で「追加目的地」にタッチして、追加することもできます。[「地図スクロールから設定する」](162ページ)、[「登録地点から設定する」](168ページ)、[「地図の呼び出し方法から設定する」](168ページ)参照。

162

本書では、一部を除きオプション機器が接続されているAVN078HDMk IIの画面で説明しています。ナビゲーションは、一部を除きノースアップ1画面・2Dのリアルワイドマップ表示の画面で説明しています。また、GPSマーク、VICS情報が表示されていない地図画面を使用しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

次ページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、**MAP** や **AV** などでスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、**○○○** でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面にもどすときは、**戻る** にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります。)

3. 特長

高精度ハイスピードレスポンスを可能にしたHDD（ハードディスクドライブ）

大容量のハードディスクを搭載し、従来のDVD-ROMナビゲーションより各動作の大幅なスピードアップを実現しています。

高精細で表示するVGAディスプレイ

VGA (Video Graphics Array) とはパソコンのモニターなどに採用されている高画質ディスプレイの規格です。本機は約115万画素の高精細で表示します。

携帯電話を使って簡単に情報を転送できる赤外線通信機能 (49ページ)

携帯電話の赤外線通信機能を使って、壁紙や目的地の設定を行うことができます。また、携帯電話をリモコンとして使うこともできます。



盗難抑止効果が期待できるESN機能 (74ページ)

ナビゲーションやオーディオ機能のロック、セキュリティインジケータの点滅により、盗難抑止の効果が期待できます。



住所エリアを色分けした見やすい地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに塗り分けして地図を見やすく表示します。



よく使う機能をワンタッチで呼び出すショートカットスイッチ (103ページ)

現在地や地図画面にショートカットスイッチを表示して、ワンタッチで操作画面を呼び出すことができます。



走行した道路をひと目で確認できる走行軌跡表示 (110ページ)

地図上に軌跡を表示して、走行した道路を確認することができます。表示できる軌跡は、約1000kmです。



地下駐車場の入口・出口を表示する駐車場マップ (120ページ)

わかりにくい地下駐車場の入口、出口、エレベーター位置などを詳細に表示します。



自由自在の3Dスクロール (122、124ページ)

3D地図表示のまま、好きな方向へ自由自在にスクロールができます。また、地図を見る位置を360°回転させたり、見下ろす角度を変えることができます。



ビルの向こう側まで透過して表示するバーチャタウンマップ (121ページ)

25mスケールのバーチャタウンマップでは必要な情報を的確に伝えるために、画面手前のビルやマンションなどを見やすく透過して表示します。透過表示により、ビルの向こう側を通るルートや一方通行などのマークもはっきりと確認することができます。



道幅や道路種類などを表現するリアルワイドマップ (126ページ)

全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、広い道は太く、狭い道は細く、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また、学校や駅などの施設マークをイラスト的に表示します。



3. 特長

実際の建物や道路状況をリアルに表現するリアル交差点拡大図 (199ページ)

ルート案内中に複雑に入り組んだ交差点をリアルに表示することができます。



右左折する交差点を立体的な3D動画で案内するカットインムービーガイド (200ページ)

交差点の右左折を3D動画で表示します。背景が車の移動に合わせて動くので、わかりづらい右左折もリアルに案内することができます。



交差点までの車線を案内する交差点レーンリスト図 (203ページ)

ルート案内中に分岐する交差点（手前約700mから）までの走行車線をリスト表示します。



分岐点までの距離や進行方向を案内するターンリスト図 (212ページ)

ルート案内中に現在地から3つ先までの分岐点の距離や進行方向をリスト表示します。



交通状況を考慮した渋滞考慮ルート探索機能 (173ページ)

収録された渋滞統計データをもとに、受信したVICS情報と探索を開始する時間から最適なルートを探索することができます。



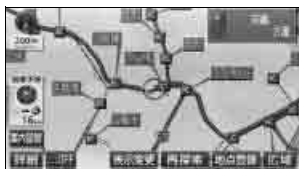
よく通る道路をルート探索に反映するルート学習機能 (171ページ)

自宅付近などのよく通る道路を学習し、学習した道路をルートの探索時に反映することができます。



必要な道路だけを表示する 都市高速マップ (217ページ)

ルート案内中に都市高速道路を走行中、周囲の道路表示を省略して都市高速道路の情報のみを表示します。



地図上に任意の施設マークを登録する 地図カスタマイズ機能 (233ページ)

地図に登録されていない施設を新たに地図上に登録し、表示することができます。



渋滞などの情報を表示する VICS機能 (248ページ)

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字 (レベル1)・簡易図形 (レベル2)・地図 (レベル3) で表示します。



多様な情報を検索・表示・操作 する情報機能 (270ページ)

● FM多重放送表示機能

FM多重で放送される一般文字情報 (見えるラジオ) を表示します。

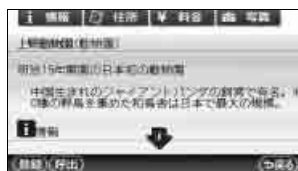


● メンテナンス機能

ナビゲーションで使用するGPSカレンダーと距離情報をもとに、車のオイルや消耗品の交換をナビゲーションの画面と音声でお知らせします。



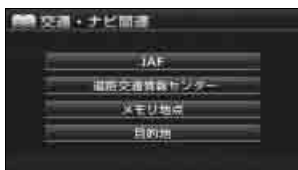
● スポットインフォメーション (情報付施設) 検索機能



3. 特長

電話帳機能

JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を検索します。



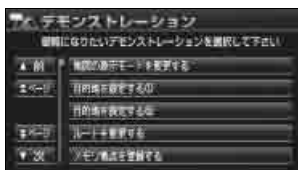
● カレンダー機能

GPSのカレンダー機能で2028年までのカレンダーを表示することができます。



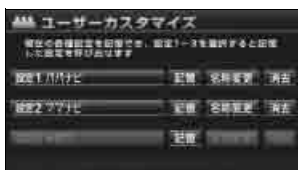
● 操作ヒント機能

よく使われる機能の一連の操作を確認することができます。

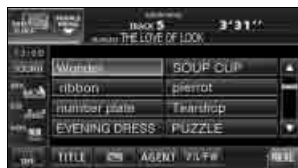


ユーザーごとに設定を記憶する ユーザーカスタマイズ機能 (311ページ)

ユーザーごとにナビゲーションの各使用設定を記憶し、簡単に呼び出すことができます。



音楽の録音を可能にした MUSIC JUKE (ミュージック ジューク)

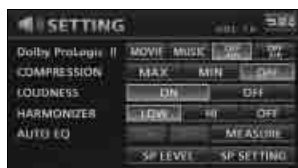


理想の音響空間を創り出す音質 調整機能



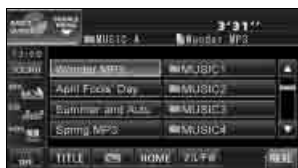
多様なサラウンド方式に対応する 音質調整機能

迫力ある臨場感を楽しむことができます。



アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生するMP3/WMAプレーヤー (365ページ)

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。また、WMAデータを再生することもできます。



高画質・高音質な映像を楽しむことができる地上デジタルTV (AVN978HDTVmk IIのみ) (429ページ)

地上デジタルTV放送ならではの、乱れない高画質な映像、雑音のないCD並みの高音質な番組を楽しむことができます。また、より広範囲なエリアで視聴できる、ワンセグ放送も受信することができます。



乱れない安定したTV映像が楽しめるワンセグチューナー (AVN078HDmk IIのみ) (454ページ)

地上デジタルTV放送ならではの、乱れない安定した映像という特長はそのままに、放送するデータ量を少なくすることでより広範囲なエリアで視聴できるワンセグ放送を受信することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドを楽しめるDVDプレーヤー (459ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



DVDメニューを直接操作できるダイレクトタッチ機能 (465ページ)

DVDのディスクメニューに直接タッチして操作することができます。



別売の地上デジタルTVチューナを接続すると、本機で地上デジタルTV放送を視聴することができます。ただし、本機で操作することができません。詳しくは、地上デジタルTVチューナの取扱説明書を参照してください。

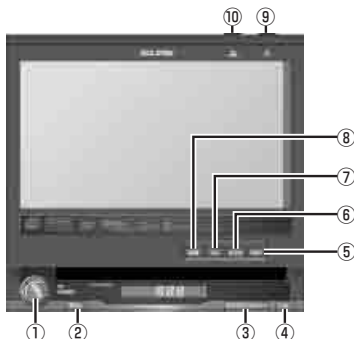
4. 本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

パネルスイッチ

それぞれのパネルスイッチを押して操作します。



①	VOLスイッチ	●ディスプレイが収納されているときオーディオの音量を調整するときに回します。押してから回すとソースが切り替わります。 ●ディスプレイが立ち上がっているときオーディオの音量を調整するときに回します。
②	MUTEスイッチ	オーディオの音声を消すときに押します。
③	TUNE・TRACKスイッチ	ラジオやDTVの選局、音楽の選曲、DVDのチャプター選択などを行うときに押します。
④	▲スイッチ	ディスクを取り出すときに押します。
⑤	MAPスイッチ	ナビゲーション画面/現在地を表示するときに押します。
⑥	MENUスイッチ	メニュー（ナビ・オーディオ・情報）画面を表示するときに押します。メニュー画面表示中に押すと、ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面→情報メニュー画面の順に切り替わります。
⑦	AVスイッチ	オーディオの操作画面を表示するときや、録音をするときに押します。
⑧	画質スイッチ	画質を調整するときに押します。サブディスプレイの表示を変更するときに1秒以上押します。
⑨	OPENスイッチ	●ディスプレイが収納されているときディスプレイを立ち上げるときに押します。 ●ディスプレイが立ち上がっているときディスプレイの角度や位置を調整するときに押します。ディスプレイを収納するときに1秒以上押します。
⑩	DOWNスイッチ	ディスプレイが立ち上がっているときに押すと、ディスプレイを倒すことができます。

■ MENU を押すと



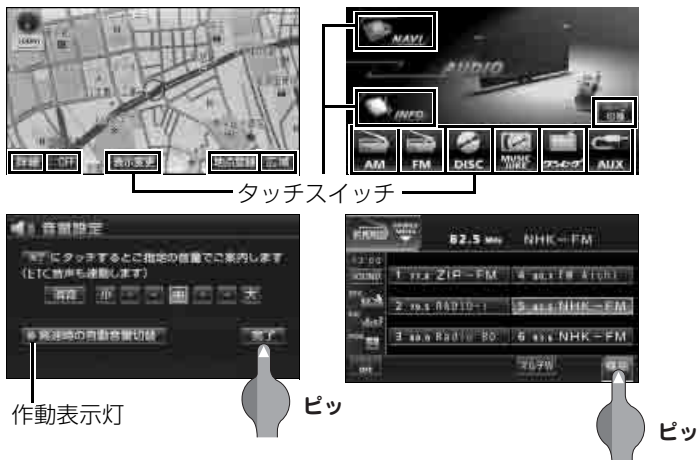
ピッ

最後に表示していたメニュー画面が表示されます。

4. 本機について

タッチスイッチ

画面のスイッチにタッチして操作します。



【タッチスイッチの操作について】

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものや、作動表示灯が点灯するものがあります。

■ タッチスイッチを表示しない

〈ナビゲーション画面〉



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。

ON にタッチするとタッチスイッチが表示されます。

〈オーディオ操作画面〉



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。
画面にタッチするとタッチスイッチが表示されます。



タッチスイッチは指でタッチしてください。
ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

4. 本機について

電源の入れ方・切り方

本機は、車のエンジンをかけると自動的に電源が入り、ナビゲーションの画面、またはオーディオの画面※を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※ 前回、映像を伴うオーディオソースの画面をご覧になっている途中でエンジンを切った場合はそのオーディオソースの画面を表示します。

■ 本機の電源を入れる



■ オーディオの電源を切る



- 内蔵のハードディスクに地図データを収録していますので、地図ディスクは必要ありません。
- ナビゲーションの画面が表示されないときは、**MAP** を押してください。
- オーディオの電源が入らないときは、オーディオメニュー画面、または **VOL** から電源を入れることができます。詳しくは、「ソースの切り替え方」329 ページを参照してください。
- ナビゲーションの電源は切ることができません。

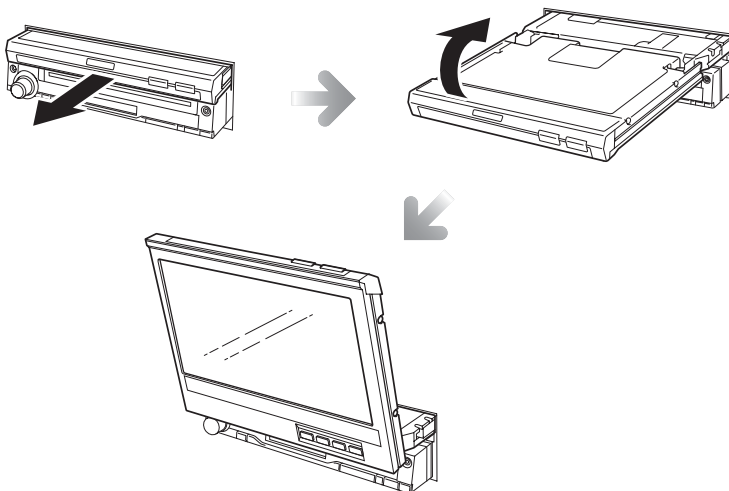
ディスプレイの立ち上げ・収納

ディスプレイを立ち上げる

1 車のエンジンを始動します。

2 **OPEN** を押します。

- ディスプレイが立ち上がります。
- **DOWN** を押すと、ディスプレイを倒すことができます。



- ディスプレイは無理に手で立ち上げないでください。ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。
- ディスプレイの立ち上げ時にオートマチックチェンジレバー（“P” 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・ $\text{\textcircled{R}}$ 位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて立ち上げてください。
- ディスプレイを倒したとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。



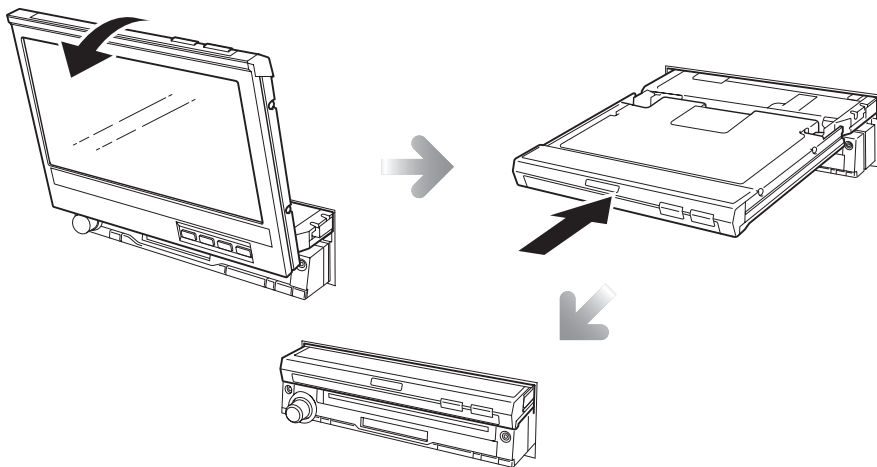
車のエンジンを始動したときに、ディスプレイを自動で立ち上げることができます。（52 ページ参照）

4. 本機について

ディスプレイを収納する

1 ディスプレイが立ち上がった状態で **OPEN** を押します。

2 **CLOSE** にタッチします。



- ディスプレイは無理に手動で収納しないでください。ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。
- ディスプレイを収納したときは、ディスプレイが完全に収納されたことを確認してください。ディスプレイが途中で止まってしまった場合、そのまま放置すると故障することがあります。
- ディスプレイの収納時にオートマチックチェンジレバー（“P” 位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・ 位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて収納してください。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。



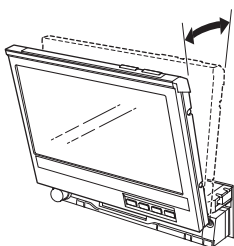
OPEN を約 1 秒間押してもディスプレイを収納することができます。

ディスプレイの角度調整

1 ディスプレイが立ち上がった状態で **OPEN** を押します。

2 **TILT▲**、または **TILT▼** にタッチします。

- **TILT▲** にタッチするとディスプレイが斜め上方向に1段階ずつ傾きます。
- **TILT▼** にタッチするとディスプレイが斜め下方向に1段階ずつ傾きます。
- 傾きは下から上方向で最大9段階までの調整になります。



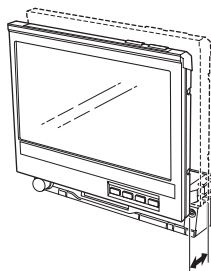
3 調整後、**OPEN** を押します。

ディスプレイの位置（前後）の調整

1 ディスプレイが立ち上がった状態で **OPEN** を押します。

2 **POSITION** にタッチします。

- **POSITION** にタッチするとディスプレイが1段階動きます。
- ディスプレイ位置は前と後の2段階の調整になります。



3 調整後、**OPEN** を押します。



ディスプレイは無理に手で角度や位置調整しないでください。
ディスプレイに無理な力が加わると、故障の原因になります。



調整したディスプレイの角度や位置は記憶されていますので、再び、ディスプレイを立ち上げたときは、自動的に調整した角度になります。

4. 本機について

ディスクの出し入れ

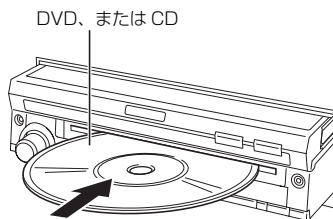
音楽をお聞きになるときは、音楽CDを、DVDビデオを再生するときはDVDビデオを差し込み口に入れてください。

各ディスク（CD・DVD）の入れ方

ディスプレイが立ち上がっている場合でもディスクを差し込むことができます。

1 差し込み口に希望のディスクを差し込みます。

- DVDおよびCDは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- DVDを差し込んだときはDVDビデオの再生が始まります。
- CDを差し込んだときは音楽CD、またはMP3/WMAの再生が始まります。



ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。



- 地図ディスク（DVD-ROM）は使用できませんので差し込まないでください。
- 8cm CD および 8cm DVD には対応していませんので差し込まないでください。



- DVD ビデオおよび CD の差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
- 本機の初期の設定では、音楽 CD を再生すると自動で MUSIC JUKE に録音が始まります。録音を中止するには、**AV** を 1 秒以上押してください。詳しくは、「**MUSIC JUKE への録音**」（398 ページ）を参照してください。

■DVD について

- 下記のマークの付いた DVD ビデオディスクが再生できます。また、DVD ± R/RW（DVD ± Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込まれたディスクは再生できません。



- DVD ビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVD ± R/RW（DVD ± Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない DVD ± R/RW は再生できません。
- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- DTS、DTS Digital Surround に対応しており右記のマークのついたディスクが使用できます。



Manufactured under license under U.S. Patent #s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

4. 本機について



■CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）が使用できます。



- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- CD-R/RW は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R/RW（MP3/WMAは除く）や、UDFフォーマットで書き込みされたCD-R/RWは再生できません。
- CD-TEXT 機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- スーパーオーディオCD（SACD）は、ハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSトラックが混在したCDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。

各ディスク（CD・DVD）の出し方

ディスプレイが立ち上がっている場合でもディスクを取り出すことができます。

1



を押します。



ディスクを取り出す際、下記に注意してください。

＜A／T車＞ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）

＜M／T車＞ディスクを取り出す際、1・3・5・Rポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

4. 本機について

液晶パネルについて

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

本機のモードについて

本機には大きく分けて「MENU」・「ナビゲーション」・「オーディオ」の3つのモードがあります。

どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。



	モード	主な機能
1	MENU	● ナビメニューの表示 目的地の設定、VICSの設定、各種設定など ● オーディオメニューの表示 オーディオソースの切り替え ● 情報メニューの表示 FM多重放送の受信、HDDのデータ管理、ESNの設定など
2	ナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録など
3	オーディオ (ラジオ・CD・ MUSIC JUKE・DVD・ワンセグ・DTV・AUX・VTR・iPod・ CDチェンジャー・ MDチェンジャー)	● AM・FM放送の受信 ● CDプレーヤーの操作 ● MP3/WMAプレーヤーの操作 ● MUSIC JUKEの操作 ● DVDプレーヤーの操作 ● ワンセグ放送の受信※1 ● 地上デジタルTV放送（DTV）の受信※2 ● AUXの再生 ● VTR映像の表示 ● iPodの操作（別売） ● CDチェンジャーの操作（別売） ● MDチェンジャーの操作（別売）

※1 AVN078HDmk IIのみ

※2 AVN978HDTVmk IIのみ

本機の作動条件について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

各機能	エンジン スイッチ OFF (LOCK)	ディスプレイ収納状態			ディスプレイ立ち上げ状態		
		ACC	ON 停車中	ON 走行中	ACC	ON 停車中	ON 走行中
ナビゲーション／情報	×	×	×	×	○	○	安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります
オーディオ※ 1 （映像を伴わない オーディオソース）	×	一部の機能のみ操作できません。	一部の機能のみ操作できません。	一部の機能のみ操作できません。	○	○	安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります
オーディオ※ 1 （映像を伴う オーディオソース）	×	一部の機能のみ操作できません。（音声のみになります）	一部の機能のみ操作できません。（音声のみになります）	一部の機能のみ操作できません。（音声のみになります）	○	○	安全上の配慮などから、音声のみになります
赤外線通信機能	×	○	○	安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	○	○	安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります
ディスクの出し入れ	×	○	○	○	○	○	○
ディスプレイの 角度調整／収納※ 2	×	×	×	×	○	○	○

※ 1 映像を伴わないオーディオソース：FM、AM、CD、MP3/WMA、MUSIC JUKE、AUX、iPod、CDチェンジャー、MDチェンジャー

映像を伴うオーディオソース：DVD、ワンセグ、DTV、VTR

※ 2 **OPEN** を約 1 秒間長押しすると収納できます。



操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

4. 本機について

各モードの呼び出し

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

MENU 画面

MENU を押します。



ナビゲーション画面

MAP を押します。



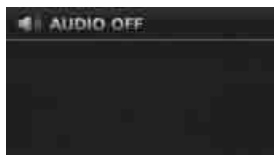
オーディオ操作画面

AV を押します。(作動時) *1



(CD プレーヤー作動時)

(OFF 画面) *2



*1：オーディオの機能が作動しているときに表示します。オーディオの操作については「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

*2：オーディオの機能が OFF のときに表示されます。

オンスクリーン表示について

ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオを操作 (トラック選曲や周波数選局) すると、オンスクリーンが表示されます。

オンスクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。



——— オンスクリーン表示

5 E-iSERVについて

本機は携帯電話を使ってE-iSERV（ECLIPSE information SERVICE）にアクセスし、下記機能のアプリケーションソフトをダウンロードすることができます。携帯電話にダウンロードした機能は、赤外線通信を行うことで本機に読み込むことができます。動作確認済の携帯電話については、E-iSERVを参照してください。



機 能	内 容
モクテキチネット	パソコン※や携帯電話からモクテキチネットへアクセスし、検索した目的地のマップコードを専用のアプリケーションソフトで送信することができます。詳しくは、「 赤外線通信で地図を呼び出す 」（160ページ）を参照してください。
Pic-CLIP	携帯電話に保存されている画像データを専用のアプリケーションソフトで送信し、壁紙やオープニング画面に設定することができます。詳しくは、「 壁紙（Pic-CLIP）の設定 」（55ページ）、または「 オープニング画面の設定 」（64ページ）を参照してください。
助手席リモコン	専用のアプリケーションソフトを用いることにより、携帯電話を使ってリモコン操作ができます。

※ PC版「モクテキチネット powered by its-mo Drive」は、「its-mo Drive（いつもドライブ）」へ変更されています。

5 E-iSERV について

E-iSERVへのアクセスについて

E-iSERVへは、携帯電話を使って2次元バーコード（QRコード）を読み込む、またはURLを入力してアクセスすることができます。



チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

E-iSERV にタッチします。

- E-iSERV 画面では2次元バーコードおよびURLが表示されます。（下記参照）携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURLを入力してE-iSERVにアクセスしてください。
- **サイズ変更** にタッチすると2次元バーコードが拡大されます。



E-iSERV(ECLIPSE information SERVICE)

《パソコンからアクセスする場合》

下記URL（ECLIPSEホームページ）からE-iSERVへアクセスしてください。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/>

《携帯電話からアクセスする場合》

下記URLもしくは2次元バーコードからE-iSERVへアクセスしてください。

<http://www.e-iserv.jp/dpmobile/dispTop.do>



警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



ワンポイント

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができ場合があります。
- 携帯電話の通信料金はおお客様のご負担になります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

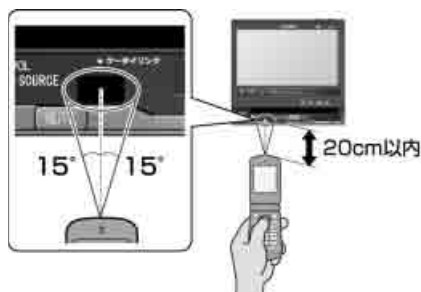
赤外線通信について

E-iSERVからダウンロードした機能や情報は、携帯電話の赤外線通信を使用して、本機に読み込むことができます。モクテキチネットについては160ページ、Pic-CLIPについては55ページ、または64ページを参照してください。

■モクテキチネット、Pic-CLIPの赤外線通信を行う場合

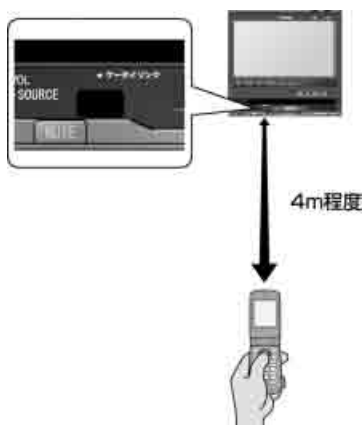
通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作するときは携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

また、Pic-CLIPの転送には、画像サイズによって1分程度かかる場合があります。



■助手席リモコンの赤外線通信を行う場合

携帯電話の赤外線送信部から送信のみの通信となるため、遠く（後部座席など）からでも操作することができます。



6. 本機の設定

本機はナビゲーションやオーディオの他に、下記の設定をすることができます。

● ディスプレイの自動立ち上げの設定	下記
● 操作音の設定	次ページ
● ナビゲーション音声の出力位置切り替え	54
● 壁紙（Pic-CLIP）の設定	55
● オープニング画面の設定	64
● 画面の調整・設定	70
● パネルスイッチ照明の設定	72
● ラジオアンテナの設定	73
● ESN（ECLIPSE Security Network）の設定	74
● 個人情報の初期化	83

ディスプレイの自動立ち上げの設定

車のエンジンを始動したときにディスプレイを自動で立ち上げることができます。
また、エンジンを切ると自動でディスプレイを収納することができます。

- 1 ディスプレイが立ち上がった状態で
OPEN を押します。

- 2 **DISP AUTO** にタッチします。

- **DISP AUTO** にタッチするとスイッチが明るくなります。
- 自動立ち上げを設定しないときは、**DISP MANUAL** にタッチします。



ディスプレイが自動で立ち上がる、または収納するときに、シフトレバー（Pレンジ）などに干渉する場合は、オート立ち上げ機能を設定しないでください。

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの“ピッ”という操作音を設定することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF**（消音）のいずれかにタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

6. 本機の設定

ナビゲーション音声の出力位置切り替え

ルート案内中の音声案内など、ナビ音声を出力するスピーカの位置を前席左側、または前席右側に切り替えることができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 ナビ音声設定の **左側スピーカ**、または **右側スピーカ** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

6 **設定完了** にタッチします。



ルート案内中にナビゲーション音声の出力位置を切り替えると、現在のルート案内が終了するまで音声案内などが聞こえなくなります。(新しく目的地を設定すると、音声案内などを聞くことができます。)

壁紙 (Pic-CLIP) の設定

ナビゲーションの情報画面やオーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDに取り込んだ画像データやCD-R/RW、携帯電話に保存した画像データを壁紙として表示することができます。

壁紙を切り替える

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 Pic-CLIP の **変更する** にタッチします。



4 **1** ~ **5**、**カスタム** のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。
- **カスタム** がタッチできないときは、画像の書き換えが必要です。画像の書き換えは「**お好みの画像データに書き換える**」(56ページ)を参照してください。



5 **完了** にタッチします。

6. 本機の設定

お好みの画像データに書き換える

HDDやCD-R/RWに記録した画像データを壁紙として表示することができます。



チェック

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。「**画像データを保存する**」（61 ページ参照）
- MUSIC JUKE に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。（「**MUSIC JUKEへの録音**」398 ページ参照）

1 画像データを記録したCD-R/RWを本機に差し込みます。

- 画像データの読み込みは約 30 秒かかります。画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

3 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

4 Pic-CLIPの **変更する** にタッチします。

5 **カスタムの変更** にタッチします。



6 **CD**、または **HDD** にタッチします。



7 壁紙に設定するデータにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- 複数のデータがある場合は、▲、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。



●プレビュー画面

8 **決定** にタッチします。

- 選択した画像がカスタムに登録されます。

9 **戻る** にタッチします。

10 **カスタム** にタッチします。

- 設定した壁紙が表示されます。



11 **完了** にタッチします。

6. 本機の設定

携帯電話に保存した画像データを壁紙に設定する

携帯電話に保存されている画像データを赤外線通信機能で送信し、壁紙として表示することができます。

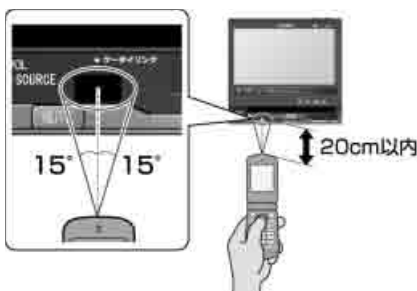


チェック

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から画像データを送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。（「E-iSERVについて」49ページ参照）
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

■ 携帯電話の操作

- 1 専用のアプリケーションソフトから画像データを送信します。



■ 本機の操作

- 1 **MENU** を押します。
- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。



警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



ワンポイント

- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取って下さい。
- 携帯電話の機種により、通信しにくい場合があります。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 画像データの転送には、画像サイズによって1分程度かかる場合があります。
- データ受信中は電源を切らないでください。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

**3** Pic-CLIP の **変更する** にタッチします。**4** **カスタムの変更** にタッチします。**5** **ケータイリンク** にタッチします。

- データを受信し、壁紙に登録されます。



6. 本機の設定

使用できる画像データについて

壁紙に使用できるデータは、下記の条件で書き込まれたものになります。

■パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R/RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格 (MODE1)
画像容量	1.5MB以下 (1 ファイル当たり)
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数 (枚数)	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1/※2
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ (最上位階層のみ)

※1 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_”(アンダースコア)、記号、漢字 (表示できない文字有り) のみです。

※2 拡張子.jpgは表示されません。

■携帯電話から送信する場合

	携 帯 電 話
画像容量	100KB以下 (1 ファイル当たり)
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
表示文字数	送信日時により自動付与



- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

画像データを保存する

CD-R/RWに記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。



チェック

- CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをディスク差し込み口に差し込んでください。画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- MUSIC JUKEに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。（「MUSIC JUKEへの録音」398ページ参照）

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

データ管理 にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3

画像データの **HDDへ保存** にタッチします。

- CD-R/RW に記録されている画像データを表示します。



4

保存したい画像データにタッチします。

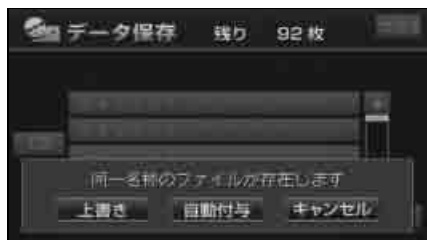
- **プレビュー** にタッチすると選択した画像を表示することができます。



6. 本機の設定

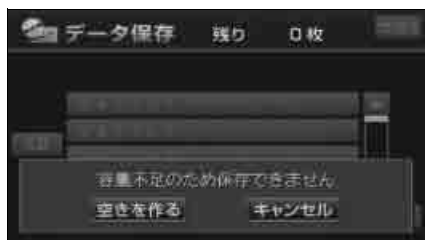
5 保存 にタッチします。

- **全保存** にタッチするとCD-R/RWに記録されている全ての画像データを保存します。
- **同じ名称のデータが存在している場合**
- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
- **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
(例) “AA1.jpg” がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の “AA1.jpg” には “01_AA1.jpg” と番号が自動で付けられ、保存されます。
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
- **全保存** にタッチ後、 **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。



■HDDの容量が足りない場合

- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。
(「画像データを消去する」次ページ参照)
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。



画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 画像データの **HDDから消去** にタッチします。



4 消去したい画像データにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると選択した画像を表示することができます。



5 **消去** にタッチします。

- **全消去** にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。

6 **YES** にタッチします。

6. 本機の設定

オープニング画面の設定

本機のオープニング画面（電源を入れたときに表示される画面）をお気に入りの画像に切り替えることができます。また、あらかじめHDDに取り込んだ画像データやCD-R/RW、携帯電話に保存した画像データをオープニング画面として表示することができます。

オープニング画面を切り替える

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 オープニング画像の **変更する** にタッチします。



4 **1**、**2**、**3**、**4 (カスタム)** のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- **4 (カスタム)** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。
- **4 (カスタム)** がタッチできないときは、画像の書き換えが必要です。画像の書き換えは「**お好みの画像データに書き換える**」（65 ページ）を参照してください。



5 **完了** にタッチします。

お好みの画像データに書き換える

HDDやCD-R/RWに記録した画像データをオープニング画面として表示することができます。



チェック

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。「**画像データを保存する**」（61 ページ参照）
- MUSIC JUKE に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。「**MUSIC JUKEへの録音**」（398 ページ参照）

1 記録したCD-R/RWを本機に差し込みます。

- 画像データの読み込みは約 30 秒かかります。画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

3 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

4 オープニング画像の **変更する** にタッチします。

5 **カスタムの変更** にタッチします。



6 **CD**、または **HDD** にタッチします。



6. 本機の設定

7 オープニング画面に設定するデータにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- 複数のデータがある場合は、▲、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。



●プレビュー画面

8 **決定** にタッチします。

- 選択した画像がカスタムに登録されます。

9 **戻る** にタッチします。

10 **4 (カスタム)** にタッチします。

- 設定したオープニング画面が表示されます。



11 **完了** にタッチします。

携帯電話に保存した画像データをオープニング画面に設定する

携帯電話に保存されている画像データを赤外線通信機能で送信し、オープニング画面として表示することができます。

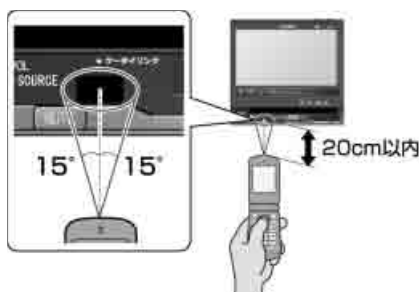


チェック

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から画像データを送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。（「E-iSERVについて」49ページ参照）
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

■ 携帯電話の操作

- 1 専用のアプリケーションソフトから画像データを送信します。



■ 本機の操作

- 1 **MENU** を押します。
- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。



警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



ワンポイント

- IrDAバージョン 1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取って下さい。
- 携帯電話の機種により、通信しにくい場合があります。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 画像データの転送には、画像サイズによって1分程度かかる場合があります。
- データ受信中は電源を切らないでください。

6. 本機の設定

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 オープニング画像の **変更する** にタッチします。

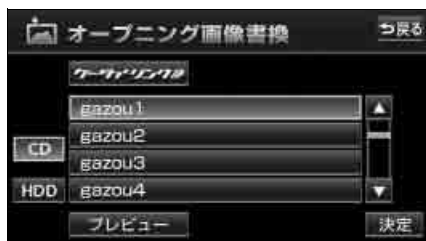


4 **カスタムの変更** にタッチします。



5 **ケータイリンク** にタッチします。

- データを受信し、オープニング画面に登録されます。



使用できる画像データについて

オープニング画面に使用できるデータは、下記の条件で書き込まれたものになります。

■パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R/RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格 (MODE1)
画像容量	1.5MB以下 (1 ファイル当たり)
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数 (枚数)	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1/※2
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ (最上位階層のみ)

※1 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_”(アンダースコア)、記号、漢字 (表示できない文字有り) のみです。

※2 拡張子.jpgは表示されません。

■携帯電話から送信する場合

	携 帯 電 話
画像容量	100KB以下 (1 ファイル当たり)
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
表示文字数	送信日時により自動付与



- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

6. 本機の設定

画面の調整・設定

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

取り付ける車種により、ライトの点灯、消灯を本機が検出できない場合があります。その場合は、手で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

● ライト消灯時…〈昼画表示〉



● ライト点灯時…〈夜画表示〉



画質調整画面を表示する

1 ナビゲーション画面、オーディオ操作画面、または映像画面のときに **画質** を押します。

2 調整が終了したら、**調整完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



夜画・昼画表示に切り替える

1 昼画（夜画）表示のときに **夜画面**（**昼画面**）にタッチします。

● タッチするごとに、夜画表示と昼画表示が切り替わります。



画面を消す

1 **画面消** にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには **MAP** を押します。



本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



操作画面、設定画面を表示している時は「色合い」、「色の濃さ」を調整することができません。



●ナビゲーション画面およびオーディオ操作画面時



●映像画面時

■色合い（映像画面時のみ）

- 1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ（映像画面時のみ）

- 1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

■コントラスト

- 1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

- 1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

- ライト消灯時の初期設定は最大値（一番明るい状態）になっています。

6. 本機の設定

パネルスイッチ照明の設定

パネルスイッチ照明の色（青、または赤）を切り替えることができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 イルミネーション切換の **BLUE**、または **RED** にタッチします。



5 **設定完了** にタッチします。

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げるができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 ラジオアンテナの **下げる** にタッチします。

- ラジオアンテナが下がっているときは、**上げる** にタッチすると、ラジオアンテナが上がります。



5 **表示消去** にタッチします。

6 **設定完了** にタッチします。



ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

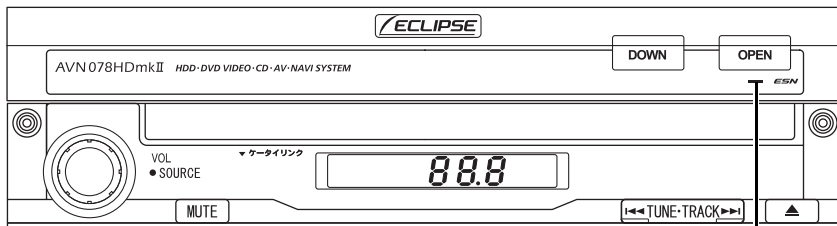
6. 本機の設定

ESNの設定

ESN (ECLIPSE Security Network)は、バッテリーターミナルをはずして再度接続した場合に、本機をロックする（操作できなくする）セキュリティ機能です。

ESN作動中はセキュリティインジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、ACCセキュリティを作動させると、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にするたびに本機をロックすることができます。



セキュリティインジケータ

ESN設定画面を表示する

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

ESN にタッチします。

- ESN設定画面が表示されます。
- **ESN** が表示されないときは、**ページ切換** にタッチします。



ESNを作動する

ESNは4桁の暗証番号を本機に登録することで作動します。

- 暗証番号の初期設定は「0000」です。暗証番号は他人にわかりにくい番号にしてください。

1

ESN 設定画面で、**コード設定** にタッチします。

2

現在の暗証番号を入力します。

- 初期設定は「0000」です。
- 間違えたときは、**クリア** にタッチすると、消去されます。



3

決定 にタッチします。

ワンポイント

- 暗証番号の登録中は、オーディオがOFFになります。
- 登録した暗証番号は、セキュリティの解除や暗証番号の変更を行うときに必要になります。登録した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。

6. 本機の設定

4 新しい暗証番号を入力します。

● 入力した暗証番号は“*”で表示されます。



5 **決定** にタッチします。

6 もう一度、**4** で入力した暗証番号を入力します。



7 **決定** にタッチします。

8 **はい** にタッチします。

● ESNが作動します。



ESNのロックを解除する

バッテリーターミナルをはずした後、エンジンスイッチをONにすると、セキュリティがロックされた状態で起動します。ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。



ロックを解除するときに使用する解除キーは、ESN 作動時に設定した 4 桁の暗証番号とは異なります。

1 携帯電話で2次元バーコードを読み取り、メーカーを立ち上げます。

- 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開していません。製品に同梱されている「シチュエーションBOOK」の21ページを参照してください。
- 携帯電話のメールの作成画面が表示されます。
- アドレスはあらかじめ入力されています。

2 **認証** にタッチします。

- 解除キー入力画面が表示されます。
- 画面切り替え確認メッセージが表示されるまで **HELP** にタッチし、**はい** にタッチすると、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい" のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店までご連絡ください。



- 本機能はNTT DoCoMo、au、SoftBankの3キャリアに対応しています。(PHSには対応していません。)
- 携帯電話以外（パソコンなど）から送信されたメールや、ファイルが添付されているメール（デコメールやHTMLメールなど）には対応していません。
- メールにはセキュリティ ID や前回のキー No. 以外の文字を入力しないでください。桁数が違う場合や、英数字以外の文字が入力されている場合、エラーメールが返信されます。
- 携帯電話がE-iSERV (esn_admin@eismail.ten.fujitsu.com) からのメールを受信できるよう設定しておいてください。
- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- E-iSERVのメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページでご確認ください。<http://www.e-iserv.jp/top/index.html>

6. 本機の設定

- 3** メールのタイトルにセキュリティ ID (8桁)、本文に前回のキー No. (6桁) を入力します。



- セキュリティIDおよび前回のキーNo.は、解除キー入力画面に表示されます。

前回のキー No. セキュリティ ID



- 4** メールを送信します。

- 今回のキー No.が記載されたメールが E-iSERV より返信されます。

- 5** メールに記載されている、今回のキー No.を入力します。

- 間違えたときは **クリア** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



- 6** **決定** にタッチします。

- 5回照合できなかった場合、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい"のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店までご連絡ください。

ESNを解除する



チェック

ESNを解除した場合、ACCセキュリティも解除されます。ACCセキュリティのみを解除したい場合は、「**ACC セキュリティを解除する**」(80 ページ)を参照してください。

- 1 ESN設定画面で、**キャンセル** にタッチします。



- 2 暗証番号を入力します。



- 3 **決定** にタッチします。

- 4 **はい** にタッチします。



ACCセキュリティを作動する

ACCセキュリティを作動させると、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にするたびに、本機をロックすることができます。



チェック

ACCセキュリティの作動は、ESNの作動中のみ行うことができます。

- 1 ESNを作動します。

- 「**ESNを作動する**」(75 ページ)を参照してください。

- 2 ACCセキュリティの **ON** にタッチします。



- 3 **設定完了** にタッチします。

6. 本機の設定

ACCセキュリティのロックを解除する

ACCセキュリティが作動しているときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からONにするたびに、認証画面が表示されます。認証画面で暗証番号を入力するとロックを解除することができます。

1 暗証番号を入力します。

- 間違えたときは **クリア** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



2 **決定** にタッチします。

- 5回照合できなかった場合、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい"のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店までご連絡ください。



ACCセキュリティを解除する

1 ESN設定画面で、ACCセキュリティの **OFF** にタッチします。



2 **設定完了** にタッチします。

暗証番号を変更する

- 1 ESN設定画面で、**コード設定** にタッチします。



- 2 現在の暗証番号を入力します。

- 間違えたときは **クリア** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



- 3 **決定** にタッチします。

- 4 新しい暗証番号を入力します。



- 5 **決定** にタッチします。

- 6 もう一度、4 で入力した番号を入力します。



- 7 **決定** にタッチします。

- 8 **はい** にタッチします。

- 暗証番号が変更されます。



6. 本機の設定

セキュリティインジケータの表示を設定する

ESN を作動させているときに点滅するセキュリティインジケータの表示を切り替えることができます。

- 1 ESN 設定画面で、インジケータの **ON**、または **OFF** にタッチします。



- 2 **設定完了** にタッチします。

個人情報の初期化

本機に登録した内容を消去し、本機を初期状態にもどすことができます。
初期化（消去）される項目は下記になります。

項目	初期化される内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶される地点
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
ショートカット	ショートカットスイッチに記憶させた機能
走行軌跡	記録した走行軌跡の表示

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

設定 にタッチします。

- **設定** が表示されないときは、**ページ切換** にタッチします。



- MUSIC JUKE に録音された内容および保存された画像データは消去されません。MUSIC JUKE の操作、または画像データの消去でデータを消去してください。詳しくは「プレイリストの編集」(414ページ)、「トラックの編集」(424ページ)、「壁紙 (Pic-CLIP) の設定」(55ページ) を参照してください。
- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。

6. 本機の設定

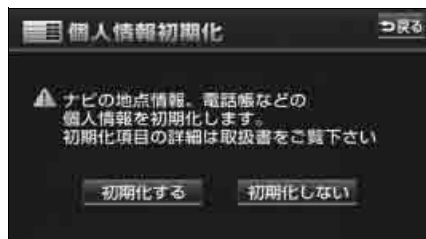
3 **次ページ** にタッチします。



4 個人情報の **個人情報消去** にタッチします。

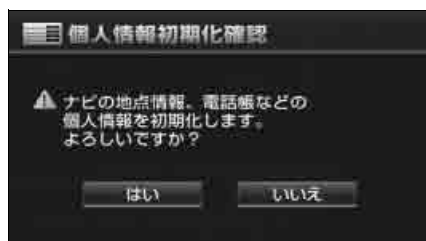


5 **初期化する** にタッチします。



6 **はい** にタッチします。

- 個人情報を初期化後、**4** の画面にもどります。



初期化中はオーディオの出力が停止します。初期化後、自動で音声を出力します。

ナビゲーション

はじめに

1

基本操作

2

ナビゲーション

3

地図登録

4

VICS

5

情報機能

6

オプション

7

ご注意事項

8

1. GPSボイスナビゲーションについて

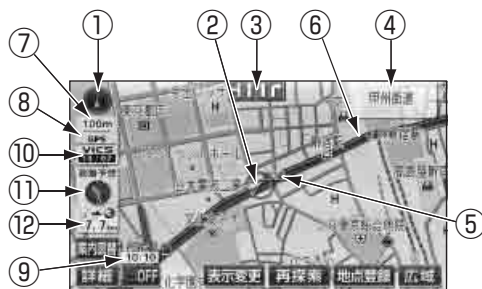
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

GPSボイスナビゲーションをお使いになる前に

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などを行うことができません。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なる場合があります。また、まれに誤った案内が行われる場合があります。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



<現在地画面>



<スクロール地図画面>

①**方位マーク**（ヘディングアップ時は)
地図の方角が表示されます。

- 地図向き（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては111ページを参照してください。

②**自車マーク**

現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③**レーン（車線）表示**

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図データに情報のある交差点のみ）

- 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

④**名称表示**（)

状況により次の名称が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ）

- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称、または路線番号
- 通過するインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）の名称（高速道路を走行しているときのみ）
- 分岐するインターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

⑤案内ポイント

交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。

- 交差点案内については、197 ページを参照してください。

⑥ルート表示

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

- 案内が行われるのは、濃い青（) の表示上に現在地があるときです。出発地および目的地周辺の細街路では薄い青のルートのみ表示します。

⑦スケール表示

表示させている地図の縮尺が表示されます。
 の長さがこの場合は100mになります。

⑧GPSマーク

GPS 衛星からの位置情報が利用されているときに、表示されます。
 ただし、GPS マークが表示されているときでも、GPS 衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

GPS は次のようなときに利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS 衛星からの電波が遮断されるとき
- GPS アンテナのまわりに遮へい物があるなど電波が遮断されるとき
- GPS 衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）をGPS アンテナ付近で使用したとき

⑨時計表示

現在の時刻が表示されます。

- 表示については、95 ページを参照してください。

⑩VICs タイムスタンプ

VICS 情報が提供された時刻が表示されます。また、渋滞規制案内音声があるときは、タッチスイッチに替わります。

（目的地案内中のルート上に VICS 情報があるときは、タイムスタンプが、渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。）

- VICS 情報の表示については、258 ページを参照してください。
- 地図上に表示されるマークについては、「**地図に表示されるVICs表示マークについて**」（263 ページ）、または巻末の「**凡例**」を参照してください。

⑪到着予想時刻表示／目的地方向マーク

状況により次のマークが表示されます。

■到着予想時刻表示

目的地案内中、目的地へ到着する予想時刻が表示されます。

- 到着予想時刻については、205 ページを参照してください。
- 案内中の到着予想時刻表示の切り替えについては222 ページを参照してください。

■目的地方向マーク

ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

⑫残距離表示

現在地から目的地までの距離が表示されます。

- 目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。
- ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。
- 残距離表示の切り替えについては、222 ページを参照してください。

⑬カーソルマーク

検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。

スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭カーソル位置地名表示

スクロールしたカーソル位置の地名が表示されます。（手をはなしてから約6秒間）

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

ナビメニュー画面

1 **MENU** を押します。

- ナビメニュー画面が表示されます。
- ナビメニュー画面が表示されない場合、**NAVI** にタッチします。
- **MENU** を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面

└── 情報メニュー画面 ─┘

2 タッチスイッチにタッチして、次の操作を行うことができます。

- **ページ切換** にタッチすると、項目を切り替えることができます。



●ナビメニュー画面

項目 (タッチスイッチ)	機 能	ページ
目的地	目的地の設定	167
	目的地の予約	230
案内中止／案内再開※1	目的地案内の中止・再開	196
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	234,235,244
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	245,246,247
音量設定	音量の設定	96
	高速時の自動音量切り替えの設定	96
VICS	VICS 図形情報・文字情報の表示	261,262
	割り込み情報の表示	261,262,297
	割り込み情報の表示の設定※2	296
	VICS 提供放送局の選択	253
	FM多重チューナーの設定	253

※1 目的地が設定されていないときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

※2 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時に表示されます。



各種設定画面で **初期状態** にタッチすると、すべての各種設定の項目（下記を除く）が初期設定の状態にもどります。

- 3D 地図表示設定
- 3D ビル表示の高さの設定
- 平均車速の設定
- スイッチ表示の設定
- 周辺施設走行中呼出ジャンルの変更
- 車両情報の設定
- ショートカットスイッチの設定
- ナビ補正

項目 (タッチスイッチ)		機 能	ページ
各種設定※3	地図表示 設定	フロントワイド表示の設定	112
		3D時ルート方向アップ表示の設定	124
		3D地図表示の角度の調整	122
		3Dビル表示の設定	123
		行政区画塗り分け表示の設定	127
		地図の表示色の切り替え	93
		自車マークの切り替え	93
		リアルワイドマップ表示の設定	126
		地図の文字サイズの切り替え	94
		立体ランドマーク表示の設定	129
		シーズンレジャーランドマーク表示の設定	128
		地図スクロール時の地名表示の設定	100
	自動表示 切替設定	交差点拡大図自動表示の設定	198
		リアル交差点拡大図の設定	200
		カットインムービーガイドの設定	200
		高速分岐模式図自動表示の設定	215
		レーンリスト自動表示の設定	203
		ターンリスト自動表示の設定	213
		都市高速マップ自動表示の設定	217
		高速路線マップ自動表示の設定	118
	案内表示 設定	駐車場マップ自動表示の設定	120
		縮尺切替メッセージ表示の設定	107
		道路形状警告の設定	131
		交通事故多発区間警告の設定	130
		料金案内の設定	207
		料金所レーン案内の設定	210
		県境案内の設定	132
		3D交差点拡大図の設定	202
	音声設定	平均車速の設定	205
		VICS 情報・交通データ考慮の設定	206
		VICS 渋滞・規制音声自動発声の設定	260
		自動音声案内の設定	220
		他モード時の案内の設定	221
		操作説明音声の設定	97
	ルート系 設定	交差点目印案内の設定	221
		ハートフル音声の設定	98
		自動再探索の設定	229
		ルート学習の設定	171
		ルート学習結果の消去	172
		交通状況学習結果の表示	268
		交通状況学習結果の消去	269
		季節規制メッセージ表示の設定	177
		渋滞統計データを考慮の設定※4	173

※3 各項目の初期状態については、「ナビゲーションの機能概要および初期状態について」(494 ページ)を参照してください。

※4 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時には、電波・光ビーコンからのVICS情報もルート探索に考慮することができます。

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

項目 (タッチスイッチ)		機 能	ページ
各種設定	その他	スイッチ表示の設定	102
		周辺施設 走行中呼出ジャンルの変更	138
		車両情報の設定*5	208
		目的地履歴の消去	195
		画面切り替え時の動画表現の設定	95
		ショートカットスイッチの設定	103
		時計表示の設定	95
		現在地の修正・距離の補正	308,309
ユーザーカスタマイズ	各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去		312,313,314
車両情報		車速パルスの確認	316
使用データ		地図データの情報表示	315

※5 目的地が設定されているときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

リスト画面の切り替え方

▲・▼の切り替え表示

▲・▼にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



前・次の切り替え表示

▲前・▼次にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

▲50音・▼50音にタッチすると、「あ→い」と次の音にリストが動きます。



行の切り替え表示

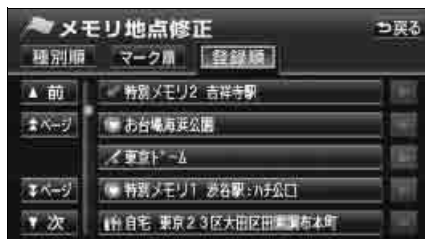
あ行・か行・さ行・た行・な行
・は行・ま行・や行・ら行・わ行

にタッチすると、行ごとにリストが動きます。



ページの切り替え表示

▲ページ・▼ページにタッチすると、1ページずつリストが動きます。



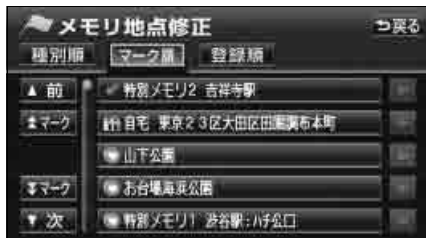
▲・▼にタッチすると、1ページずつリストが動きます。



1. ナビメニュー画面・リスト画面について

マークの切り替え表示

▲マーク・▼マーク にタッチすると、次のマークにリストが動きます。



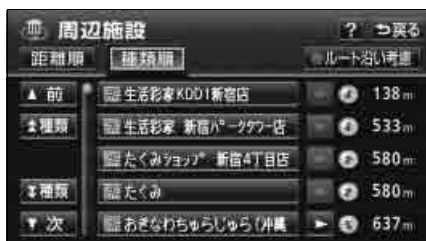
地域の切り替え表示

北海道・東北・関東・中部・近畿・中四国・九州 にタッチすると、地域ごとにリストが動きます。



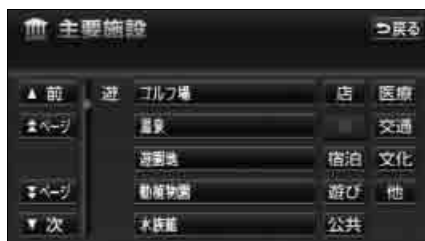
種類の切り替え表示

▲種類・▼種類 にタッチすると、次の種類にリストが動きます。



施設項目の切り替え表示

店・宿泊・遊び・公共・医療・交通・文化・他 にタッチすると、施設項目ごとにリストが動きます。



文字の表示範囲の切り替え方

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、名称がすべて表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

- ▶、または◀ にタッチすると、名称をすべて確認することができます。



2. 画面の調整・音声の設定

地図の表示色の切り替え

昼画・夜画それぞれの地図表示色（5種類）を切り替えることができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、**ノーマル**・**1**・**2**・**3**・**4**のいずれかにタッチします。



4 **完了** にタッチします。

スイッチ番号	強調する内容
ノーマル	通常の色表示
1	道路の識別を強調した色表示
2	案内ルートを強調した色表示
3	主要道路を強調した色表示
4	地図彩度を強調した色表示

自転車マークの切り替え

地図上に表示される自転車マークを切り替えることができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。

3 自転車マーク変更の **ノーマル**・・・・のいずれかにタッチします。

- タッチしたタッチスイッチの色が明るくなります。
- **ノーマル** にタッチすると、通常の自転車位置マークを表示します。



4 **完了** にタッチします。

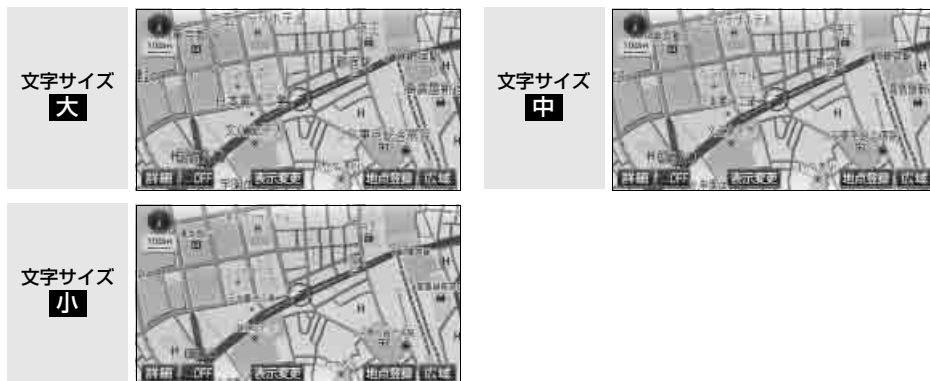


- 地図の表示色を切り替えても、市街図（108 ページ参照）およびバーチャタウンマップ表示（121 ページ参照）ではノーマル色で表示します。
- バーチャタウンマップ（121 ページ参照）では、切り替えた自転車マーク（ノーマル以外）を表示することができません。（バーチャタウンマップでは、ノーマルの自転車マーク表示に切り替わります。）

2. 画面の調整・音声の設定

地図の名称（文字）サイズの切り替え

地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替える（3種類）ことができます。



1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 地図の文字サイズ変更の **大**・**中**・**小** のいずれかにタッチします。



4 **完了** にタッチします。



3D表示（121 ページ参照）にさせているときは、手前側から大きい文字で表示されます。

画面切り替え時の動画表現の設定

画面の切り替えを動きのある表現に設定することができます。(一部を除く)

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 画面切り替え時の動画表現の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

時計表示の切り替え

地図画面に表示される現在時刻の表示を切り替えることができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 時計表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。



時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。(手動で調整することはできません。)

2. 画面の調整・音声の設定

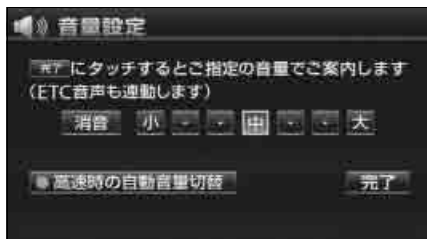
音量の設定

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

音量を調節する

1 ナビメニュー画面で、**音量設定** にタッチします。

2 **消音**・**小**・**中**・**大** のいずれかにタッチします。



3 **完了** にタッチします。

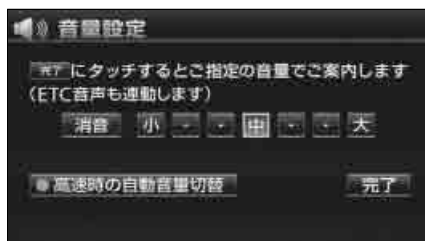
高速走行時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**音量設定** にタッチします。

2 **高速時の自動音量切替** にタッチします。

● タッチするたびに、ONとOFFが切り替わります。



3 **完了** にタッチします。



高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になったときに、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。）

操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

操作説明音声を設定する

操作説明音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 操作説明音声の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

2. 画面の調整・音声の設定

ハートフル音声の設定

ハートフル音声をON（発声する）に設定すると、通常のナビゲーションの音声案内とは別に日付、あいさつなどの音声を出力させることができます。

その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはONにし、ナビゲーション画面を表示したとき日付、曜日などをお知らせします。

【ハートフル音声の例】

- 日付案内の例
今日は○月○日○曜日○○○（記念日など）です。（1回のみ／日）
- 自宅到着の例
お疲れさまでした。（目的地設定の**自宅**からルート案内したときのみ）
- 挨拶の例
 - ・ 明けましておめでとうございます。（1/1～1/3に1回のみ／日）
 - ・ メリークリスマス（12/24～12/25に1回のみ／日）

ハートフル音声を設定する

ハートフル音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 ナビメニュー画面で、**各種設定**にタッチします。

- 2 **音声設定**にタッチします。



- 3 ハートフル音声の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4 **完了**にタッチします。



以下の場合、ハートフル音声が発声されます。
午前5時までにナビゲーションを起動する………1回目の音声出力
再度、午前5時以降にナビゲーションを起動する…2回目の音声出力

3. 地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の画面を表示させているときは、**MAP** を押すと、現在地画面にもどります。



チェック

- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、TVやDVDなどの映像画面を表示していた場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにしても現在地が表示されません。
- 高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

1

現在地画面で、**MAP** を押します。

- 現在地付近の地名が表示されます。
- 現在地が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（25m～200mスケール図のとき）

地名表示



ワンポイント

- 取り付け後、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク  が表示されている（自車マーク  がずれている）ことがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、自車位置が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

GPS情報が利用されず、自車位置が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、自車位置の修正を行ってください。（308ページ参照）

- 走行中は道路の表示が制限されます。（細街路などは表示されません。）ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

3. 地図の表示

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。また、スクロール中は、地図中心付近の地名を表示します。

地図の移動

1 地図にタッチ（タッチスイッチ以外の場所）します。

- 地図左に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくり連続して地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で連続して地図が移動します。
- 地図の移動後、カーソルの地名が約 6 秒間、画面上部に表示されます。
- カーソル位置が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200mスケール図のとき）

地名表示



スクロール時の地名表示を設定する

地図スクロール時の地名表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



- 安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でのスクロールになります。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。**MAP** を押すと、もとの状態（地図が動く）にもどります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（111 ページ参照）ができないことがあります。

- 3 地図スクロール時の地名表示の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

タッチスイッチの表示 切り替え

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

タッチスイッチの表示を切り替える

- 1 **OFF** にタッチします。



- タッチスイッチが表示されていないときに、**ON** にタッチすると、タッチスイッチが表示されます。



3. 地図の表示

タッチスイッチの表示を設定する

OFF にタッチしたときに表示するスイッチを設定することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 スイッチ表示設定の **変更する** にタッチします。



4 表示するタッチスイッチ（トーンダウンしているタッチスイッチ）にタッチします。

- トーンダウンしているタッチスイッチは **OFF** にタッチしたとき消去されます。
- すべてのタッチスイッチを表示する設定にしたとき、**OFF** は表示されません。
- **初期状態** にタッチすると、表示設定が初期設定の状態にもどります。



5 **完了** にタッチします。



広域 および **詳細** の表示設定は同じになります。別々の表示設定にすることはできません。

ショートカットスイッチ表示の設定

よく使う機能を設定(1つのみ)しておく、現在地画面や地図画面にショートカットスイッチを表示して、ワンタッチで機能の操作画面を呼び出すことができます。



●ショートカットスイッチ表示

ショートカットスイッチを設定・表示する

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ショートカットの **設定する** にタッチします。



4 設定する機能のスイッチにタッチします。

- **音量設定** ...96ページ
- **地図表示設定** ...113ページ
- **ユーザーカスタマイズ** ...311ページ
- **FM多重** ...272ページ
- **VICS FM図形** ...261ページ
- **VICS FM文字** ...262ページ
- **VICS表示設定** ...256ページ
- **カレンダー** ...292ページ



5 **完了** にタッチします。

3. 地図の表示

ショートカットスイッチの設定・表示を解除する

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ショートカットの **設定する** にタッチします。



4 **表示解除** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

地図縮尺の切り替え

地図を 1/2048 万図～1/2500 図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。また、目的地が設定されているときは、ワンタッチで目的地までを表示する縮尺に切り替えることができます。

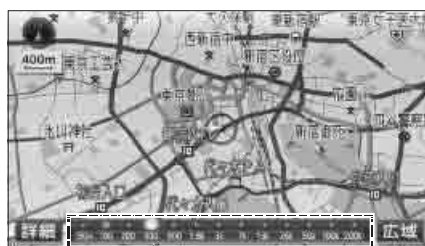
タッチスイッチ		縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
市街図	詳細	1/2500	25m	↓ 広域	1/16万	1.6km
	↑ 広域	1/5000	50m		1/32万	3km
市街図		1/5000	50m		1/64万	7km
↑ 詳細	詳細	1/1万	100m		1/128万	13km
		1/2万	200m		1/256万	26km
		1/4万	400m		1/512万	50km
		1/8万	800m		1/1024万	100km
					1/2048万	200km

希望の縮尺に切り替える



走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

- 1 地図の範囲を広くするときは **広域**、狭くするときは **詳細** にタッチします。
 - タッチスイッチにタッチすることにより、1段階ずつ切り替わります。
 - **広域**、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
 - **広域**、または **詳細** を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。
 - 新たに切り替えた縮尺が ○（黄色）で表示されます。



スケールバー



- 3D 表示、または駐車場マップを表示しているときはスケール表示の「」を表示しません。また、バーチャタウンマップ表示中はREAL、駐車場マップ表示中はPARKと表示します。
- 最大範囲（200kmスケール図）にすると **広域** が消去されます。また、最小範囲（50mスケール図）にすると **詳細** が **市街図**（108ページ参照）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は **詳細** が消去されます。）

3. 地図の表示

目的地までの縮尺に切り替える

目的地が設定されているときに、現在地を中心にワンタッチで、目的地までのルートを表示できる縮尺に切り替えることができます。
(複数の目的地が設定されているときは次の目的地まで)



チェック

3D 表示中 (121 ページ参照)、市街図表示中 (108 ページ参照) は
 が表示されません。

1

目的地が設定されているときに、**広域**、または **詳細** にタッチします。



2

にタッチします。



ワンポイント

設定しているルート、または現在地によってはルート全体を表示できないことがあります。

縮尺切替メッセージ表示を設定する

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージを画面に表示させることができます。



●縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替メッセージ表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 縮尺切替メッセージ表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。



縮尺切替メッセージ表示を **する** に設定したときは、以下のメッセージを表示することができます。

- 「都市高マップは200m図より詳細な地図では表示できません」
- 「都市高マップは1.6km図より広域な地図では表示できません」
- 「施設情報・VICS情報は広域の地図には表示されません」
- 「施設情報は800m図より広域の地図には表示されません」
- 「VICS情報は1.6km図より広域の地図には表示されません」
- 「市街図を表示します」
- 「リアル市街図を表示します」

3. 地図の表示

市街図の表示

市街図が収録されている地域（520ページ参照）では、1 / 2500 図（25mスケール図）と 1 / 5000 図（50mスケール図）の市街図表示に切り替えることができます。



●市街図



●バーチャタウンマップ表示

市街図表示に切り替える

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチします。

● 50mスケールの市街図が表示されます。



市街図の縮尺を切り替える

1 地図の範囲を広くするときは **広域**、狭くするときは **詳細** にタッチします。



- 市街図については、「市街図収録都市リスト」520 ページを参照してください。
- 市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 25mスケールの市街図では、一方通行を  で表示します。バーチャタウンマップでは  で表示します。（121ページ参照）
- 走行中、市街図で地図の移動（ワンタッチスクロール）はできません。
- 3D 表示にしているとき、25m スケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。バーチャタウンマップ表示の操作については、121 ページを参照してください。

市街図表示を解除する

- 1 50mスケールの市街図を表示させているときに、**広域** にタッチします。



施設の内容を表示する (ビルディングクイックサーチ)

- 1 市街図を表示させているときに、**情報** にタッチします。
- 3D表示 (バーチャタウンマップ含む)・2画面表示の場合は解除され、通常の市街図になります。



- 2 ↑ にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。



3 施設情報 にタッチします。

- 選んだ建物の建物名称・建物形状 (建物が立ち上がります)・施設の件数・階数・店名・会社名などが表示されます。
- 選んだ建物に複数の施設がないときは、施設の内容が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設の内容が表示されます。
- リスト最上段の施設位置を建物に表示します。



3. 地図の表示

走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡（約1000km）を自動で保存し、表示することができます。

- 保存できる距離をこえて走行したときは、古い軌跡は消去して、新しい軌跡を保存します。



走行軌跡表示

走行軌跡を表示する



- 25m～50kmスケール図で表示させることができます。
- パーチャタウンマップ（121ページ参照）、または高速路線マップ（117ページ参照）を表示させているときは、走行軌跡を表示することはできません。

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- 2 **走行軌跡表示** にタッチします。



走行軌跡の消去・表示解除をする

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- 2 **走行軌跡解除** にタッチします。



- 3 **はい**、または **いいえ** にタッチします。

- **はい** …… 保存してある軌跡を消去して、表示も解除します。
- **いいえ** …… 保存してある軌跡はそのまま、表示を消去します。



地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。



● ノースアップ表示

● ヘディングアップ表示

車の進行方向が常に上向きになるように地図が表示されます。



● ヘディングアップ表示

地図の向きを切り替える



3D表示 (121ページ参照) になっているときは、地図向きを切り替えることはできません。

1

 (または ) にタッチします。

● ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。



ヘディングアップ表示のとき、目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示にもどります。

3. 地図の表示

フロントワイド表示の切り替え

画面の中心に表示される自車マーク  を、中心からずれて表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

次のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

- ① ノースアップ表示（1画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- ② 2画面表示（次ページ参照）の右画面が、ノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- ③ ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。
- ④ 2画面表示（次ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。



●フロントワイド表示



●通常の表示

フロントワイド表示を設定する

①～④の条件それぞれで、フロントワイド表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

- 1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

- 2 **地図表示設定** にタッチします。



- 3 各フロントワイドの項目の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

2画面表示の切り替え（Wサイトナビ）

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して次のような表示をさせることができます。

〔例〕

左右異なる縮尺・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のONとOFF・3D表示のONとOFFに分割して表示できます。



● 2画面表示

2画面表示に切り替える



チェック

シティドライブモード画面（115ページ参照）、ターンリスト図（212ページ参照）などの案内図表示中は2画面に切り替えることができません。

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。



- 2 **地図表示** にタッチします。



- 3 **2Dツイン**（通常の2画面表示）、または**3Dツイン**（左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

- 2画面表示に切り替わります。
- 左側の画面は 1 画面表示のときと同じ方法で操作できます。



右画面を操作する

- 1 右画面内の地図にタッチします。



ワンポイント

- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示にもどります。
- 2画面にしたときの右画面については、前回に設定した表示方法が記憶されています。

3. 地図の表示

- 2** 各タッチスイッチにタッチすると次の操作ができます。



- **地図縮尺を切り替える** (105ページ参照)
詳細、または **広域** にタッチします。

- **地図の向きを切り替える**
 (111ページ参照)
 ● (または ●) にタッチします。
 (2画面表示でも操作できます。)

- **3D表示に切り替える** (121ページ参照)
 3D表示をON (する) にするか、OFF (しない) にするか、選ぶことができます。
3D表示 にタッチします。

- **施設の表示を設定する** (133ページ参照)
 左画面に施設を表示させているとき、施設をON (表示する) にするか、OFF (表示しない) にするか、選ぶことができます。
周辺施設表示 にタッチします。

- **VICS情報の表示を設定する**
 (256、258ページ参照)
 左画面にVICS情報を表示させているとき、VICS情報をON (表示する) にするか、OFF (表示しない) にするか、選ぶことができます。
VICS表示 にタッチします。

- 3** 地図縮尺、または地図の向きを切り替えた場合、**戻る** にタッチします。

2画面表示を解除する

- 1** 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- 2** **地図表示** にタッチします。

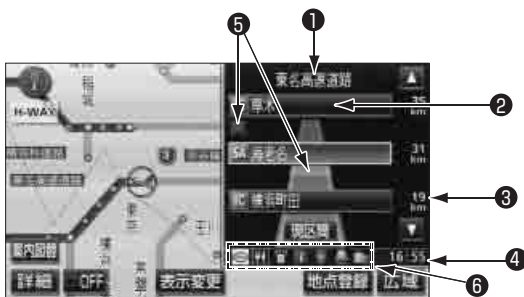
- 3** **2D** (通常の表示)、または **3D** (通常の3D表示) にタッチします。



施設の表示・VICS情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。また、左画面に表示させていないときは、右画面に表示できません。

シティドライブモード画面

高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）、自動的に画面を左右に2分割して右側にシティドライブモード画面を表示します。また、目的地案内中は都市高速、有料道路でも自動でシティドライブモード画面が表示されます。



① 道路名称表示	走行中、または選んだ施設（SA・PA・IC）のある道路名称が表示されます。
② 施設名称表示	施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。
③ 距離表示	現在地からの距離が表示されます。
④ 通過予想時刻表示	選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。
⑤ VICS マーク・表示	VICS情報が受信されたとき、表示されます。（VICSマークについては、「地図に表示されるVICS表示マークについて」（263ページ）、VICS表示については256、258ページを参照してください。）
⑥ 設備マーク表示	選んだ施設「サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）」にある設備が最大7つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）



- 目的地案内をしていないときの施設名称表示は、最大10力所までになります。
- 反対車線の施設情報は表示されません。
- 通過予想時刻^{*}は設定した平均车速（205ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
※ 通過予想時刻（④）には、VICS情報および渋滞統計データは考慮されません。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、シティドライブモードが解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、高速分岐模式図（215ページ参照）が自動的に表示され、シティドライブモードが解除されます。（高速分岐模式図自動表示が「しない」に設定されているときは切り替わりません。）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にシティドライブモードにもどります。
- ターンリスト図（212ページ参照）は、同時に表示することができません。

3. 地図の表示

シティドライブモード画面を操作する

- 1 ▲・▼、または施設 (SA・PA・IC) 名称にタッチします。
- 選んだ施設 (SA・PA・IC) に切り替わります。
- 施設 (SA・PA・IC) を選んだとき、**現区間** にタッチすると、現在地からのシティドライブモード画面にもどります。



シティドライブモード画面を解除する



案内図替の **分岐図** は目的地案内中で分岐点 [出口インターチェンジ (IC)、ジャンクション (JCT)] が近いとき、**ターンリスト** は目的地案内中に表示されます。

- 1 **案内図替** にタッチします。

- 選択する画面 (下記 2 参照) がないときは、タッチすることによって通常の地図とシティドライブモード画面が切り替わります。

- 2 通常の地図にするときは **地図**、高速分岐模式図 (215 ページ) にするときは **分岐図**、ターンリスト図 (212 ページ) にするときは **ターンリスト** にタッチします。

- 再度、シティドライブモード画面を表示するときは、案内図替で、**高速略図** にタッチします。



■ 設備マーク表示

マーク	内容	マーク	内容
	レストラン		FAX
	ドラッグストア		ショッピングコーナー
	仮眠施設		休憩所
	お風呂		スナックコーナー
	キャッシュコーナー		トイレ
	ハイウェイ情報ターミナル		ハイウェイオアシス
	郵便局・ポスト		

- ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

高速路線マップ

高速道路や一般道路を走行中に、画面に高速道路を表示して案内することができます。

【高速道路を走行中の場合】

高速道路を走行すると、自動的に右画面がシテイドライブモードに切り替わり、左画面に高速路線マップを表示することができます。

高速路線マップのみで表示したいときは、**案内図替** にタッチします。

- **案内図替** にタッチし、次に表示された画面で **地図** にタッチします。



● 高速路線マップ表示

高速路線マップの縮尺を切り替える



走行中はスケールバーにタッチして縮尺を切り替えることができません。

- 1 表示範囲を広くするときは **広域**、狭くするときは **詳細** にタッチします。
(4段階に切り替えることができます)

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- **広域**、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーにタッチすると、タッチした縮尺に切り替わります。



目的地案内中、出口インターチェンジ (IC)、分岐するジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、またはパーキングエリア (PA) の手前では、地図の右側に高速分岐模式図が自動的に表示されます。(高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは表示されません。215ページ参照) ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、またはパーキングエリア (PA) のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にもとの画面にもどります。

3. 地図の表示

高速路線マップの自動表示を設定する

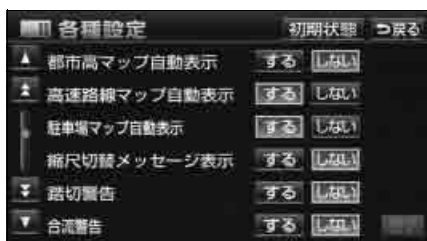
高速路線マップを自動でON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 高速路線マップ自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

高速路線マップ表示を解除する

1 高速路線マップを表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ解除** にタッチします。

● 表示するときは、再度この画面で、**高速路線マップ表示** にタッチします。



- 高速路線マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** から高速路線マップを表示することができます。
- 都市高速マップ（217 ページ）は、同時に表示することができません。

【一般道路を走行中の場合】

一般道路を走行中、現在地付近の高速路線マップを表示させることができます。



●高速路線マップ表示

高速路線マップに表示を切り替える

1 地図を表示させているときに
表示変更 にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ** にタッチします。

● 解除するときは、高速路線マップ画面で、**戻る** にタッチ、または **MAP** を押します。



高速路線マップは地図向きを切り替えることができません。

3. 地図の表示

駐車場マップ

地図データに情報が収録されている立体駐車場や地下駐車場に入ったときに、駐車場マップを自動で表示させることができます。



● 駐車場マップ表示

駐車場マップの自動表示を設定する

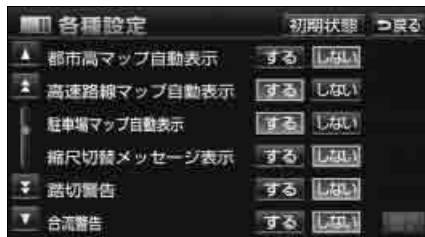
駐車場マップ自動表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 駐車場マップ自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

駐車場マップを解除する

1 **P解除** にタッチします。

- 再度、駐車場マップを表示させるには、**MAP** を押します。
- **案内図替** にタッチするごとに通常の地図と駐車場マップを切り替えることができます。



駐車場マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** から駐車場マップを表示することができます。

3D表示の設定

地図を立体的に表示させることができます。

3D表示に切り替える

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **3D** (通常の3D表示)、または**3Dツイン** (左画面を3D表示した2画面表示) にタッチします。

● 3D表示に切り替わります。



バーチャタウンマップを表示する

3D表示にさせていたとき、25mスケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。



●バーチャタウンマップ表示

1 50m スケールの3D 市街図表示で、**詳細** にタッチします。

● 市街図表示については、108 ページを参照してください。



- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示にもどります。
- 25mスケールの市街図表示中に3D表示に切り替えてもバーチャタウンマップ表示になります。
- バーチャタウンマップにすると一方通行の表示が  にかわります。

3. 地図の表示

バーチャタウンマップの視点を調整する

バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは **広域**、下げるときは **詳細** にタッチします。

- タッチするたびに低 ↔ 中 ↔ 高の3段階に切り替わります。
- スケールバーにタッチすると、低 ↔ 中 ↔ 高の3段階に切り替わります。
- **広域**、または **詳細** を約1秒以上タッチし続けると、9段階に切り替わります。



見下ろす角度を調整する



走行中は、見下ろす角度の調整は操作できません。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3D 地図表示設定の **変更する** にタッチします。



4 角度を上げるときは **初期状態**、下げるときは **広域** にタッチして角度を設定します。

- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23°）にもどります。



5 **セット** にタッチします。



- バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）が最大（高）のとき、**広域** にタッチすると、バーチャタウンマップを解除することができます。
- バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）が最小（低）のとき、**詳細** は表示されません。

（バーチャタウンマップのビル表示を設定する）

ビル表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3Dビル表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

（バーチャタウンマップのビル表示の高さを設定する）

設定した高さ（階数）以上のビルのみを、画面に表示することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



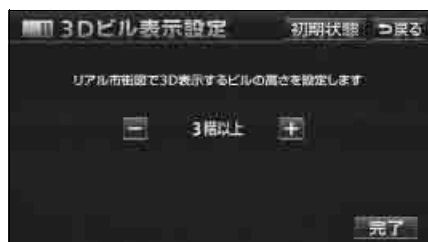
3 3Dビル表示の **設定** にタッチします。



3. 地図の表示

4 表示する高さ（階数）を上げるときは **+**、下げるときは **-** にタッチして高さを設定します。

- 最大高さ（20階以上）にすると **+**、最小高さ（全て）にすると **-** の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
高さ: 全て、3階以上～20階以上（1階単位）
- **初期状態** にタッチすると、高さが初期設定の状態（3階以上）にもどります。



5 **完了** にタッチします。

地図向きを回転する



走行中は、地図向きを回転することができません。

1 3D表示させているときに、地図にタッチします。

2 にタッチすると時計まわり、 にタッチすると反時計まわりに回転します。

- **MAP** を押すと、もとの表示状態（回転前の状態）にもどります。



ルート方向アップ表示を設定する

3D表示画面で目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。

- ONのときは、方位マークが になります。



●ルート方向アップ表示

ルート方向アップをON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3D  時のルート方向アップの **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3D表示、バーチャタウンマップを解除する

1 3D表示、バーチャタウンマップを表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **2D** (通常の表示)、または **2Dツイン** (通常の2画面表示) にタッチします。



3. 地図の表示

リアルワイドマップ

リアルワイドマップでは表示する地図を行政区画ごとに塗り分け、地図マークをイラスト的に表示します。また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。(初期状態は表示する設定になっています。)



●リアルワイドマップ表示



●通常地図表示

リアルワイドマップ表示を設定する

リアルワイドマップ表示をON (する) にするか、OFF (しない) にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 リアルワイドマップ表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

行政区域塗り分け表示を設定する

行政区域塗り分け表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。



行政区域塗り分け表示は、リアルワールドマップでのみ表示することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 行政区域塗り分け表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3. 地図の表示

シーズンレジャーランドマークの表示

桜の名所など、季節や場所（名所）に応じたシーズンレジャーランドマークを表示させることができます。

（例）

マーク	内容
	桜の名所
	紅葉の名所



●シーズンレジャーランドマーク表示



800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く）

シーズンレジャーランドマーク表示を設定する

シーズンレジャーランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 シーズンレジャーランドマーク表示の**する**、または**しない**にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3Dランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（3Dランドマーク）を表示させることができます。



● 3Dランドマーク表示



800m スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
(全ルート図表示画面、バーチャタ
ウンマップを除く)

3Dランドマークの表示を設定する

3DランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 立体ランドマーク表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3Dランドマークの内容を表示する

1 3Dランドマークにタッチします。

● 3Dランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

● 3Dランドマークの内容が表示されます。
● スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、「ブラウザ画面を操作する」285 ページを参照してください。



直線距離表示

3. 地図の表示

交通事故多発区間警告の設定

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

- 一般道路上では交通事故が多発している地点に、警告マークを表示します。
- 高速道路上では交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上に警告マークを表示し、音声案内します。

警告マーク	内容
 (一般道路上：橙)	交通事故多発区間警告
 (高速道路上：黄)	

交通事故多発区間警告マーク



●交通事故多発区間警告表示



地図上に表示するマークは、50m～800mスケール図の地図で表示させることができます。(バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く)

交通事故多発区間警告を設定する

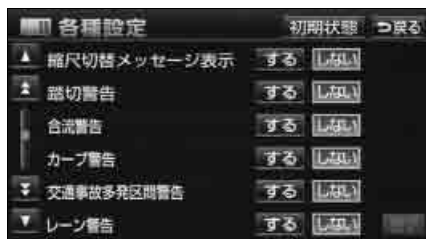
交通事故多発区間警告をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 交通事故多発区間警告の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

道路形状警告（踏切警告・合流警告・カーブ警告・レーン警告）の設定

道路形状警告（下図参照）がある場所に近づくと、地図右上にマークを表示します。

- 警告マーク（カーブ警告を除く）が表示される地点は地図上に●（黄色）で表示されます。（高速路線マップを除く）

(例)

形状	警告マーク
踏切	
合流道路	
カーブ	
レーン※	

※ 都市高速道路走行中のみ表示されます。
一般道路は音声のみの案内になります。



●道路形状警告表示

基本操作

2

道路形状警告を設定する

道路形状警告をON（警告する）にするか、OFF（警告しない）にするか、選ぶことができます。

- ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

- 道路形状警告の項目の **する**、または **しない** にタッチします。

- 案内表示設定** にタッチします。



- 完了** にタッチします。



合流警告の案内は、直前の分岐から距離が短い場合は案内されないことがあります。また、次のようなときは、道路形状警告が行われなかったことがあります。

- 目的地案内開始直後
- 目的地周辺

3. 地図の表示

県境案内の設定

都道府県境をこえたとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ音声で案内することができます。



●県境案内表示

県境案内表示を設定する

県境案内をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 県境案内の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

施設の表示

地図に 、または  から半径約10km以内にある施設のマークを最大200件表示することができます。



800m スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
(全ルート図表示画面を除く)



●施設表示

走行中に簡易操作で表示する

走行中に簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。



高速路線マップ、または駐車場マップを表示させているときは、施設ランドマークを表示させることはできません。

1

地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2

周辺施設 にタッチします。



3

表示させる施設 **GS**、**コンビニ**、**レストラン**、**駐車場**、**銀行**、**郵便局** にタッチします。

- タッチした施設ランドマークが表示されます。
- **1** ~ **3** を繰り返すと、5つまで選択することができます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



-  または  が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。
- 走行中に表示することができる施設ランドマークを変更することができます。
(138ページ参照)

3. 地図の表示

施設ランドマークを消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **表示解除** にタッチします。



複数ジャンルを表示する

複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **全ジャンル** にタッチします。

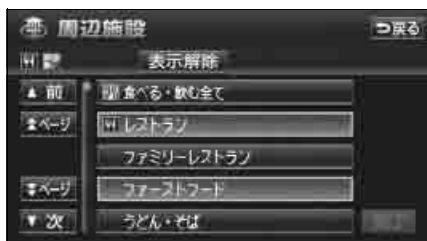


4 施設のジャンルにタッチします。



5 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5ジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- 間違えたときは **表示解除** にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



6 **完了** にタッチします。



7 **選択完了** にタッチします。

- 選んだ施設ランドマークが表示されます。
- **選択する** にタッチすると、前ページ **3** の画面が表示され、続けて設定のジャンルを選択することができます。



各ジャンルの **○○全て** を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

3. 地図の表示

周辺の施設を検索する

施設ランドマークを表示しているときに
 (A) 、または (B) の10km以内にある施設を
 検索することができます。

1 地図を表示させているときに、
表示変更 にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



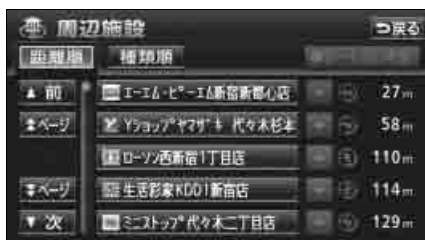
3 **施設検索** にタッチします。

- 選択されている施設のリストが表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- (A) のとき前方に施設がある場合は (B) (矢印上) で表示されます。(車の進行方向から見える位置)
- **種類順** にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。
- **距離順** にタッチすると、(A) 、または (B) から近い施設の距離順に並びかわります。
- 目的地が設定されているときは、ルートに沿ったリストを表示することができます。「**ルートを考慮したリストを表示する**」(次ページ参照)



5 **情報** が表示されたときは、**情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- スポットインフォメーション(情報付施設)が検索されたときの操作は、「**ブラウザ画面を操作する**」285 ページを参照してください。



ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストにすることができ
ます。(距離の表示は道なり距離、マークの
表示は施設がルートの左右どちらか、または
現在地より後方を表示しています。)

1 ルート沿い考慮 にタッチします。

- 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中
心にした地図が表示され、施設名称と現在
地からの道なり距離が表示されます。
- **距離順** にタッチすると、 から近い施
設の距離順に並びかわります。
- **種類順** にタッチすると、施設のマークの
種類順に並びかわります。



マーク
道なり距離

施設の情報を表示する (クイックサーチ)

1 施設ランドマークにタッチします。

- 施設の名称と現在地からの直線距離が表
示されます。
- 同じ建物に複数の施設がある場合、施設ラ
ンドマークにタッチすること、施設名称
が切り替わります。

2 情報 が表示されたときは、**情報** に タッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- スポットインフォメーション (情報付施
設) が検索されたときの操作は、「ブラウ
ザ画面を操作する」285 ページを参照し
てください。



3. 地図の表示

周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更

走行中に簡易操作で表示することができる施設ランドマーク（133ページ参照）を設定することができます。

- 初期状態は **GS**、**コンビニ**、**レストラン**、**駐車場**、**銀行**、**郵便局** が設定されています。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

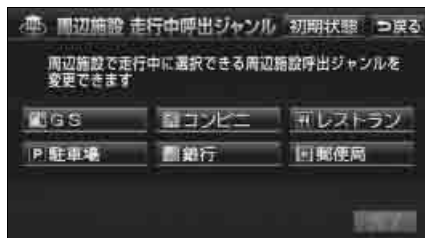


3 周辺施設 走行中呼出ジャンルの**変更する** にタッチします。



4 変更したい施設のジャンルにタッチします。

- **初期状態** にタッチすると、すべての周辺施設走行中呼出ジャンルの項目が初期設定の状態にもどります。



5 施設のジャンルにタッチします。



6 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。



7 **完了** にタッチします。

4. 地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定・目的地予約の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目の該当ページを参照してください。

● 目的地の設定のとき



● 目的地の追加のとき



● メモリ地点の登録のとき



- 目的地の設定 (168ページ)
- 目的地の追加 (182ページ)
- 目的地予約の設定 (230ページ)
- メモリ地点の登録 (234ページ)
- 迂回メモリ地点の登録 (245ページ)
- 販売店の設定 (281ページ)

上の画面は、目的地設定／追加・メモリ地点登録のときの画面を代表として記載しています。

表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

4. 地図の呼び出し方法

項目（タッチスイッチ）	機 能
50音・名称	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。（次ページ参照）
主要施設	さまざまなジャンルから施設を選び、その施設周辺の地図を表示させることができます。（150ページ参照）
住所	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（152ページ参照）
電話番号	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（153ページ参照）
郵便番号	郵便番号を入力することで、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（155ページ参照）
ジャンル	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地図を表示させることができます。（155ページ参照）
メモリ地点	メモリ地点周辺の地図を表示させることができます。（158ページ参照）[メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、233ページ参照。]
履歴	過去に設定された目的地、または前回の出発地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（159ページ参照）[目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、195ページ参照。]
マップコード	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（159ページ参照）
先程の地図	最後に表示していた地図を表示させることができます。
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。
自宅※	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。[それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、233ページ参照。]
特別メモリ 1 / 2 / 3 / 4 / 5	
自宅周辺	
特別メモリ周辺 1 / 2 / 3 / 4 / 5	
ケータイリンク	目的地を設定するときに、E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を表示させることができます。（160ページ参照）

※ 自宅が登録されていないときは自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。（「メモリ地点の登録」234ページ参照）

50音・名称で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称をひらがな、カタカナ、英数、または漢字で入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。

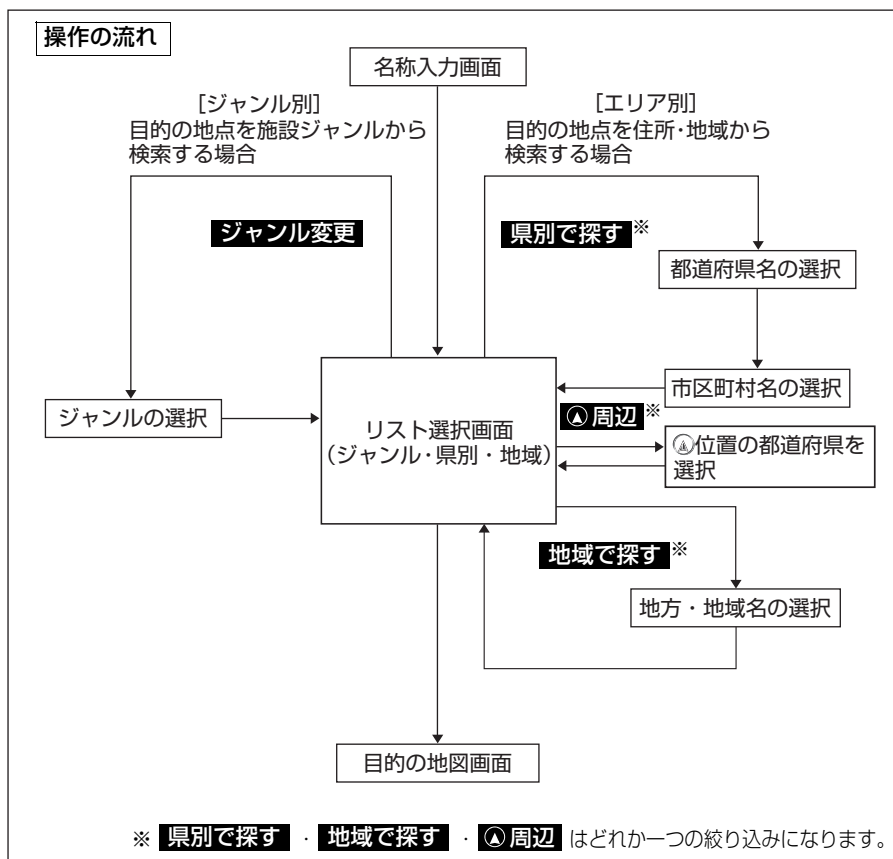
候補数が少ないときは、リスト画面から直接選びます。

● 目的の地点をエリアから絞り込む **エリア変更**

- **県別で探す** から、都道府県、市区町村の順に絞り込み、リストを呼び出します。
- **地域で探す** から、地方および地域を絞り込み、リストを呼び出します。
- **Ⓐ周辺** から、現在地のある都道府県に絞り込み、リストを呼び出します。

● 目的の地点を施設ジャンルから絞り込む **ジャンル変更**

- **ジャンル変更** から、施設ジャンルを絞り込み、リストを呼び出します。



4. 地図の呼び出し方法

1 施設の名称（または住所）を1文字ずつタッチして入力します。

- 漢字・カタカナ・英数字で入力することにより、検索項目を絞り込むことができます。漢字・カタカナ・英数字で入力するには、**文字入力** にタッチします。入力方法は「**漢字・カタカナ・英数字を入力する**」次ページを参照してください。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 1文字タッチすることにより、検索される施設名称の件数が表示されます。

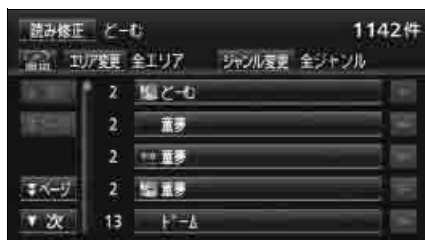


2 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称（または住所）の全国リスト画面が表示されます。

3 表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

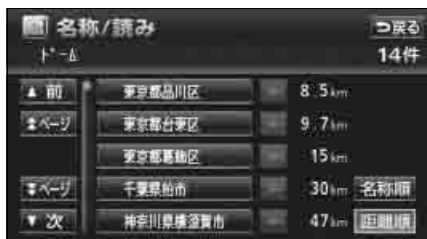
- 地図が表示されます。
- 表示された地図については「**呼び出した地図の操作**」161ページを参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 候補数が多いときは前ページの**操作の流れ** にしたがって「[エリア別]」、または「[ジャンル別]」で絞り込みます。全国リスト画面に表示させる施設のエリアを指定するときは **▲周辺**、または **エリア変更** にタッチします。（145ページ参照）
施設のジャンルを指定するときは **ジャンル変更** にタッチします。（148ページ参照）
- 住所を入力したときは、表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。
住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（164ページ参照）
- **読み修正**（**文字修正**）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。



- 35文字まで入力でき、12文字まで表示します。
- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国リスト画面が表示されます。

4 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。
- **名称順** にタッチすると、施設・店舗の名称、または都道府県名の50音順に並びかわります。
- **距離順** にタッチすると、現在地から近い施設の順に並びかわります。



「漢字・カタカナ・英数字を入力する」

ひらがな入力に比べ、検索中の施設名称（または住所）の件数を絞り込むことができます。

1 「50音・名称で地図を呼び出す」前ページ **1** で表示された画面で、**文字入力** にタッチします。



2 漢字以外を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、または **英数字**（アルファベット・数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

- 漢字入力については「漢字を入力するには」次ページを参照してください。
- **読み入力** にタッチすると、ひらがなで施設名称（または住所）を入力することができます。「50音・名称で地図を呼び出す」前ページ **1** の画面にもどります。



未確定状態で入力可能な文字数は最大20文字です。

4. 地図の呼び出し方法

3 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。



4 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称(または住所)の全国リスト画面が表示されます。(142ページ **3** 参照)

漢字を入力するには

1 「漢字・カタカナ・英数字を入力する」前ページ **2** で表示された画面で、かな入力状態にします。

2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



3 **変換** にタッチします。

- 漢字変換候補が表示されます。
- 入力したままの状態でも確定したいときは、**無変換** にタッチします。



4 入力する熟語、または漢字にタッチします。



- 変換する文字の範囲を変換するときには、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更します。
- **全確定** にタッチすると、表示されている状態で確定されます。
- **読み入力** にタッチすると、ひらがなで施設名称(または住所)を入力することができます。「50音・名称で地図を呼び出す」142ページ **1** の画面にもどります。



5 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称(または住所)の画面(142ページ **3** 参照)が表示されます。

エリア別で絞り込みする場合

【県別から絞り込むとき】

- 1 全国リスト画面で、**エリア変更** にタッチします。
- **周辺** にタッチすると、現在地の都道府県がエリアに指定されます。

2 **県別で探す** にタッチします。

3 施設のある都道府県(一部市)名にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、142ページ **3** の画面にもどります。



4 表示させる施設の市区町村名にタッチします。

- **〇〇全域** にタッチすると、指定した都道府県(一部市)別施設リスト画面が表示されます。

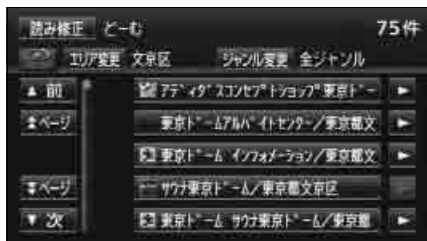


エリアを選択する場合は、**周辺**、**県別で探す**、または**地域で探す**のどれか1つのみの設定になります。

4. 地図の呼び出し方法

5 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **読み修正**（**文字修正**）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **ジャンル変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（148ページ参照）
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



6 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



【地域から絞り込むとき】

1 全国リスト画面で、**エリア変更** にタッチします。

- **①周辺** にタッチすると、現在地の都道府県がエリアに指定されます。

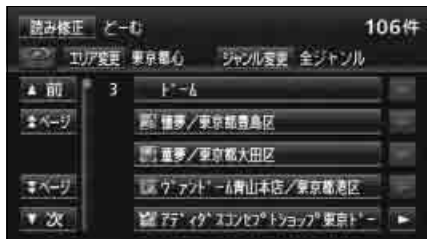
2 **地域で探す** にタッチします。

3 施設のある地域名にタッチします。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **読み修正**（**文字修正**）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **ジャンル変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（次ページ参照）
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



4. 地図の呼び出し方法

施設ジャンル別で絞り込みする場合

施設ジャンルの中から絞り込む方法です。目的の地点の施設でジャンルがわかっている場合に便利です。候補数が多いときは**エリア変更**による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

1 全国リスト画面で、**ジャンル変更** にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル** にタッチすると、142ページ **3** の画面にもどります。
- 地名だけを表示させるときは、その他の**住所** にタッチします。



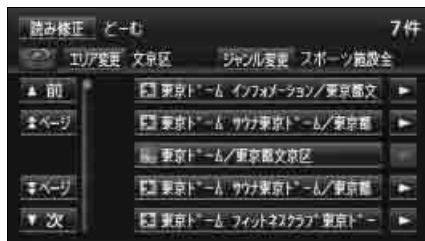
3 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- **〇〇全て** にタッチすると、その項目のすべての施設が設定されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **読み修正**（**文字修正**）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **Ⓐ周辺**、または **エリア変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設（または住所）のエリアを指定することができます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161 ページを参照してください。



5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



- 施設ジャンルの選択は、1ジャンルの設定になります。また、**ジャンル変更** で設定後、**エリア変更** でエリア別で絞り込みができます。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっていないとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

4. 地図の呼び出し方法

主要施設で地図を呼び出す

さまざまなジャンルから施設を選択して地図を呼び出すことができます。

施設ジャンル

項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
宿泊	ホテル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリーナ
	競技場
公共	公営娯楽
	役所
	警察署
医療	公園
	病院

項目	ジャンル
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC・SA・PA
	道の駅
文化	交差点
	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
その他	国際展示場
	式場

ゴルフ場・駅・ホテル・役所・空港・式場・病院以外の項目は、**その他** にタッチすると選択できます。



- 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、50音・名称、住所、電話番号もしくはジャンルによる検索で周辺の地図を呼び出すことができます。(141、152、153、155ページ参照)
- 高速インターチェンジ (IC)・サービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA) は、路線別のリストがあります。
- 高速インターチェンジ (IC)・サービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA) 以外は、都道府県別のリストがあります。
- 駅、有料インターチェンジ (IC)・サービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA) は、都道府県別のリストのあとに路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストのあとに市区町村別のリストがあります。

1 表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **その他** にタッチするとタッチスイッチ以外のジャンルが選択できます。



2 **その他** にタッチしたときは、表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **車** 項目はデータが収録されていません。



3 施設のある都道府県名(路線名)にタッチします。

- さらに市区町村名(路線名)が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名(路線名)にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。**全国の○○** にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



4. 地図の呼び出し方法

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

- 1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目(字)の順で、表示させる地名にタッチします。



- 2 地名を選んだあと、詳細がわからないときは **〇〇主要部** にタッチします。

- タッチした地名の広域図が表示されます。
- **〇〇主要部** にタッチして地図を表示した場合、**周辺住所** は表示されません。

- 3 丁目にタッチしたあと、**番地指定** にタッチします。

- 番地・号数を入力することができます。



- 4 **番地指定** にタッチしたときは、数字、または「一」を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 5 **完了** にタッチします。

- 入力した番地から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。
- 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目(字)の広域図が表示されます。**周辺住所** にタッチすると周辺住所を検索することができます。(164ページ参照)

電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設や個人宅（ピンポイント検索）の場合は、周辺の地図をそれ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点に電話番号が設定してある場合（「メモリ地点の電話番号を入力する」243 ページ参照）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁（一部地域は5桁）入力した後、**完了** にタッチします。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161 ページを参照してください。
- 入力した番号に該当する施設がないとき、市内局番まで入力したときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（164 ページ参照）
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ次ページ **3** の画面が表示されます。
- 地図データに収録された「個人宅」の電話番号を入力した場合、名字を入力する次ページ **4** の画面が表示されます。（個人宅ピンポイント検索）

基本操作

2



局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。

4. 地図の呼び出し方法

3 表示させる施設名称にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



4 個人宅の名称(名字)を1文字ずつタッチして入力します。



5 **完了** にタッチします。

- 入力した名称(名字)から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
- デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
- 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。
- 収録されていない電話番号(全桁)を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
- 収録されていない電話番号を入力して表示し、目的地・メモリ地点などに設定した地点は、最大100カ所まで記憶されます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。
- 「個人宅電話番号・名称データ」は、日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」のデータを使用しています。

郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号を7桁入力して地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。**住所一覧** にタッチすると住所を検索することができます。(164ページ参照)
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。

ジャンルで地図を呼び出す

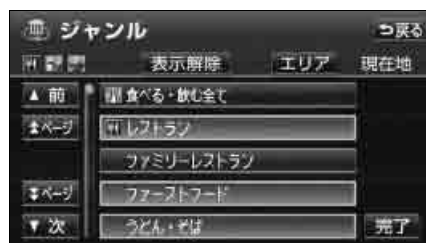
現在地や目的地（目的地設定時）周辺、または指定した住所周辺の施設付近から地図を呼び出すことができます。

1 施設のジャンルにタッチします。



2 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5つまで選択することができます。
- 間違えたときは、**表示解除** にタッチすると1つずつ解除されます。
- もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



3 **完了** にタッチします。

4. 地図の呼び出し方法

4 選択完了 にタッチします。

- 続けて施設のジャンルを選択したいときは、**選択する** にタッチすると、続けて選択することができます。
- エリアを指定（右記）していないときは、現在地周辺のリストが表示されます。



5 施設名にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- **距離順**、**種類順**、または**ルート沿い考慮** にタッチするとリストを切り替えることができます。（「**周辺の施設を検索する**」136 ページ、または「**ルートを考慮したリストを表示する**」137 ページを参照してください。）
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」161 ページを参照してください。



エリアを指定して施設を表示する

1 エリア にタッチします。



2 周辺施設を表示させたい地域にタッチします。

- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **先程の地図** にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。
- **住所指定** にタッチすると、住所から周辺施設を表示させたい地域を選択することができます。（「**住所で地図を呼び出す**」152 ページを参照してください。）
- 目的地周辺の名称にタッチすると、タッチした目的地周辺の地図が表示されます。



3 セット にタッチします。

- 上 にタッチして地図を移動することができます。

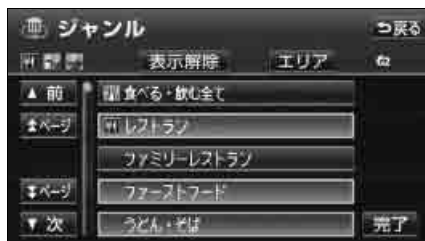


4 施設ジャンルにタッチします。



5 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5つまで選択することができます。
- 間違えたときは、**表示解除** にタッチすると1つずつ解除されます。
- **〇〇全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



6 完了 にタッチします。

4. 地図の呼び出し方法

7 **選択完了** にタッチします。

- **選択する** にタッチすると、続けて施設のジャンルを選択することができます。



8 施設名にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- **距離順**、**種類順**、または**ルート沿い考慮** にタッチするとリストを切り替えることができます。(「**周辺の施設を検索する**」136 ページ、または「**ルートを考慮したリストを表示する**」137 ページを参照してください。)
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」161 ページを参照してください。

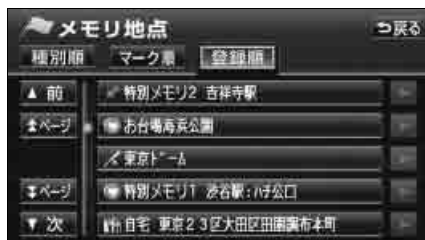


メモリ地点で地図を呼び出す

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば（「**メモリ地点の登録**」234 ページ参照）、メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させるメモリ地点にタッチします。

- メモリ地点の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」161 ページを参照してください。



履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新100件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

- 1 リストから表示させる目的地履歴にタッチします。
- 以前に設定した目的地の地図が表示されます。
- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- **前回出発地** にタッチすると、前回、ルート案内をした出発地の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

- 1 数字を1番号ずつタッチして入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



- 2 **完了** にタッチします。
- 入力したマップコードから検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」161ページを参照してください。



- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 目的地履歴を消去するには、「目的地履歴(ラストゴールメモリー)の消去」195ページを参照してください。
- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号(標準マップコードの場合)でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ(景勝地や山、川、海など)もマップコードで位置を特定することができます。
- 標準マップコード(6～10桁)の後に*を入力し、高分解能マップコード(1～2桁)を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
<http://www.e-mapcode.com>
- マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、修正画面に表示されます。
 - メモリ地点…236ページ参照
 - 迂回メモリ地点…247ページ参照
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

4. 地図の呼び出し方法

赤外線通信で地図を呼び出す

赤外線通信での地図の呼び出しは、目的地を設定するときのみ行うことができます。

E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を呼び出すことができます。E-iSERVへのアクセスについては「**E-iSERVへのアクセスについて**」(50ページ)を参照してください。

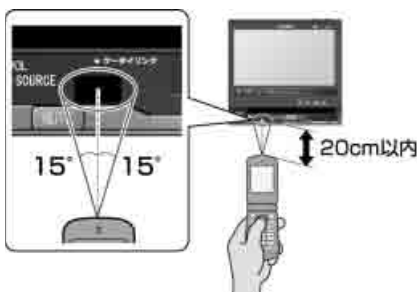


チェック

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から位置情報を送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

■ 携帯電話の操作

- 1 専用のアプリケーションソフトから位置情報を送信します。



■ 本機の操作

- 1 **ケータイリンク** にタッチします。

- 画面にメッセージが表示され、読み込んだ位置情報に該当する地図が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」次ページを参照してください。



走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つけないように柔らかい布でふき取ってください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- データ受信中は電源を切らないでください。

5. 呼び出した地図の操作

地図を呼び出すと、ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。これらの呼び出した地図からさらに検索などをすることが出来ます。

表示した地図の操作

ピンポイントで地図を表示するには次の条件になります。

- ①「名称で地図を呼び出す」で施設名称を入力したとき
- ②「主要施設で地図を呼び出す」とき
- ③「電話番号で地図を呼び出す」で該当する施設のとき
- ④「ジャンルで地図を呼び出す」とき



●ピンポイントで検索できたとき



●ピンポイントで検索できないとき

呼び出した地図から次の操作ができます。

<ピンポイントで検索できたとき>

■位置の変更

⬆にタッチして位置を変更します。

■施設内容の表示

左記①～④の条件で表示した施設の情報を表示します。

- ピンポイント検索した施設に情報があるときは、**情報**が表示されます。また、呼び出した地図に  マークが表示されたときは、詳細な情報を表示することができます。

■提携駐車場の検索

左記①～④の条件で表示した施設の提携駐車場を検索します。

<ピンポイントで検索できないとき>

■位置の変更

⬆にタッチして位置を変更します。

■周辺の住所検索

呼び出した地図周辺（ピンポイントで該当しない）の住所から検索します。

- 「名称で地図を呼び出す」で住所を入力したときは **住所一覧**が表示されます。
- 「電話番号で地図を呼び出す」から呼び出したときは **住所一覧**が表示されます。
- 「郵便番号で地図を呼び出す」から呼び出したときは **住所一覧**が表示されます。
- 「住所で地図を呼び出す」および **住所一覧**から番地入力で検索できないときは **周辺住所**が表示されます。



地点登録 にタッチするとメモリ地点に登録することができます。(234 ページ参照)

5. 呼び出した地図の操作

位置の変更

- 1 ↑ にタッチして地図を動かします。



施設内容の表示

- 1 情報 にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- 地図に マークが表示されている場合は、詳細な施設の内容が表示されます。
- スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、「ブラウザ画面を操作する」285 ページを参照してください。



施設の内容を表示させることができるのは、前ページの①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。

提携駐車場の検索

検索した施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携P にタッチします。

- 専用・提携別の距離順にリストが表示されます。



2 表示させる駐車場名称にタッチします。

- 施設の内容（情報）が表示されます。また、駐車場名称の右にある **地図** にタッチすると、地図が表示されます。
- スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、「ブラウザ画面を操作する」285 ページを参照してください。



基本操作

2



- 提携駐車場を表示させることができるのは、161 ページの①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。また、**提携P** が表示されても検索できない場合があります。
- 提携駐車場は車両情報の設定（208 ページ参照）によって検索される駐車場が異なります。車両寸法が入力されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

5. 呼び出した地図の操作

住所の検索

住所一覧から検索する

- 「名称で地図を呼び出す」から住所を入力したとき。
- 「郵便番号で地図を呼び出す」から検索したとき。
- 「電話番号で地図を呼び出す」から施設が検索できなかったとき。

1 **住所一覧** にタッチします。



2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- 詳細がわからないときは、**〇〇主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。
- **住所一覧** から番地を入力して検索できないときは **周辺住所** が表示されます。



周辺住所から検索する

- 「住所で地図を呼び出す」から番地入力で検索できないとき。
- 左記の **住所一覧** から番地を入力して検索できないとき。



〇〇主要部 にタッチして表示した地図の場合、**周辺住所** は表示されません。

1 **周辺住所** にタッチします。



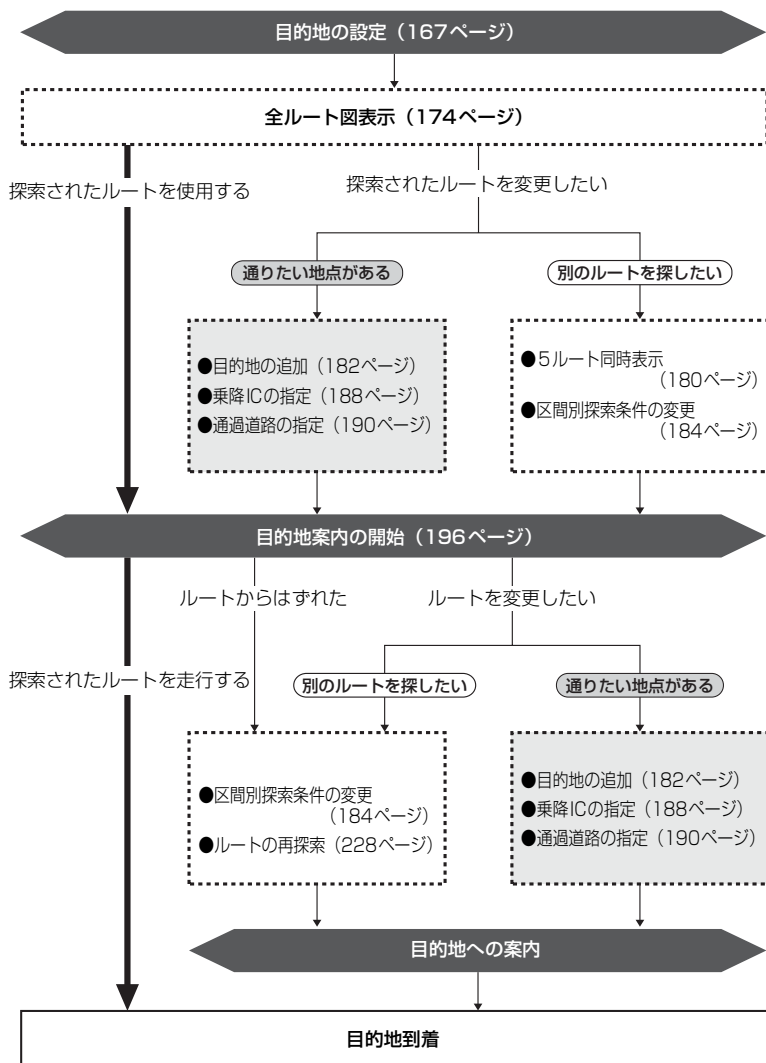
2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- リストの最上段の住所を  で表示します。



1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索には、目的地の追加や通過道路、インターチェンジ（IC）の指定、ルートの探索条件などの設定をすることができます。



2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。

- 地図スクロールから設定
- 登録地点（自宅、特別メモリ地点）から設定
- 地図の呼び出し方法から設定
- 目的地予約から設定

項目	設定方法
地図スクロールから設定	地図をスクロールさせて 目的地セット にタッチして設定します。
登録地点から設定	自宅を登録してある地点を設定します。自宅を登録していないと使用できません。自宅が登録されていないときは、自宅を登録するメッセージが表示されます。 はい にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。（「 メモリ地点の登録 」234 ページ参照）
	特別メモリ地点（5カ所）に登録してある地点を設定します。特別メモリを登録していないと使用できません。（「 メモリ地点の登録 」234 ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。（「 地図の呼び出し方法 」139 ページ参照）
目的地予約から設定	目的地を予約して設定します。（「 目的地の予約 」230 ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に渋滞考慮ルート（または推奨ルート）の探索が始まります。渋滞考慮ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。



- 渋滞統計データを考慮（173ページ参照）が **しない** に設定されているときは、推奨ルートが表示されます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。（「**目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去**」195 ページ参照）

目的地の設定



目的地を設定する場合は 800m スケール図以下の詳細な地図で設定してください。

地図スクロールから設定する

地図（タッチスイッチ以外の場所）にタッチして地図を移動します。

1 タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 **目的地セット** にタッチします。

● 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 ↑ にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かします。

4 **目的地セット** にタッチします。

● の位置に目的地が ● マークで表示され、ルート探索が開始されます。



5 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。



6 **目的地セット**（**新規目的地**、**追加目的地**）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



すでに目的地が設定されているときに地図スクロールから追加した目的地は、一番手前の目的地になります。

2. 目的地を設定してルート探索

登録地点から設定する

1 ナビメニュー画面で、**目的地** にタッチします。

2 **自宅**、または **1** ～ **5** にタッチします。

- 自宅が登録されていないときは、**自宅** にタッチすると、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録することができます。



- 自宅、または特別メモリ地点の位置に目的地が ● マークで表示され、ルート探索が開始されます。



3 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

- **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。[「目的地の追加」(183ページ)の**4**～**7**参照]



地図の呼び出し方法から設定する

1 ナビメニュー画面で、**目的地** にタッチします。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(139,161ページ参照)



3 **目的地セット** にタッチします。

- ④の位置に目的地が⑤マークで表示され、ルート探索が開始されます。



4 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

- **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。[以降の設定方法は「目的地の追加」183ページ **4** ~ **7** を参照してください。]



5 **目的地セット** (**新規目的地** 、 **追加目的地**) にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

- **設定する** 、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



2. 目的地を設定してルート探索

ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 5000kmをこえるルートは探索することができません。
- 学習した道路を考慮したルートを探索することができます。（「**ルート学習探索**」次ページ参照）
- ビーコンから受信したVICS情報（295ページ参照）や収録されている渋滞統計データから渋滞などの交通状況を考慮したルートを探索することができます。（「**渋滞考慮ルート探索**」173 ページ参照）
- 目的地や出発地の周辺は、細街路（174ページ参照）を探索することがあります。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（「**全ルート図表示**」174 ページ参照）



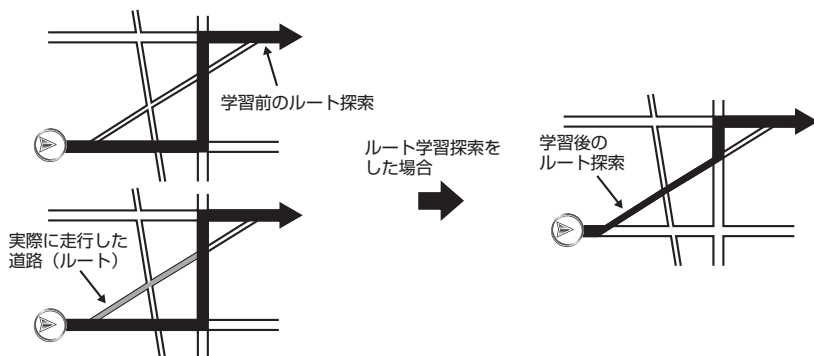
- ルートの探索は、原則として道幅が5.5m以上の道路を対象としています。ただし、5.5m未満の主要道路でもルートを探索することがあります。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（228ページ参照）を行ってください。

-  **VICS** は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

ルート学習探索

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



チェック

- 幅5.5m以下の道路では、ルート学習をすることはできません。(自宅登録時の自宅周辺除く)
- ルート学習で学習した道路は、5ルートの渋滞考慮もしくは推奨(180 ページ参照)のみ反映されます。

ルート学習を設定する

ルート学習をON (する) にするか、OFF (しない) にするか、選ぶことができます。

1

ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2

ルート系設定 にタッチします。



ワンポイント

- 学習した道路が使われない場合もあります。
- 自車マーク  が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。(高速道路、または高架道路と並行している道路がある場合など。)
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

2. 目的地を設定してルート探索

- 3 ルート学習の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

ルート学習結果を消去する

- 1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

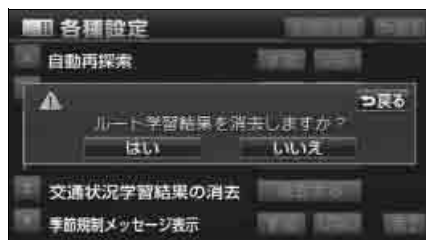
- 2 **ルート系設定** にタッチします。



- 3 ルート学習結果の消去の **消去する** にタッチします。

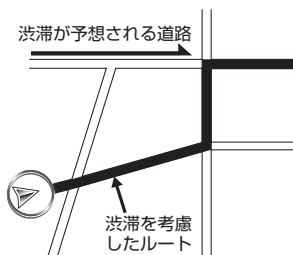
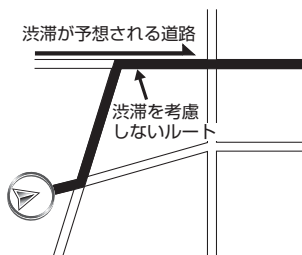


- 4 **はい** にタッチします。



渋滞考慮ルート探索

受信したVICS情報（248、295ページ参照）や渋滞統計データなどから探索した曜日、時間帯の交通状況を考慮（265ページ参照）して、ルートを探索することができます。また、5ルート同時表示（180ページ）やルートの探索条件などが渋滞考慮ルートになります。



渋滞考慮探索を設定する

渋滞統計データを考慮をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 渋滞統計データを考慮の **する**、または **しない** にタッチします。

● **しない** にタッチすると、渋滞考慮ルートが推奨ルートに切り替わります。



4 **完了** にタッチします。



別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続した場合は、渋滞統計データを考慮を **する** にすると、ビーコンからのVICS情報を受信するたびに、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索、表示をさせることができます。（298ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、**MAP**を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



●ルート探索終了（全ルート図）画面

ルートの表示について

ルートの表示色は、以下の4種類あります。

- **青色**
目的地が一つするとき、または複数設定されているときは現区間（次の目的地まで）の表示
- **青枠の白色**
目的地が複数設定されているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
- **水色**
細街路の表示（右記）
- **青枠の橙色**
季節規制区間の表示（177ページ）

細街路の表示について

現在地周辺・目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索されます。



- 細街路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内はされません。また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。
- 高速路線マップのルート表示色は青色のみになります。

全ルート図の表示・タッチスイッチについて

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時刻や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。



■ 表示について

最終目的地までの表示になります。

① インターチェンジ (IC) 名称表示

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ (IC) の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ (IC) の名称が上に表示されます。

② 有料道路距離表示

目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③ 料金案内

目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます

- 料金が特定できないときは、「不明」または「〇〇〇円以上」と表示されます。
- 全ルート図を再表示したときは、残りの料金が表示されます。全ルート図の再表示については222ページを参照してください。

④ 距離表示

目的地 (複数のときは最終目的地) までの距離が表示されます。

⑤ IC マーク

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ (IC) と、一番最後に出るインターチェンジ (IC) の位置に表示されます。

⑥ 到着予想時刻表示

目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ 残距離表示

目的地まで、表示されているルートを通った距離が表示されます。(目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。)

2. 目的地を設定してルート探索

■ タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

① 5ルート

別のルートを表示させ、選ぶことができます。(180ページ参照)

② ルート変更

ルート変更の画面を表示して、探索条件の変更をすることができます。また、目的地の追加、インターチェンジ (IC)・通過道路の指定などを行うことができます。(181ページ参照)

③ 通過道路指定

地図にタッチすると表示されます。

通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。(190ページ参照)

④ 案内開始

(目的地案内開始後は、案内に戻る)

目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。(196ページ参照) 目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。

⑤ 情報

ルート情報 (案内道路情報) を表示させることができます。(179ページ参照)

⑥ インターチェンジ (IC) 名称

インターチェンジ (IC) 名称表示にタッチすると、表示されている乗降インターチェンジ (IC) を指定 (すでに指定されている場合は変更) することができます。(188ページ参照)

⑦ 到着予想時刻/残距離表示

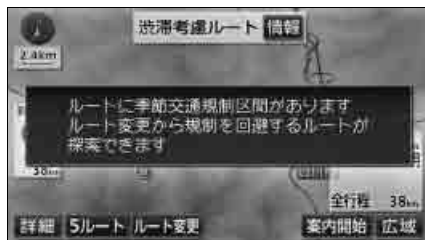
目的地が2カ所以上設定されているときは、到着予想時刻/残距離表示にタッチすると、表示される目的地を切り替えることができます。(222ページ参照)



- 到着予想時刻は設定した平均车速 (205 ページ参照) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制 (常時進入禁止、時間による進入禁止など) 区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所には✕が表示されることがあります。
- 目的地案内開始後も全ルート図を表示させることができます。(222ページ参照)
- 料金は設定した車両情報 (208 ページ参照) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

季節規制区間の表示・回避

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが青枠の橙色で表示されます。
このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



●季節規制区間メッセージ表示

季節規制区間を回避する



チェック

季節規制回避（または**季節規制通過**）は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。

1 全ルート図表示画面で、**ルート変更**にタッチ、または現在地画面で、**再探索**、**ルート変更**の順にタッチします。

2 **季節規制回避**にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は **季節規制通過** にタッチします。



季節規制区間メッセージ表示を設定する

季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。

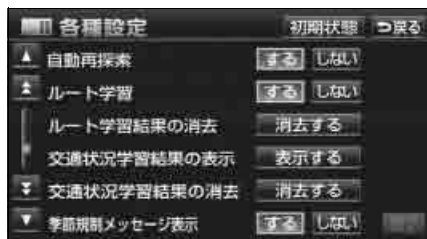


ワンポイント

規制区間を通らないと目的地などに行けないようなときは、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

2. 目的地を設定してルート探索

- 3 季節規制メッセージ表示の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートを、設定した地点、乗降インターチェンジ（IC）、道路の種類別などに区分し、区間の距離、高速道路などの料金、または目的地や乗降インターチェンジ（IC）の通過予想時刻を一覧で表示することができます。また、出発した地点・目的地などの周辺地図を表示することもできます。

- 1** 全ルート図表示画面で、**情報** にタッチします。



- 2** ▲、または ▼ にタッチします。

- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面の区間に自転車位置 (A) が表示されます。
- 現在地がルート上にない(ルートからはずれた) ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 乗降インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・目的地・通過道路・道路の種類別の変わり目でルート情報を分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルート情報は、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。



- 3** **地図** にタッチします。

- 設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。



- ルート案内中にも **表示変更** から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。
- 料金は設定した車両情報（208 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（205 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

2. 目的地を設定してルート探索

5ルート同時表示（5ルート探索機能）

目的地を設定すると渋滞考慮ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。渋滞考慮ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから順に表示されます。



次のときは、5ルート同時表示はできません。

- 目的地が2カ所以上設定されているとき。
- 通過する地点「乗降インターチェンジ（IC）・通過道路」が指定されているとき。
- 目的地案内が開始されたあと。

1 全ルート図表示画面で、**5ルート** にタッチします。

- 5つのルートが色分けされて表示されます。



2 **全行程一覧表** にタッチします。

- 5つのルートの距離・料金・所要時間が表示されます。
- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



3 ルート名称にタッチします。

- タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
渋滞考慮	530km	455km	10950円	7時間26分
有料優先	565km	562km	12300円	7時間32分
一般優先	539km	0.0km		19時間46分
距離優先	497km	157km	4900円	15時間19分
別ルート	530km	455km	10950円	7時間26分



- 渋滞統計データを考慮（173ページ参照）が**しない**に設定されているときは、推奨ルート、有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートが表示されます。
- ルートの特長については、「ルートの再探索」227ページを参照してください。
- 料金は設定した車両情報（208ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（205ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地を設定し、ルートを探した後、目的地を追加したり、インターチェンジ (IC)、通過道路の指定など、ルートを変更することができます。ルートを変更するには次の方法があります。

- 全ルート図表示画面から **ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。
- 案内中の現在地画面から **再探索** にタッチした後、**ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。

ルート変更画面から各設定を行います。



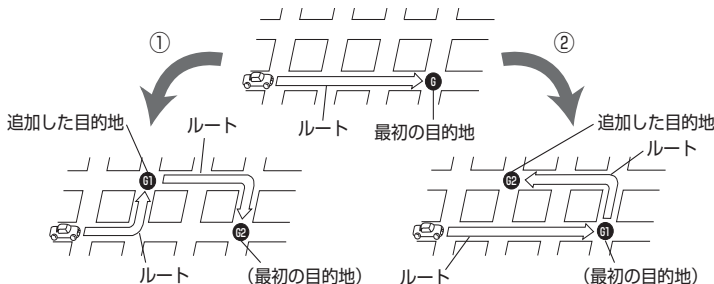
- 目的地の追加 次ページ
- 区間別探索条件の変更 184ページ
- 目的地の並び替え 185ページ
- 目的地の消去 186ページ
- 乗降インターチェンジ (IC) の指定 188ページ
- インターチェンジ (IC) 指定の解除 189ページ
- 通過道路の指定 190ページ
- 通過道路指定の修正 193ページ
- 通過道路指定の解除 194ページ

3. 探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して最大5カ所まで目的地を設定することができます。以下のようなときに、追加して目的地を設定します。

- ① 設定した目的地と現在地の間で、立ち寄る地点を設定するとき。
- ② 設定した目的地を立ち寄る地点に変更し、新しく目的地を設定するとき。



800m スケール図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

3

地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」（139、161ページ参照）

1

ルート変更 にタッチします。

2

目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大100カ所まで）。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（「目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去」195ページ参照）
- インターチェンジ（IC）や通過道路（188、190ページ参照）が指定されているとき、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定が解除されることがあります。
- 目的地の設定と同じ方法で **追加目的地** にタッチして、追加することもできます。（「地図スクロールから設定する」167ページ、「登録地点から設定する」168ページ、「地図の呼び出し方法から設定する」169ページ参照）

4 目的地セッ ト にタッチします。

- ④ の位置に目的地が ⑤ マークで表示されます。



5 目的地セッ ト にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

- **設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。

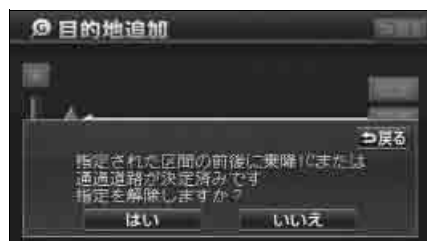


6 設定する区間の **設定** にタッチします。



7 インターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されているときは、解除する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、解除されます。
- **いいえ** にタッチすると、解除せず設定します。



3. 探索ルートの変更

8 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 目的地を設定したあと、この画面から、次のことができます。
 - ・ 区間別探索条件の変更（右記）
 - ・ 目的地の並び替え（次ページ）
 - ・ 目的地の消去（186ページ）
 - ・ 乗降インターチェンジ（IC）の指定（188ページ）
 - ・ インターチェンジ（IC）指定の解除（189ページ）
 - ・ 通過道路の指定（190ページ）
 - ・ 通過道路指定の修正（193ページ）
 - ・ 通過道路指定の解除（194ページ）



- さらに追加して、目的地を設定するときは、**追加** にタッチすると、182ページの **3** の画面が表示されますので、**3** ～ **7** を繰り返します。

区間別探索条件の変更

区間別に探索条件を変更して、再探索することができます。

1 ルート変更 にタッチします。

2 探索条件変更 にタッチします。



3 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチします。

- 現在地から次の目的地までの区間は、**別ルート** が表示されます。



4 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



- 渋滞統計データを考慮（173ページ参照）が **する** に設定されているときは、**渋滞考慮** になります。
- 渋滞統計データを考慮したルートが探索されるのは、現在地から次の目的地までの区間のみになります。
- 探索条件の特長については、「**ルートの再探索**」227ページを参照してください。

目的地の並び替え

複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

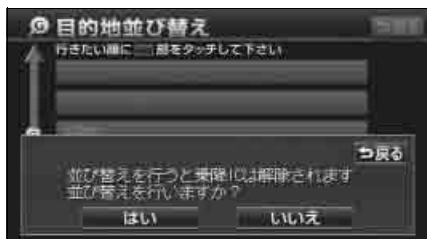
1 **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。



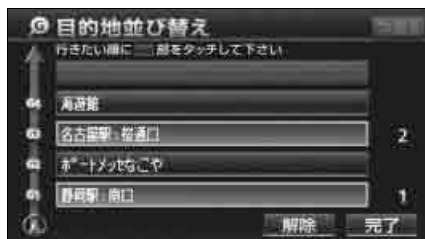
3 インターチェンジ (IC)・通過道路が指定されているときは、解除して、並び替えを行う確認画面が表示されます。

- **はい** にタッチすると、解除して、並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、並び替えを中止してもとの画面にもどります。



4 現在地から次に行く目的地の順に、目的地名称にタッチします。

- タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときに **解除** にタッチすると、選ばれていた順番が解除されます。
- すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。



5 **完了** にタッチします。

- 最終目的地の1つ手前の目的地を選択すると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に **探索開始** (下記 **6**) が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、並び替えたい目的地のみにタッチしてから **完了** にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

6 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



インターチェンジ (IC)・通過道路が指定 (188、190 ページ参照) されているときに並び替えをすると、インターチェンジ (IC)・通過道路の指定が解除されることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地の消去

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、すべての目的地を同時に消去することもできます。

ルート変更 から消去する

1 **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **消去** にタッチします。

- 1カ所のみ設定されていたときは、**4** の画面が表示されます。



3 目的地名称にタッチします。

- すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

- すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

MENU から消去する

1 ナビメニュー画面で、**目的地** にタッチします。

2 **目的地消去** にタッチします。

- 1カ所のみ設定されていたときは、**4** の画面が表示されます。



3 目的地名称にタッチします。

- すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 はい にタッチします。

- すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

地図画面から消去する

1 地図を表示させているときに、消去したい目的地にタッチします。

2 情報 にタッチします。



3 消去 にタッチします。



4 はい にタッチします。

- 目的地が 1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。
- ルート探索が開始されます。



3. 探索ルートの変更

乗降インターチェンジ (IC) の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている乗降インターチェンジ (IC) を指定することができます。



目的地（現在地）が高速道路上の場合は、出口（入口）の指定はできません。

1 全ルート図表示画面で、変更するインターチェンジ (IC) 名称表示にタッチします。

- **ルート変更** にタッチしても指定することができます。



2 左画面で地図を移動し、IC マークにタッチする、または右画面でインターチェンジ (IC) 名称にタッチします。

- 選択しているインターチェンジ (IC) は **IC** マークが表示されます。
- 同じインターチェンジ (IC) に複数の出入口があるときは、複数の IC マークが選択されます。
- 右画面でインターチェンジ名称を選ぶときは、**▲**・**▼**・**次路線** にタッチして、表示されている IC を切り替えます。(**次路線** はジャンクションがあり分岐するときのみ表示されます。)
- 右画面でインターチェンジ名称にタッチすると、左画面中央にインターチェンジ (IC) の位置が表示されます。

- 左画面の高速路線マップの縮尺は、4段階に切り替えることができます。
- インターチェンジ (IC) の道路名が画面右上に表示されます。



3 **探索開始** にタッチします。

- すでに指定されているインターチェンジ (IC) があるときは解除して設定します。
- 全ルート図表示画面から操作を行ったときは、ルート探索が開始されます。

4 指定したインターチェンジ (IC) に出口（または入口）が2カ所以上あるときは、**次候補** にタッチして、出口（または入口）を選びます。

- 表示されている出口（または入口）を指定するときは、**セット** にタッチします。



ワンポイント

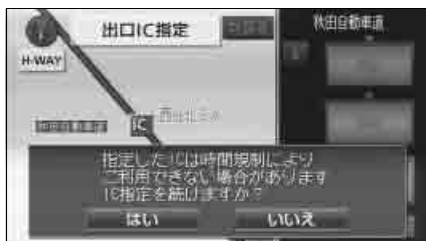
- 指定できるインターチェンジ (IC) は入口、出口とも各1カ所になります。
- ルート案内中からでも乗降インターチェンジ (IC) を指定することができます。詳しくは「**ルートの再探索**」(225 ページ) を参照してください。
- スマートIC (ETC専用インターチェンジ) を選ぶことができる場合があります。スマートICを利用する場合、ETC車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。

5 セット にタッチします。

- インターチェンジ (IC) が **IC** マークで指定されます。
- 全ルート図表示画面から設定したときは、ルートが探索され全ルート図表示画面になります。



6 時間規制があるインターチェンジ (IC) を選んだときにインターチェンジ (IC) 指定を続けたいときは、**はい** にタッチします。



7 ルート変更画面から操作を行ったときは **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

インターチェンジ (IC) 指定の解除

1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ (IC) 名称表示にタッチします。

- **ルート変更** にタッチしても解除することができます。



2 **出口解除** (または **入口解除**) にタッチします。

- インターチェンジ (IC) の指定が解除され、ルート探索が開始されます。



案内開始後の現在地画面からインターチェンジ (IC) 指定を解除することができます。(226ページ参照)

3. 探索ルートの変更

通過道路の指定

全ルート図画面から指定する

1 全ルート図表示画面で、地図にタッチします。

2 **通過道路指定** にタッチします。

- 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 **次候補** にタッチします。

- 別の通過道路を選びます。
- 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。

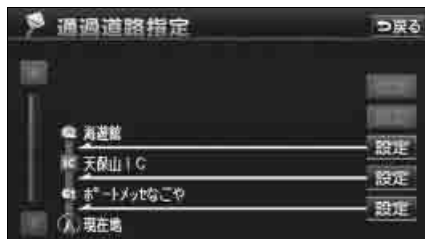


4 **セット** にタッチします。

- 通過道路が  マークで指定されます。
- 目的地が1カ所のみ設定されていて、インターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されていないときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

5 目的地が2カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ (IC) ・通過道路が指定されているときは、指定する区間の **設定** にタッチします。

- ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。



- 最大2カ所まで指定することができます。
- インターチェンジ (IC) が指定 (188 ページ参照) されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ (IC) の指定が解除されることがあります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

ルート変更 から指定する

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

4 **通過道路セット** にタッチします。

- 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800m スケール図に切り替わります。



5 **次候補** にタッチします。

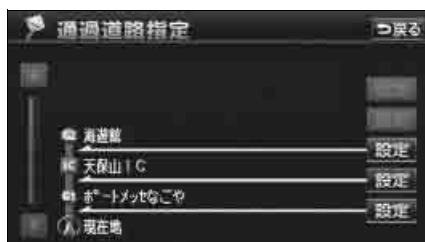
- 別の通過道路を選びます。
- 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



6 **セット** にタッチします。

- 通過道路が **◆** マークで指定されます。
- 目的地が1カ所のみ設定されていて、インターチェンジ (IC)・通過道路が指定されていなかったときは、**8** の画面になります。

7 目的地が2カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ (IC)・通過道路が指定されているときは、指定する区間の **設定** にタッチします。



3. 探索ルートの変更

8 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

通過道路指定の修正

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **修正** にタッチします。

- 1カ所のみ設定されていたときは、**4** になります。



3 道路名称などにタッチします。

- 地図が表示されます。



4 通過道路を修正する位置に地図を動かします。

5 **通過道路セット** にタッチします。



6 **次候補** にタッチします。

- 別の通過道路を選びます。
- 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



7 **セット** にタッチします。

- 通過道路が  マークで指定されます。

8 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

3. 探索ルートの変更

通過道路指定の解除

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **解除** にタッチします。

- 1カ所のみ設定されていたときは、**4** の画面になります。



3 道路名称などにタッチします。

- 地図が表示されます。
- すべての通過道路を解除するときは、**全解除** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



5 **探索開始** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



案内開始後の現在地画面から通過道路指定を解除することができます。(226ページ参照)

4. 目的地履歴（ラストゴールメモリー）について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大100カ所まで）。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 目的地履歴の消去の **消去する** にタッチします。



4 地点名称にタッチします。

● すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



5. 目的地案内の開始・中止・再開

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で**案内開始**にタッチすると目的地案内が始まります。

また、目的地案内を途中で中止したり、再開することができます。

- 1 全ルート図表示画面で、**案内開始**にタッチします。

- 目的地案内が開始されます。
- 全ルート図が表示されたあと、**MAP**を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。



案内の中止・再開

- 1 ナビメニュー画面で、**案内中止**にタッチします。

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
- 中止した目的地案内を再開させるときは、再度ナビメニュー画面で、**案内再開**にタッチします。



デモンストレーション (デモ)

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。



デモンストレーション (デモ) は、目的地設定後のルート探索終了時 (案内開始前) に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

- 1 全ルート図表示画面で、**案内開始**に約3秒以上タッチし続けます。

- デモが始まります。
- デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域に、遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。 (「地図縮尺の切り替え」105 ページ参照)

- 2 デモ中に **MAP** を押します。

- デモが終了します。
- デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。



- デモ案内中画面



オンルートスクロール (223 ページ参照) を使っても、探索されたルートの確認ができます。

6. 目的地案内について

ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始することができます。

目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。(ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。)

交差点・側道・レーン(車線)案内

走行中、交差点が近づくと、交差点の案内が行われます。目的地案内中は分岐する交差点が近づく(約300m以内)と、交差点拡大図が自動的に表示されます。



細街路等のルート(目的地および出発地周辺の水色ルート)を走行している場合は、交差点案内を行いません。

分岐しない交差点について



分岐する交差点(交差点拡大図)について



- ① レーン(車線)表示 通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
・走行を推奨する車線が青色で表示されます。
・分岐する交差点では、次に通過、分岐する交差点の車線も表示されます。
- ② 交差点名称表示 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
- ③ 残距離表示 交差点までの距離が表示されます。
(交差点に近づくとともに ■ が短くなります。)
- ④ 案内ポイント 交差点案内が表示されます。



ワンポイント

- 案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
 - (赤) … 交差点拡大図が表示されます。
 - (青) … 信号機がある交差点の名称・レーンが表示されます。
 - (灰) … レーンが表示されます。
- 次のようなときは、交差点案内が行われなかったことがあります。
 - 目的地案内開始直後
 - 目的地周辺
- 交差点拡大図が表示されているとき、交差点名称・レーンは分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

6. 目的地案内について

交差点拡大図の自動表示を設定する

交差点拡大図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 交差点拡大図自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

交差点拡大図を解除する

拡大解除 から解除する

1 **拡大解除** にタッチします。

- 再度、交差点拡大図を表示させるには、**MAP** を押します。



案内図替 から解除する

1 **案内図替** にタッチします。

- 選択する画面（**レーンリスト**・**ターンリスト** 次ページ参照）がないときは、タッチすることによって通常の地図と交差点拡大図が切り替わります。



交差点拡大図自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** から交差点拡大図を表示することができます。

2 通常の地図にするとときは **地図**、
レーンリスト図（203ページ）にす
るときは **レーンリスト**、ターンリス
ト図（212ページ）にするとときは
ターンリスト にタッチします。

- 再度、交差点拡大図を表示させるには、こ
の画面で **拡大図** にタッチします。ま
た、**MAP** を押しても表示させることが
できます。



3Dイラスト拡大図について

都市高速のIC入口などでは、立体的な案内画
面が表示されます。



●3Dイラスト拡大図

立体交差点拡大図について

立体交差点情報のある交差点では、立体的な
案内画面を表示させることができます。



●立体交差点拡大図

難交差点拡大図について

複雑な形状の交差点では、立体的な案内画面
が表示されます。



●難交差点拡大図

リアル交差点拡大図について

リアル交差点情報のある交差点では、リアル
な案内画面を表示させることができます。



●リアル交差点拡大図

6. 目的地案内について

リアル交差点拡大図を設定する

リアル交差点拡大図をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 リアル交差点拡大図の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

カットインムービーガイドについて

カットインムービーガイド情報のある交差点では、立体的な案内画面を動画で表示することができます。



●カットインムービーガイド画面

カットインムービーガイドを設定する

カットインムービーガイドをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 カットインムービーガイドの **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

カットインムービーガイドを解除する

拡大解除 から解除する

1 **拡大解除** にタッチします。

- 再度、カットインムービーガイドを表示させるには、**MAP** を押します。



案内図替 から解除する

1 **案内図替** にタッチします。



2 通常の地図にするとときは **地図**、
レーンリスト図 (203ページ) にす
るときは、**レーンリスト**、ターンリ
スト図 (212ページ) にするとときは、
ターンリスト にタッチします。

- 再度、カットインムービーガイドを表示させるには、この画面で **拡大図** にタッチします。また、**MAP** を押しても表示させることができます。



カットインムービーガイドは、同じ交差点を通過しても、案内交差点までの距離や通過する速度により、表示できない場合があります。

6. 目的地案内について

3D交差点拡大図について

交差点拡大図を3D表示させることができます。



●3D交差点拡大図

3D交差点拡大図を設定する

3D交差点拡大図をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 3D交差点拡大図の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

側道案内拡大図について

本線から側道、または側道から本線を通るルートが探索されている場合、側道の手前（約300m以内）では、側道案内拡大図が自動的に表示されます。



●側道案内拡大図

側道案内拡大図を解除する

拡大解除 から解除する

1 **拡大解除** にタッチします。

●再度、側道案内拡大図を表示させるには、**MAP** を押します。



案内図替 から解除する

1 **案内図替** にタッチします。



2 通常の地図にするとときは **地図**、
レーンリスト図（右記）にすると
は、**レーンリスト**、ターンリスト図
（212ページ）にするとときは、
ターンリスト にタッチします。

- 再度、側道案内拡大図を表示させるには、
この画面で **拡大図** にタッチします。
また、**MAP** を押しても表示させること
ができます。



レーン（車線）リスト図表示（ハイパーレーンアシスト）について

分岐する交差点の手前（約700m以内）で
は、走行する交差点の名称と車線のレーンリ
スト図を表示させることができます。

- 交差点拡大図案内…赤色
- 案内ポイント…緑色、桃色、橙色
- 地図上の案内ポイント●とレーンリスト
の●は同じ色で表示されます。



●レーンリスト図表示

レーンリスト自動表示を設定する

レーンリスト図を自動でON（表示する）に
するか、OFF（表示しない）にするか、選ぶ
ことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** に
タッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では交差点
拡大図が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を **しない** に設定して
いるときは切り替わりません。）

6. 目的地案内について

- 3** レーンリスト自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4** **完了** にタッチします。

レーンリスト図を解除する



拡大図 は分岐する交差点の300m 以内に近づく则表示されます。

- 1** **案内図替** にタッチします。

- 選択する画面（**拡大図**、**ターンリスト** 右記参照）がないときは、タッチすることによって通常の地図とレーンリスト図が切り替わります。



- 2** 通常の地図にすることは **地図**、交差点拡大図にすることは **拡大図**、ターンリスト図（212 ページ）にすることは **ターンリスト** にタッチします。

- 再度、レーンリスト図を表示させるには、この画面で、**レーンリスト** にタッチします。



細街路の案内

細街路に入ると、自動的に2画面表示に切り替わり、右画面に25mスケールの市街図を表示します。

- 現在地、または目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）のルート（水色）が探索される場合があります。
- **案内図替** にタッチすると、2画面表示が解除されます。



- レーンリスト自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** からレーンリスト図を表示することができます。
- 細街路案内中は、右画面のワンタッチスクロールができません。ただし、右画面の地図向き切り替えや左画面表示（交差点案内など）による目的地案内はされません。
- 細街路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内はされません。また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートで案内されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがって走行してください。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は **----**（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



到着予想時刻表示の設定

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、画面左に到着予想時刻が表示されます。



- 到着予想時刻表示

平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- シティドライブモード画面の通過予想時刻（115ページ）
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（175ページ）
- ルート情報の通過予想時刻（179ページ）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の所要時間（180ページ）
- 現在地画面の到着予想時刻（86ページ）

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 到着予想時刻表示の **変更する** にタッチします。



- フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。
- 到着予想時刻は、ルートからはずれたとき目的地方向マークになります。

6. 目的地案内について

4 それぞれの道路の設定速度を入力します。

- 速度を上げるときは **▶**、下げるときは **◀** にタッチします。(タッチするたびに、5km/h ずつ変更されます。)
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態(高速道80km/h・有料道60km/h・一般道30km/h)にもどります。



5 VICS情報・交通データ(248、266ページ参照)をもとに渋滞や交通規制を考慮した到着予想時刻を表示するには、**VICS情報・交通データ考慮** にタッチします。



6 **完了** にタッチします。

料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、画面左上に料金を表示し、音声で案内することができます。



●料金案内表示

料金案内表示を設定する

料金案内をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 料金案内の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。



- 料金は設定した車両情報（次ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このときは再探索が行われると、実際と異なる料金を案内することがあります。
- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索したときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは「〇〇〇円以上」と表示されます。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。

6. 目的地案内について

車両情報を設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両情報を設定することができます。

- 提携駐車場の検索（163ページ）
- 全ルート図表示画面の料金表示（175ページ）
- ルート情報の料金表示（179ページ）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（180ページ）
- 現在地（目的地案内中）画面の料金案内（前ページ）



目的地が設定されているときは、車両情報の設定ができません。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 車両情報設定の **変更する** にタッチします。



4 お車のナンバープレートの分類番号（**1**・**3**・**5・7**・**軽**）にタッチします。



5 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

- 寸法を大きくするときは **+**、小さくするときは **-** にタッチします。
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）にもどります。



6 **完了** にタッチします。



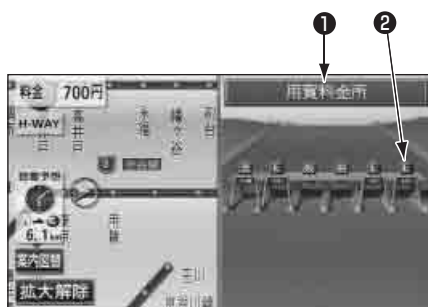
最大寸法（長さ600cm以上・幅250cm以上・高さ300cm以上）にすると **+**、
最小寸法（長さ450cm以下・幅160cm以下・高さ150cm以下）にすると **-**
の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

長さ 450～500cm（5cm単位）、500～600cm（10cm単位）
幅 160～200cm（5cm単位）、200～250cm（10cm単位）
高さ 150～200cm（5cm単位）、200～300cm（10cm単位）

6. 目的地案内について

料金所レーン案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくくと料金所のレーン図を表示することができます。ETCレーンの位置を画面表示で案内します。



① 料金所名称表示

料金所の名称が表示されます。

② レーンの種別表示

各レーンの種別がマークで表示されます。

E : ETC 専用の場合

混 : ETC / 一般料金所混在の場合

般 : 一般料金所の場合

... : 同じ内容のレーンが 4 つ以上続く場合

■ : 続くレーン数が 10 レーンを越える場合

? : 不明 / 閉鎖

料金所レーン案内図の自動表示を設定する

料金所レーン案内図を自動で ON (表示する) にするか、OFF (表示しない) にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



- 料金所、ETC レーンの車線運用は変更される場合があります。案内表示板や標識などにしてください。
- 地図データに情報のない料金所では、料金所レーン案内図は表示されません。また、料金所レーン案内図が表示されても、料金所名称表示が表示されないことがあります。
- 料金所の名称、レーン数が実際の料金所と異なることがあります。
- 次の場合、料金所レーンの前に大きく「×」が表示されます。
 - 閉鎖されている場合
 - 料金所を通過すると案内ルートから外れる場合

- 3 料金所レーン案内の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4 **完了** にタッチします。

料金所レーン案内図を解除する

拡大解除 から解除する

- 1 **拡大解除** にタッチします。

- 再度、料金所レーン案内図を表示させるには、**MAP** を押します。



案内図替 から解除する

- 1 **案内図替** にタッチします。

- 2 高速路線マップ (または通常の地図) にするときは **地図**、シティドライブモード画面にするときは **高速略図**、ターンリスト図にするときは **ターンリスト** にタッチします。

- 再度、料金所レーン案内図を表示させるには、この画面で、**料金所レーン** にタッチします。
また、**MAP** を押しても表示させることができます。



料金所レーン案内が **しない** に設定されているときは、**案内図替** から料金所レーン案内図を表示することができます。

6. 目的地案内について

ターンリスト図案内

ターンリスト図案内画面は、現在地から3つ先までの分岐する交差点・インターチェンジ (IC)・ジャンクション (JCT) などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号が表示されます。



- ① 案内ポイント 分岐する交差点・インターチェンジ (IC)・ジャンクション (JCT) 名称が表示されます。
現在地から次に分岐する交差点・インターチェンジ (IC)・ジャンクション (JCT) までは路線名が表示されます。
- ② 距離表示 案内ポイントの区間の距離、路線番号が表示されます。
- ③ 案内方向 案内ポイントで案内する方向が表示されます。



- 一般道路走行中は、ターンリスト図が表示されていても、交差点の約 700m 手前ではレーンリスト図、300m 手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。(レーンリスト自動表示、または交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。)
また、高速道路走行中は、分岐点に近づくとき高速分岐案内が表示されます。(高速分岐モード図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。)
- ターンリスト図表示中は、2 画面表示が解除されます。(2 画面表示にするとときは、ターンリスト図を解除してください。)
- シティドライブモード画面 (115 ページ参照) は、同時に表示することができません。

ターンリスト自動表示を設定する

ターンリスト図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 ターンリスト自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ターンリスト図を解除する

一般道路走行中に解除する



レーンリスト は分岐する交差点の700m以内、**拡大図** は分岐する交差点の300m以内に近づく则表示されます。

1 **案内図替** にタッチします。

● 選択する画面がないときは、タッチすること通常地図とターンリスト図が切り替わります。



6. 目的地案内について

2 分岐する交差点に近いときは、切り替える画面を選択する画面が表示されます。

通常の地図にするとときは **地図**、交差点拡大図にするとときは **拡大図**、レーンリスト図にするとときは **レーンリスト** にタッチします。

- 再度、ターンリスト図を表示させるには、この画面で、**ターンリスト** にタッチします。



高速道路走行中に解除する



- **分岐図** は分岐点 [出口インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)] が近いときに表示されます。
- **料金所レーン** は料金所が近いときに表示されます。

1 **案内図替** にタッチします。

2 高速路線マップ (または通常の地図) にするとときは **地図**、高速分岐案内画面にするとときは **分岐図**、シティドライブモード画面にするとときは **高速略図**、料金所レーン案内図にするとときは **料金所レーン** にタッチします。

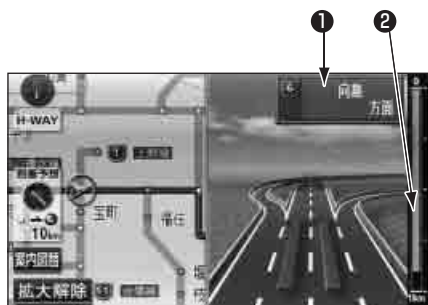
- 再度、ターンリスト図を表示させたいときは、この画面で、**ターンリスト** にタッチします。



ターンリスト自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** からターンリスト図を表示することができます。

高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点〔出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）〕が近づくと、高速分岐模式図が自動的に表示されます。



① 分岐点名称表示

インターチェンジ（IC）の出口名称、ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の方面名称が表示されます。

② 残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに ■ が短くなります。）

高速分岐模式図の自動表示を設定する

高速分岐模式図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



ワンポイント

- 高速分岐模式図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 次のようなときは、高速分岐模式図が表示されないことがあります。
 - 目的地案内開始直後
 - 目的地周辺

6. 目的地案内について

- 3** 高速分岐模式図自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



- 4** **完了** にタッチします。

高速分岐模式図を解除する

拡大解除 から解除する

- 1** **拡大解除** にタッチします。

- 再度、高速分岐模式図を表示させるには、**MAP** を押します。



案内図替 から解除する

- 1** **案内図替** にタッチします。

- 2** 高速路線マップ (または通常の地図) にするときは **地図**、シティドライブモード画面にするときは **高速略図**、ターンリスト図にするときは **ターンリスト** にタッチします。

- 再度、高速分岐模式図を表示させるには、この画面で、**分岐図** にタッチします。また、**MAP** を押しても表示させることができます。



高速分岐模式図自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** から高速分岐模式図を表示することができます。

都市高速マップ

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速にはいると、自動的に都市高速マップを表示させることができます。



●都市高速マップ表示



チェック

- 200m～1.6kmスケール図の地図で表示することができます。
- 各種設定の高速路線マップ自動表示が **する** に設定されているときは、都市高速マップを自動で表示することができません。

都市高速マップの自動表示を設定する

都市高速マップを自動でON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

- ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

- 自動表示切替設定** にタッチします。



- 都市高マップ自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



- 完了** にタッチします。



ワンポイント

- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- 都市高マップは、2画面表示しているとき、左画面に表示されます。
- 都市高マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** から都市高速マップを表示することができます。
- 高速路線マップ（117ページ参照）は、同時に表示することができません。

6. 目的地案内について

都市高速マップ表示を解除する

1 地図を表示させているときに
表示変更 にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **都市高マップ解除** にタッチします。

- 表示するときは、再度この画面で、**都市高マップ表示** にタッチします。



音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（IC）・パーキングエリア（PA）・サービスエリア（SA）の入口、出口、ジャンクション（JCT）、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を10方向（右、左、ナナメ右、ナナメ左、右にもどる、左にもどる、右手前、左手前、もどる、直進）で音声案内します。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。



- 音声案内は、自動音声案内が **する** に設定されているときに出力されます。（次ページ参照）また、目印の音声案内は、交差点目印案内が **する** に設定されているときに出力されます。（221ページ参照）
- カーブ・合流・踏切・レーンの音声案内は各道路形状警告が **する** に設定されているときに出力されます。（131ページ参照）
- 高速道路の料金案内は、料金案内が **する** に設定されているときに出力されます。（207ページ参照）

1

MAP を押します。

- 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



まもなく右方向です

〔目的地案内中の音声案内の例〕

● 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離、方向および目印（案内できる目印ジャンルは、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフードの4種類です。）などを案内します。また、分岐点の直前でチャ임「ボンボン」が鳴ります。（ジャスト案内）

◆ 音声案内例

- ・ およそ700m先、〇〇を右方向です。
〇〇が目印です。
- ・ まもなく右方向です。

● カーブ・合流・踏切・レーンの音声案内

カーブ・踏切などや推奨レーンを事前に音声で案内します。（ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります。）また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます。（合流手前1km以内に分岐点などがある場合では案内しません。）

◆ 音声案内例

- ・ この先、カーブがあります。
- ・ この先、踏切です。
- ・ この先、右からの合流があります。
- ・ この先、左折専用レーンがあります。
- ・ この先、右側車線が減少します。

6. 目的地案内について

● 高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

◆ 音声案内例

・およそ〇〇km先、〇〇方向、〇〇方面です。

● 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

◆ 音声案内例

・この先〇〇mで料金所です。
料金は〇〇です。

〔目的地に到着したときの音声案内の例〕

◆ 音声案内例

・目的地周辺です。この先注意して走行してください。

自動音声案内を設定する

自動音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 自動音声案内の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。



- 音声案内は目的地周辺までの案内をします。また、安全のために細街路（水色ルート）での音声案内はされません。実際の道路状況および交通規制にしたがって走行してください。細街路については「**細街路の表示について**」174 ページを参照してください。
- 目的地に到着する直前でルートからはずれ再探索された後、目的地に近づくとき再度、音声案内されることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができます。（96ページ参照）ただし、**消音**を選んでしまうと、音声案内されません。

交差点目印案内を設定する

目的地案内中、分岐する交差点付近に目印（ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード）がある場合は、音声で案内します。

- 交差点拡大図に目印のマークが表示されても、目印案内を行わない場合があります。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 交差点目印案内の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

他モードでの案内

ナビゲーション以外の画面を表示しているときに、ナビゲーションの音声案内をするか、しないか選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 他モード時の案内の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

7. 案内ルート操作

全ルート図の再表示

出発地から目的地までの全ルート図を表示することができます。

- 1 地図表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- 2 **全ルート** にタッチします。

- 全ルート図表示画面になります。
- 再表示された全ルート図には、残り料金、全料金が表示されます。



- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、「**全ルート図の表示・タッチスイッチについて**」175 ページを参照してください。
- **案内に戻る** にタッチすると、現在地画面になります。

到着予想時刻／残距離表示の切り替え

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、目的地が2カ所以上設定されているとき、残距離表示を切り替えることができます。また、到着予想時刻も同時に切り替えることができます。

- 1 到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

- 目的地が2カ所のときは、タッチすることによって到着予想時刻／残距離表示の目的地が切り替わります。
- ルートからはずれたときは目的地の方向と直線距離を表示します。



到着予想時刻／残距離表示

- 2 表示させたい目的地までの到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

- **◀** にタッチすると、もとにもどります。



- 設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。
- 状況により目的地までの残距離表示が異なります。
 - 現在地がルート上にあるとき…表示されているルートを通っての距離
 - ルートからはずれたとき…直線距離

オンルートスクロール

表示している画面に案内ルートが表示されているとき、目的地、または出発した地点および設定されている施設までルートにそって、地図を移動し、確認することができます。

オンルートスクロールを開始する



- 高速路線マップでは、オンルートスクロールを行うことができません。
- 表示している地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることができません。
- 800m スケール図より広域の地図を表示させたときは、「次の施設まで」のオンルートスクロールをさせることはできません。

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- 2 **オンルートスクロール** にタッチします。



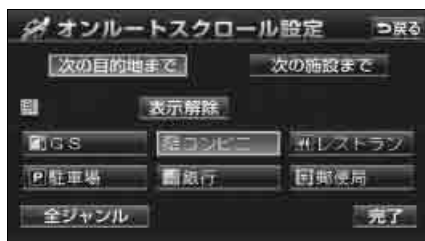
- 3 スクロールのタッチスイッチ（・・・）にタッチします。

- **設定** にタッチすると目的地、またはルート沿いの施設までの移動を設定することができます。



オンルートスクロールの施設を設定する

- 1 オンルートスクロール画面で、**設定** にタッチします。
- 2 オンルートスクロール画面に表示させたい施設にタッチします。
 - 5つまで選択することができます。
 - **全ジャンル** にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設を設定することができます。（「複数ジャンルを表示する」134 ページ参照）
 - **表示解除** にタッチすると、選択されているジャンルをすべて解除して、**次の目的地まで** が選択されます。
 - もう一度タッチすると、そのジャンルが解除されます。



- 3 **次の目的地まで**、または**次の施設まで** にタッチします。
- 4 **完了** にタッチします。

7. 案内ルートの操作

オンルートスクロール画面の操作について



チェック

走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると のみ操作することができます。

- 次の目的地までの場合
 - …次の目的地まで、地図が移動されます。
 - …出発した地点（前の目的地）まで、地図が移動されます。
 - …次の目的地の地図が表示されます。
 - …出発した地点（前の目的地）の地図が表示されます。
- にタッチすると、地図の移動が一時的に停止されます。
- **MAP** を押すとオンルートスクロールが終了します。
- ・ にタッチすると、移動が早送りされます。
- 次の施設までの場合

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

 - …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークまで地図が移動されます。
 - …出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークまで地図が移動されます。
 - …目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークの地図が表示されます。



ワンポイント

- 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、**MAP** を押すともどります。
 - 2画面表示をしているとき
 - シティドライブモード画面を表示しているとき
 - 都市高速マップを表示しているとき
 - 3D表示をしているとき
- オンルートスクロールで設定した施設は周辺施設で設定した施設とは異なります。
- 施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。（137ページ参照）
- 表示される地図によってオンルートスクロールが止まる場合があります。

8. ルートの再探索

ルートの再探索について

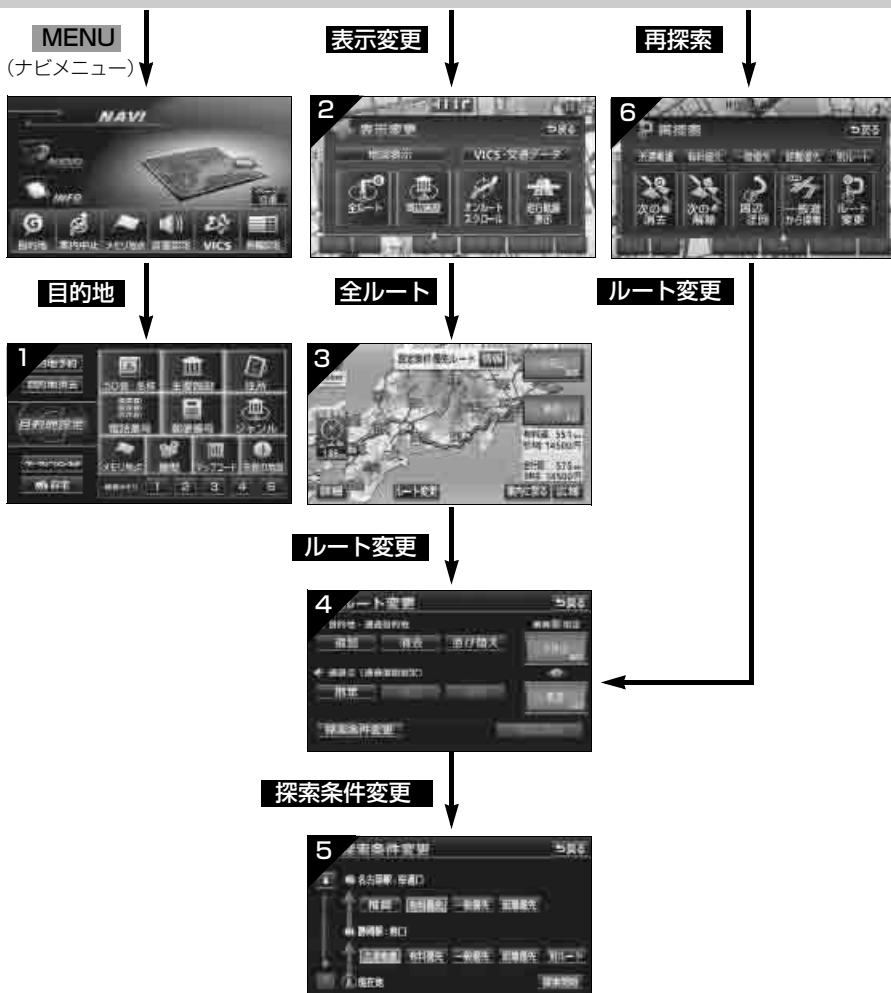
案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを変更するには、「**MENU**（ナビメニュー）の**目的地**から変更する方法」、**「表示変更」の「全ルート」から変更する方法**、または「案内中の**再探索**から簡易に変更する方法」があります。

以下の画面でルートを再探索することができます。

● 各画面のタッチスイッチについては次ページを参照してください。

現在地画面



8. ルートの再探索

画面No.	タッチスイッチ	機 能	ページ
1	地図の呼び出し方法	目的の地図を呼び出します。 目的地を設定・追加します。	139
2	全ルート	全ルート図を表示します。	222
3	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジ (IC) を指定・解除します。	188 189
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	181
4	目的地・通過目的地		182
	追加 ・ 並び替え	目的地を追加・並び替え・消去します。	185
	消去		186
	通過点 (通過道路指定)		190
	指定 ・ 修正 ・ 解除	通過道路を指定・修正・解除します。	193 194
	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジ (IC) を指定・解除します。	188 189
	探索条件変更	探索条件設定画面を表示します。	184
5	探索条件	各区間の探索条件を設定します。 (探索条件については次ページを参照してください。)	184
6	探索条件	ルートの探索条件を変更します。 (探索条件については次ページを参照してください。)	228
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	181
	周辺迂回 ※1	前方の案内道路周辺を迂回するルートを探 索します。	228
	有料道から探索 ※2 一般道から探索 ※2	高架道路の上下で並走している道路など間 違ったルートの表示を訂正して探索します。	228
	次の  消去 指定  解除 次の  解除	次の目的地を消去・インターチェンジ (IC) の指定を解除・通過道路指定を解除して探 索します。	228

※1 ルートからはずれたときは、表示されません。

※2 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示され
ます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。

画面No.	タッチスイッチ	機 能
6	探索条件	渋滞考慮
		推奨※3
		有料優先
		一般優先
		距離優先
		別ルート※4

- ※3 渋滞統計データを考慮（173ページ参照）が **しない** に設定されているとき、探索されます。
- ※4 5ルート同時表示（180ページ参照）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。
- ※5 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

8. ルートの再探索

ルートの再探索

- 1** 現在地画面で、**再探索** にタッチします。



- 2** 再探索させる項目（226 ページ）にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- **次の消去** ・ **指定IC解除**
(**次の解除**) にタッチすると、現在地の次の目的地を消去、またはインターチェンジ (IC) の指定を解除 (次の通過道路を解除) して、再探索をさせることができます。
- **一般道から探索** (有料道を走行中に一般道の案内がされているときは **有料道から探索**) にタッチすることで、高架道路の上下や並行している道路でルートを訂正してルートを再探索することができます。
- **ルート変更** にタッチしたときは、ルート変更画面が表示されます。



- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地 [インターチェンジ (IC) ・通過道路] に向かうルートが再探索されます。
- 「〇〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。大きく遠まわりになるようなときは、**有料優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けなようなときは、**一般優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。(都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など) また、逆のケースもあります。

自動再探索（ハイパーリルート）

ルートからはずれ、案内可能な道路を走行しているときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

● 周辺探索…もとのルートへ復帰するルートが探索されます。

● 全ルート探索…現在地から目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※ 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索を設定する

自動再探索をON（させる）にするか、OFF（させない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 自動再探索の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

9. 目的地の予約

カレンダー機能を使用して、事前に目的地を予約設定しておき、設定日になったらワンタッチでルート探索を始める機能です。

目的地予約の設定

- 1** 目的地設定画面で、**目的地予約** にタッチします。

- 目的地予約リスト画面になります。



- 2** 予約する項目にタッチします。

- すでに予約設定されている項目にタッチすると次ページ **6** の画面になります。



- 3** 予約する日付にタッチします。

- すでに予約設定されている日付は **G** が表示され、設定できません。



- メンテナンス機能のお知らせがあるときは、メンテナンス案内の次に予約案内を表示します。
- 予約日の設定は、最大5件（1件／日）まで設定することができます。
- 予約日の過ぎた目的地の設定は、消去されます。

4 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(139、161 ページ参照)



5 **セット** にタッチします。

6 **完了** にタッチします。

- **追加** にタッチすると目的地を追加できます。(182 ページ参照)
- **並び替え** にタッチすると複数設定した目的地を並び替えることができます。(185 ページ参照)



目的地予約の案内

目的地を予約した日は、ナビゲーション画面が表示される(立ち上がる)とき、目的地の予約が案内されます。

1 **はい** にタッチします。

- ルートの探索が開始されます。
- **いいえ** にタッチすると、現在地画面になります。(ルートの探索はされません。) ルート探索を開始したいときは、目的地予約リスト画面(前ページ参照)で案内された項目にタッチし、**検索開始** にタッチします。
- **予約解除** にタッチすると、予約設定した目的地を解除します。



9. 目的地の予約

目的地予約の消去

- 1** 目的地設定画面で、**目的地予約** にタッチします。

- 目的地予約リスト画面になります。



- 2** 消去する項目にタッチします。



- 3** **消去** にタッチします。

- 目的地の消去については186ページを参照してください。
- 全ての目的地を消去した場合は **2** の画面になります。



- 4** **完了** にタッチします。

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、メモリ地点、または特別メモリ地点に分けて400カ所までメモリ地点として登録することができます。(自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所を含みます。) また、迂回メモリ地点を登録(10カ所まで)するとルート探索時には、その地点を迂回するルートを探ることができます。

メモリ地点には、70種類のマーク、7種類の音声付きマークや約500種類の施設マークから選択して地点ごとに登録することができ、すべての地点には、名称、名称読み、電話番号を設定することができます。(迂回メモリ地点を除く)

登録したメモリ地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違えて登録した場合は、修正および消去することができます。

(すでにメモリ地点が400カ所、迂回メモリ地点が10カ所登録されているときは、不要な地点を消去してから登録してください。)

自宅

自宅は1カ所登録でき、1回の操作で自宅に帰るルートを探ることができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

特別メモリ地点

特別メモリ地点は5カ所まで登録でき、地点検索時にはタッチスイッチに割り当てることができます。また、目的地の設定のときは1回の操作でルートを探ることができます。

メモリ地点

メモリ地点(自宅および特別メモリ地点を含む)は、登録した種別、マーク、または登録順に並びかえて表示することができ、地点検索時などにリストから選択することができます。

■ 音声付きマーク

音声付きメモリ地点には、次のような機能を持たせることができます。

① 近づくとき、または音声で知らせる設定

ベル、チャイム、オルゴール、注意、スピード注意、登録地点接近

② 近づく方向を限定して知らせる設定

方向付きメモリ

■ 施設マーク

施設マークには、周辺施設(施設ランドマーク)表示と同じマークを登録することができますので、地図データに収録されていない施設を地図上に表示することができます。

迂回メモリ地点

迂回メモリ地点は10カ所まで登録でき、地点ごとに迂回範囲を設定することができます。また、迂回メモリ地点には名称を設定することができます。



- 表示されるメモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録したメモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が自動で入力されることがあります。
- メモリ地点の施設マークは、周辺施設の表示やジャンルからの地図の呼び出しができません。
- 迂回メモリ地点は、マークを変更することはできません。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の登録

ワンタッチで登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。



800m スケール図以下の詳細な地図で登録することができます。(現在地でのワンタッチ登録を除く)

1 メモリ地点を登録する位置に地図を動かし、**地点登録** にタッチします。

- (または) の位置にメモリ地点がマークで表示されます。
- 高速道路を走行中(現在地)に **地点登録** にタッチすると、マーク(進行方向の方向付音声付きメモリ地点)で登録されます。

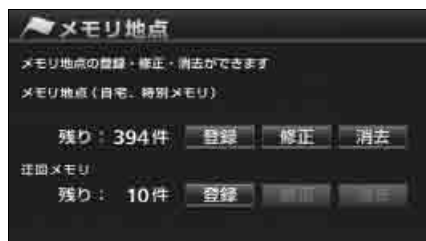


離れた場所を登録する

1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。



2 メモリ地点の **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(139、161ページ参照)

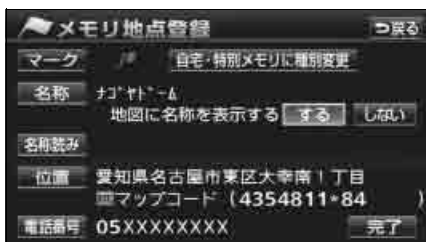


4 セット にタッチします。



5 入力、修正をしたいときは、それぞれの項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降のページを参照してください。
 - ・ マーク…238ページ
 - ・ 名称…240ページ
 - ・ 地図上の名称表示…242ページ
 - ・ 名称読み…242ページ
 - ・ 位置…243ページ
 - ・ 電話番号…243ページ
- **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。「メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する」237 ページ参照）



6 完了 にタッチします。

メモリ地点の修正・入力

登録したメモリ地点は、メモリ地点修正画面から種別を変更したり、マーク、名称、名称読みなどを修正、入力することができます。

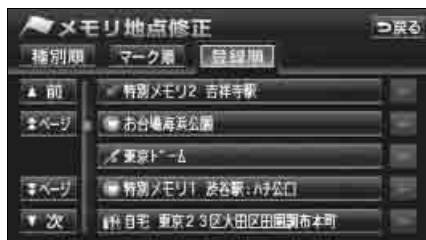
MENU からメモリ地点修正画面を表示する

1 ナビメニュー画面で、メモリ地点 にタッチします。

2 メモリ地点の 修正 にタッチします。

3 修正するメモリ地点にタッチします。

- **種別順** にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点の順に並びかわります。
- **マーク順** にタッチすると、マークの種類別に並びかわります。
- **登録順** にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。



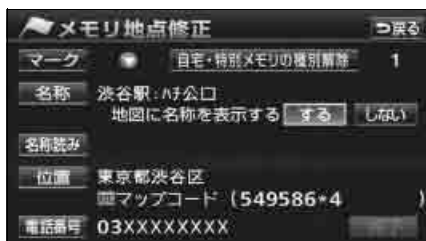
2. メモリ地点の登録・修正・消去

4 修正、入力する項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降のページを参照してください。
 - ・マーク…238ページ
 - ・名称…240ページ
 - ・地図上の名称表示…242ページ
 - ・名称読み…242ページ
 - ・位置…243ページ
 - ・電話番号…243ページ
- **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。(「メモリ地点の種別(自宅・特別メモリ)を変更する」237ページ参照)



- **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点をメモリ地点に変更することができます。(「自宅、特別メモリ地点を解除する」次ページ参照)



地図画面からメモリ地点修正画面を表示する

- 1 地図を表示させているときに、修正したいメモリ地点にタッチします。

2 情報 にタッチします。



3 修正 にタッチします。

- **修正** にタッチすると、メモリ地点修正画面が表示されます。
- **目的地セット** (**新規目的地**、**追加目的地**) にタッチすると、目的地に設定することができます。



メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

- 1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

- 2 自宅、または特別メモリ1～5のいずれかにタッチします。



- 3 すでに自宅、または特別メモリ地点が登録されているときは、次に表示された画面で、**はい** にタッチします。

- 登録されていた地点はメモリ地点になります。



- 4 **完了** にタッチします。

自宅、特別メモリ地点を解除する

自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。

- 1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。

- 2 **はい** にタッチします。

- 登録されていた地点はメモリ地点になります。



- 3 **完了** にタッチします。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点のマークを変更する

- メモリ地点修正画面で、**マーク** にタッチします。



- 変更するマークにタッチします。

- メモリ地点のマークは、**マーク1**・**マーク2**・**マーク3**・**音声付き**・**施設マーク** にタッチして、マークの種類を変更します。



●マーク1



●マーク2

- マーク無し** にタッチすると、登録したメモリ地点のマークを地図に表示されないようにすることができます。



●マーク3

- 音声付きのマークを選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。
- 音確認** にタッチすると、それぞれのマークに近づいたときに鳴る音が出力されます。



●音声付き

- 施設マーク** にタッチしたときは、ジャンルから施設マークにタッチします。

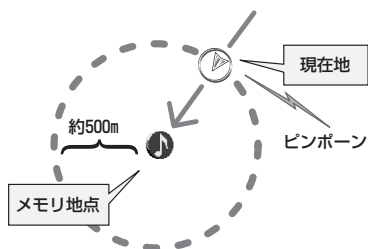


●施設マーク

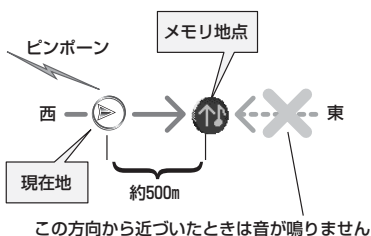


施設マークに変更しても、施設としては認識されません。

<音声付き>



<方向付き>



<方向付きを設定する場合>

- **方向付きメモリ** にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。
例えば、東西に走る道路では、西側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。

- 3 方向付きメモリ** にタッチしたときは、方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは **↶**、時計まわりに動かすときは **↷** にタッチします。
- メモリ地点が **↑** マークで表示されます。



- 4 セット** にタッチします。

- 5 完了** にタッチします。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称を入力する

- メモリ地点修正画面で、**名称** にタッチします。

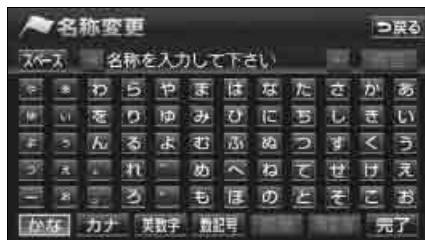


- すでに名称が表示されているときは、**修正** にタッチして名称を消去します。



- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ** (カタカナ)・**英数字** (アルファベット・数字)・**数記号** (数字・記号) にタッチして、入力画面を切り替えます。

- **スペース** にタッチすると、スペースを入力することができます。
- 数字・記号入力画面では **▲**、または **▼** でページを切り替えることができます。
- ひらがな入力と漢字入力については次ページを参照してください。



- 半角** (または **全角**) にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **英数字** にタッチしてアルファベット・数字を入力するときは、さらに **大文字** (または **小文字**) にタッチして、入力する文字の書体を切り替えます。

- 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた (または入力されている) ときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 完了** にタッチします。



- 入力することができる文字数は最大35文字 (半角文字は70文字) までです。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大20文字です。
- 登録した地点によっては、すでにメモリ地点の名称が入力されていることがあります。

ひらがな・漢字を入力するには

1 **かな** にタッチして、入力画面を切り替えます。

2 文字（ひらがな）を1文字ずつタッチして入力します。

- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

3 ひらがなを入力するときは、**無変換**、漢字を入力するときは、**変換** にタッチします。



4 **変換** にタッチしたときは、次に表示された画面（変換するリスト）で、入力する漢字、または熟語にタッチします。



- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更します。
- **全確定** にタッチすると、表示されている状態で登録されます。



5 **完了** にタッチします。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の名称を表示する

入力したメモリ地点の名称を地図に表示させることができます。

名称表示



- 1 メモリ地点修正画面で、地図に名称を表示するの **する**、または **しない** にタッチします。

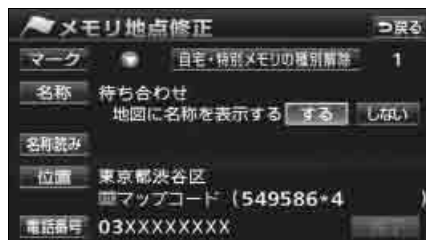


- 2 **完了** にタッチします。

メモリ地点の名称読みを入力する

メモリ地点に名称読みを入力することができます。

- 1 メモリ地点修正画面で、**名称読み** にタッチします。



- 2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つつ消去されます。



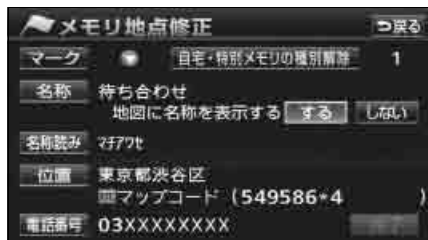
- 3 **完了** にタッチします。



- 地図に名称を表示できる文字数は、最大15文字（半角30文字）までです。
- 入力することができる名称読みの文字数は、最大24文字（半角のみ）までです。

メモリ地点の位置を修正する

- メモリ地点修正画面で、**位置** にタッチします。



- ↑ にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。



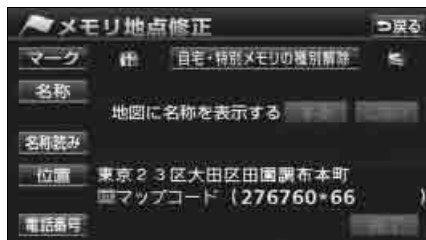
- セット** にタッチします。

- ↑ の位置にメモリ地点が **1** で表示されているマークで表示されます。
- 位置を修正すると、**1** で表示されている住所とマップコードも修正されます。

- 完了** にタッチします。

メモリ地点の電話番号を入力する

- メモリ地点修正画面で、**電話番号** にタッチします。



- 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



- 完了** にタッチします。



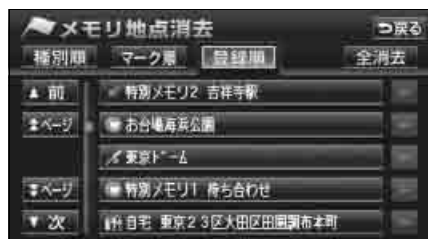
- メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。（153ページ参照）
- 登録した地点によってはすでに電話番号が入力されていることがあります。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の消去

MENU から消去する

- 1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
 - 2 メモリ地点の **消去** にタッチします。
 - 3 消去するメモリ地点にタッチします。
- すべてのメモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。



地図画面から消去する

- 1 地図を表示させているときに、消去したいメモリ地点のマークにタッチします。
- 2 **情報** にタッチします。



- 3 **消去** にタッチします。

- **目的地セット** にタッチすると、目的地に設定できます。



- 4 **はい** にタッチします。



3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点は、地図に10カ所まで登録することができます。(10カ所をこえて登録するときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。)

迂回メモリ地点を登録しておく、ルートを探索させるとき、登録したエリアを迂回するルートを探索させることができます。

工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

迂回メモリ地点の登録



800m スケール図以下の詳細な地図で登録することができます。

1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 迂回メモリの **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(139、161ページ参照)



4 **セット** にタッチします。

- の位置に迂回メモリ地点が マーク、または (範囲) で表示されます。



5 、または にタッチして迂回させる範囲を設定します。

- 範囲を広くするときには 、狭くするときには にタッチします。
- 最大範囲にすると 、最小範囲にすると の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- 矢印中央の数値が範囲の長さ(縦・横)になります。



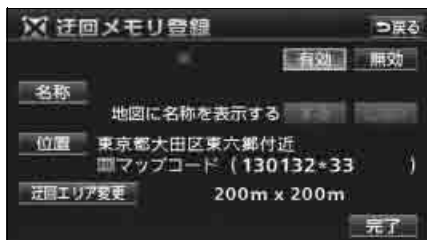
3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

6 **セット** にタッチします。



7 **完了** にタッチします。

- **無効** にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。
- **有効** にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。
- 登録した迂回メモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。



迂回メモリ地点の修正

1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 迂回メモリの **修正** にタッチします。

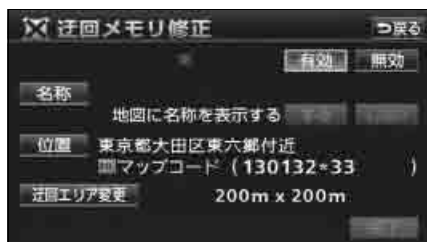
3 修正・入力する迂回メモリ地点にタッチします。



- 表示される迂回メモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が同時に入力されることがあります。
- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。
迂回させたいときは、迂回地点（最小範囲：)を地図上に設定してください。
- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

4 修正・入力する項目にタッチします。

- 修正方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。
 - ・ 名称入力 (240ページ)
 - ・ 名称表示 (242ページ)
 - ・ 位置 (243ページ)
- **迂回エリア変更** にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。(245ページ参照)
- **無効** にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。
有効 にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。



5 完了 にタッチします。

迂回メモリ地点の消去

- 1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。
- 2 迂回メモリの **消去** にタッチします。
- 3 消去する迂回メモリ地点にタッチします。
- すべての迂回メモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 はい にタッチします。

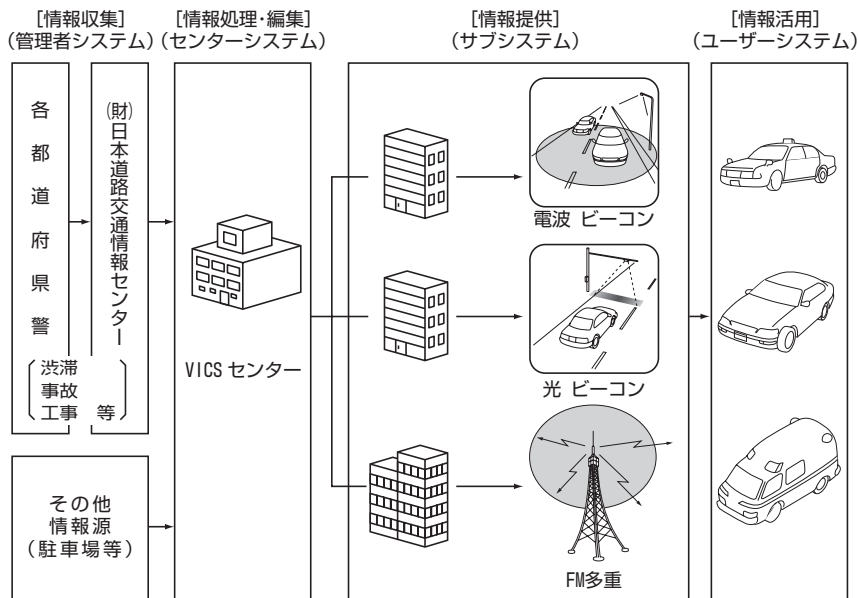


1. VICS情報について

VICSとは

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

VICSおよび本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

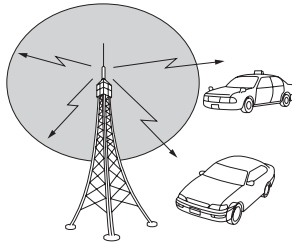
VICSのメディア概要

VICSは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。
本機では、内蔵のFM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。(VICS情報の受信については253ページ参照)

また、別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続することによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。

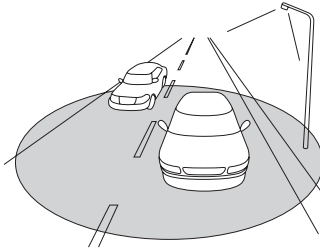
● FM多重

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



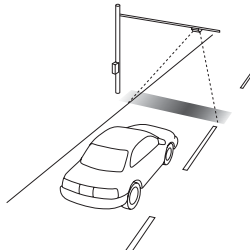
● 電波ビーコン（別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時に対応）

※電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



● 光ビーコン（別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時に対応）

※光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



※別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットについては、295ページを参照してください。

1. VICs 情報について

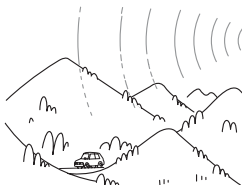
VICS特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
(提供される情報は最新でない場合があります。)
- VICSの表示内容は、VICS センターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。
- 電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信できれば正しい表示に更新されます。

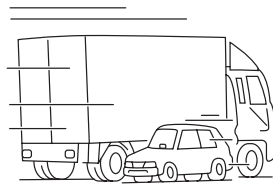
FM多重放送特有の事項



- ① 高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

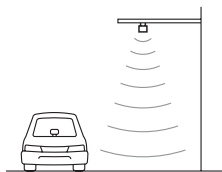


- ② 盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

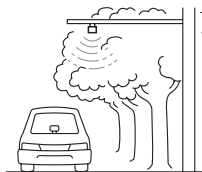


- ③ トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

電波ビーコン特有の事項



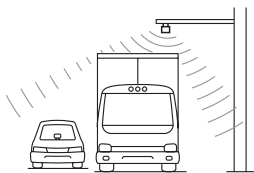
- ① 直線的にしか電波は届きません。



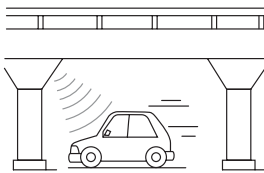
- ② 水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



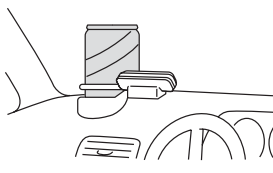
- ③ トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



- ④ トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。

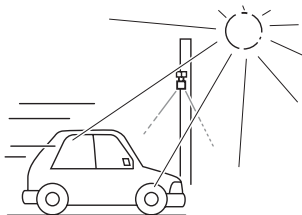


- ⑤ 高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。

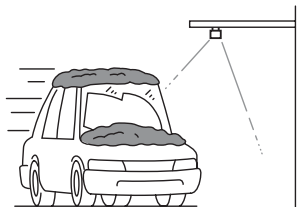


- ⑥ VICSのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

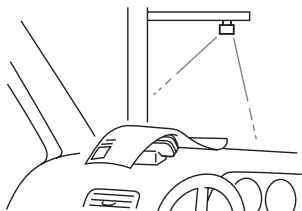
光ビーコン特有の事項



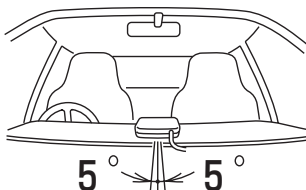
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICSのアンテナの上や近くに紙類等光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



④VICSのアンテナの取り付け方向は、±5°でセットしてください。ずれた場合は、うまく受信できないことがあります。

1. VICs 情報について

VICS 情報提供内容と表示について

- VICs 情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- VICs 情報は、FM多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

レベル1

- 文字表示



レベル2

- 簡易図形表示



レベル3

- 地図表示



- 情報が受信できない場合など、VICs 情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

2. 放送局の受信

VICS 提供放送局の選択

VICS 情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 FM多重チューナー設定の **VICS** にタッチします。

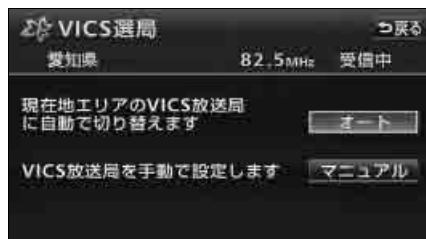
- オーディオ OFF または VICS 放送局以外のラジオを受信しているときに **CD情報** を選択するとVICS情報を受信できない場合があります。

3 **VICS選局** にタッチします。



4 **オート**、または **マニュアル** にタッチします。

- **オート** ……自動で選択します。
- **マニュアル** ……手動（エリアまたは周波数）で選択します。
- 初期設定は、**オート** が選択されています。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局（または放送エリア）を選択してください。



CD 情報 が選択されているときは、タイトル情報の受信が完了すると、次回のCD情報配信までVICS 情報を受信することができます。（「**タイトル情報の受信について**」388ページ参照）

2. 放送局の受信

自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 オート にタッチします。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチの色が明るくなります。



エリアで選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 マニュアル にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。



3 完了 にタッチします。

周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 マニュアル にタッチします。

2 TUNE▲、または TUNE▼ にタッチして、放送局の周波数を選びます。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。



3 完了 にタッチします。



- 通常は **オート** でご使用ください。
- VICS 情報が受信できる代表的な周波数（2009年3月現在）

北海道（旭川地区 85.8MHz）（函館地区 87.0MHz）（札幌地区 85.2MHz）
 （室蘭地区 88.0MHz）（釧路地区 88.5MHz）（帯広地区 87.5MHz）
 （北見地区 86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- VICS 情報のサービスエリアについては、「**VICS 情報有料放送サービス契約約款**」529 ページを参照してください。
- VICS システムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICS リンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年で VICS 地図情報（レベル3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。
 最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。
 情報提供サービス維持のため、変更前の VICS リンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
- VICS FM 多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

3. VICs情報の表示・案内

VICs情報表示の設定

地図（レベル3）に表示するVICs情報を設定することができます。また、VICs情報を表示する道路の色を切り替えることができます。

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。
- 2 **VICs・交通データ** にタッチします。



- 3 **表示設定** にタッチします。



- 4 VICs情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。
- **渋滞・混雑** …渋滞・混雑情報の表示
 - **空き道** …空いている道の情報の表示
 - **規制情報** …事象・規制情報の表示
 - **駐車場** …駐車場情報の表示
 - **道路種別表示** …VICs表示道路色の切り替え
 - VICsマーク（263 ページ参照）は、**規制情報**、または **駐車場** を設定していないと表示されません。



- 5 **完了** にタッチします。

VICS表示道路色を切り替える

道路の種別を通常の色分けと、VICS対象道路（緑・紫）との色分けに切り替えることができます。

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

- 2 **VICS・交通データ** にタッチします。



- 3 **表示設定** にタッチします。



- 4 **道路種別表示** にタッチします。

- 設定時の道路色：
高速道・有料道は紫、国道は赤、主要地方道路は緑、県道は橙色、それ以外の道路を灰色で表示
- 非設定時の道路色：
VICS対象一般道を緑、VICS対象高速道を紫、それ以外の道路を灰色で表示



- 5 **完了** にタッチします。



VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

3. VICs 情報の表示・案内

VICs 情報の表示

地図に VICs 情報（渋滞・規制情報、VICs マーク）を表示させることができます。

- VICs 情報が受信されると、タイムスタンプに VICs 情報が提供された時刻が表示され、VICs 情報が表示されます。

- タイムスタンプの表示は下記になります。



表示中の地図に VICs 情報（レベル3）がある場合



VICs 情報を受信しているが、表示中の地図に VICs 情報（レベル3）がない場合



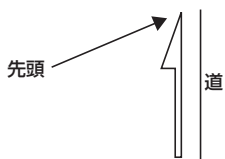
VICs 情報を受信していない場合

- ルート上（約 10km 以内）に VICs 情報があるときは、タイムスタンプの色が以下のように変わります。また、タッチスイッチに替わったときは、タッチすると音声案内を聞くことができます。

- 赤色（渋滞情報）、橙色（混雑情報）、黄色（交通規制情報）

- タッチスイッチ（) …渋滞・規制音声案内があるとき

渋滞情報

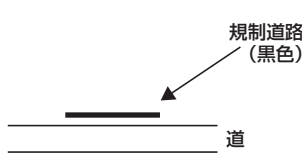


赤色……………渋滞

橙色……………混雑

水色……………空いている道

規制情報



VICs マーク



規制情報、駐車場、サービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA) 情報の詳細については「地図に表示される VICs 表示マークについて」263 ページを参照してください。



●VICs 情報表示



●VICs 情報表示（シティドライブモード・高速路線マップ画面）



チェック

- 1.6km スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。

- VICs 情報が表示されているときは、シティドライブモード、高速路線マップ、都市高速マップに VICs 情報を表示させることができます。



ワンポイント

- 渋滞情報は、800m スケール図以上の地図では （矢印なし）で表示されます。
- VICs マークによっては、200m スケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。

VICS情報を地図に表示する

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。
- 2 **VICS・交通データ** にタッチします。
- 3 **全て**（一般道・有料道路）・**高速道のみ**（有料道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）のいずれかにタッチします。
- **一般道のみ** に設定している場合でも、シティドライブモードにVICS情報が表示されます。



VICSマークの内容表示について

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

- 1 VICSマークにタッチします。
- VICSマークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。



VICS情報を消去する

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。
- 2 **VICS・交通データ** にタッチします。
- 3 **非表示** にタッチします。
- VICS情報が表示されなくなります。
- タイムスタンプは、表示されなくなります。



- 交通データ情報を設定（266 ページ参照）しているときは、交通データ情報も同時に表示します。VICS情報のみを表示するときは、VICS表示設定画面（256 ページ参照）の交通データ情報の項目をOFFにします。
- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- VICS情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動的に消去されます。
- VICSマークによっては、内容が表示されないVICSマークもあります。

3. VICs 情報の表示・案内

渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、約10km以内のルート上のVICs情報を音声でお知らせします。

また、音声を聞き逃したときは、もう一度音声を聞くことができます。

〔音声案内の例〕

- VICs渋滞表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」
 - VICsマークのある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」
- 音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制の音声自動発声を設定する

VICs渋滞・規制音声自動発声をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 VICs渋滞・規制音声自動発声の**する**、または**しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

渋滞・規制を音声で案内する

渋滞・規制音声案内を聞くことができます。ルート上にVICsの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチ（**VICs**）に切り替わります。

1 地図を表示させているときに、タイムスタンプにタッチします。

- 渋滞・規制案内情報が音声で案内されます。



タイムスタンプ

VICS図形情報の表示

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **FM図形** にタッチします。



3 表示させる図形情報の番号にタッチします。

- **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。



4 **▲**、または **▼** にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- **▲**、または **▼** にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りできません。）
- 図形情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。また、自動送り中に **▲**、または **▼** にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、目次にもどります。



緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** から再表示することができます。

3. VICS情報の表示・案内

VICS文字情報の表示

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **FM文字** にタッチします。



3 表示させる文字情報の番号にタッチします。

- **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。



4 **▲**、または **▼** にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- **▲**、または **▼** にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りできません。）
- 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送り中に **▲**、または **▼** にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **図形** にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、目次にもどります。



緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は **割込情報** から再表示することができます。

地図に表示されるVICS表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	注意（地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
 (青色)	駐車場 空
 (赤色)	駐車場 満
 (橙色)	駐車場 混雑
 (黒色)	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30 km / h
 (青色)	SA PA 情報 空
 (赤色)	SA PA 情報 満
 (橙色)	SA PA 情報 混雑
 (黒色)	SA PA 情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示することがあります。

3. VICS 情報の表示・案内

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

(1) 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

(2) 交通情報関連の用語

①渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。

②混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

(3) 駐車場情報関連の用語

①満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。

②混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。

③空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。

④不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。

⑤閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSの問い合わせ先

● VICS 車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して

● 地図表示（レベル3）の内容に関して

● VICS 情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容の問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● 文字表示（レベル1）の内容に関して

● 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して

● VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容の問い合わせは、(財) VICS センター（東京）までご連絡ください。

電話受付 <受付時間 09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く>

電話番号 0570-00-8831 (全国)

(全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。)

※ PHSからはご利用できません。

FAX 受付 <受付時間 24時間>

FAX 番号 03-3592-5494 (全国)

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.vics.or.jp/>

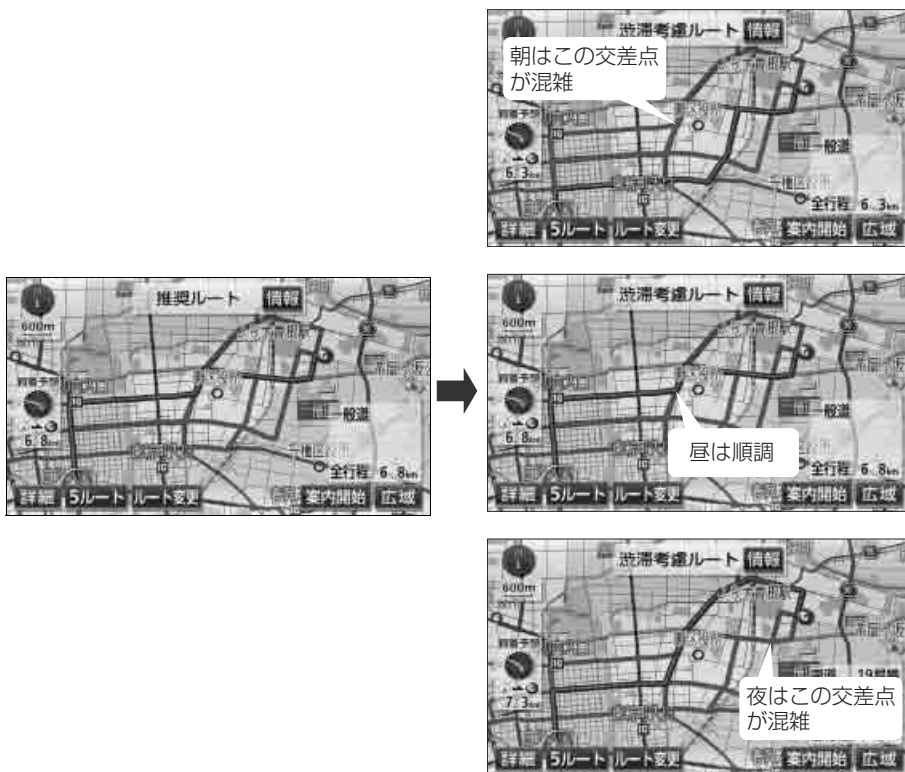
なお、お問い合わせ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

4. 渋滞考慮機能について

渋滞考慮とは

収録された渋滞統計データとVICS情報から、走行した道路、曜日・時間帯から渋滞を考慮し、所要時間が少なくなるようなルートを探索することができます。

また、走行した道路、曜日・時間帯などを学習（「[交通状況学習機能とは](#)」268 ページ参照）し、収録された渋滞統計データを更新することができます。



渋滞考慮機能では、以下の機能に反映されます。

- 渋滞考慮ルートの探索（173ページ）
- ルート探索時の到着予想時刻の計算（205ページ）
- ルートの再探索（228ページ）

5. 交通データ情報の表示

交通データ情報表示の設定

地図に表示する交通データ情報を設定することができます。

- 1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。
- 2 **VICS・交通データ** にタッチします。



- 3 **表示設定** にタッチします。



- 4 交通データ情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。
- **渋滞・混雑** …渋滞・混雑情報の表示
 - **空き道** …空いている道の情報の表示



- 5 **完了** にタッチします。

交通データ情報の表示

収録された渋滞統計データと走行した道路情報から渋滞を予想し、地図上に ———（破線）で表示することができます。

破線の色は下記を表しています。

- 赤色 … 渋滞
- 橙色 … 混雑
- 水色 … 空いている道

VICS情報の表示が設定されているときは、受信したVICS情報と交通データ情報を同時に表示することができます。



● 交通データ情報表示



● VICS情報および交通データ情報表示



交通データ情報は800mスケール以下の地図に表示されます。（バーチャタウンマップを除く）

1

地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2

VICS・交通データ にタッチします。



3

全て（一般道・有料道路）・
高速道のみ（有料道路のみ）・
一般道のみ（一般道のみ）・**非表示**
のいずれかにタッチします。



- VICS情報を設定（256ページ参照）しているときは、VICS情報も同時に表示します。
- 交通データ情報のみを表示するときは、VICS表示設定画面（前ページ）のVICS情報の項目をOFFにします。

6. 交通状況学習機能

交通状況学習機能とは

日時、曜日に応じて走行した道路の交通状況を学習し、学習結果を地図上に表示することができます。

また、学習した情報を考慮したルート探索や目的地までの所要時間を算出することができます。学習した情報を考慮したルート探索や所要時間については、「**渋滞考慮ルート探索**」173 ページ、「**到着予想時刻表示の設定**」205 ページを参照してください。



●交通状況学習結果画面



交通状況学習機能は幅5.5m以上の道路を対象にしています。そのため細街路は学習することができません。

交通状況学習結果の表示

曜日、時間の情報と交通状況を学習した結果を地図上に表示することができます。

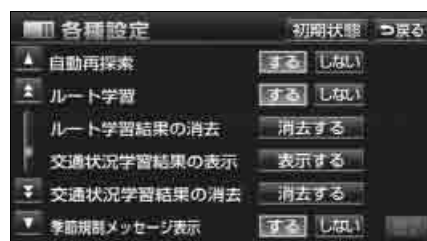
●学習する回数により、表示が変わります。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 交通状況学習結果の表示の **表示する** にタッチします。



交通状況学習結果の消去

交通状況の学習結果を消去することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

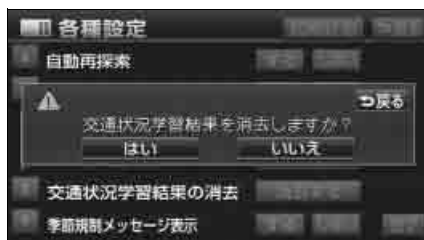
2 **ルート系設定** にタッチします。



3 交通状況学習結果の消去の **消去する** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



1. 情報メニュー画面について

情報機能には、「E-iSERV」、「FM多重」、「タイトルチェック」、「新譜情報」、「マルチW」、「ESN」、「設定」、「データ管理」、「メンテナンス」、「SYSTEM CHECK」、「情報付施設」、「電話帳」、「カレンダー」、「操作ヒント」があります。

※ 別売のETC車載器を接続すると、「ETC」が表示され、ETCの設定などを行うことができます。

情報メニュー画面

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されます。
- 情報メニュー画面が表示されない場合、**INFO** にタッチします。
- **MENU** を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
 ↑ 情報メニュー画面 ↓

2 ページ切換 にタッチしてページを切り替えます。



● 1 ページ目



● 2 ページ目



● 3 ページ目

3 タッチスイッチにタッチして、次ページの操作を行うことができます。

表示順序／ 項目（タッチスイッチ）		機 能	ページ
1	E-iSERV	E-iSERVにアクセスするための 2次元バーコード、URLの表示	50
2	FM多重	FM多重放送の表示	次ページ
3	タイトルチェック	受信タイトルの表示・更新	389,395
4	新譜情報	新譜情報の表示・更新	392,395
5	ETC※ ¹	ETCの設定	301
6	マルチW	ナビゲーション画面、オーディオ画面 などの同時表示	487
7	ESN	セキュリティ機能の設定	74
8	設定	CD情報インジケータ、新譜情報受信 メッセージの設定	391,393
		操作音の設定	53
		Pic-CLIPの設定	55
		オープニング画像の設定	64
		パネルスイッチ照明の設定	72
		ナビゲーション音声の出力位置の切り 替え	54
		個人情報の初期化	83
		ラジオアンテナの設定	73
9	データ管理	画像データの保存・消去	61,63
		バージョン情報の表示、 タイトルデータベースの更新	385,386
		ハードディスク容量の表示	396
10	メンテナンス	メンテナンス時期の設定・更新・消去	277,279,280
		販売店の設定・修正・消去	281,282
11	SYSTEM CHECK	車速/パルス、GPS信号の受信感度、 距離補正の学習状態などの表示	283
12	情報付施設	情報付施設の検索・表示	284
13	電話帳	施設の電話番号の検索	291
14	カレンダー	カレンダーの表示	292
15	操作ヒント	デモ機能の表示	293
16	販売店デモ※ ²	販売店専用の機能	—

※¹ 機器が接続されていないときは、表示されません。

※² 販売店専用の機能です。販売店以外では使用しないでください。ナビゲーションなどの操作をする場合は、必ず **デモOFF** にタッチして販売店デモ機能をOFFにしてください。走行中は表示されません。

2. FM多重放送

FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

● 連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

● 独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

FM多重放送の表示



チェック

オーディオの電源がOFFのとき、またはAM放送（交通情報放送を含む）を受信しているときやFM放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、FM多重放送を表示させることはできません。

1 情報メニュー画面で、**FM多重** にタッチします。

- FM多重放送画面（FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組）が表示されます。



● FM多重放送画面

放送局の切り替え

1

自動選局 にタッチします。

- FM音声を聞いているときは、パネルスイッチ（「聞きたい放送局を選ぶ」359ページ参照）でも、切り替えることができます。



ワンポイント

- 走行中は表示させることができない番組もあります。また、FM多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。
- FM多重放送を表示させているときに、FM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- FM多重放送を表示させているときは、そのFM多重放送を放送している放送局の番組の音声のみ聞くことができます。
(文字情報を表示させているFM多重放送局とは別のFM放送局の番組の音声を聞くことはできません。)

番組の切り替え

1 **目次** にタッチします。

- **番組連動** にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。(連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチの色が明るくなります。)



2 表示させる番組の番号にタッチします。



独立情報番組のページ送り

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（**▲**・**▼**）が表示されます。）が送られる独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。



緊急情報を受信しているときは、自動送りできません。

1 **▲**、または **▼** にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- **▲**、または **▼** にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
- 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。また、自動送り中に **▲**、または **▼** にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。



2. FM 多重放送

連動情報番組の文字情報を繰り返し見る

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度見たいときは **▲** にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

1 **▲**、または **▼** にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

- タッチすると、文字情報の自動切り替えが中断されます。
- 自動切り替えを中断したとき、**最新情報** にタッチすると、最新の文字情報にもどり、もとの状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。



文字情報の記録・呼び出し・消去

記録する

- 1 記録する文字情報を表示させ
メモ記録 にタッチします。



呼び出す

- 1 **メモ呼出** にタッチします。
- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。
- 2 **▲**、または **▼** にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

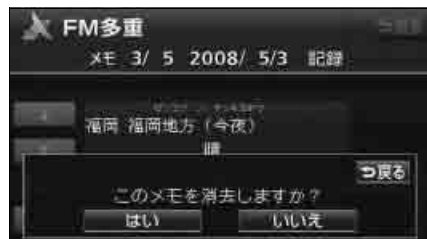


消去する

- 1 **メモ呼出** にタッチして文字情報を呼び出します。
- 2 **▲**、または **▼** にタッチして、消去する文字情報を表示させます。



- 3 **消去** にタッチします。
- すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。
- 4 **はい** にタッチします。



記録項目は最大20件です。

3. メンテナンス機能

メンテナンス機能は、ナビゲーションのカレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをナビゲーションの画面と初回に音声でお知らせします。

メンテナンスメニュー画面

1 情報メニュー画面で、**メンテナンス**にタッチします。

- メンテナンスメニュー画面になります。
- 未設定の項目は、（青色）・すでに設定されている項目は、（黄緑色）・メンテナンス案内が行われる時期の項目は （赤色）で表示します。



● メンテナンス項目

項目	内容	項目	内容
	エンジンオイル交換		Vベルト交換
	オイルフィルター交換		冷却水交換
	タイヤローテーション （タイヤ位置交換）		ブレーキフルード交換
	タイヤ交換		ATF（オートマチックトランス ミッションフルード）交換
	エアクリャー交換		任意入力 （その他の項目を5つまで設定 することができます。）
	ブレーキパッド交換		



- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じる場合があります。

メンテナンス時期の設定



メンテナンス時期の設定をしても自動通知の **する** に設定していないときは、メンテナンス案内が行われません。

1 メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- **任意入力** (任意入力未設定) にタッチすると、任意で項目を設定することができます。
- **任意入力** (任意入力未設定) 以外にタッチしたときは、**5** の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。



2 **任意入力** (任意入力未設定) にタッチしたときは、マークにタッチします。



3 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、「**メモリ地点の名称を入力する**」240 ページを参照してください。



4 **完了** にタッチします。

5 **お知らせ日**、または **お知らせ距離** にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。
- **マーク** にタッチすると、マークを変更することができます。(任意入力を設定したときのみ)
- **修正** にタッチすると、タイトル名称を変更することができます。(任意入力を設定したときのみ)



3. メンテナンス機能

6 数字を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。
- 一桁の日付を入力するときには、**年**、**月**、**日** にタッチして入力することができます。
(2～9月と、4～9日は、**月**、**日** にタッチする必要はありません。)



●日付入力画面



●距離入力画面

7 **完了** にタッチします。

8 **設定完了** にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときには、**1** ～ **8** を繰り返し操作してください。



メンテナンス案内の設定

自動案内通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

- 1 メンテナンスメニュー画面で、自動通知の **する** にタッチします。

- 案内をさせないときには、再度この画面で、**しない** にタッチします。



メンテナンスの案内

設定した日に到達する、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

- 販売店を設定しているときは販売店名、電話番号を表示します。（281 ページ参照）
- 5つ以上の項目があるときは、メンテナンスメニュー画面で確認してください。
- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。



メンテナンス設定の更新

- 1 メンテナンスメニュー画面で、設定を更新する項目にタッチします。

- すべての項目を更新するときは、**自動全更新** にタッチします。（**はい**、**いいえ** の選択画面が表示されます。）



- 2 **自動更新** にタッチします。



- 案内する項目が5つ以上あるときは **★** を表示します。
- メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声（初回）で案内します。

3. メンテナンス機能

3 **はい** にタッチします。

- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



4 **2** の画面にもどったときは、**設定完了** にタッチします。

メンテナンス設定の消去

1 メンテナンスメニュー画面で、設定を消去する項目にタッチします。

- すべての項目を消去するときは、**設定全消去** にタッチします。(**はい** 、 **いいえ** の選択画面が表示されます。)



2 **設定消去** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



販売店の設定

- 1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定** にタッチします。



- 2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」、「呼び出した地図の操作」(139、161ページ参照)



- 3 **セット** にタッチします。

-  の位置に販売店が設定されます。



- 4 **完了** にタッチします。

- **販売店に行く** にタッチすると、販売店の地図が表示されます。



3. メンテナンス機能

販売店の修正・消去

- 1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定** にタッチします。



- 2 修正する項目にタッチします。



- 販売店名の修正・入力、**「メモリ地点の名称を入力する」** 240 ページ、位置の修正は、**「メモリ地点の位置を修正する」** 243 ページ、電話番号の修正・入力は、**「メモリ地点の電話番号を入力する」** 243 ページを参照してください。
- **販売店の消去** にタッチすると、販売店が消去されます。

- 3 **完了** にタッチします。

- 4 **販売店の消去** にタッチしたときは、**はい** にタッチします。



4. SYSTEM CHECK機能

SYSTEM CHECK機能は、車速パルス、GPS信号の受信感度、距離補正の学習状態の表示やパーキングおよびリバース信号の接続を確認することができます。

SYSTEM CHECK画面の表示

1 情報メニュー画面で、**SYSTEM CHECK** にタッチします。

- SYSTEM CHECK画面になります。
- 各項目は、下記の内容を表しています。表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。



● SYSTEM CHECK画面

項 目		内 容
GPS 受信感度		GPS 衛星からの電波の受信状態。
距離補正学習状態		距離の補正を自動で行っているとき（310ページ参照）の学習度合い。
車速パルス	あり	走行している状態。
	なし	停車している状態。
パーキング信号	あり	パーキングブレーキがかかっている状態。
	なし	パーキングブレーキがかかっていない状態。
リバース信号	あり	バックギアにシフトしている状態。
	なし	バックギア以外にシフトしている状態。

※ ナビゲーションの取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示することができません。

5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

主要施設の情報（情報・住所・料金・写真など）をブラウザ画面に表示することができる機能です。

情報付施設の検索・表示・編集

1 情報メニュー画面で、**情報付施設** にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **車**、**医療**、**他** 項目は、データが収録されていません。



3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

- **全国の○○** にタッチすると、全国の施設のリスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

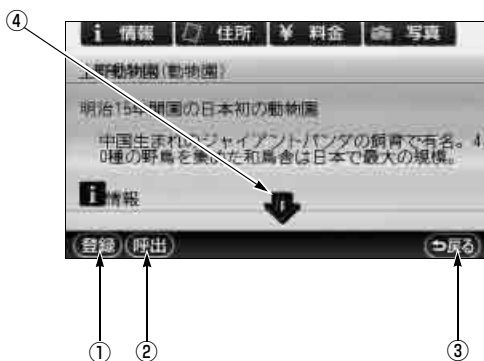
- 施設の内容がブラウザ画面に表示されます。



ブラウザ画面を操作する

コンテンツの閲覧中は、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

- **○○○**（**住所**・**写真**など）にタッチすると、表示されている項目の情報が表示されます。



① 登録スイッチ

表示中ページのタイトルをブックマークに登録します。ブックマークは最大50件まで登録できます。

② 呼出スイッチ

ブックマークリスト画面を表示します。

③ 戻るスイッチ

前の画面にもどります。

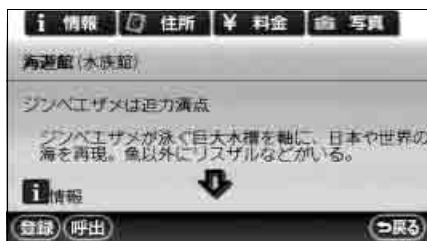
④ スクロールスイッチ

表示中のページが画面に収まらないとき、**↓**にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。

5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

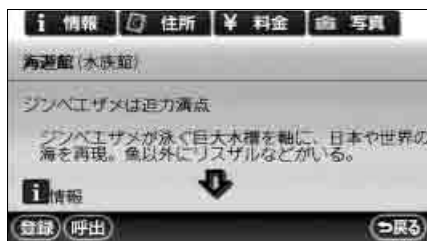
ブラウザ画面を（ブックマーク）に登録する

- 1 登録する情報を表示させ、**登録** にタッチします。



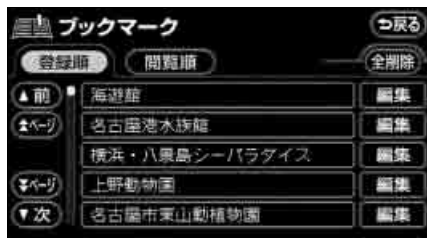
ブックマークを呼び出す

- 1 **呼出** にタッチします。



- 2 表示させるブックマークのタイトルにタッチします。

- **登録順** にタッチすると、ブックマークに登録した順に並びかわります。
- **閲覧順** にタッチすると、ブラウザ画面を表示した順に並びかわります。

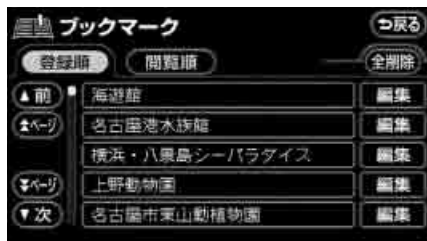


記録項目は最大50件です。

ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

- 1 ブックマークリスト画面で、編集したいブックマークの **編集** にタッチします。



- 2 **タイトル** にタッチします。



- 3 文字を一文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、「ソフトウェアキーボードの使い方」（次ページ）を参照してください。



- 4 **完了** にタッチします。

ブックマークを削除する

ブックマークは最大50件まで登録できます。50件をこえて登録しようとした場合はメッセージが表示されますので、不要なブックマークを削除してから登録してください。

- 1 ブックマークリスト画面で、削除したいブックマークの **編集** にタッチします。

- すべてのブックマークを削除するときは、**全削除** にタッチします。（3 の画面が表示されます。）

- 2 **削除** にタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

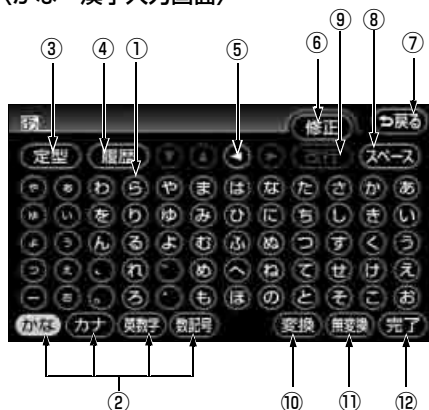
ソフトウェアキーボードの使い方

ブラウザなどで文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボード画面が表示されます。

ソフトウェアキーボード画面

ソフトウェアキーボード画面には、下記の入力画面があります。

〈かな・漢字入力画面〉



〈カタカナ入力画面〉



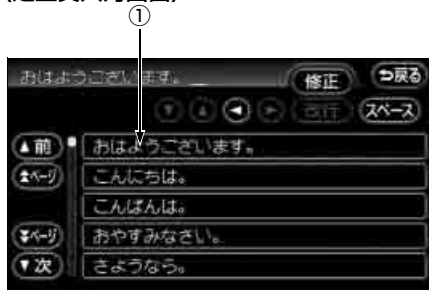
〈英字・数字入力画面〉



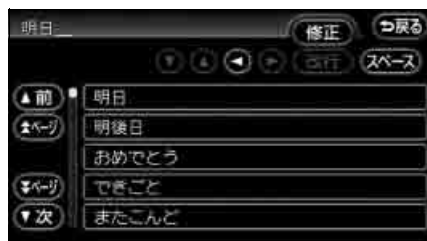
〈数字・記号入力画面〉



〈定型文入力画面〉



〈履歴入力画面〉



①文字入力スイッチ

文字を入力します。

定型文入力画面では、選んだ文を入力します。

②入力モード切り替えスイッチ

文字の入力モードを切り替えます。

かな …ひらがな、漢字を入力します。

カナ …カタカナを入力します。

英数字 …アルファベット、数字を入力します。

数記号 …数字、記号を入力します。

③定型スイッチ

定型文を入力するときに使用します。

④履歴スイッチ

前回までに入力した文字列の履歴から入力するときに使用します。

⑤カーソル移動スイッチ

カーソルの移動ができます。

タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。

確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。

なお、未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。

⑥修正スイッチ

文字が消去できます。

タッチし続けると、すべての文字が消去できます。

⑦戻るスイッチ

各入力画面を終了します。

⑧スペーススイッチ

カーソル位置に空白が入力できます。

⑨改行スイッチ

タッチスイッチがトーンダウンし、タッチしても操作できません。

⑩変換スイッチ

かな文字入力後にタッチすると、漢字に変換します。

⑪無変換スイッチ

かな文字入力後にタッチすると、ひらがなで入力します。

⑫完了スイッチ

すべての文字を入力後にタッチします。
前の画面（ブラウザ画面）にもどり、文字が入力されます。

⑬全角／半角スイッチ

タッチするたびに、半角入力と全角入力が切り替わります。

⑭大文字／小文字スイッチ

タッチするたびに、大文字と小文字が切り替わります。

5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

漢字に変換するには

1 かな入力状態で、文字を入力します。

- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。この場合は、**完了**、または **無変換** にタッチして、文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してください。
なお、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

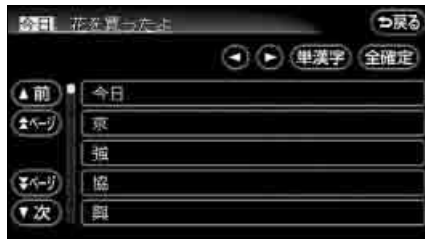


2 **変換** にタッチします。



3 すべての文字が変換されたままの状態であれば、**全確定** にタッチします。入力したい文字でないときは、漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチすると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



入力したい漢字に変換されないときは

漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を一つずつ変換してください。

1 漢字変換候補リストで、**単漢字** にタッチします。



2 単漢字変換候補から、希望の候補を選択しタッチします。

- 単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチすると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



- 最大入力文字数は、48文字（全角）です。
- 確定されていない状態で入力可能な文字は、最大20文字です。

6. 電話帳機能

電話帳の検索

JAF（日本自動車連盟）や道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定されている目的地（167ページ）や登録されているメモリ地点に電話番号が入力（243ページ）されていれば、その地点の電話番号を表示させることができます。

1 情報メニュー画面で、**電話帳** にタッチします。

2 表示させる項目にタッチします。

- **目的地**（1カ所のみ設定されているとき）にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



3 表示させる施設のある都道府県名にタッチします。

- **2** で **メモリ地点**、または **目的地**（2カ所以上設定されているとき）にタッチしたときは、地点名称にタッチすると、名称と電話番号が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 施設名称と電話番号が表示されます。



- メモリ地点に電話番号が入力されていないときは、リストを表示しますが電話番号を検索することはできません。
- 目的地に電話番号情報がないときは、タッチスイッチを表示しますが、電話番号を検索することはできません。

8. 操作ヒント機能

操作ヒント機能はナビゲーションで一般によく使われる操作を一連で確認することができます。

操作ヒント画面

1 情報メニュー画面で、**操作ヒント** にタッチします。

- デモ一覧画面から下記の機能を確認することができます。



項目（タッチスイッチ）	機 能	ページ
地図の表示モードを変更する	地図向き切り替え	111
	2画面表示の切り替え	113
	3D表示の設定	121
	シティドライブモード画面の表示	115
目的地を設定する①	50音・名称で地図を呼び出す、目的地の設定	141、167
目的地を設定する②	主要施設で地図を呼び出す、目的地の設定	150、167
ルートを変更する	ルートの再探索	228
メモリ地点を登録する	メモリ地点の登録	234
周辺の施設を表示する	施設の表示	133

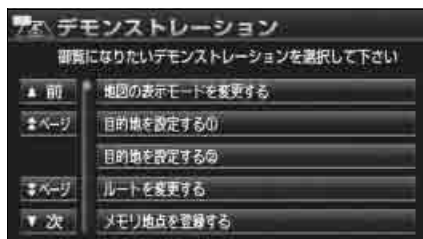
8. 操作ヒント機能

操作ヒントの表示

ナビゲーションの各操作方法のヒントを画面表示と音声で紹介します。

1 デモ一覧画面から希望の項目にタッチします。

- 選択したデモが開始されます。
- **MAP** を押すとデモが中止されます。



- 操作ヒント機能で表示される画面は、実際の画面と異なる場合があります。
- 操作ヒント機能は地図データを更新すると使用できない場合があります。

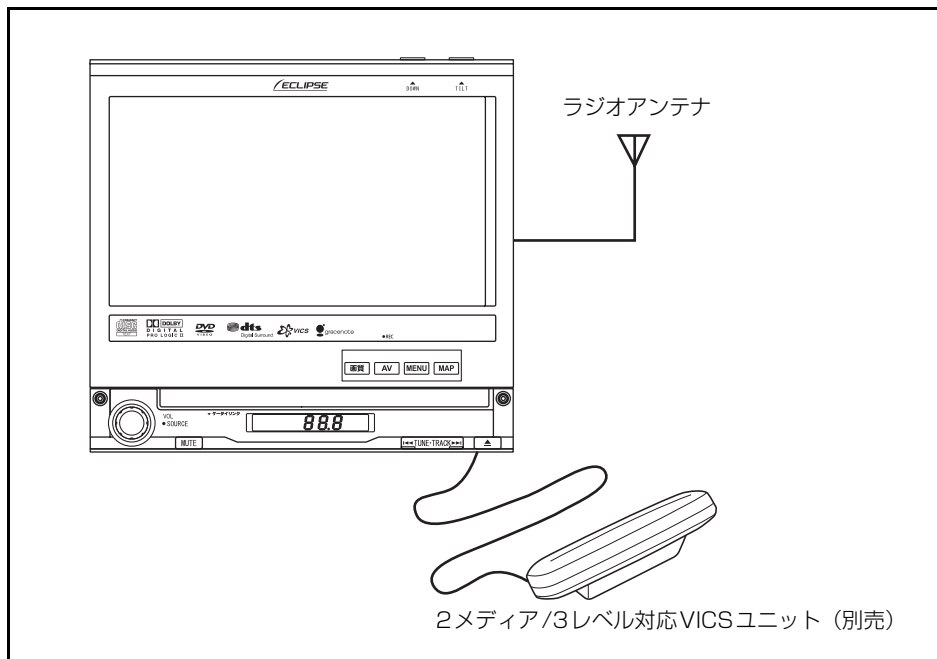
1. 2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

内蔵のFM多重機能とは別に、別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続した場合は、FM多重放送に加え電波・光ビーコンの受信が可能になります。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮した経路探索が可能になります。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

2メディア/3レベル対応VICSユニットの構成

VICSの電波／光ビーコンを受信するシステム



1. 2メディア/3レベル対応 VICS ユニットの操作

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS図形情報（または文字情報）を自動的に表示させることができます。

- ▲、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。
- 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは**図形**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- **表示消** にタッチする、または設定時間以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。表示時間は、調整することができます。（「**割り込み情報の表示時間を調整する**」次ページ参照）



● 割り込み情報の表示

割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報を ON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

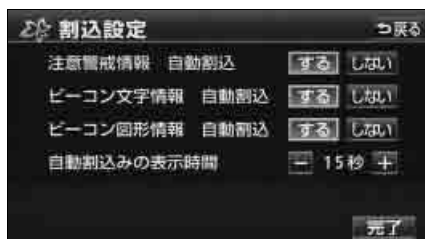
- 1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

- 2 **割込設定** にタッチします。



- 3 割り込み情報の項目の **する**、または **しない** にタッチします。

- ・ 注意警戒情報…注意警戒情報の表示
- ・ ビーコン文字情報…文字情報の表示
- ・ ビーコン図形情報…図形情報の表示



- 4 **完了** にタッチします。



- **割込設定** は、2メディア／3レベル対応VICSユニットを接続した場合に表示されます。
- FM多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報の表示は行われません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 割り込み情報を **しない** に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

割り込み情報の表示時間を調整する

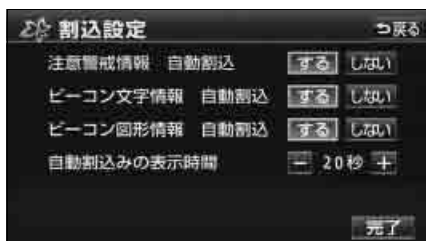
割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **割込設定** にタッチします。

3 自動割込みの表示時間の **+**、または **-** にタッチして調整します。

- 表示時間を長くするときは **+**、短くするときは **-** にタッチします。(タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。)



4 **完了** にタッチします。

割り込み情報を呼び出す

割り込み情報をOFF（表示しない）にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。



提供時刻より約 30 分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **割込情報** にタッチします。



3 **▲**、または **▼** にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

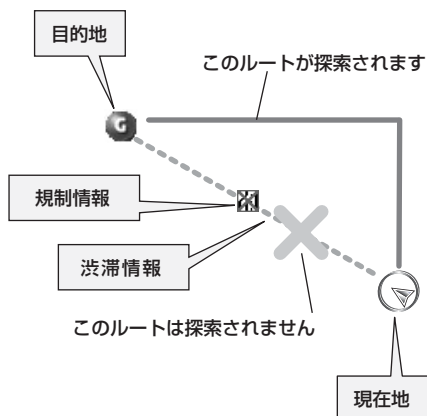
- 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは **図形**）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面にはもどりません。
戻る にタッチすると割り込み情報画面を解除します。



1. 2メディア /3レベル対応 VICS ユニットの操作

渋滞考慮探索

ビーコンからのVICS情報を受信するたびに、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されたルート探索をさせることができます。



渋滞考慮探索は各種設定の渋滞統計データを考慮が **する** になっているとき、探索します。(173ページ参照)

2. ETCシステムの操作

本機能は別売のナビゲーション対応のETC車載器を接続した場合に表示・操作できます。

ETC車載器を初めて使う

車両情報などをETC車載器に登録する（セットアップ）

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要になります。

また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

ETCカードを入手する

ETC車載器のご利用には、ETC車載器に挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

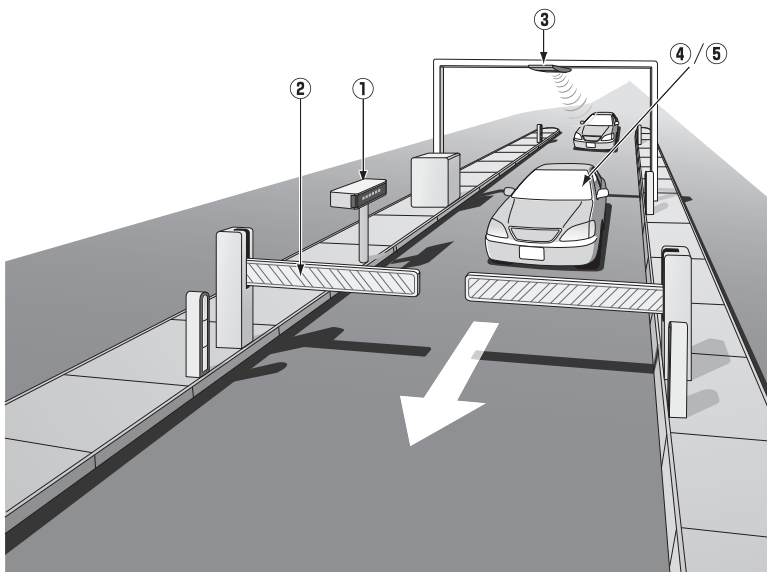
ETC車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC車載器の取扱説明書をお読みください。

2. ETC システムの操作

ETCとは

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置とETC車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



① 路側表示器

料金所のETCレーンに設置されています。進入車両に対し、通行の可否などのメッセージが表示されます。

② 発進制御装置 (開閉バー)

料金精算を確実にするために、料金所のETCレーンに必要なに応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。

③ 路側無線装置

料金所のETCレーンに設置されています。料金精算のため、車両のETC車載器との通信を行うためのアンテナです。

④ ETC 車載器

車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。

⑤ ETC カード

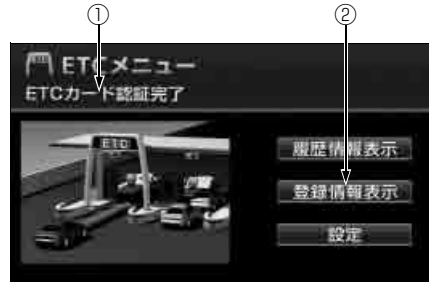
ETC車載器に挿入します。ICチップを搭載した、ETC車載器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

※ ETCカードには有効期限があります。あらかじめETCカードの有効期限をご確認ください。

ETCメニュー画面

1 情報メニュー画面（270ページ）で、**ETC** にタッチします。

● ETCメニュー画面になります。



① ETCカードメッセージ※

現在のETCユニットの状態が表示されます。

「ETCカード認証完了」…ETCがカードが挿入されたことを確認した状態です。

「ETCカード未挿入」…ETCカードが挿入されていません。

「認証中」…ETCカードを読み込んでいます。

「ETCカード異常」…ETCカードを読み込むことができません。

「システム異常」…ETCシステムに何らかの異常が発生しています。
(ETCアンテナはずれ検知含む)

「未セットアップ」…ETCがセットアップされていない状態

「セットアップ完了」…ETCがセットアップ完了している状態

② 登録情報表示

登録情報表示 にタッチすると、お客様の車のETC車載器に登録された情報が表示されます。

※：ETCカードの有効期限について

ETC車載器に有効期限切れのETCカードを挿入してもエラー表示などはされません。有効期限切れのETCカードでは、開閉バーが開きませんので、ETCレーンを通行できません。お手持ちのETCカードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。



統一エラーコードについては502ページを参照してください。
(エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。)

2. ETC システムの操作

走行中の表示



- ETC レーンに進入する場合は、発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まれる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かないときには衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停車しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停車したときに追突するおそれがあります。
- 走行中は、交通事故防止のためETC車載器からETCカードの抜き差しをしないでください。
- 走行中にETC車載器からETCカードの抜き差しを行うとETCカード内のデータが破損する恐れがあります。



- ETC レーン通過時にはETC レーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- ETC レーンを通行する場合は、路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。
- ETC ユニットを用いたサービス（スマートICなど）があります。サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。
- ETC カードは必ず、入口料金所で使用したETCカードを使用して出口料金所を通過してください。他のETCカードに差し替えると入口料金所情報がETCカードに保持されていないため、出口料金所を通過できなくなります。
- 出口にETCレーンが無い場合は、係員にETCカードを渡し精算処理を行ってください。
- ETC レーンを通過しても本機が無反応だった場合は、通信が正常に行われておりません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。
- ETCを利用するには、ETCカードをETC車載器に差し込んでおく必要があります。ETCカードが差し込まれていない状態ではETCを利用できません。

ETCレーンの通過案内

ETCレーン（精算用）通過時

ETCによる料金徴収が行われた時に、「支払い料金は〇〇円です」と音声および画面表示で案内します。



- 走行中、ETCゲートを通過する手前で、ETCゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。
- 予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過したときも料金所・検札所のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。
- 予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所ではETCを利用できません。ETC混在レーンまたは一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。
- 払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、精算用のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。
- ETCの利用料金は路側表示器に表示される場合があります。
- ETCの利用料金および利用履歴は、クレジットカード会社から発行される利用明細にてご確認ください。
- エラーコードについては502ページを参照してください。

2. ETC システムの操作

履歴の表示



利用履歴の確認は利用料金支払に使用したETCカードをETC車載器に差し込んでいないとできません。

1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示**にタッチします。

2 **▲前**、または **▼次** にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき、**最新** にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。
- **詳細** にタッチすると、履歴の内容を表示します。

ETC履歴情報			
最新	利用日	料金	
▲ 前	2008年 12月31日	8800円	詳細
	2008年 12月30日	12000円	詳細
	2008年 12月28日	2600円	詳細
	2008年 12月26日	800円	詳細
▼ 次	2008年 12月21日	2100円	詳細

登録情報の表示

1 ETCメニュー画面で、**登録情報表示**にタッチします。

- ETC車載器の機器情報が表示されます。
- エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています

ETC登録情報	
車載器管理番号	12312 12312312 123123
車載器登録番号	123 12312312
セットアップカード 発行年月日	2008年 12月31日
セットアップカード 情報有効年月日	
統一エラーコード	01



走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。



- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。
- 表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ETC 登録情報画面のセットアップカード情報有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。
- 統一エラーコードについては502ページを参照してください。

ETCの設定

ETCの各項目を設定する

1 ETCメニュー画面で、**設定** にタッチします。

2 ETCの項目の **する**、または **しない** にタッチして設定します。

● ETC 割込表示

ETCを利用するときに通の可否や利用料金を画面に表示して案内します。

- ゲート通過案内
ETCゲートの通行可、または通行不可の案内
- 予告レーン案内
この先のETCゲートの通行可、または通行不可の案内
- 料金徴収案内
料金徴収の案内

● ETC 音声案内

ETCを利用するときに通の可否や利用料金を音声の出力で案内します。

● ACC オン時警告表示

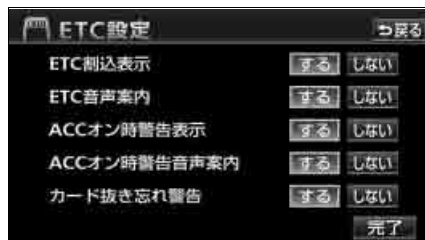
エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常を画面に表示して警告します。

● ACC オン時警告音声案内

エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常をお知らせします。

● カード抜き忘れ警告

エンジンスイッチをACCからLOCKの位置にしたとき、カードの抜き忘れをお知らせします。



3 **完了** にタッチします。

3. バックアイカメラの操作

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。



バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意下さい。



高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。



- バックアイカメラを過信しないでください。
- バックアイカメラは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - 坂道など平坦でない道路
 - バックドアが完全に閉まっていないとき
 - タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に写る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックアイカメラの映像を映す

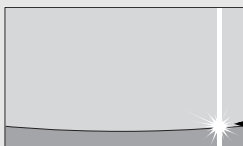
1 バックギアにシフトします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- バックギア以外にシフトすると通常画面にもどります。



- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。（「画面の調整・設定」70 ページ参照）
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ（夜間など）。
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ 高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

<画面の状況>



高輝度の点

※スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

1. 補正が必要なとき

次のようなときは補正を行う必要があります。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。(距離の補正)

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車マーク  が表示されている(自転車マーク  がずれている)とき…自転車マーク  の位置と向いている方向を修正することができます。(現在地の修正)
- 走行中、ナビゲーションの自転車マーク  の進み方と、実際の車の進み方が違うとき…自転車マーク  の進み方を修正することができます。(距離の補正)
ただし、地図の自転車マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

現在地の修正



800m スケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

- 1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

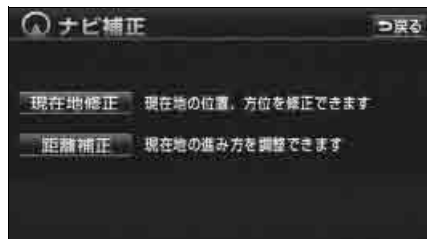
- 2 **その他** にタッチします。



- 3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



- 4 **現在地修正** にタッチします。



- 5  にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。



- 6 **セット** にタッチします。

7 方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは **⬅**、時計まわりに動かすときは **➡** にタッチします。



8 セット にタッチします。

距離の補正

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

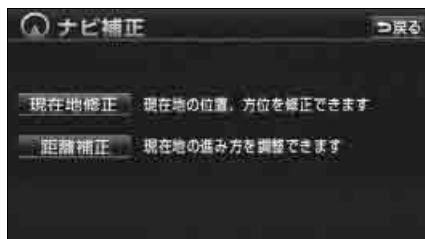


3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **距離補正** にタッチします。

- 自動補正、または手動補正を行います。



1. 補正が必要なとき

自動補正するとき

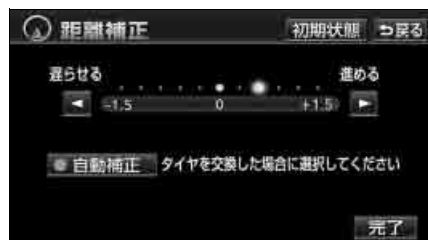
1 **自動補正** にタッチします。

- 自動補正中は距離補正を操作することはできません。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、作動表示灯がもとにもどります。



手動補正するとき

1 自転車マーク  の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは **▶** (進める)、早く進むときは **◀** (遅らせる) にタッチします。



2 **完了** にタッチします。



- 本機は、GPS と車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしています。自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けるときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS 電波の受信状態が良好な道路を約 30km 走行してください。
- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自転車位置がずれることがあります。
- 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自転車マーク  の進み方が走行状態により、変化することがあります。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

各種設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。

バッテリーの交換や地図データの更新などをして各種設定が初期状態に戻った場合でも、記憶されている中から、ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

記憶することのできる設定項目

項目	ページ	項目	ページ
地図向きの設定	111	走行軌跡	110
地図表示モードの設定	113, 121	メンテナンス自動通知の設定	279
地図表示縮尺の設定	105	VICS地図表示の設定	256
音量設定	96	VICS道路表示内容の設定	259
メニュー画面の各種設定項目の設定※	88	VICS割り込み設定	296
ショートカットスイッチ表示の設定	103	ETCの設定	305

※ 車両情報設定は、記憶することができません。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

ナビゲーション設定の記憶

1 記憶したい状態に設定します。

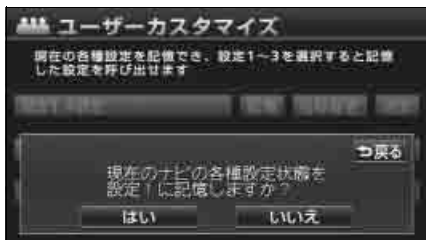
2 ナビメニュー画面で、**ユーザーカスタマイズ** にタッチします。

3 設定1～3の右側にある **記憶** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

●すでに記憶されている設定にタッチしたときは、**はい** にタッチすると上書きします。



5 新規で記憶するときは、次に表示された画面で、名称を入力します。

●入力方法は、「メモリ地点の名称を入力する」240 ページを参照してください。



6 **完了** にタッチします。

記憶の呼び出し

1 ナビメニュー画面で、**ユーザーカスタマイズ** にタッチします。

2 設定1～3のいずれかにタッチします。

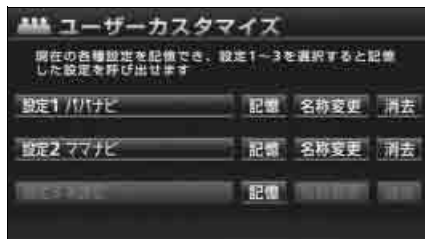
- タッチしたタッチスイッチに記憶されている各種ナビ設定の状態に設定を変更します。



名称の変更

1 ナビメニュー画面で、**ユーザーカスタマイズ** にタッチします。

2 設定1～3の右側にある **名称変更** にタッチします。



3 修正、入力します。

- 修正、入力方法は、「メモリ地点の名称を入力する」240 ページを参照してください。



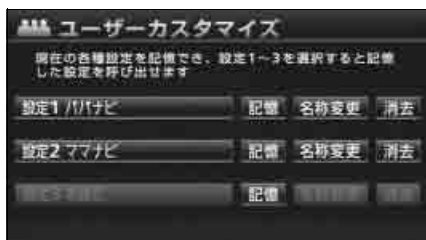
4 **完了** にタッチします。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

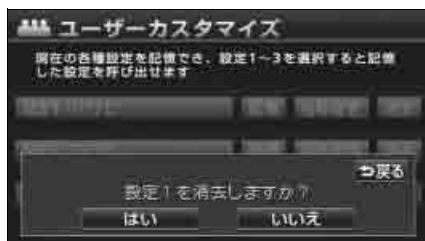
ナビゲーション設定の記憶の消去

1 ナビメニュー画面で、**ユーザーカスタマイズ** にタッチします。

2 設定1～3の右側にある **消去** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



3. 地図データの情報

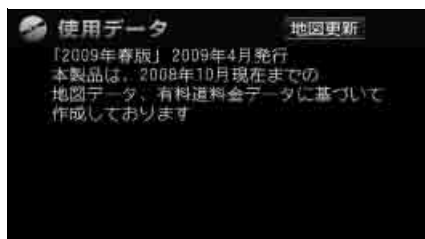
地図データの情報表示

本機に収納されている地図データなどの情報を見ることができます。

下の画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類によって表示内容が異なります。

1 ナビメニュー画面で、**使用データ** にタッチします。

● **使用データ** が表示されていないときは、**ページ切替** にタッチします。



地図更新 は地図データ更新時に使用します。地図データの更新については、販売店にご相談ください。

4. 車両情報の表示

車両の車速パルス（スピード信号）の入力を確認することができます。

車両情報の表示

1 ナビメニュー画面で、**車両情報** にタッチします。

- **車両情報** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。
- 車両情報画面で走行すると車速パルスが“なし”から“あり”に表示が変わります。



5. 精度と誤差

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

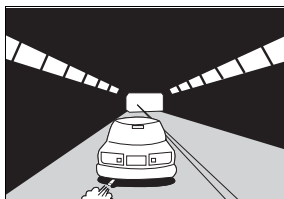
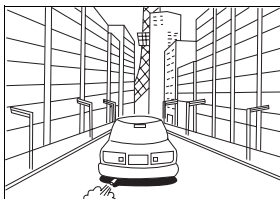
GPS衛星の電波の性質と受信状態について

GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

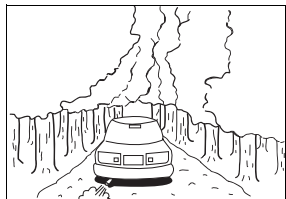
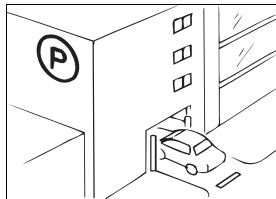
さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

- GPS衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

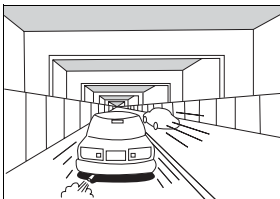
トンネルの中

高層ビルなどの障害物で
周囲を囲まれたところ

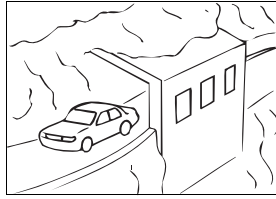
建物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

5. 精度と誤差

現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

タイヤによる誤差について

本機では自転車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているため、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。（距離補正係数の設定を変えて調整できます。）

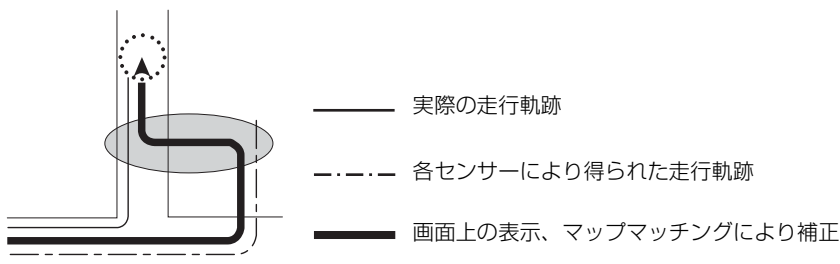
マップマッチングによる自転車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせ得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

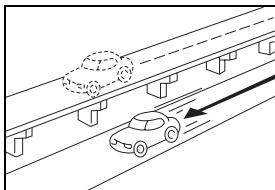
また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自転車マークがずれる場合があります。



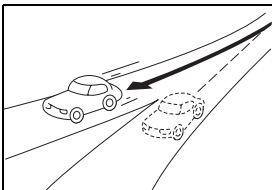
本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自転車マークが実際と異なる動きをすることがあります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

現在地表示、ルート案内の精度について

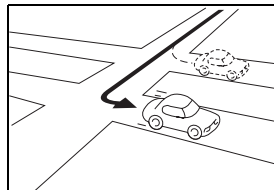
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



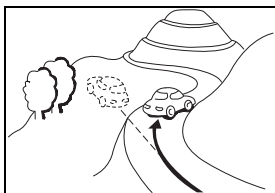
並走している道路に現在地が表示される。



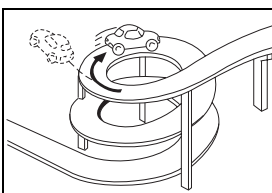
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



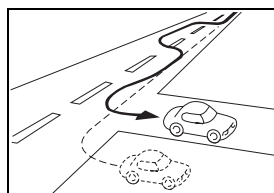
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



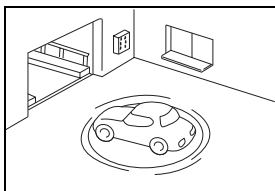
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



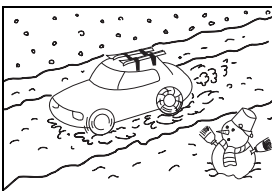
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



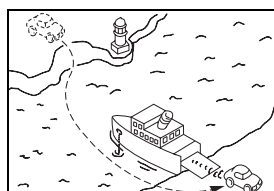
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



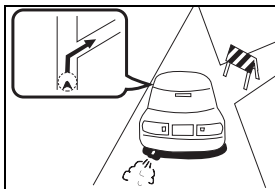
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



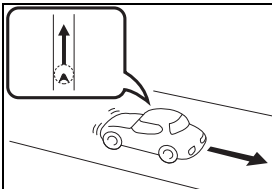
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



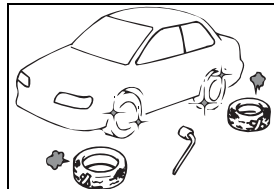
フェリーなど、自転車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路(進入禁止など)を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。



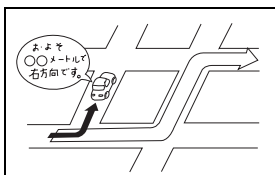
タイヤを交換した場合、自転車マークがずれて表示される。

5. 精度と誤差

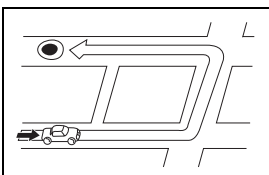
道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

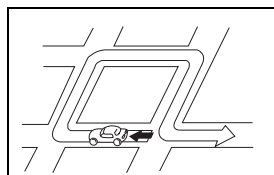
ルート案内について



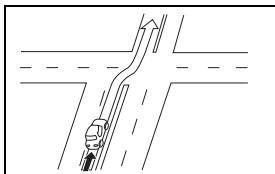
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



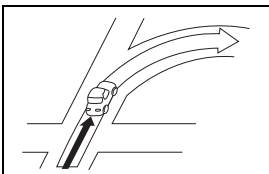
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



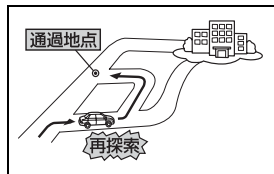
Uターンするルートを案内する場合があります。



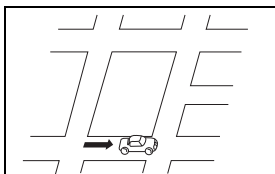
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。
(交差点の形状がわかりにくい場合など)



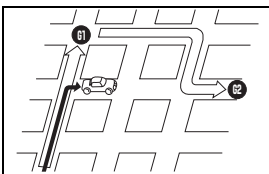
交差点で曲がるのに案内のない場合があります。



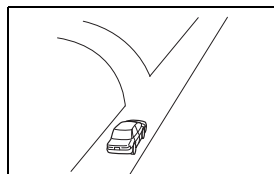
通過地点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過地点へもどるルートが出る場合があります。



ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



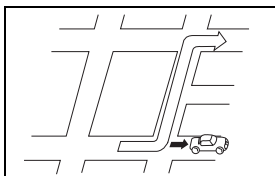
複数目的地の場合、次の目的地を通らずに、再探索するともどるルートになります。



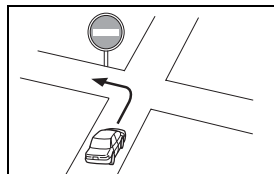
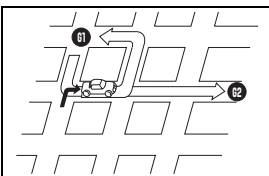
方面の案内で、いくつかの地名を表示する場合があります。



ルート探索完了



再探索



実際の交通規則にしたがって運転してください。

- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地・通過道路として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
（「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです）

MEMO

オーディオ・ビジュアル

はじめに

I

基本操作

II

オーディオ

III

MJ

IV

ビジュアル

V

ボナール

VI

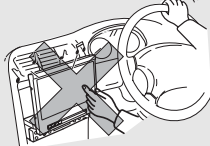
マルチW

VII

1. ご使用になる前に

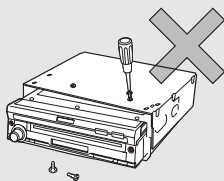


走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



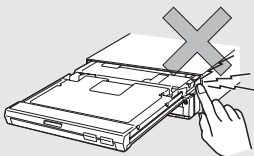
交通事故の原因となります。

分解、改造はしないでください。



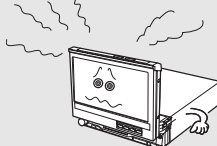
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。

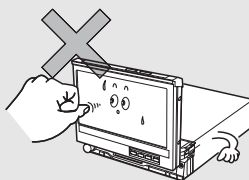


ケガをしたり、故障の原因となります。

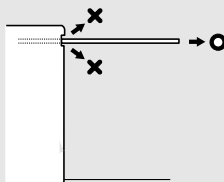
故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFしてください。



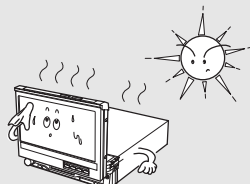
モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。

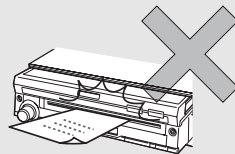


車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてください。



故障の原因となります。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。



故障の原因となります。

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。

ディスクについて



8cm CDおよび8cm DVDには対応していませんので差し込まないでください。



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用CD・映像用DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVD ビデオフォーマットに準じて記録されたDVD ±R/RW ディスクも再生することができます。



- DualDiscには対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- DTS、DTS Digital Surround に対応しており右記のマークのついたディスクが使用できます。



Manufactured under license under U.S. Patent #s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていない CD-R/RW（MP3/WMAは除く）やUDF フォーマットで書き込みされたCD-R/RW は再生できません。
- DVD ±R/RW（DVD ±Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込みされたディスクのみ使用できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込みされたディスクには対応していません。
- DVD ±R/RWは、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD ±R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT 機能は市販のCD-TEXT 対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

1. ご使用になる前に



- スーパーオーディオ CD (SACD) はハイブリッドディスクの CD 層のみ再生できます。



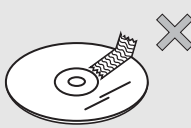
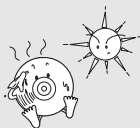
- CCCD (Copy Control CD) は正式な CD 規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- CD-EXTRA は音楽 CD として再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTS トラックが混在した CD は正常に再生されません。
- Video-CD は再生できません。

ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



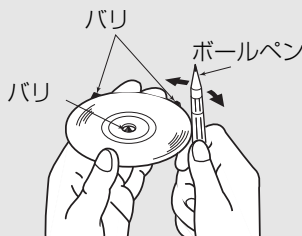
- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。





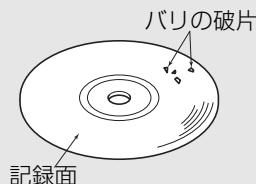
新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



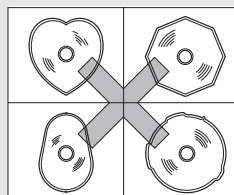
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となる場合があります。



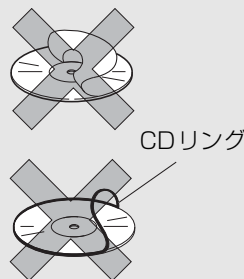
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、CD ラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CD リング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなくなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。

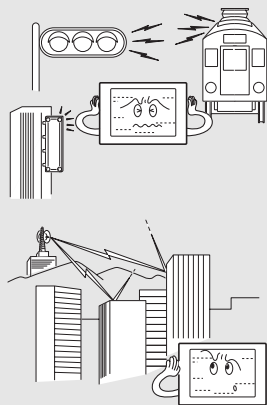


1. ご使用になる前に

地上デジタルTV放送について



- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載器での地上デジタルTV放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、地上デジタルTV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。



1. ソースの切り替え方

ソースを切り替える

●ディスプレイ立ち上げ時

■パネルスイッチから切り替える

1 MENU を押します。

- オーディオメニュー画面が表示されないときは、**AUDIO** にタッチします。
- MENU** を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
 ↑ 情報メニュー画面 ↓



●オーディオメニュー画面※

※ 画面はAVN078HDMk IIです。
 AVN978HDTVmk IIは、**ワンセグ** が
DTV の表示になります。

2 オーディオメニュー画面のオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。

- タッチしたソースがスクリーン表示(オンスクリーン表示) されます。
- 切り替えたいソースが表示されないときは、**ページ切換** にタッチします。

オーディオソース切り替えスイッチ



●オンスクリーン画面

1. ソースの切り替え方

操作画面の表示

- 1** **AV** を押します。



■ タッチスイッチから切り替える

- 1** オーディオ操作画面などで、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

—SOURCE MENU 呼び出しスイッチ



- 2** SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチします。

- タッチしたソースの操作画面が表示されます。
- ソースが11個以上あるときは、**次ページ** にタッチすると、11個目以降のソースのタッチスイッチが表示されます。**前ページ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- **▲** にタッチすると、もとの画面にもどります。

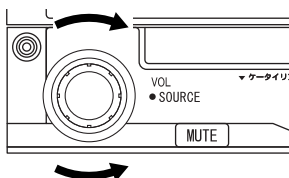


●ディスプレイ収納時

1

VOL を押します。

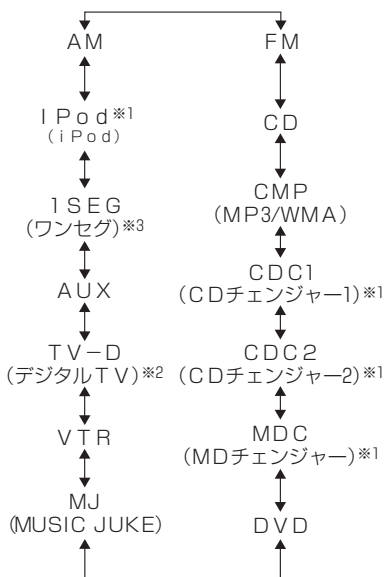
2

VOL を回し、ソースを切り替えます。

3

希望のソースで、**VOL** を押します。

- **VOL** を回すと、下記のようにソースが切り替わります。



※1 別売

※2 AVN978HDTVmk IIのみ

※3 AVN078HDmk IIのみ

- ディスクを挿入していない、または本機に接続されていないソースには切り替わりません。
- ソースを表示させてから約 6 秒以上操作をしなかったときは、自動解除されます。

2. 各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●ワンセグ操作画面※



※ AVN078HdMk II のみ

●AUX操作画面



●FM操作画面



●MP3/WMAプレーヤー操作画面



●MUSIC JUKE 操作画面



●DTV操作画面※



※ AVN978HDTV/mk II のみ

●VTR操作画面



●CDチェンジャー操作画面（別売）



●MDチェンジャー操作画面（別売）



●iPod操作画面（別売）



3. 音の調整

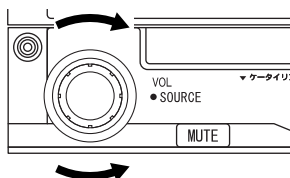
主音量の調整

1 VOL を回します。

右に回す：音量UP（大きくなる）

左に回す：音量DOWN（小さくなる）

- **MUTE** を押すと、音を一時的に消すことができます。もう一度押す、または **VOL** を右に回すと解除されます。
- 音が消えている間は、音量表示が点滅します。



- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 調整レベルは0～80です。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- ソースをDVDプレーヤー、またはAUXに切り替えたときに音量を調整すると、DVDプレーヤー用、またはAUX用の音量レベルとして記憶させることができます。調整した音量レベルは、他のソースでは機能しません。

4. 音質の調整

音質調整画面の表示

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質の調整には、SOUND調整画面から行うものと、SETTING画面から行うものがあります。

■簡単にできる音場・音質調整

項目・タッチスイッチ	機 能	画 面	ページ
SFC	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	SOUND調整画面	339
POS	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り替えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	SOUND調整画面	344
LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	SETTING画面	346
HARMONIZER	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	SETTING画面	346

■手動で行うお好みに合わせた細かい調整

タッチスイッチ	機 能	画 面	ページ
EQ	お好みに合わせてイコライザを調整して、記憶することができます。	SOUND調整画面	341
SP SETTING	スピーカーサイズの設定やタイムアライメントを設定します。	SETTING画面	351
SP LEVEL	スピーカーの出力レベルを調整します。	SETTING画面	355

■サブウーファ接続時の出力・位相調整

項目	機 能	画 面	ページ
PHASE CONTROL	サブウーファの位相を切り替えることができます。	SOUND調整画面	347
WOOFER LEVEL	サブウーファの出力を調整することができます。	SOUND調整画面	347

4. 音質の調整

■サラウンドシステムの調整

項目	機 能	画 面	ページ
Dolby ProLogic II	Dolby Pro Logic IIの再生モードを切り替えることができます。	SETTING画面	348
COMPRESSION	ダイナミックレンジ（最大音と最小音の音量差）を調整することができます。	SETTING画面	349
CENTER WIDTH	Dolby Pro Logic IIの設定がMUSICおよびセンタースピーカーの設定がLARGE、またはSMALLに設定されている場合、センタースピーカーからの音声を左右のフロントスピーカーに振り分け、センターの音像定位を調整することができます。	SOUND調整画面	349
CENTER LEVEL	センタースピーカーから聞こえてくる会話やセリフなどの出力レベルを調整することができます。	SOUND調整画面	350
REAR LEVEL	リヤスピーカーから聞こえてくる効果音などの出力レベルを調整することができます。	SOUND調整画面	350

■測定用マイクを使った自動調整

項目	機 能
オートタイムアライメント	各スピーカーからリスニングポジションまでのタイムアライメントを自動的に測定/調整することができます。
オートイコライザ	車室内の周波数特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動調整を行います。オートイコライザを設定後、7バンドのパラメトリックイコライザの設定を行うことで、より効果的に好みの音響設定を行うことができます。



現在の周波数特性
(イメージ図)

➡

オートイコライザ設定

➡



周波数特性をフラット化
(イメージ図)

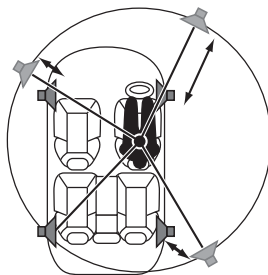
➡



好みの
EQ設定を行う

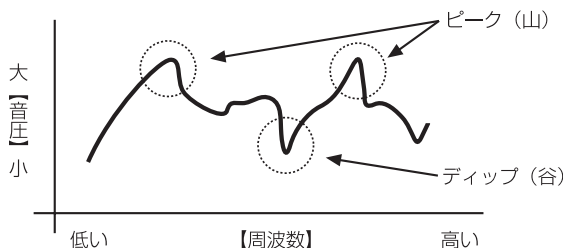
●タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違ことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる（片寄り）・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。



●パラメトリックイコライザ

車室内はシートやガラスなど、さまざまな素材が使われており、それらが音を吸収したり反射したりするため、車室内の周波数特性はピーク（山）やディップ（谷）ができていたりします。



これらのピークやディップを補正し、周波数特性をフラットにするための機能が『イコライザ』です。しかし、通常のグラフィック・イコライザでは、中心周波数、Q（鋭度・帯域幅）が固定されているため、隣接する帯域まで変化してしまい、ピークやディップの特性の乱れを補正するには限界があります。そこで、中心周波数、Q（鋭度・帯域幅）、ゲインを任意に調整でき、スポット的に狙った帯域だけを微妙に調整することができる機能が『パラメトリック・イコライザ』です。

以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 設定するための準備を行います。

- 静かな場所にお車を停車します。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉めます。
- エアコン、ヒーターなどを停止します。
- 車のエンジンを停止し、エンジンスイッチをACCの位置にします。
- 別売の測定用マイクをAUXコード（白色）へ取り付けます。

4. 音質の調整

- 2 スピーカーサイズの設定を行います。(351 ページ参照)
- 3 オートタイムアライメントを測定/調整します。(354 ページ参照)
- 4 オートイコライザを測定/調整します。(343 ページ参照)
- 5 お好みに合わせてイコライザを調整します。(342 ページ参照)

SOUND 調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面などで、**SOUND** にタッチします。
- ワンセグ・VTR操作画面では **設定**、DTV操作画面では **エリア**、DVD操作画面では **NEXT**、**設定** の順にタッチすると、**SOUND** が表示されます。



SETTING 画面の表示

- 2 SOUND 調整画面で **SETTING** にタッチします。



- オートタイムアライメントおよびオートイコライザ測定中は、スピーカーから音量の大きい測定音が発生するため、走行中に設定を行わないでください。運転の妨げとなり交通事故の原因となる可能性があります。
- 車のエンジンが停止した状態で測定するため、バッテリーの残量が少ないとバッテリー上がりを起こす可能性があります。十分にバッテリーが充電されていることを確認してください。



上記設定手順 **3**、**4** の測定に要する時間は各5分～10分程度です。

SFC（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。



- 次のとき、SFCは設定できません。
 - ・ 5.1 ch等のマルチチャンネルソースDVD再生時
 - ・ アナログで録音しているとき
 - ・ Dolby Pro Logic II が“MOVIE”、または“MUSIC” に設定されているとき
（「Dolby Pro Logic IIを設定する」348 ページ参照）
- SFC（音場）レベルを調整中に、別のSFC（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

1 SOUND 調整画面で **SFC** にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	SFC OFF

4. 音質の調整

SFC（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのSFC（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、▲、または▼ にタッチします。

2 調整した音場モードを“ピーッ”と音がするまでタッチします。



SFC（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているSFC（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。



調整レベルは-5～+5の11段階です。

EQ (イコライザ) の調整

イコライザカーブを選択する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 SOUND 調整画面で **EQ** にタッチします。



2 **EQ1** ~ **EQ5**、**FLAT** のいずれかにタッチすると、下記の音質モードになります。

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

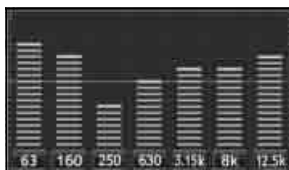


EQ1



高域を強調したパターン

EQ2



低域高域を強調したパターン

EQ3



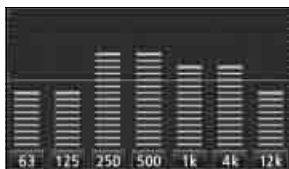
低域を強調したパターン

EQ4



低域高域を少し強調したパターン

EQ5



ボーカル帯域を強調したパターン

FLAT



EQ補正なし

4. 音質の調整

イコライザカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整し、記憶させることができます。本機は、7バンドのパラメトリックイコライザで、中心周波数や周波数レベル、Qカーブ（帯域幅）を調整することができます。

1 各バンドの周波数にタッチして、調整したい周波数（中心周波数）を選択します。

- タッチすることにより中心周波数が切り替わります。
- 各バンドと選択できる中心周波数については下記を参照してください。



バンド	中心周波数 (Hz)
1	63→80→100
2	125→160→200
3	250→315→400→500
4	630→800→1k→1.25k
5	1.6k→2k→2.5k→3.15k
6	4k→5k→6.3k→8k
7	10k→12.5k→16k

2 指で、調整したい周波数レベルの高さにタッチします。

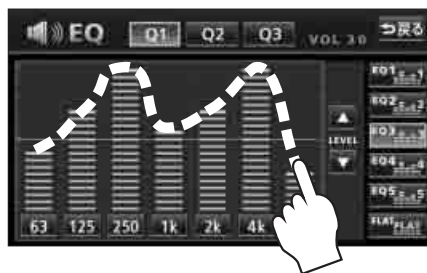
- ▲、または ▼ にタッチして、微調整することができます。タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、または ▼ にタッチしてください。

- **FLAT** にタッチすると、センター値にもどります。

3 **Q1**、**Q2**、**Q3** のいずれかにタッチして、Qカーブパターンを選択します。

- 各バンドごとに Q カーブパターンを選択することができます。

スイッチ	Qカーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）



4 各バンドごとに **1** ～ **3** の操作を繰り返します。



- 周波数レベルは -10～+10 の 21 段階です。
- 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR 機器など）を接続する場合、外部入力機器の EQ 設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ 設定レベルを低くしてください。

5 記憶させたいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- イコライザの調整値が記憶されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



イコライザの調整値の呼び出し

記憶したイコライザの調整値を呼び出します。

1 記憶したスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** にタッチします。

- イコライザの調整値が呼び出されます。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザの調整値を初期値にもどすことができます。

1 **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶した **EQ1** ～ **EQ5** の調整値が初期値にリセットされます。

イコライザを自動で調整する

本機に別売の測定用マイクを接続すると、車室内の周波数特性を測定し、そのデータに基づいて乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動で調整することができます。

1 別売の測定用マイクをAUX (RCA) 端子※のLchに接続します。

- マイクの本体は、実際の耳の位置に合わせて、ヘッドレスト等へ取り付けてください。(取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。)

2 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」(335 ページ)を参照してください。

3 AUTO EQの **MEASURE** にタッチします。

- 調整開始まで 10 秒間カウントダウンされます。その間に車外に出てください。
- 10 秒後、測定音をスピーカーから出力し、イコライザの自動調整を開始します。
- **キャンセル** にタッチすると、測定を中止します。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



※ AUX 端子と VTR 入力の音声端子は共用です。

4. 音質の調整

POS（ポジショニングセレクター）の調整

乗車人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。



POS（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

ポジションを設定する

1 SOUND調整画面で **POS** にタッチします。



2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションに黄色の枠が表示されます。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場

FADER BALANCE (音量バランス) の調整



FADER BALANCE (音量バランス) は、POS (ポジショニングセレクター) と同時に設定できません。

- 1 SOUND調整画面で **POS** にタッチします。

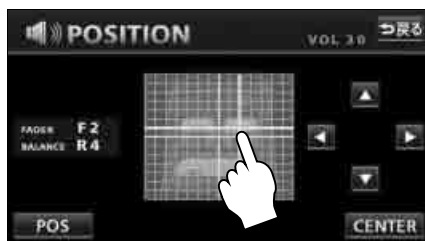


- 2 ポジション設定画面で、**FADER BALANCE** にタッチします。



- 3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、▲、▼、◀、または▶ にタッチします。タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼、◀、または▶ にタッチしてください。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- **CENTER** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が0になります。)



調整レベルはF (フロント) 側、R (リヤ) 側、L (左) 側、R (右) 側各15段階です。

4. 音質の調整

音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。



ハーモナイザー機能は、MP3/WMA 音楽ディスクを再生しているときおよびソースが iPod のときに効果があります。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（335 ページ）を参照してください。

2 HARMONIZERの **LOW**、**HI**、または **OFF** にタッチします。

- **LOW**：補正効果が小さい
- **HI**：補正効果が大きい
- **OFF**：補正なし
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



LOUDNESSの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（335 ページ）を参照してください。

2 LOUDNESSの **ON**、または **OFF** にタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファの設定

サブウーファを接続したときの位相切り替え（出力タイミングの切り替え）や出力調整を設定します。



スピーカーサイズの設定（351 ページ）で、WOOFERが“NO”に設定されているときは、操作できません。

位相を切り替える（Phase Control）

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカースの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。車内条件に合わせて位相を設定することができます。

- 1 SOUND 調整画面で、PHASE CONTROLの **NORMAL**、または **REVERSE** にタッチします。

- **NORMAL**: 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする

- **REVERSE**: 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファの出力を調整する

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

- 1 SOUND 調整画面で、WOOFER LEVELの ▲、または ▼ にタッチします。



- 2 **戻る** にタッチします。



出力レベルは -10 ~ +10 の 21 段階です。

4. 音質の調整

サラウンドシステムの設定

本機は、Dolby Digital (5.1ch)、DTS (5.1ch)、LPCM、Dolby Pro Logic IIに対応しており、限られた空間でも、臨場感にあふれるサウンドを楽しむことができます。

ch (チャンネル)・・・同時に再生することができる音源の数

Dolby Pro Logic IIを設定する

Dolby Pro Logic IIは、ステレオ(2ch)で録音されている音声を5.1chに拡張して、豊かな臨場感で再生することができます。また、再生するメディアに合わせてモードを選択することができます。



チェック

次のとき、Dolby Pro Logic II の MOVIE / MUSIC を設定できません。MOVIE / MUSICに設定していても自動的に"OFF 4ch"の音声出力になります。

- ・オーディオソースがAM、またはFMのとき
- ・DTS CD、DTS DVD再生時
- ・5.1ch等のマルチチャンネルソースDVD再生時

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」(335 ページ)を参照してください。

2 Dolby ProLogic IIのモードにタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



タッチスイッチ	効果
MOVIE	ステレオ (2ch) で録音されたDVDやVTRを再生するときに選択すると、効果的です。
MUSIC	音楽CDを再生するときに選択すると、効果的です。
OFF 4ch	Dolby Pro Logic IIの効果をOFFにします。ステレオ (2ch) の音声を4スピーカー (4ch) で再生します。
OFF 2ch	Dolby Pro Logic IIの効果をOFFにします。ステレオ (2ch) で再生します。



各スピーカーサイズの設定結果によっては、サブウーファから音声出力されない場合があります。

CENTER WIDTHを設定する

Dolby Pro Logic IIの設定がMUSICおよびセンタースピーカーの設定がLARGE、またはSMALLに設定されている場合、センタースピーカーからの音声を左右のフロントスピーカーに振り分け、センターの音像定位を調整することができます。

- 1 SOUND調整画面で、CENTER WIDTHの ▲、または ▼ にタッチします。
- ▲: フロントスピーカーに振り分けるレベルを大きくします。(レベルが最大値(7)になると、センターの音声は左右のフロントスピーカーに振り分けられます。)
- ▼: フロントスピーカーに振り分けるレベルを小さくします。(レベルが最小値(0)になると、センターの音声はセンタースピーカーのみに出力されます。)
- 調整完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



COMPRESSIONを調整する

Dolby Digital対応のディスクを再生する場合に、音域の幅(最大値と最小値の差)を調整することができます。COMPRESSIONレベルが大きくなると、音域の幅が狭くなり、効果音などが大きい場面でも会話やセリフなどが聞きとりやすくなります。

- 1 SETTING画面を表示します。
- 「音質調整画面の表示」(335 ページ) を参照してください。
- 2 COMPRESSIONの MAX、MIN、または OFF にタッチします。
- MAX: 効果を最大にする
- MIN: 効果を最小にする
- OFF: 効果なし
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



CENTER WIDTHの調整レベルは0～7の8段階です。

4. 音質の調整

CENTER LEVELを調整する

センタースピーカーから聞こえる音の出力レベルを調整して、会話やセリフなどを聞きとりやすくすることができます。



チェック

スピーカーサイズの設定（次ページ）でCENTERが“NONE”に設定されているときは、CENTER LEVELを調整できません。

1 SOUND調整画面で、CENTER LEVELの ▲、または ▼ にタッチします。

● 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



REAR LEVELを調整する

リアスピーカーから聞こえる音の出力レベルを調整することができます。



チェック

スピーカーサイズの設定（次ページ）でREARが“NONE”に設定されているときは、REAR LEVELを調整できません。

1 SOUND調整画面で、REAR LEVELの ▲、または ▼ にタッチします。

● 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



出力レベルは-10～+10の21段階です。

スピーカーの調整

各スピーカーからお聞きになる位置までの距離調整（タイムアライメント）や各スピーカーの出力調整により、全体的な音のバランスを調整し、理想的な音像定位を創り出すことができます。



チェック

- スピーカーサイズおよび WOOFER（ウーファ）の接続は必ず設定してください。お車のスピーカーに合わせて設定していないと、音声出力されない場合があります。
- フロントスピーカーの接続を無しにすることはできません。
- “NONE”、または “NO” に設定したときは、スピーカーのタイムアライメントおよび出力レベルの調整ができません。

スピーカーサイズを設定する

お車のスピーカーサイズを設定することができます。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（335 ページ）を参照してください。



2 SP SETTING にタッチします。



3 スピーカーサイズおよび WOOFER（ウーファ）の有無を選択します。

- 各タッチスイッチはタッチすることにより下記のように切り替わります。
- 各スピーカーの設定と機能については、次ページを参照してください。



タッチスイッチ	スピーカーサイズの切り替わり方
FRONT	LARGE ↔ SMALL
CENTER	LARGE → SMALL
REAR	← NONE
WOOFER	YES ↔ NO

4. 音質の調整

各スピーカーの設定と機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機能
FRONT (フロントスピーカー)	—	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
CENTER (センタースピーカー)	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
REAR (リヤスピーカー)	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
WOOFER (ウーファ)	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。



モノラル方式のDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続している場合は、CENTERを“NONE”に設定してください。センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

タイムアライメントの調整

それぞれのスピーカーごとに遅延時間を調整することで、リスニングポジションによる音の定位のズレを補正することができます。また、別売の測定用マイクを使用して、自動で調整することができます。



POS（ポジショニングセレクト）の設定で、シートが選択されていると、タイムアライメントの調整をすることができません。

手で調整する

1

SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（335 ページ）を参照してください。

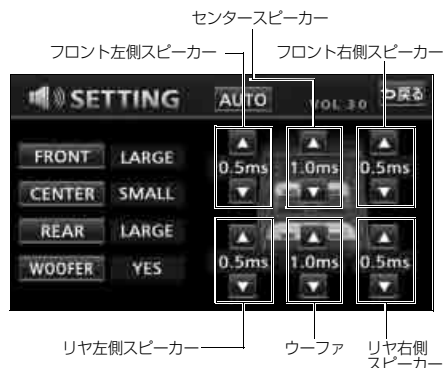
2

SP SETTING にタッチします。

3

▲、または▼ にタッチして、遅延時間を設定します。

- 設定範囲は0～10.0ms です。遅延時間を大きくすると、スピーカーから出る音が遅れて耳に届くようになります。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



遅延時間の算出方法は次のようになります。

$$A = (B - C) / 34$$

A: 遅延時間 (ms)

B: リスニングポジションから一番遠いスピーカーまでの距離 (cm)

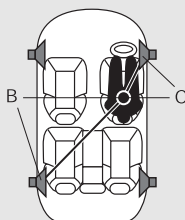
C: リスニングポジションから調整する各スピーカーまでの距離 (cm)

(例) リスニングポジション: 運転席 (右)

B: 200 (cm)

C: 50 (cm)

$$\text{遅延時間} = 200 (\text{cm}) - 50 (\text{cm}) \div 34 \div 4.4 (\text{ms})$$



4. 音質の調整

自動で調整する



チェック

サブウーファは、タイムアライメントの自動調整をすることができません。

1 別売の測定用マイクをAUX (RCA) 端子※のLchに接続します。

- マイクの本体は、実際の耳の位置に合わせて、ヘッドレスト等へ取り付けてください。(取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。)

2 スピーカー設定画面で **AUTO** にタッチします。

- 調整開始まで 10 秒間カウントダウンされます。その間に車外に出てください。
- 10 秒後、測定音をスピーカーから出力し、タイムアライメントの自動調整を開始します。
- **キャンセル** にタッチすると、測定を中止します。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



※ AUX 端子と VTR 入力の音声端子は共用です。

出力レベルの調整



POS（ポジショニングセクター）の設定で、シートが選択されていると、ウーファ以外の各スピーカー出力レベルは調整できません。POS（ポジショニングセクター）を“OFF”に切り替えてから設定してください。（「POS（ポジショニングセクター）の調整」344ページ参照）

1 SETTING画面を表示します。

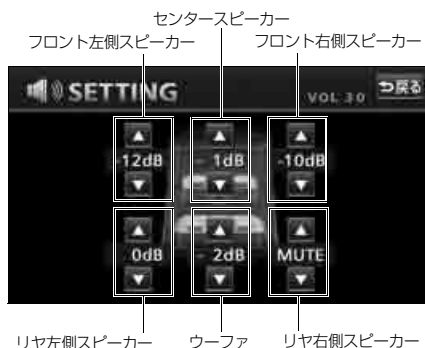
- 「音質調整画面の表示」（335 ページ）を参照してください。

2 **SP LEVEL** にタッチします。

- 各スピーカーからレベル調整用のノイズが周期的に出力されます。その音が一定に聞こえることを目安に調整してください。

3 ▲、または ▼ にタッチして、各スピーカーの出力レベルを設定します。

- 設定範囲は、－30～0dB です。レベル数値が小さくなると、スピーカーから出力される音量が小さくなります。
- MUTE に設定すると、スピーカーから出力されません。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります



5. 画面の設定

操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくしたり、映像画面時の画面モードを設定することができます。

タッチスイッチの設定

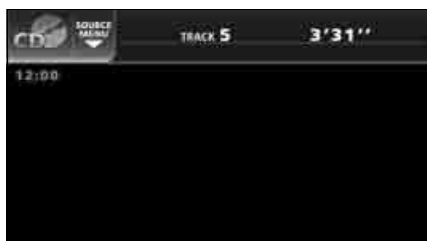
画面スイッチの表示切り替えについて

オーディオ操作画面や、設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

- 1 オーディオ操作画面や、設定画面で、**OFF** にタッチします。



- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。



機能スイッチの表示について

オーディオやDTV操作画面、ワンセグ設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

- 1 **機能** にタッチします。

- DTV操作画面では **エリア**、ワンセグ操作画面で **設定** にタッチすると、**機能** が表示されます。



- **▼** にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。



機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。

時計表示の切り替え

サブディスプレイに時計を表示することができます。



時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。(操作することはできません。)

1

画質 を1秒以上押します。

- **画質** を押すごとに、サブディスプレイに表示されている周波数やトラック番号と時計の表示が切り替わります。

cenote

● REC



5. 画面の設定

画面モード切り替え



チェック

DVD・VTR設定画面で画面モードを切り替えることができます。

1 **ワイドモード** にタッチします。

- **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、**NEXT**、**設定** の順にタッチ

VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または**ワイド3** にタッチします。



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



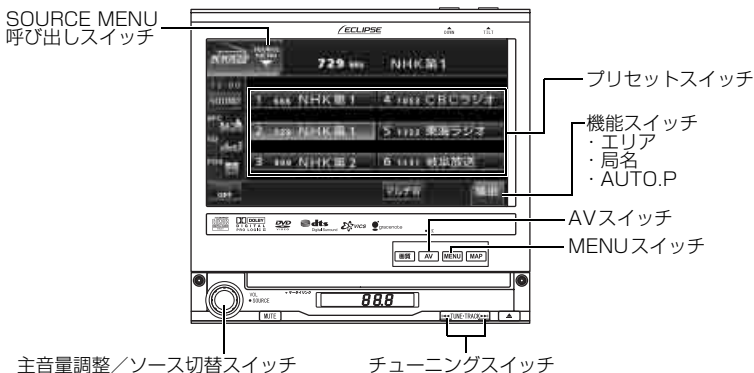
■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1. ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 AMラジオを受信するときはAMを、FMラジオを受信するときはFMを選択します。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 、または を押します。

- (右側) : 1 ステップずつ上がる
 (左側) : 1 ステップずつ下がる
 (1 ステップ : AM 9kHz、FM 0.1MHz)

自動で選ぶ

1 、または を“ピッ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「放送局を記憶する」(次ページ)を参照してください。



- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- ラジオアンテナがオートアンテナの場合、強制的にアンテナを下げるができます。詳しくは「ラジオアンテナの設定」(73 ページ)を参照してください。

1. ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する



“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。表示されているときは **AUTO.P**、または **エリア**（次ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **機能** にタッチします。

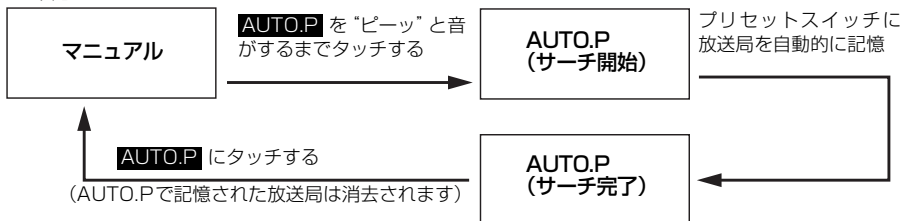
2 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が点滅し、自動的に選局を始めます。“ピツピツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、マニュアルで記憶した放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

複数の放送局が同じ周波数を使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。



重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。

局名重複インジケータ



ラジオを止める

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39ページ)、「ソースの切り替え方」(329ページ)を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

2. CD プレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

1 CDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

●「ソースの切り替え方」(329 ページ)を参照してください。

2 **DISC** (ディスプレイ立ち上げ時)、またはCD (ディスプレイ収納時)を選択します。

● 再生を始めます。



- CD-TEXT や Gracenote 音楽認識サービスなど、タイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
ジャケット写真を表示している場合の表示文字数は半角28文字、全角14文字、ジャケット写真を表示していない場合の表示文字数は半角32文字、全角16文字です。
- CD-R/RW のCD-TEXT は表示できない場合があります。
- 再生している音楽 CD にタイトルや曲名などが収録されていなくても、本機のハードディスクにある Gracenote メディアデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
- 録音中は、本機の Gracenote メディアデータベースに収録されている情報のみ表示することができます。(CD-TEXT は表示できません)
- 再生している音楽CDに該当するジャケット写真データが、本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。(ただし表示が可能な期限内)
- MUSIC JUKE は、デジタル録音モードの初期設定が AUTO に設定されているので、再生が始まると同時に自動で録音を開始します。**AV** を 1 秒以上押すと録音を停止します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。「MUSIC JUKEへの録音」(398 ページ参照)

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 、または  を押します。

-  (右側) : 次曲を選ぶとき
 (左側) : 頭出し・前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側) : 曲を進めるとき
 (左側) : 曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

同じ曲を繰り返し聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返しします。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- いま聞いている CD の全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。



ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

2. CD プレーヤーの使い方

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイトへ接続することができます。



2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

- 1 ジャケット写真が表示されているときに、**バーコード** にタッチします。



- 2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



CDを止める

- 1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39ページ)、「ソースの切り替え方」(329ページ)を参照してください。

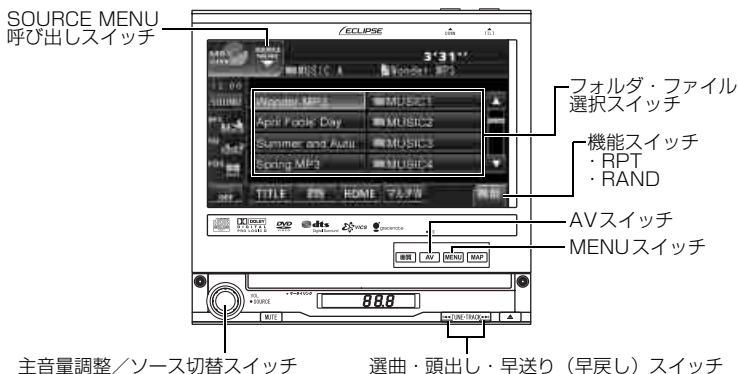
- 2 **OFF** にタッチします。



- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯サイトは株式会社メディアクリックのサービスです。
- 携帯電話の通信料金はおお客様のご負担になります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- MUSIC JUKEへ録音中に、CDを止めても録音は継続されます。
録音を停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。

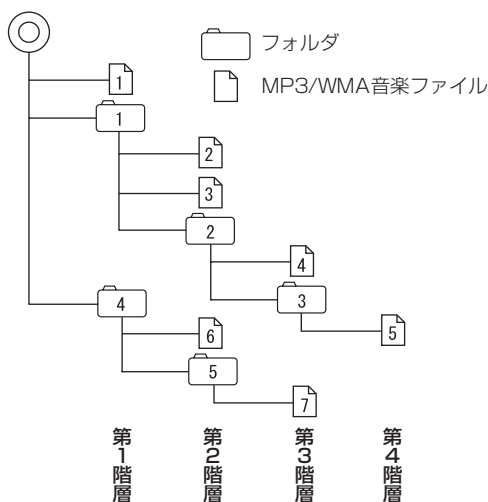
3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



〈MP3/WMA ファイル作成例〉

ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- 音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角 12 文字まで、ファイル名は半角 14 文字まで表示できます。
TITLE にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。（「音楽ファイル情報などを表示する」368ページ参照）
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA を聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込むと、再生を始めます。

- 1 CD-R/RW が差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

●「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

- 2 **DISC** (ディスプレイ立ち上げ時)、またはCMP (ディスプレイ収納時) を選択します。

- 再生を始めます。
- 通常は、→→→→→→ の順に再生します。(前ページ参照)
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語 (SJIS コード) の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

- 1 フォルダ・ファイル選択スイッチのフォルダ名にタッチします。

- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

- 1 音楽ファイル名にタッチします。
- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
 - 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、、 にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

- 1 、または  を押します。

-  (右側)：次の音楽ファイルを選ぶとき
-  (左側)：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



MP3/WMA ファイル作成例については前ページを参照してください。

画面に 、、 の第 2 階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに  にタッチすると、、、 の第 1 階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

早送り・早戻しする

1 、または を“ピッ”と音がするまで押します。

- (右側) : 曲を進めるとき
 - (左側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 **HOME** にタッチします。

同じ音楽ファイルを繰り返し再生して聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返し再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。



- MP3/WMA ファイル作成例については365 ページを参照してください。
- 第3階層の を再生中、画面に 、、 の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、、 の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。
- ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

音楽ファイル情報などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとフォルダ・ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

MP3/WMA を止める

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39 ページ)、「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3 は半角文字では最大 30 文字、全角文字では最大 15 文字です。WMA は半角、全角とも最大 15 文字です。

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。
WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 同様、ファイルを小さいサイズに圧縮することができます。
本機で使用する MP3/WMA ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG Audio レイヤ3 (= MPEG1 Audio Layer III)
- 対応サンプリング周波数 : 16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 8、16、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
※ VBRに対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : モノラル、ステレオ、ジョイント、デュアル

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格 : WMA Ver.7、8、9
- 対応サンプリング周波数 : 44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)
※ VBRに対応しています。(48～192kbps)
※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
※ サンプリング周波数が48kHz、ビットレートが48kbpsの組み合わせで記録されたWMA ファイルは、再生できません。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMA ファイルには、ID3 タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

■ ID3 タグ/WMA タグ

		MP3				WMA
		Ver1.0	Ver1.1	Ver2.2	Ver2.3	Ver9
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角30文字				全角15文字 半角15文字
	ARTIST					
	ALBUM					
表示できる文字		英数字 (S-JISコード) 日本語 (S-JISコード)				英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode (UTF-16 BE BOMなし))

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R およびCD-RW です。DVD±RおよびDVD±RWに記録されたMP3/WMAは再生できません。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できないことや音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)
- ファイルフォーマット

■ ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角30文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角30文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

■ 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角128文字	半角64文字※ ¹
ファイル名（最大文字数）	半角128文字※ ²	半角64文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（unicode）

※1 区切り文字“.”含む

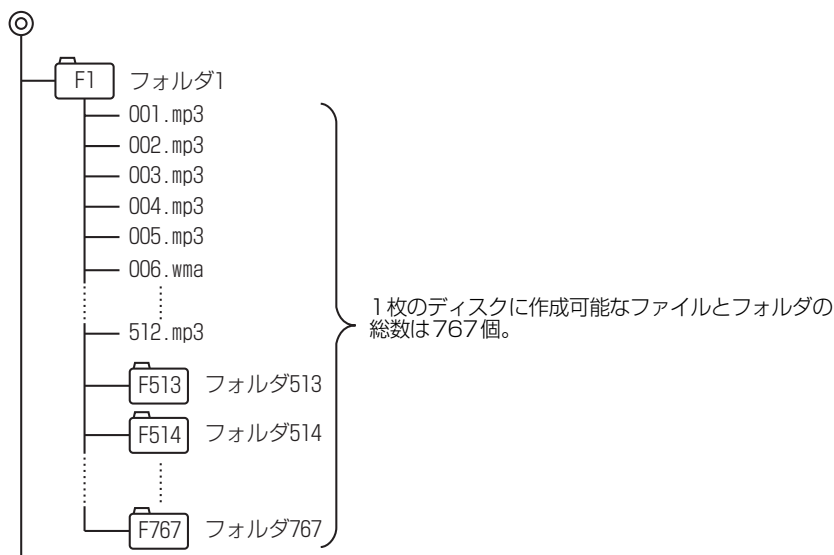
※2 区切り文字“.”＋拡張子含む

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数：767個
- 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：255個
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイル数：512個



音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。**TITLE**にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。（「音楽ファイル情報などを表示する」368ページ参照）

< MP3/WMA対応CDの構造例 >



3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3” / “wma” が付いたものだけです。MP3/WMA ファイルには、“mp3” / “wma” の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3” / “wma” は大文字でも小文字でもかまいません。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。（消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。）
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。（例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません）。
- CD-R、CD-RW は、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。（設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください）

MP3/WMAの再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMA データを読み込み中です”が表示されます。（最大10分程度）なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMA ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示



MP3/WMA 以外のファイルに“mp3” / “wma”の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに、“mp3” / “wma”の拡張子を付けしないでください。

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CD を入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/RWに書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されているCD- R/RW ドライブを介してCD-R/RW に書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル 1 またはレベル2、ROMEO、JOLIETという記録フォーマットに設定して書き込みます。



- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

4. CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CD チェンジャーに CD が挿入されていない場合には、CD チェンジャーモードに切り替えることができません。

CDを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

●「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 CD チェンジャー、または CD チェンジャーデッキ 1 台を接続している場合は **CD CHANGER** (ディスプレイ立ち上げ時)、または CDC1 (ディスプレイ収納時) を選択します。2 台を接続している場合は **CD CHANGER**、または **CD CHANGER2** (ディスプレイ立ち上げ時)、CDC1、または CDC2 (ディスプレイ収納時) を選択します。

聞きたい曲を選ぶ

「CD プレーヤーの使い方」(363 ページ) を参照してください。

早送り・早戻しする

「CD プレーヤーの使い方」(363 ページ) を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。



ディスク切り替えスイッチは、CD チェンジャーに挿入できる CD の枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(363 ページ) を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **DISC RPT** にタッチします。

- 再生中のCDを繰り返し再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(363 ページ) を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **DISC RAND** にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。

CDを止める

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39 ページ)、「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



ランダムに開く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

5. MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 **MD CHANGER** (ディスプレイ立ち上げ時)、または MDC (ディスプレイ収納時) を選択します。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 、または を押します。

- (右側)：次曲を選ぶとき
- (左側)：頭出し・前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

- (右側)：曲を進めるとき
 - (左側)：曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。



- MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
TITLE にタッチすると、半角文字では最大32文字まで表示できます。
- ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

聞きたい曲や同じMDを 繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返しします。もう一度 **RPT** をタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 機能スイッチ表示画面で、
DISC RPT にタッチします。

- 再生中のMDを繰り返し再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- いま聞いている MD の全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、
DISC RAND にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。



ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

5. MD チェンジャーの使い方

MDのタイトルや 曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MDを止める

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39ページ)、「ソースの切り替え方」(329ページ)を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

MUSIC JUKEの概要

MUSIC JUKEはCDやラジオなどで再生されている音楽・音声をATRAC3（アトラックスリー）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（プレイリスト）を自動で作成するデジタル録音*と、CDプレーヤー以外のソースから録音し、録音したソースのプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

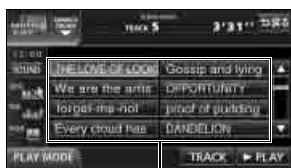
※ 該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

MUSIC JUKEの構成について

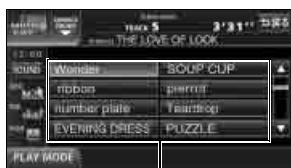
MUSIC JUKEは、録音された音楽・音声を5種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード



プレイリスト

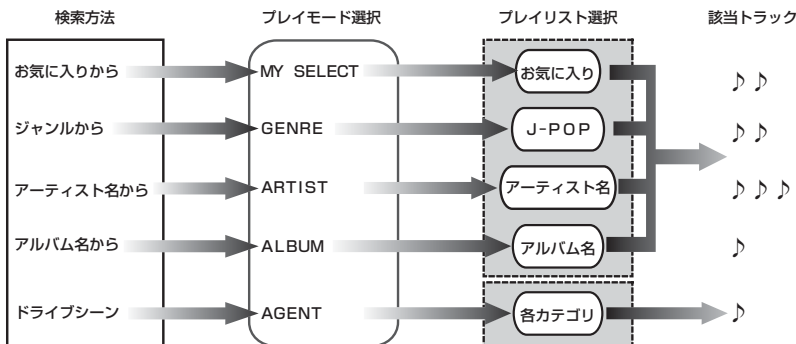


トラック

録音した音楽（トラック）を5つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。

録音した音楽、音声データのタイトル



1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC JUKEに保存します。

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別、カテゴリ別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
ALBUM	● 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合はソース／ALBUM／番号がプレイリスト名になります。 ● アルバム名から選曲することができます。
MY SELECT	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。
ARTIST	● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ● 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 ● アーティスト名から選曲することができます。また、同じアーティストのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
GENRE	● オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ● ジャンルから選曲することができます。また、同じジャンルのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
AGENT	● プレイリストはありません。 ● オートタイトリング機能で、録音された曲のカテゴリ（曲イメージ・シーン・年代・タイアップ／イベント）が付与された場合、カテゴリ別で選曲することができます。



MUSIC JUKEには、最大999個*のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大99曲*までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ3000曲*です。

※ 録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバム（アルバム/シングルディスク）をMUSIC JUKEにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、カテゴリ、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベース、およびメディアクリックデータベースを使用しています。

Gracenote メディアデータベースについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®]により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ: Copyright© 2000 - 2009 Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - 2009 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDb は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate



- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

メディアクリックデータベース (MCDB) について

- MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- MCDBのロゴは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- メディアクリックは株式会社メディアクリックの登録商標です。

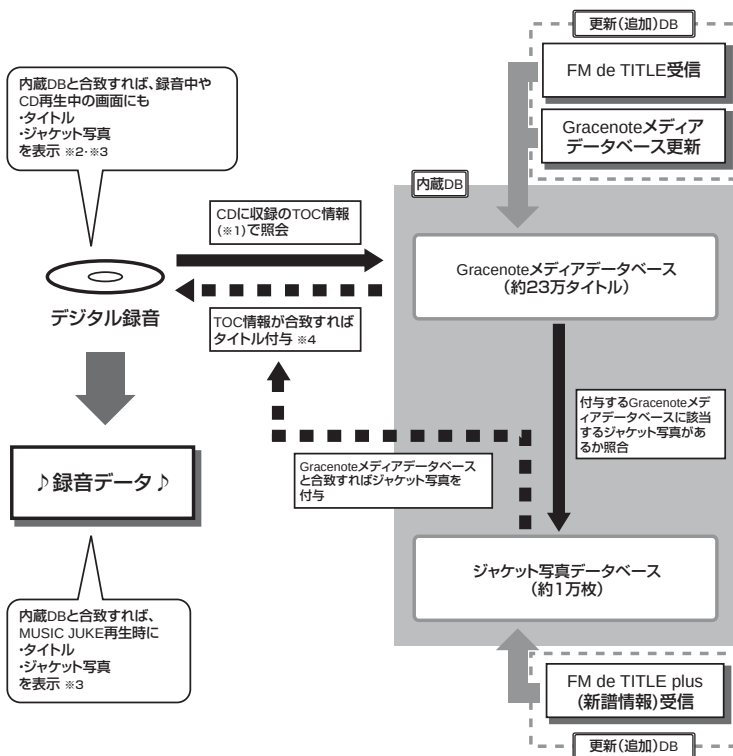
MCDB

- 本製品には、株式会社メディアクリックが提供する音楽情報に関するデータベースであるMCDBが収録されています。MCDBは株式会社メディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースであり、MCDBサービスはMCDBを使用して音楽に関する情報を提供するサービスです。
この製品を使用してMCDBサービスを利用する際は、以下の項目について同意したものとみなされます。
- MCDBはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。
- MCDBの内容は、お客様の趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBは個人の使用のみに使うこと、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- MCDBへのアクセスは、商品が提供する機能のみでアクセスすることができます。
本製品が提供する機能以外でのMCDBへのアクセスを禁止します。
- 本製品に収録されたMCDBは、第三者に譲渡・コピー・転送する事を禁止します。
- お客様が上記同意事項に違反した場合には、弊社はMCDBサービスの利用を終了させていただきます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法関連諸法規、関連国際条約等で保護されています。
- 収録されているMCDBは2008年12月までのデータです。

オートタイトリング機能について

本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※ オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。



※1: 「TOC情報」とは、CDに録音されている曲数や再生時間等の目次情報です。

※2: 「TOC情報」でGracenoteメディアデータベースと照会した際に複数のタイトル候補があった場合は、録音中の画面にはタイトル・ジャケット写真共に表示されません。（CD再生中も同じ）

※3: 類似した「TOC情報」を持つCDがあった場合には、違うCDタイトルが付与されることがあります。（特にシングルCDは曲数が少ないために、類似した「TOC情報」を持つCDが市場に多く存在します。）

※4: 同一のCDアルバムでも、製造時期・製造場所などにより、「TOC情報」に違いが生じることがあるため、録音されたCDアルバムと、Gracenoteメディアデータベースが必ずしも一致するとは限りません。このため、Gracenoteメディアデータベース内に、録音されたアルバムのタイトル情報がなかったとしても、タイトル付与されない場合があります。



- デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。
アルバムプレイモード…ソース／ALBUM／4桁の番号
トラックプレイモード…ソース／Track 2桁の番号
- FM de TITLE および FM de TITLE plus の受信については、「**タイトル情報の受信について**」（388 ページ）を参照してください。
- Gracenote メディアデータベースおよびジャケット写真データベースの更新については、「**データベースの更新について**」（386 ページ）を参照してください。

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

ジャケット写真について

- 格納されているジャケット写真は、本製品で使用する事を許諾したCDのジャケット写真のみレコード会社から提供されたもので、それ以外のCDについてはジャケット写真の提供は行われていません。
- 同一曲収録CD（通常盤、初回限定盤など）において、ジャケット写真がそれぞれ異なる場合があります。このような場合、本製品はレコード会社より提供されたものが表示されます。お客様が、お持ちのCDのジャケット写真と必ず同じになるとは限りません。
- ジャケット写真は、本製品内のみで使用が可能です。
- 本製品に格納されているジャケット写真をコピー・転送することを禁止いたします。
- 本製品に格納されているジャケット写真を商用として利用することは、いかなる場合でも禁止いたします。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、本製品に格納されているジャケット写真の利用を終了させていただく事が出来ます。
- 本製品に格納されているジャケット写真の著作権は、各制作者が有しており、著作権法、関連諸法、関連国際条約等で保護されています。

データベース情報の表示について

ハードディスクに収録されているタイトルデータベース（Gracenoteメディアデータベースおよびメディアクリックデータベース）のバージョン情報を見ることができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 データベースのバージョンの **バージョン情報** にタッチします。



4 **Gracenote Database**、または **MCDB** にタッチします。

- データベース情報を表示します。



最大 60 個まで履歴を残すことができます。60 個を超える場合、最も古いものから順に削除します。

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

データベースの更新について

本機のデータベース（Gracenote メディアデータベース、およびメディアクリックデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。

Gracenote メディアデータベースやメディアクリックデータベースの更新時期やデータの提供については、<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/> をご覧ください。



チェック

- 更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でおこなってください。
- AUDIOがOFFになっていることを確認します。

Gracenote メディアデータベースを更新する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 更新データの書き込まれたCD-R/RWを差し込みます。

4 Gracenote Databaseの**CDでの更新** にタッチします。

- 更新中画面が表示され、データベースの更新を開始します。
- 更新中は本機の操作をしないでください。
- 更新が完了すると、更新中のメッセージが消えます。



5 CD-R/RWを本機から取り出します。

6 お車のエンジンを切り、約15秒程度待ちます。

7 再度お車のエンジンをかけ、データベース情報を表示して更新情報が追加されているか確認します。

- 「データベース情報の表示について」（前ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 一度付与されたタイトル情報は、Gracenote メディアデータベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動で変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「**タイトル情報の再取得**」（420 ページ）を参照してください。
- 更新にかかる時間はバージョンにより異なります。

メディアクリックのデータベースを更新する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 更新データの書き込まれたCD-R/RWを差し込みます。

4 MCDBの **CDでの更新** にタッチします。

- データベースの更新を開始します。



1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

タイトル情報の受信について

本機は、JFN系列の放送局で放送されている「FM de TITLE」※（エフエム デ タイトル）、および「FM de TITLE plus」※（エフエム デ タイトル プラス）を受信することができます。受信できる内容と機能は下記になります。

	FM de TITLE	FM de TITLE plus
受信できる内容	CDタイトル	レコード会社から配信される新譜情報（ジャケット写真）
制限	なし	一部表示期限あり
保存件数	制限なし	制限なし
受信の通知	CD 情報インジケータ	新譜情報受信メッセージおよび新譜情報インジケータ
機能	音楽CDや音楽データ再生時、該当するCDタイトルを表示	音楽CDや音楽データ再生時、該当するジャケット写真を表示

※ 「FM de TITLE」、「FM de TITLE plus」は、FM多重放送を使い、CD楽曲データベース（CDタイトルや新譜情報）を無料で配信するサービスです。

- FM de TITLE が受信できる放送局については、「**FM de TITLE サービス放送局について**」（532 ページ）を参照してください。

タイトル情報の受信について

「**タイトル情報の受信**」（次ページ）のFM多重チューナー設定をVICSに設定している場合、下記のソースに切り替えるとタイトル情報が受信できなくなります。

- AM ラジオ、FM ラジオ（JFN系列を除く）に切り替えた場合
- オーディオ OFF の場合

受信したタイトル情報は「**タイトル情報の表示**」（次ページ）で確認することができます。画面には、最大 1000 個表示することができます。1000 個を超える場合は、古い順番に自動で画面から削除されますが、内蔵のハードディスクには保存されています。

タイトル情報の保存について

受信されたタイトル情報は、自動で本機のハードディスクに保存されますが、下記の場合、タイトル情報は仮保存された状態になります。この場合、手動でタイトル情報を保存してください。詳しくは、「**タイトル情報の更新**」（395 ページ）を参照してください。

- MUSIC JUKE で再生、録音、または編集作業を行った場合
- 壁紙（Pic-CLIP）を書き換えた場合
- CD-R/RW でデータベースを更新した場合
- ハードディスクに画像データを保存した場合
- 販売店にて地図データの書き換え作業を行った場合

ラジオ、CD 等のソースに切り替えると、自動でハードディスクへの保存が可能になります。

タイトル情報の表示について

再生、または録音時にタイトル情報が付与されなかった音楽は、FM de TITLE/FM de TITLE plus で該当するCDタイトルや新譜情報を受信しても自動で付与されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「**タイトル情報の再取得**」（420 ページ）を参照してください。

タイトル情報の受信

タイトル情報を配信している放送局を自動で選局し、受信します。

1 **MENU** を押します。

- ナビメニュー画面が表示されないときは、**NAVI** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。



3 FM多重チューナー設定の**CD情報** にタッチします。



タイトル情報の表示

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

CDタイトルを表示する

ハードディスクに保存されたCDタイトルを表示します。



保存されたCDタイトルの表示が可能になった場合、画面にCD情報インジケータを表示します。

CD情報インジケータ



1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。



- FM de TITILEは一度に配信する情報量が決まっています。一度受信・保存が完了し、次の配信まで受信するデータが無い場合、自動でVICS情報の受信に切り替わります。但し、エンジンスイッチをACCまたはONにするたびに、FM de TITILEの放送を受信します。
- FM de TITILE/FM de TITILE plus で配信されたCD情報や新譜情報は内容を100%保証するものではありません。製造時期や製造場所などにより、情報に違いが生じるため、実際に再生している音楽CDやデータと内容が異なる場合や表示できない場合があります。

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

2 タイトルチェック にタッチします。



3 表示したいタイトルにタッチします。

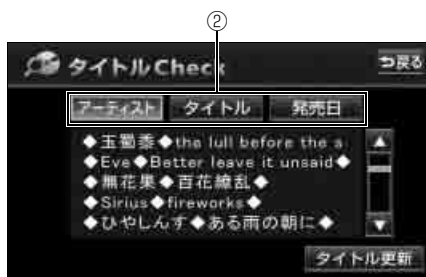
● CDタイトル表示画面を表示します。



■ CDタイトル画面の見方



● タイトルリスト画面



● CDタイトル表示画面

- ①放送局側が最初に配信した日付
受信した順に、上から新しいタイトルを表示しています。
- ②CDタイトルの並び替え
CDタイトルを、アーティスト、曲のタイトル、発売日で並び替えることができます。



CD タイトル表示画面で表示される文字数は、アーティスト名、タイトル名、発売日合わせて半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。

CD情報インジケータの表示を設定する

CDタイトルの表示が可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFを設定することができます。



チェック

CD タイトルを受信した場合は
、新譜情報を受信した場合は
が表示されます。(新譜情報に関しては次ページを参照してください。)

1**MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2**設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

**3**

CD情報インジケータの **ON**、または **OFF** にタッチします。

**4**

設定完了 にタッチします。



ワンポイント

- CDタイトルを受信した場合は、インジケータ（）の表示がONの場合でもインジケータが表示されてから約6秒以上経過すると表示が消えます。
- 新譜情報を受信した場合に表示されるインジケータ（）は、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にする、または受信した情報をすべて確認すると表示が消えます。「新譜情報を表示する」（392 ページ参照）

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

新譜情報を表示する

ハードディスクに保存された新譜情報（ジャケット写真）を表示します。新譜情報は、情報画面から確認する方法と、新譜情報受信メッセージ画面から確認する方法があります。画面の見方については390 ページを参照ください。



まだ表示していない新譜情報があると、“NEW” を表示します。

■ 情報メニュー画面から確認する

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

新譜情報 にタッチします。



3

表示したい新譜情報にタッチします。

- **一覧** にタッチすると、配信日別のタイトルリスト画面を表示します。



4

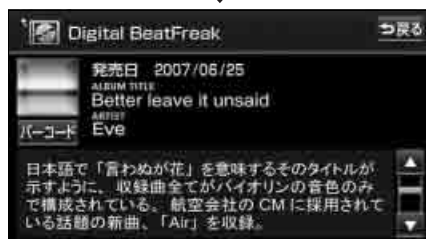
表示したいタイトルにタッチします。



5

表示したいCDタイトルにタッチします。

- 新譜情報画面を表示します。（走行中は操作・表示できません。）



■ 新譜情報受信メッセージ画面から確認する

新譜情報を受信、確認が可能になった場合、自動で新譜情報受信メッセージ画面を表示します。



1 **見る** にタッチします。

- 新譜情報リスト画面を表示します。

新譜情報受信メッセージの表示を設定する

新譜情報の表示が可能になったことをお知らせするメッセージ画面の表示ON/OFFを設定することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 新譜情報受信メッセージの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。



- 新譜情報（ジャケット写真）には表示できる有効期限（一部）があります。有効期限の過ぎた新譜情報は該当する音楽CDを再生しても表示することができません。但し、有効期限内に一度CDを差し込むと、音楽データ再生時、新譜情報を表示することができます。
- 新譜情報（ジャケット写真）の表示サイズは横112×縦112dotです。
- 受信した新譜情報（ジャケット写真）が正式版でない場合や不備があった場合、表示されません。

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

携帯電話で新譜情報を見る

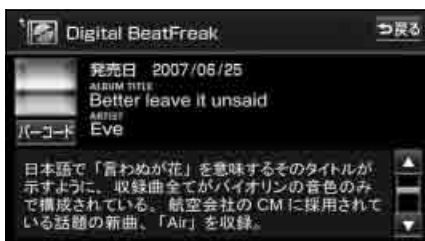
2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、新譜情報に関連する携帯サイトへ接続することができます。



チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

- 1 ジャケット表示画面で、**バーコード**にタッチします。



- 2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



ワンポイント

- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯サイトは株式会社メディアクリックのサービスです。
- 携帯電話の通信料金はおお客様のご負担になります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

タイトル情報の更新

「タイトル情報の保存について」(388 ページ) で、保存されなかった場合にタイトル情報を更新することができます。

CDタイトルを更新する

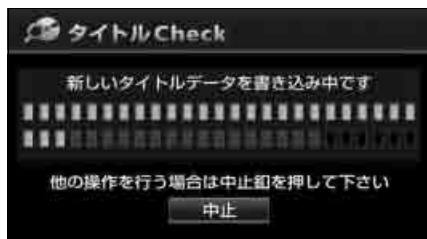
1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

3 **タイトル更新** にタッチします。

- CDタイトル更新画面が表示されます。
- 更新中は主音量の調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、タイトルリスト画面にもどります。



●CDタイトル更新画面

新譜情報を更新する

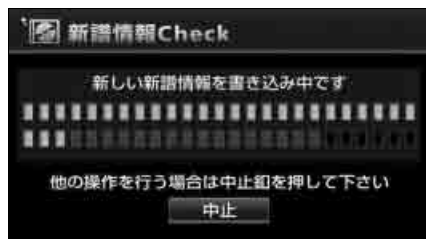
1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **新譜情報** にタッチします。

3 **更新** にタッチします。

- 新譜情報更新画面が表示されます。
- 更新中は主音量の調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、新譜情報リスト画面にもどります。



●新譜情報更新画面

1. MUSIC JUKE をお使いになる前に

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



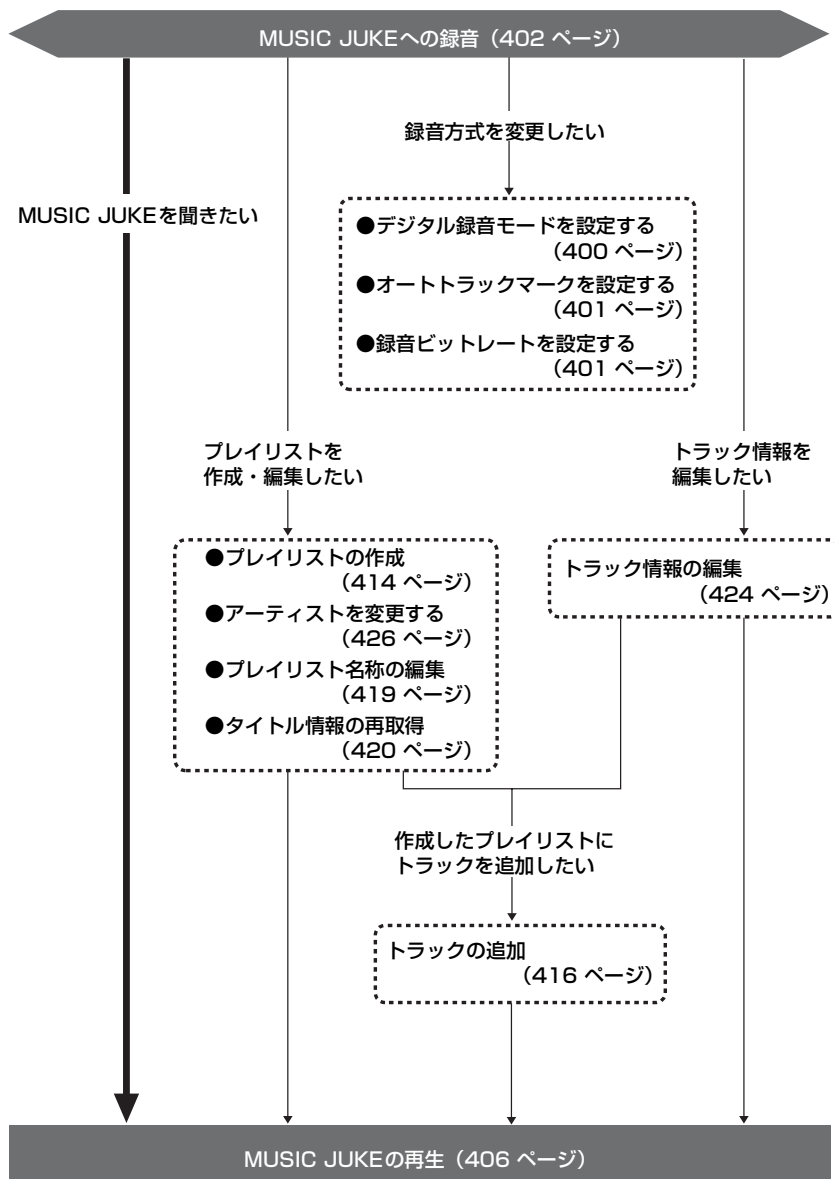
3 HDDの容量の **確認** にタッチします。

- ハードディスクの容量を表示します。



操作の流れについて

MUSIC JUKEへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC JUKEの聞き方などの操作を説明します。



2. MUSIC JUKE への録音

MUSIC JUKE への録音について

- 本機は、内蔵のCDプレーヤー、別売のCDチェンジャー・MDチェンジャーで再生している音楽や、ラジオ、VTR（音声）、iPodプレーヤーで放送している・再生している音楽・音声をMUSIC JUKEに録音することができます。
- MP3/WMA ファイル、DVD、ワンセグ、DTV、AUXから録音することはできません。

録音できるソースと録音方式について

MUSIC JUKEは、録音できるソースにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なソース
デジタル録音（4倍速録音）	CDプレーヤー（デジタル録音可能なCDのみ）
アナログ録音（等倍速録音）	FM、AM、VTR（音声）、iPodプレーヤー、CDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声 that 停止します。
 - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声 that 聞こえなくなります。
 - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。
- CDを録音開始後、録音された音を出力します。
録音が完了した後、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、ソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して出力します。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面にを表示します。
- 音飛びなどで、再度録音を開始する場合、画面に“R”を表示します。



MUSIC JUKEに録音した音楽情報については、著作権法上バックアップをおこなうことはできません。

デジタル録音（4倍速録音）について

- 本機のデジタル録音は、通常の速さで再生しながら、4 倍の速さで録音することができます。また、裏録音を行っているため、録音中に他のソースに切り替えることができます。詳しくは402 ページを参照してください。
- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音のため、CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。（ソースのアイコンの表示が替わります）
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、原則として下記のCDはデジタル録音方式で録音することができません。
 - ・ 音楽CDなどからデジタル録音したCD-RやCD-RW※
 - ・ 録音が禁止されている音楽CD※
- ※ **AV** を1秒以上押して、アナログ録音方式として録音することは可能です。
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
 - ・ 録音中にお車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合
 - ・ 録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。（録音モードの設定が **AUTO** の場合）
 - ・ エンジンスイッチをACCまたはONにした場合※¹
 - ・ CDを挿入した場合※²
- ※¹ 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする直前に録音中だった場合のみ、エンジンスイッチをONにすると録音を開始
- ※² 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：挿入したCDの最初から再生を開始
- 下記の場合、録音を継続します。
 - ・ 録音中にソースを切り替えた場合
 - ・ 録音中にオーディオをOFFにした場合
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、その後録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度ソースを切り替えた後、再度同じCDを再生してください。

アナログ録音（等倍速録音）について

- アナログ録音は、5 時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度 **AV** を1秒以上押して録音してください。
- アナログ録音中にお車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、録音を中止します。また、録音中、ソースを切り替えると録音は中止されます。

2. MUSIC JUKE への録音

録音方式の設定

MUSIC JUKEの録音方式を切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE 操作画面で **機能** 、
設定 の順にタッチします。

- MUSIC JUKE 設定画面が表示されます。
- MUSIC JUKE 設定画面から下記の設定を切り替えることができます。



● MUSIC JUKE 操作画面



● MUSIC JUKE 設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のAUTO、SELECTの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	422

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CDの差し込みと同時に録音を開始する **AUTO** 、または **AV** を1秒以上押し、録音したいトラック（曲）を選択する **SELECT** に切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE 操作画面で **機能** 、
設定 の順にタッチします。

- 2 デジタル録音モードの **AUTO** 、または **SELECT** にタッチします。



オートトラックマークを設定する

アナログ録音方式で録音する場合に、トラック（曲など）とトラックの間（区切り位置）を設定します。

- **ON** …… 曲と曲の間にある無音部分を区切り位置として、トラックを設定する。
CD以外のソースを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** …… 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。

1 MUSIC JUKE 操作画面で、**機能**、**設定** の順にタッチします。

2 オートトラックマークの **ON**、または **OFF** にタッチします。



録音ビットレートを設定する

アナログ録音方式で録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。デジタル録音時は、132kに固定されます。

1 MUSIC JUKE 操作画面で、**機能**、**設定** の順にタッチします。

2 録音ビットレートの **132k**、**105k**、または **66k** にタッチします。



オートトラックマークがONの場合でもトラックを分割できないことがあります。

2. MUSIC JUKE への録音

MUSIC JUKEへの録音

本機は、CDプレーヤーからMUSIC JUKEへ録音するデジタル録音と、CDプレーヤー以外のソースからMUSIC JUKEへ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CDの挿入と同時に自動で録音を開始するAUTO録音と

AV スイッチを1秒以上押して、録音したい曲を選んでから録音を開始するSELECT録音があります。

録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。(次ページ参照)

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	ソース (音声モード)	使用できないスイッチ	
		タッチスイッチ	パネルスイッチ
デジタル録音	CDプレーヤー	RPT RAND バーコード	▶▶ ※3 ◀◀
	MUSIC JUKE	RPT RAND PLAYLIST RPT PLAYLIST RAND PLAY MODE ※2 AGENT バーコード 設定 編集	▶▶ ※4 ◀◀
	CDプレーヤー以外 ※1	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、 CDプレーヤー、 iPodプレーヤー、 CDチェンジャー、 MDチェンジャー、 VTR	エリア AUTO.P RPT RAND TRACK SHUFFLE ALBUM SHUFFLE DISC RPT DISC RAND 各プリセットスイッチ、各ディスク切り替えスイッチ ワイドモード 標準 ワイド1 ワイド2 ワイド3	▶▶ ◀◀

※1 デジタル録音しながら、ソースをラジオやCDチェンジャー、MDチェンジャーに切り替えた場合。

※2 プレイモードのALBUMおよびMY SELECTは操作可能です。

※3 録音が完了した曲の前曲・次曲の切り替えは可能です。

※4 現在再生しているプレイリスト内の前曲・次曲の切り替えは可能です。

CDを再生しながら自動で録音する

CDを差し込むと、4倍速で録音します。(録音モードの設定が **AUTO** の場合)

1 CDを差し込みます。

- 自動で録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速(通常の速さ)で音楽が出力されます。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。(録音が完了している曲のみ)
- 録音を途中で停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。



■録音画面の見方



- ① **SOURCE MENU呼び出しスイッチ**
録音中はスイッチの表示が切り替わります。
- ② **録音マーク**
録音中に表示されます。
- ③ **録音トラック数確認マーク**
 - デジタルAUTO録音の場合
録音が完了したトラック数/音楽CDの全曲数
 - デジタルSELECT録音の場合
録音が完了したトラック数/録音の対象になっている曲数
- ④ **Retryマーク**
録音中に音飛びが発生し、再度録音を開始したときに表示されます。
- ⑤ **録音進捗バー**
録音の進捗をバーで表示します。



- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音(ATRAC3で圧縮された音声)のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- コピー許可されていないCD-R/RWや、CDプレーヤー以外*のソースからMUSIC JUKEに録音する場合はアナログ録音となり、手動操作でのみ録音することができます。
※ MP3/WMAは録音できません。デジタル録音が禁止されている音楽CDはアナログ録音のみ可能です。
- すでにCDが差し込まれているときに、ソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。**AV** を1秒以上押して録音を始めてください。(「CDの中から好みのトラック(曲)を録音する」次ページ参照)
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、「デジタル録音モードを設定する」(400ページ参照)で録音モードを **SELECT** に設定してください。

2. MUSIC JUKE への録音

CDの中から好みのトラック（曲）を録音する

お好みのトラック（曲）を選び、録音（4倍速）を開始します。（録音モードの設定が **SELECT** の場合）

1 CDを再生中に、**AV** を1秒以上押します。

2 録音したいトラック（曲）にタッチします。

- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選みたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- すでに録音が完了しているトラック（曲）は選べません。



3 **開始** にタッチします。



- 選んだトラック（曲）の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 選んだトラック（曲）の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック（曲）の再生は継続されます。（録音が完了した曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。（前ページ参照）



- 録音中の再生音は、MUSIC JUKE に録音された音（ATRAC3 で圧縮された音声）のため、CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- CD を差し込み、再生と同時に録音を開始する場合は、「**デジタル録音モードを設定する**」（400 ページ参照）で録音モードを **AUTO** に設定してください。

CDプレーヤー以外のソースから録音する

ラジオ、iPodプレーヤー、VTR、CDチェンジャー、MDチェンジャーを再生中、お好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するソースに切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

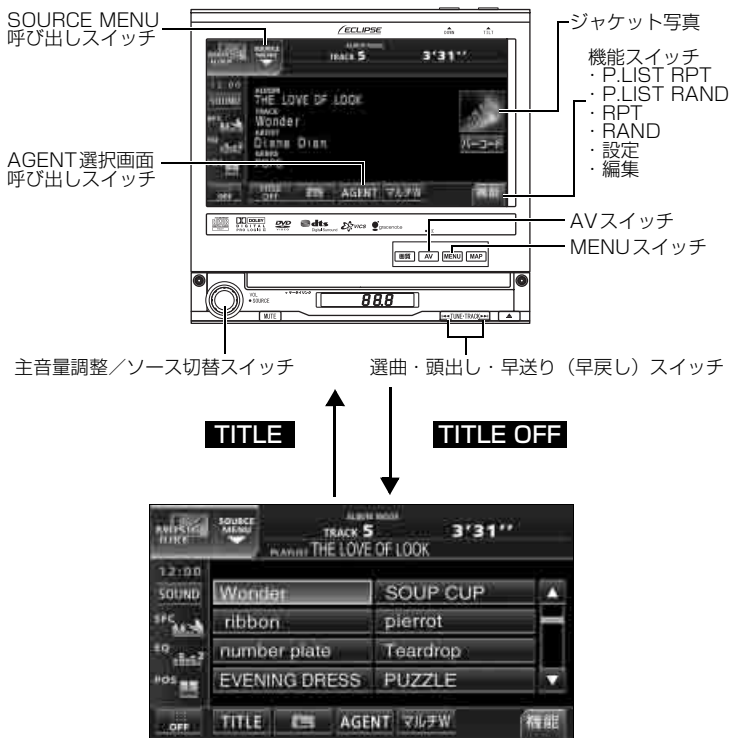
2 **AV** を1秒以上押します。

- MUSIC JUKEへの録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。
- 録音中は録音マークを表示します。(403 ページ参照)



3. MUSIC JUKEの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



MUSIC JUKEを聞く



再生しているプレイリストに該当するジャケット写真データが本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。（「**ジャケット写真の表示を設定する**」420ページ参照）MY SELECT、またはAGENTプレイモードで再生中はジャケット写真を表示することができません。

1 オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（329 ページ）を参照してください。

2 **MUSIC JUKE**（ディスプレイ立ち上げ時）、またはMJ（ディスプレイ収納時）を選択します。

- 前回、MUSIC JUKEを再生していたときに、最後に聞いていたトラック（曲）の停止したところから再生を始めます。



MUSIC JUKE に記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。（「**トラック（曲）情報などを表示する**」413 ページ参照）

表示・再生について

MUSIC JUKEに保存されている複数のトラック（曲）をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番は違います。

- プレイリストの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
ALBUM	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
MY SELECT	オリジナルで作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
ARTIST	自動で作成したリストをShift-JIS順に表示・再生
GENRE	あらかじめ設定されている順に表示・再生
AGENT	—

- トラックの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	トラックの表示・再生順
ALBUM	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
MY SELECT	プレイリストに追加した順に表示・再生
ARTIST	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
GENRE	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
AGENT	—

※ 同じARTIST/GENRE の全トラックの再生が終了すると、次のARTIST/GENRE に切り替わります。

再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

選択されているプレイリスト内でトラックを切り替えることができます。

1

▶▶、または ◀◀ を押します。

- ▶▶ （右側）：次曲を選ぶとき
- ◀◀ （左側）：頭出し・前曲を選ぶとき

トラック切り替えスイッチから選ぶ

1

聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



M
J
IV

3. MUSIC JUKE の使い方

プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ

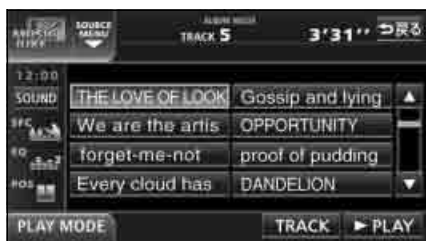


各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

1 再生画面で、**ALBUM** にタッチします。



2 **PLAY MODE** にタッチします。



3 再生したいプレイモードにタッチします。

- アーティストやジャンルのプレイモードを選んだ場合、**ALBUM** にタッチすると、選んだアーティスト名やジャンルが付与されているアルバム名を一覧で表示します。
- **AGENT** は、AGENT 機能のカテゴリを選択していないとタッチできません。（「**“AGENT” から選ぶ**」410 ページ参照）



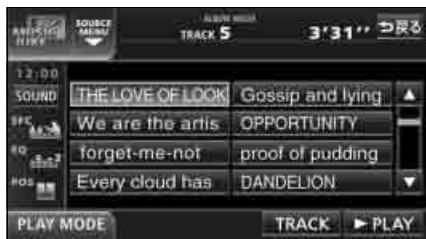
4 再生したいプレイリストにタッチします。

- **▶PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。



5 **TRACK** にタッチします。

- 選んだプレイリストに収録されているトラックを一覧で表示します。



6 聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。
- 9個以上リストがある場合は **▲** ・ **▼** にタッチすると、リストを切り替えることができます。



3. MUSIC JUKE の使い方

“AGENT” から選ぶ

録音したトラック（曲）がメディアクリックデータベースから音楽情報を付与されていると、お好みに合わせて、4つのカテゴリから選曲し、該当する曲が見つかった場合、再生することができます。

MUSIC JUKE AGENT機能はあくまでもイメージ選曲です。実際の内容と異なる場合があります。

● カテゴリの項目とイメージされる内容は下記になります。

カテゴリ	項目	対象となるトラック（曲）
曲イメージ	パワフル	曲のテンポが速く、ムードの明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	曲のテンポが遅く、ムードの暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	日中のドライブなどをイメージした曲
	ハイウェイクルーズ	旅行など、高速道路を走行するドライブをイメージした曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブなどをイメージした曲
年代	～'60	60年代以前にヒットした曲
	'70	70年代にヒットした曲
	'80	80年代にヒットした曲
	'90	90年代にヒットした曲
	'00～	00年代以降にヒットした曲
タイアップ/ イベント	テレビ CM	タイアップ情報のTV番組オープニング、エンディング曲、CMソングなど
	ドラマ ムービー	ドラマ主題歌、挿入歌、映画主題歌、挿入歌など
	ラブソング	歌詞の主題などからLOVEソングとイメージされる曲
	メモリー	クリスマスやバレンタインなど、記念日をイメージされる曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲



同じカテゴリ内で、複数の項目を選択することはできません。

1

AGENT にタッチします。



2

各カテゴリにタッチします。



3 ▶PLAY にタッチします。

- 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



早送り・早戻しする

1 ▶▶、◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▶▶ (右側)：トラック(曲)を進めるとき
◀◀ (左側)：トラック(曲)を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたいトラック(曲)を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する



AGENTモード時は操作できません。

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST RPT にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲を繰り返します。
- 一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると解除されます。

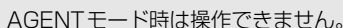
トラック（曲）の順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- ※ 選択しているプレイモードがアーティスト/ジャンルの場合は、アルバムリスト(ツリー図Aのaグループ)単位で再生します。

いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する



1 **機能** にタッチします。

2 **PLAYLIST RAND** にタッチします。

- 一度 **PLAYLIST RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **PLAYLIST RAND** にタッチすると解除されます。

- アーティスト・ジャンルプレイモードから切り替えた場合：今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト（ツリー図Aのbグループ）をランダムに選び、先頭のアルバム、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック（曲）の再生が終了すると、別のプレイリスト（ツリー図Aのbグループ）をランダムに選び再生します。
- アルバム・マイセレクトプレイモードから切り替えた場合：今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト（ツリー図Bのcグループ）をランダムに選び、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック（曲）の再生が終了すると、別のプレイリスト（ツリー図Bのcグループ）をランダムに選び再生します。

```

graph TD
    PM[プレイモード] --> AG1[アーティスト・ジャンル]
    PM --> AG2[アーティスト・ジャンル]
    AG1 --> PL[プレイリスト]
    AG1 --> AG3[アーティスト・ジャンル]
    PL --> AL1[アルバム]
    AL1 --> T1[トラック1]
    AL1 --> T2[トラック2]
    AL1 --> T3[トラック3]
    AL1 --> T4[トラック4]
    AG3 --> AL2[アルバム]
    AL2 --> T5[トラック1]
    AL2 --> T6[トラック2]
    AL2 --> T7[トラック3]
    AL2 --> T8[トラック4]
  
```

プレイモード

アルバム・マイセレクト

プレイリスト

トラック

アルバム

アルバム

トラック1

トラック2

トラック3

トラック1

トラック2

トラック3

c グループ

トラック（曲）情報などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- 再生しているトラックの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり **TITLE OFF** にタッチするとトラック切り替えスイッチに表示が切り替わります。

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のプレイリストに関連する携帯サイトへ接続することができます。詳しくは、「**携帯電話でアルバム情報を見る**」（364 ページ）を参照してください。

MUSIC JUKEを止める

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「**ディスプレイの立ち上げ・収納**」（39 ページ）、「**ソースの切り替え方**」（329 ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



MUSIC JUKE に記録されているプレイリスト名やトラック名などの表示文字数は、ジャケット写真の表示・非表示により次のようになります。

- ジャケット写真表示時：半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字
- ジャケット写真非表示時：半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字

4. プレイリストの編集

本機は、MUSIC JUKEに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

● 編集中は音楽の再生を一時停止します。

マイセレクトへのプレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は「**アーティストを変更する**」(426 ページ)を参照してください。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 **マイセレクトの編集** にタッチします。



プレイリスト名を入力する

4 **新規** にタッチします。

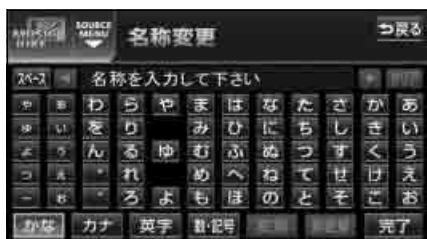


5 **タイトル** にタッチします。



6 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(417 ページ) を参照してください。



7 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。



4. プレイリストの編集

作成したプレイリストにトラックを追加する

■トラック追加画面の見方

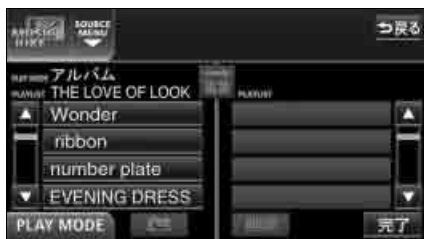


- 現在選ばれているプレイリスト内のトラックを追加する場合は、**12** の操作以降をおこないます。

8 **PLAY MODE** にタッチします。



10 追加したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。



9 追加したいトラックを検索するためのプレイモードにタッチします。

- **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。



11 追加したいトラックにタッチします。

- 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- にタッチすると、10 の画面にもどります。



12 にタッチします。

- 選んだトラックをプレイリストの一番最後に追加します。
- **削除** にタッチすると、プレイリストに追加したトラックを削除することができます。



13 **完了** にタッチします。

プレイリストの名称入力

1 **タイトル** にタッチします。



2 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英字**、**数・記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については「**カナ、英字、数・記号の入力**」（次ページ）を参照してください。
- 間違えた（または入力されている）ときは**クリア**にタッチすると、1つずつ消去されます。



一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

4. プレイリストの編集

- 3 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換** にタッチします。



- 4 **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更し、再度 **変換** にタッチします。



- 5 **完了** にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

- 1 **カナ**、**英字**、**数・記号** にタッチします。

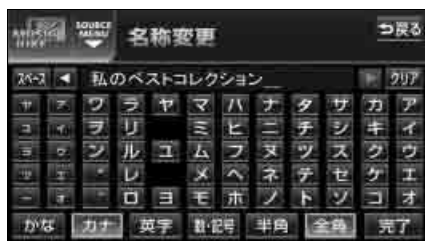
- 2 **半角**、または **全角** にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **▲前** **▼次** が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



- 3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは **クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 4 **完了** にタッチします。

プレイリスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 **名称編集** にタッチします。

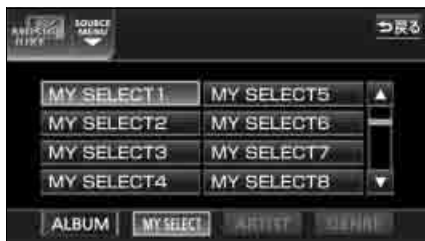


4 **プレイリストの編集** にタッチします。



5 **ALBUM**、または **MY SELECT** にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 **タイトル** にタッチします。



8 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(417 ページ) を参照してください。



4. プレイリストの編集

- 9** タイトルを確認し、**完了** にタッチします。



ジャケット写真の表示を設定する

音楽CDやトラック（曲）を再生するとき、該当するジャケット写真を表示します。



チェック

- ジャケット写真の表示設定は、ALBUM プレイモードを選択しているときのみ操作することができます。
- 有効期限が切れたジャケット写真は表示されません。

- 1** ジャケット写真の表示の **ON**、または **OFF** にタッチします。

- **OFF** にタッチすると、音楽CD再生中もジャケット写真は表示されません。



タイトル情報の再取得

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

- 1** **機能** にタッチします。

- 2** **編集** にタッチします。



- 3** **名称編集** にタッチします。



4 プレイリストの編集 にタッチします。



5 ALBUM にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 タイトル取得 にタッチします。

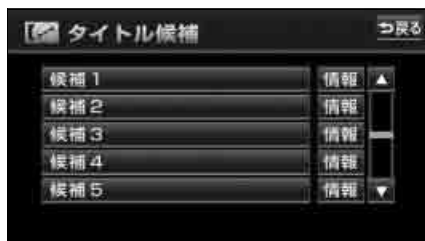
- 該当するタイトル情報を取得後、直前の画面にもどります。



■複数のタイトル情報が存在する場合

8 該当するタイトルにタッチします。

- **情報** にタッチすると、タイトルに含まれているトラック (曲) タイトルを一覧で表示します。確認後、**決定** にタッチすると、タイトル情報を取得し、7 の画面にもどります。



4. プレイリストの編集

プレイリストの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。



チェック

プレイリストは、MUSIC JUKE 設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、「作成した順番に並び替える」(下記)の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、 にタッチします。



- 2 **PLAY MODE** にタッチします。

- 3 選みたいプレイモードにタッチします。

- 4 選みたいプレイリストにタッチします。

- 5 **▶PLAY** にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストがリストの上段にきます。

作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成(録音)した順番に戻すことができます。

- 1 **機能** にタッチします。



- 2 **設定** にタッチします。



- 3 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

- 作成(録音)した順番にプレイリストを並び替えます。



プレイリストの削除

プレイモードのALBUMまたはMY SELECTに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
ALBUM	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
MY SELECT	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。



削除中は、本機の電源を切らないでください。

1

機能 にタッチします。

2

編集 にタッチします。



3

削除 にタッチします。



4

プレイリストの削除 にタッチします。



5

ALBUM、または **MY SELECT** にタッチします。



6

プレイリストにタッチします。

● 消去確認メッセージが表示されます。

7

YES にタッチします。



ARTISTおよびGENREのプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

5. トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

トラック編集画面の呼び出し

- 1 **機能** にタッチします。

- 2 **編集** にタッチします。



- 3 **名称編集** にタッチします。



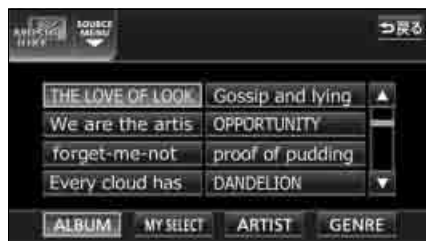
- 4 **トラックの編集** にタッチします。



- 5 プレイモードを選びます。

- **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。
- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

- 6 編集したいプレイリストにタッチします。



AGENTのカテゴリを変更することはできません。

7 編集したいトラックにタッチします。

- トラック編集画面が表示されます。



トラックタイトルを変更する

- 1 トラック編集画面で、**タイトル** にタッチします。



- トラック編集画面

- 2 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(417 ページ) を参照してください。



5. トラックの編集

アーティストを変更する

- 1 **アーティスト** にタッチします。



- 2 選びたいアーティスト名にタッチします。



- ▲・▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。
- **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、「プレイリストの名称入力」(417 ページ) を参照してください。

ジャンルを変更する

- 1 **ジャンル** にタッチします。



- 2 ジャンルにタッチします。

- **OTHER** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



- 3 **完了** にタッチします。



トラックの消去

録音したトラックを消去することができます。

選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	消去されるデータ
MY SELECT内の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を消去します。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストは消去されます。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
MY SELECT以外の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。



削除中は、本機の電源を切らないでください。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 **削除** にタッチします。



5. トラックの編集

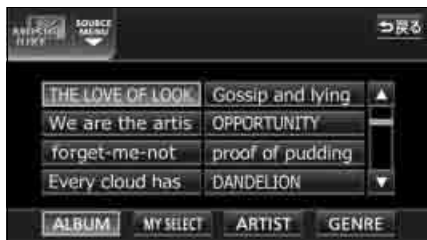
4 **トラックの削除** にタッチします。



5 プレイモードを選びます。

- **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。
- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

6 削除したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。



7 削除したいトラックにタッチします。

- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。



8 **削除** にタッチします。

- 消去確認メッセージが表示されます。

9 **YES** にタッチします。

1. DTVをお使いになる前に

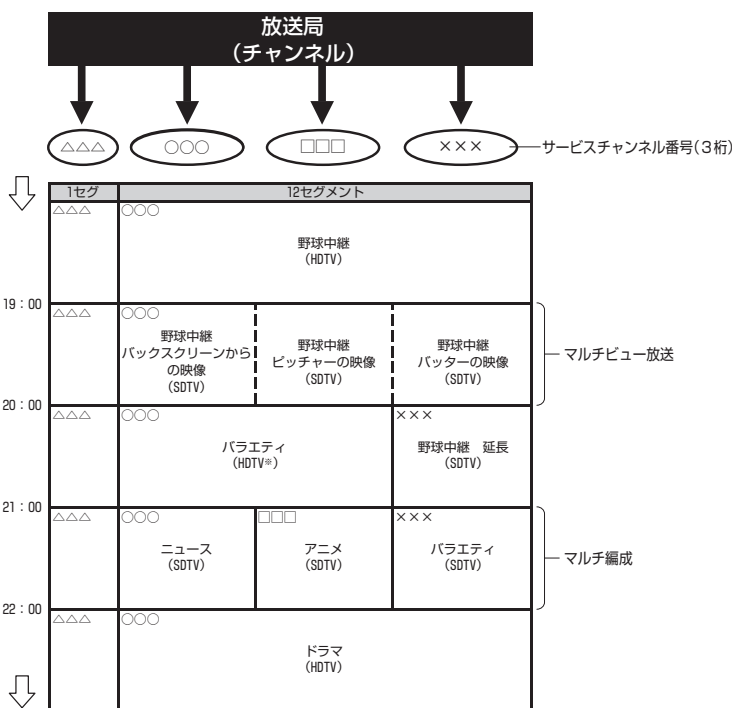
地上デジタルTV放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルTV放送は12セグメントを使用した、ハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は4セグメントを使用するため、最大で3つの番組を同時に提供するマルチ編成や、1つの番組で最大で3つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。



チェック

- AVN978HDTVmk IIのみで使用になります。
- AVN078HDmk IIは、別売の「地上デジタルTVチューナ」が必要になります。ただし、本機で操作することができません。詳しくは、地上デジタルTVチューナの取扱説明書を参照してください。
- 地上デジタルTV放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。
- DTV機能を初めてご使用の際は、初回起動時の設定が必要になります。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。



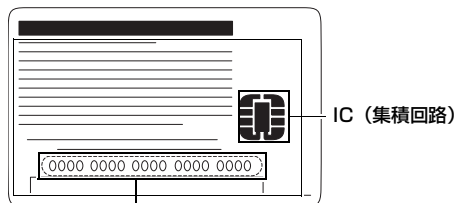
- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

ワンセグ

1. DTV をお使いになる前に

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルTV放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込んでください。B-CASカードの動作確認については「**B-CASカードの動作確認**」(451 ページ)を参照してください。



B-CASカード番号

カードを運用・管理するための番号です。問い合わせの際に必要です。

取り扱いについての注意

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- B-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。(ワンセグ放送は視聴することができます)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC (集積回路) 部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、B-CASカードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

より詳しい情報は、<http://www.b-cas.co.jp>をご覧ください。

B-CASカードに関する問い合わせ

B-CASカードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。

B-CASカードに関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

- 本機を破棄するなど、B-CASカードが必要なくなったときや、ユーザー登録や登録内容の変更を行うときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターに連絡して手続きをしてください。

電話番号 0570-000-250

受付時間 AM10:00～PM8:00（年中無休）

- カードの故障については、コピー制御お問合せセンターへお問い合わせ下さい。

電話番号 0570-000-288

受付時間 AM10:00～PM8:00（年中無休）

1. DTV をお使いになる前に

B-CASカードを差し込む

※ AVN978HDTVmk II のみ

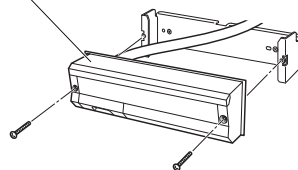


B-CASカードは、矢印表示面を上、IC側を下にして差し込んでください。

1

前面パネルを取りはずします。

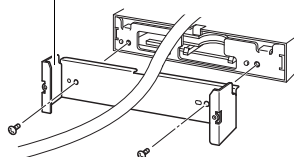
前面パネル



2

カードスロットカバーを取りはずします。

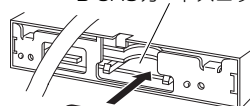
カードスロットカバー



3

B-CASカードスロットにB-CASカードを矢印の方向で差し込みます。

B-CASカードスロット



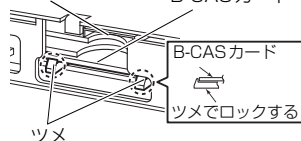
B-CASカード



- B-CASカードがツメでしっかりロックされるまで差し込んでください。

SDカードスロット

B-CASカード



SDカードは本機のバージョンアップ専用のため、通常は使用しません。

4 カードスロットカバー、前面パネルの順に取り付けます。

- B-CASカードを差し込んだ後、正常に作動しているか必ず確認してください。
詳しくは、「**B-CASカードの動作確認**」(451 ページ) を参照してください。

B-CASカードを取り出す

1 B-CASカードを指で上に引き上げ、ツメからはずします。

2 ゆっくりとB-CASカードを引き出します。

- B-CASカードは水平方向に引き出してください。

初回起動時の設定

本機を初めてご使用になる際は、下記の設定をする必要があります。

- チャンネルを記憶する …………… 437 ページ参照
- 居住地域の設定 …………… 449 ページ参照



- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードの動作確認を行ってください。
- B-CAS カードは、奥に突き当たるまで差し込んで、ツメでロックしてください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- B-CAS カード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。



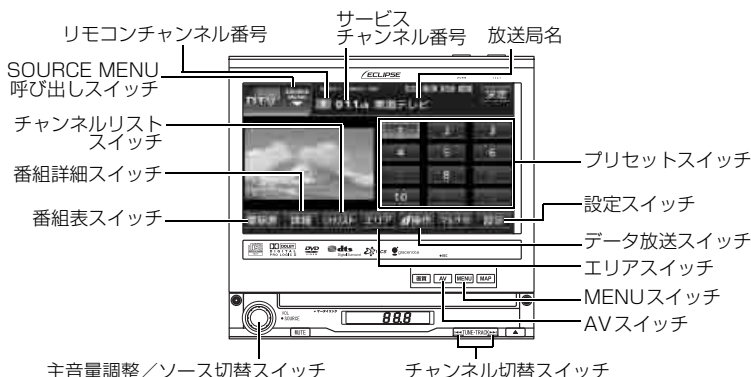
- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- AVNO78HDmk II は、B-CASカードを同梱しておりませんが、B-CASカードがなくても、ワンセグ放送を受信することができます。

2. DTVの使い方



チェック

エンジンスイッチが ON または ACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ、地上デジタルTV放送をご覧になることができます。(走行中にソースをDTVに切り替えた場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)



DTV（地上デジタルTV放送）を見る

1

オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2

DTV（ディスプレイ立ち上げ時）、またはTV-D（ディスプレイ収納時）を選択します。

- DTV画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。
DTV 操作画面にしたいときは、**AV** を押します。
- DTV 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AV を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。



ワンポイント

- 通常の地上デジタルTV放送とワンセグ放送はチャンネル切替スイッチで切り替えることができます。「番組（サービスチャンネル）を選ぶ」(436 ページ参照) また、通常の地上デジタルTV放送の受信ができなくなった場合に、自動でワンセグ放送に切り替わるように設定することができます。「ワンセグ自動切換を設定する」(451 ページ参照)
- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- 後席モニターでは、DTV 操作はできません。操作は本機側で行ってください。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルTV放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC 5.1ch放送）を放送している場合があります。本機はAAC 5.1ch放送には対応していません。AAC 5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 本機は双方向通信に対応していません。

バンドを切り替える

本機には2つのバンド（BAND1、BAND2）があり、それぞれのバンドごとに放送局を記憶させることができます。ふだんご覧になるチャンネルはBAND1を使用し、旅先などでのチャンネルはBAND2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。視聴したい放送局があるバンドに切り替えます。

1 エリア にタッチします。



2 機能 にタッチします。



3 BAND にタッチします。

- **BAND** にタッチすることにより、BAND1、BAND2が順に切り替わります。



- バンドを切り替えるごとに、操作画面に "BAND1"、または "BAND2" が表示されます。

BAND表示



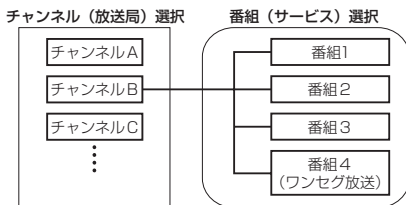
バンド（BAND1、BAND2）へチャンネルを設定する場合は、「チャンネルを記憶する」（437 ページ）を参照してください。

2. DTV の使い方

見たいチャンネルを選ぶ

地上デジタルTVのチャンネル構成について

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル(放送局)で複数の番組(サービス)を同時に放送することができます。1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



手動で選ぶ

番組(サービスチャンネル)を選ぶ

1

▶▶、◀◀ を押します。

- 押すごとに1ステップずつ番組(サービスチャンネル)がUP/DOWNします。

▶▶ (右側)：番組(サービスチャンネル) UP (大きくなる)

◀◀ (左側)：番組(サービスチャンネル) DOWN (小さくなる)

放送局(リモコンチャンネル)を選ぶ

1

▶▶、◀◀ を連続で2回押します。

- 押すごとに1ステップずつ放送局(リモコンチャンネル)がUP/DOWNします。

▶▶ (右側)：放送局(リモコンチャンネル) UP (大きくなる)

◀◀ (左側)：放送局(リモコンチャンネル) DOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

1

▶▶、◀◀ を"ピッ"と音がするまで押します。

- 現在、受信している放送局(チャンネル)に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたときは、もう一度押すと解除されます。



- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。
- 放送局によっては、通常の地上デジタルTV放送とワンセグ放送で番組が異なる場合があります。
- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送には切り替わりません。
- ワンセグ自動切換が **する** に設定されている場合、通常の地上デジタルTV放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルTV放送にもどります。(451 ページ参照)
- 放送局によっては、通常の地上デジタルTV放送とワンセグ放送で番組が異なる場合があります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
- チャンネルの記憶方法は「**チャンネルを記憶する**」(右記)を参照してください。

2 決定 にタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。
- 記憶されていないプリセットスイッチにタッチした場合は、青い画面が表示されます。

放送局名から選ぶ

プリセットされているチャンネルを放送局名で選ぶことができます。

1 chリスト にタッチします。

- プリセットされているチャンネルの放送局名を一覧で表示します。



2 見たい放送局名にタッチします。

- 放送局受信画面が表示されます。



チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるには、手動設定と自動設定の2つのモードがあります。



記憶させたいバンド (BAND1、BAND2) に切り替えてください。バンドの切り替えについては「**バンドを切り替える**」(435 ページ)を参照してください。

手動設定で記憶する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

- 手動選局、または自動選局については「**見たいチャンネルを選ぶ**」(前 ページ)を参照してください。

2 記憶させたいプリセットスイッチを "ピーツ" と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶され、プリセットスイッチにタッチして選局ができるようになります。

2. DTV の使い方

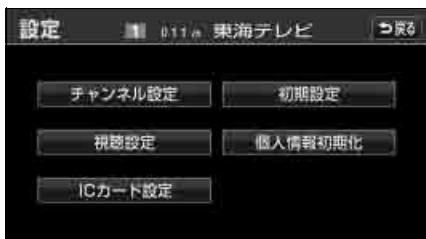
自動設定で記憶する

- DTV 操作画面で、**設定** にタッチします。



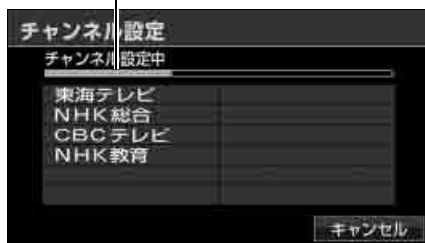
- チャンネル設定** にタッチします。

- チャンネルの自動選局を開始します。



- チャンネル自動選局中は、進捗バーが表示されます。
- 自動選局を中止したいときは、**キャンセル** にタッチします。

進捗バー



- 完了** にタッチします。

- チャンネルが記憶され、プリセットスイッチにタッチして選局ができるようになります。



- 各バンド（BAND1、BAND2）に、それぞれ最大12チャンネルまで記憶することができます。
- 各バンドで、受信できたチャンネルが12チャンネル未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 受信電波の弱い地域では自動設定での受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動設定で記憶したチャンネルと自動設定で記憶したチャンネルとは一致しないことがあります。
- 自動設定を同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。

1 DTV操作画面で **エリア** にタッチします。

- その地域で放送されている放送局名が表示されます。

2 放送局名が表示されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。



画面に **音多** マークが表示されているときに、音声を切り替えることができます。

1 DTV操作画面で **エリア** にタッチします。

2 **機能** にタッチします

3 **主/副** にタッチすることにより、下図の順に切り替わります。



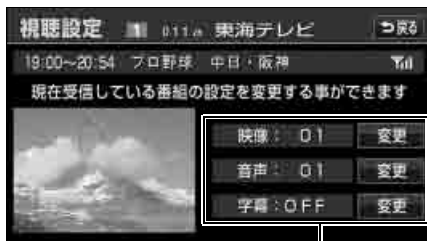
- 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない場合があります。

2. DTV の使い方

画面表示・音声の切り替え

ご覧になっている番組が提供している、映像、音声、字幕をお好みに合わせて切り替えることができます。

受信している映像や音声、字幕は視聴設定画面で確認することができます。



- ・映像番号
- ・音声番号
- ・字幕言語

映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。



画面に **MV** マークが表示されているときに、映像を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。

2 **視聴設定** にタッチします。

3 映像の **変更** にタッチします。

- **変更** にタッチするごとに、映像番号および映像が切り替わります。

音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1 **設定** にタッチします。

2 **視聴設定** にタッチします。

3 音声の **変更** にタッチします。

- **変更** にタッチするごとに、音声番号および音声切り替わります。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。



- 画面に **字** マークが表示されているときに、字幕を切り替えることができます。
- ワンセグ放送の字幕放送には対応していません。

1 **設定** にタッチします。

2 **視聴設定** にタッチします。

3 字幕の **変更** にタッチします。

- **変更** にタッチするごとに、字幕言語が替わり、下図の順に字幕表示が切り替わります。

OFF(字幕OFF)→日(日本語)→英(英語)



映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

緊急警報放送を受信した ときは

緊急警報放送システム（EWS : Emergency Warning System）とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

DTV（地上デジタルTV 放送）を終わる

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」（39ページ）、「ソースの切り替え方」（329ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

3. EPG（電子番組表）の使い方

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組をさがすことができます。



- ▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

EPG（電子番組表）を見る

- DTV 操作画面で **番組表** にタッチします。

- 番組タイトル画面が表示されます。



見たい番組を探す

日付で探す

現在から、前日、翌日の番組表に切り替えることができます。

- ◀、または ▶ にタッチします。

▶: 番組表が翌日に切り替わります。

◀: 番組表が前日に切り替わります

チャンネルで探す

プリセットスイッチ（リモコンチャンネル切り替え）で番組表を切り替えることができます。

- プリセットスイッチの **1** ～ **12** のいずれかにタッチします。

- 選んだチャンネルの番組表に切り替わります。

- **7** ～ **12** のチャンネル切り替えスイッチは、▶ にタッチすると表示されます。

◀ にタッチすると、もとの **1** ～ **6** の表示にもどります。



- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。
- EPGからお好みのDTV映像（番組）に切り替えることはできません。
- EPGは、12セグメント放送で現在から最大3日分、ワンセグ放送で最大10番組分表示することができます。

番組の情報を見る



- 放送時間切り替えスイッチ（◀、▶）にタッチすると、放送時間帯を切り替えることができます。

◀: 前の放送時間帯の番組を表示

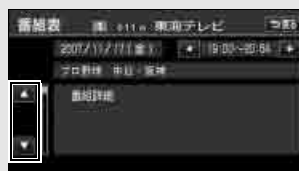
▶: 次の放送時間帯の番組を表示

- 1 番組タイトル画面で情報が見たい番組にタッチします。

- 番組情報画面が表示されます。
- DTV 操作画面で **詳細** にタッチしても、番組情報画面を見ることができます。



情報を表示しきれない場合、▲、▼にタッチすると画面をスクロールすることができます。



4. データ放送の使い方

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。
受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。



●データ放送操作画面

データ放送を見る



画面に **d** マークが表示されているときに、データ放送を見ることができます。

1 DTV操作画面で **d操作** にタッチします。

- データ放送操作用のボタンが表示されます。

2 **d** にタッチします。

- データ放送画面が表示されます。



- データ放送操作画面で、**ボタン消** にタッチすると、タッチスイッチが消えます。
- データ放送操作画面で、**d** にタッチするとDTV画面にもどります。



●データ放送画面



ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力することができます。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

色ボタン・カーソルの操作について

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

1

表示 にタッチします。

2

色ボタン、またはカーソルにタッチします。

- **移動** にタッチすることにより、色ボタン・カーソルの位置が左右に切り替わります。

3

カーソルにタッチしたときは、選択後 **決定** にタッチします。



10キー（テンキー）の操作について

数字を入力するときに使用します。

1

数字 にタッチします。

2

数字にタッチします。

- **移動** にタッチすることにより、10キーの位置が左右に切り替わります。



3

決定 にタッチします。



ワンポイント

- データ放送の内容により、文字を入力することがあります。文字の入力については「**文字入力の操作について**」(次ページ)を参照してください。また、入力する文字の種類は限定されることがあります。(カナのみなど)
- データ放送には双方向サービス(クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス)をおこなっている番組があります。本機には通信機能がないため、双方向通信に対応していません。

4. データ放送の使い方

文字入力操作について

文字入力の操作は、データ放送画面で表示される指示順におこなってください。

1 文字を1文字ずつタッチして入力します。

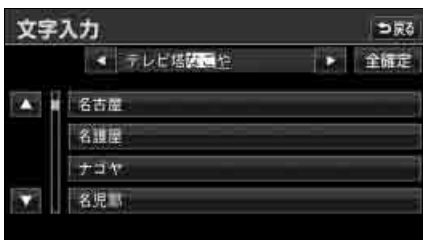
- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**、**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英数字入力、数記号入力については「**カナ、英数字、数記号の入力**」（次ページ）を参照してください。
- 間違えた（入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



2 ひらがなのときは **無変換**、漢字のときは **変換** にタッチします。



- **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで入力する熟語にタッチし、**全確定** にタッチします。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**▶**、**◀** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

カナ、英数字、数記号の入力

- 1 **カナ**、**英数字**、または **数記号** にタッチします。



- 2 入力する文字の大きさを切り替えるときは、**半角** (**全角**) にタッチします。

- **英数字** にタッチしたときは、**大文字** (**小文字**) にタッチすると、大文字と小文字を切り替えることができます。

- 3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた(入力されている)ときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



- 4 **完了** にタッチします。



入力することのできる文字数は全角で最大12文字(半角で24文字)までです。ただし、データ放送の内容により、最大文字入力数は異なります。

5. DTVの設定

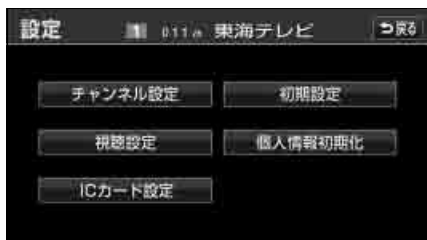
初期設定画面に切り替える

初期設定画面から、各種機能設定ができます。

- DTV 操作画面で **設定** にタッチします。



- 初期設定** にタッチします。



- 初期設定画面から下記機能の設定をすることができます。

- 文字スーパーの表示設定 右記
- 居住地域の登録 次ページ
- イベントリレーの受信設定 . . . 450 ページ
- ワンセグ自動切換の設定 . . . 451 ページ



初期設定をする

文字スーパーを設定する

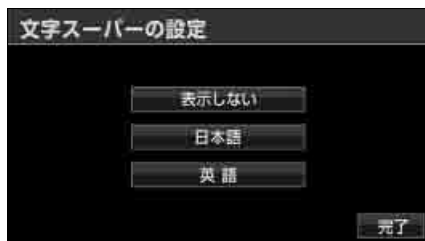
地上デジタルTV放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパーの表示(天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス)をおこなっています。文字スーパーは日本語と英語を表示することができます。

- 初期設定画面で文字スーパーの表示の **設定** にタッチします。



- お好みの言語にタッチします。

- **表示しない** にタッチすると、文字スーパーが表示されません。



- 完了** にタッチします。

居住地域を設定する

デジタル放送の番組やデータ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。

居住地域は都道府県の選択（下記参照）、または郵便番号の入力（次ページ参照）により設定することができます。

初めて起動したときや、引っ越ししたときは必ず設定してください。

県域から設定する

- 1 初期設定画面で居住地域の登録の**設定**にタッチします。



- 2 **県域設定**にタッチします。



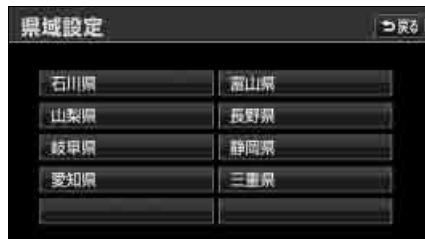
- 3 お住まいの地方にタッチします。

- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、**沖縄・その他**を選択してください。



- 4 お住まいの都道府県、または地域にタッチします。

- 設定が完了し、初期設定画面にもどります。



5. DTV の設定

郵便番号から設定する

- 1 初期設定画面で居住地域の登録の **設定** にタッチします。



- 2 **郵便番号設定** にタッチします。



- 3 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



- 4 **完了** にタッチします。

イベントリレーを設定する

イベントリレーとは、視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える機能です。

例えば、野球の延長放送を視聴中の番組とは異なるサービスチャンネル番号で放送するときに、自動で切り替えます。

- 1 初期設定画面でイベントリレーの受信の **する**、または **しない** にタッチします。



- 2 **完了** にタッチします。

ワンセグ自動切換を設定する

通常の地上デジタルTV放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送の受信に切り替えることができます。

通常の地上デジタルTV放送が受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。

- 1** 初期設定画面でワンセグ自動切換の **する**、または **しない** にタッチします。

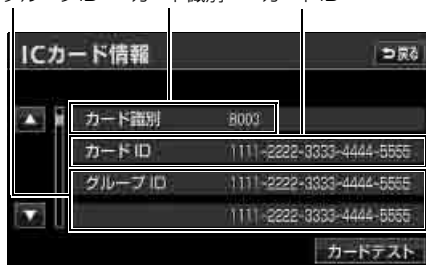


- 2** **完了** にタッチします。

B-CASカードの動作確認

本機に差し込まれているB-CASカードの情報を見たり、テストをしたりすることができます。

グループID カード識別 カードID



● ICカード情報画面



- 受信電波の弱い地域では番組が切り替わらない場合があります。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なる場合があります。
- ワンセグ放送をおこなっていない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切換を **する** にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

5. DTV の設定

B-CASカードの情報を見る



チェック

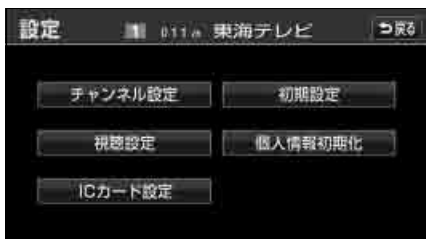
B-CAS カードが差し込まれていない、または異なるカードが差し込まれている場合は、カードIDは表示されません。

- 1 DTV 操作画面で **設定** にタッチします。



- 2 **ICカード情報** にタッチします。

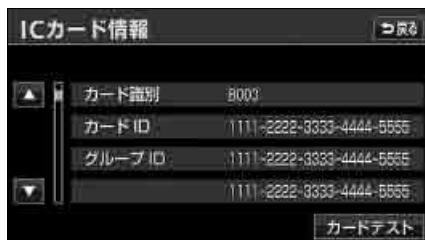
- ICカード情報画面が表示されます。



B-CASカードの動作確認をする

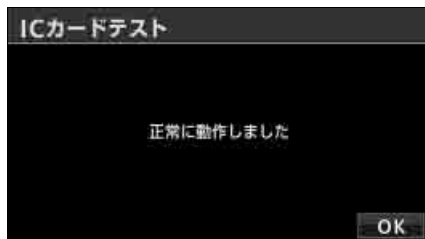
- 1 ICカード情報画面で **カードテスト** にタッチします。

- テストを開始します。

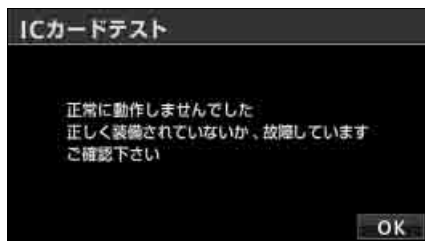


- 2 **OK** にタッチします。

- テストで異常を検出した場合、B-CAS カードが正しく差し込まれていない、または故障している恐れがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。



- テストが正常に終了したとき



- テストで異常を検出したとき

個人情報进行初期化する

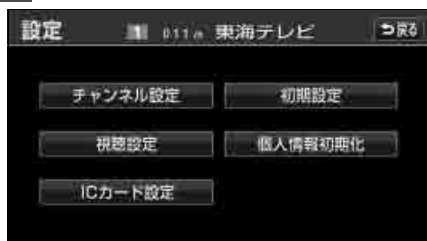
本機に登録した設定を初期状態にもどすことができます。初期化される項目は下記になります。

- 郵便番号設定
- 県域設定

1 DTV 操作画面で **設定** にタッチします。

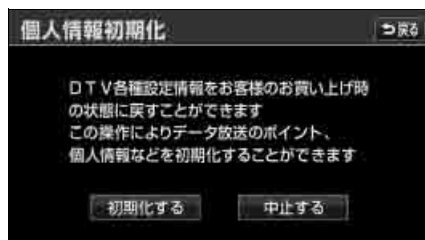


2 **個人情報初期化** にタッチします。



3 **初期化する** にタッチします。

- **中止する** にタッチすると初期化せずに設定画面にもどります。



4 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、初期化せずに設定画面にもどります。



5 **OK** にタッチします。

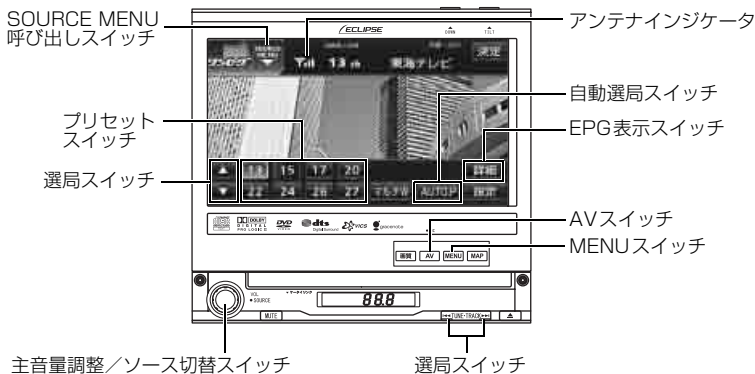
- 初期化され、設定画面にもどります。

6. ワンセグの使い方



チェック

- AVN078HDmk IIのみで使用になります。
- エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみワンセグ放送をご覧になることができます。(走行中にソースをワンセグに切り替えた場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)



ワンセグを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 ワンセグ (ディスプレイ立ち上げ時)、または1SEG (ディスプレイ収納時) を選択します。

- ワンセグ操作画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。ワンセグ操作画面にしたいときは、**AV** を押す、または画面にタッチします。
- ワンセグ操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。**AV** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。



ワンセグガイド

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でワンセグ放送をご覧になることができます。(後席用モニターに表示されないコンテンツもあります。)
- ワンセグ操作画面で **決定** にタッチしたとき、全画面で表示される放送と4:3画面(画面の左右両端が黒表示)で表示される放送があります。
- 本機は双方向通信やデータ放送に対応していません。
- アンテナインジケータは、放送電波の受信レベルを表します。電波の状態によって以下のように表示されます。



弱 ← → 強

電波の受信レベルが弱くなると、画面が静止して音声が出なくなることがあります。

- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルが弱くても映像が受信できたり、強くても映像が静止したり音声とがとぎれる場合があります。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 、 を押す、または 、 にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。

 (右側)  (上側) :
チャンネルUP (大きくなる)

 (左側)  (下側) :
チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

1 、 を“ピッ”と音がするまで押す、または 、 に“ピッ”と音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」(右記)を参照してください。

2 **決定** にタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル(手動)で記憶する



チェック

“AUTO.P” が画面表示されていないことを確認します。表示されているときは **AUTO.P** にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。



受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

6. ワンセグの使い方

AUTO.P（自動）で記憶する

- 1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。
- AUTO.P が点滅し、自動で選局を始めます。“ピッピツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルが表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

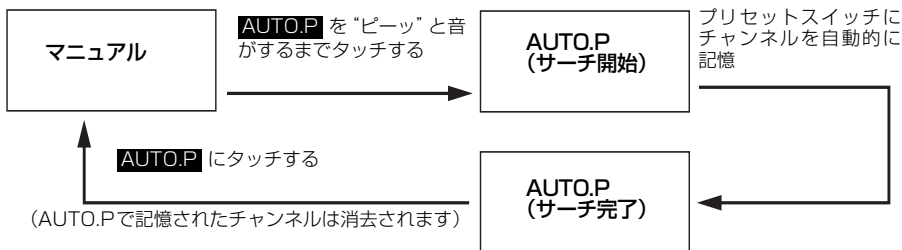
- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



- AUTO.P は、受信電波の弱い地域では自動受信できなかったり、電波の状態によって最大で3分程度かかることがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルと AUTO.P スイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なったり、放送局名が表示されない場合があります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

ワンセグ設定画面の切り替え

ソースがワンセグのとき、ワンセグ設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・ 音声多重放送の切り替え
 - ・ 字幕の切り替え
- SFC、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。



画面に **音多** が表示されているときに、音声を切り替えることができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **主/副** にタッチすると、下図の順に切り替わります。



ワンセグ設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、ワンセグ映像画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

6. ワンセグの使い方

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕を提供しているときは、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **字幕** をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

字幕：OFF → 字幕：1 → 字幕：2
↑



緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

EPG（電子番組表）を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探することができます。

1 **詳細** にタッチします。

● 番組タイトル画面が表示されます。



● 番組タイトル画面

ワンセグを終わる

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

● 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39ページ)、「ソースの切り替え方」(329ページ)を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

7. DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVD ディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

7. DVD プレーヤーをお使いになる前に

字幕表示機能について

DVD ディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」および下記のマークが表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面 1層 2層	< MPEG 2方式 > 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVD ディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このDVDはリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- DVD ± R/RW（DVD ± Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込みされたディスクのみ使用できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込みされたディスクには対応していません。

ディスクに表示されているマークについて

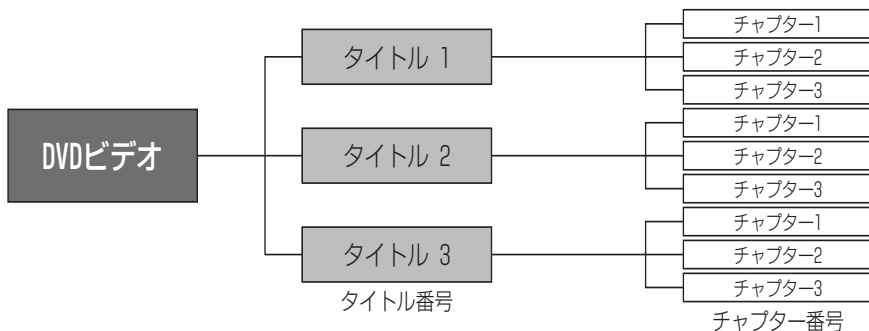
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

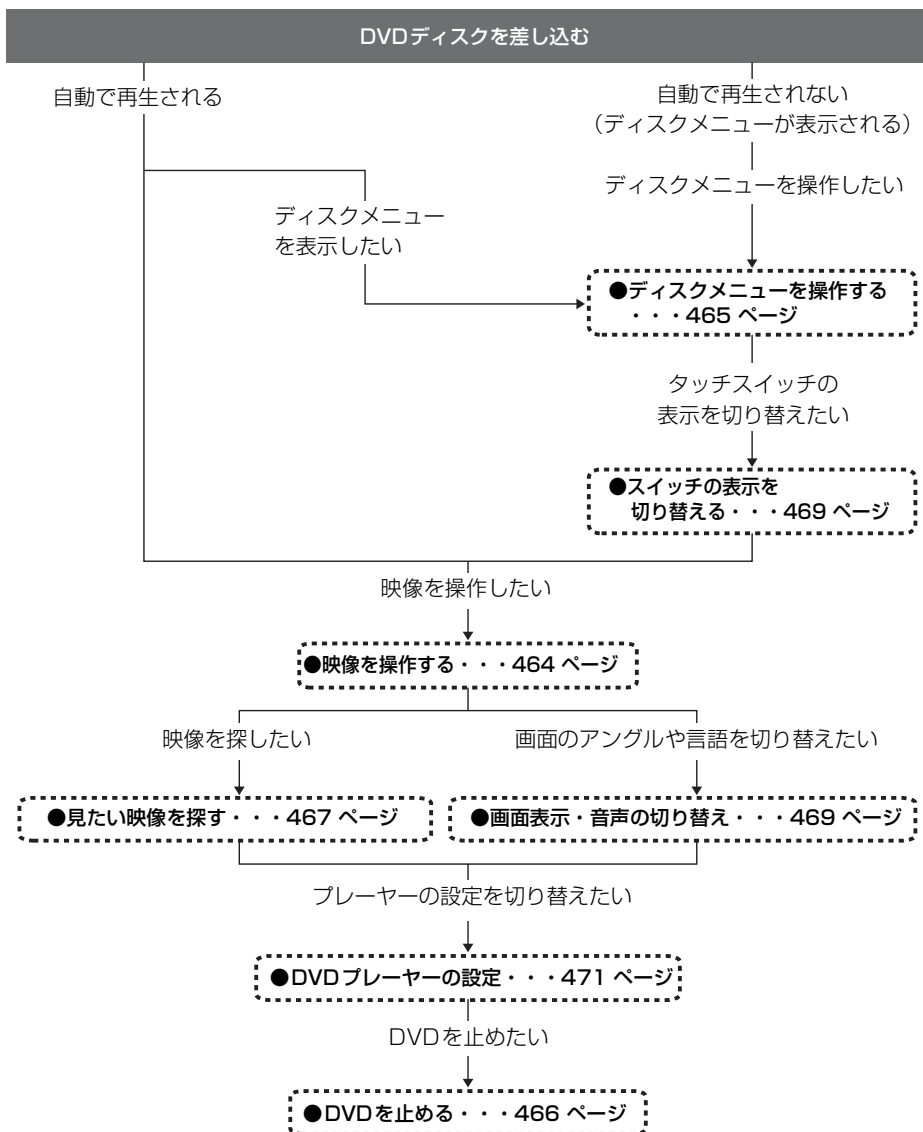
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



7. DVD プレーヤーをお使いになる前に

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVD プレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



8. DVD プレーヤーの使い方



チェック

エンジンスイッチが ON または ACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ DVD をご覧になることができます。(走行中にソースをDVD プレーヤーに切り替えた場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)



DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 DVDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

- 2 **DISC** (ディスプレイ立ち上げ時)、またはDVD (ディスプレイ収納時) を選択します。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ (タッチスイッチ) を表示する場合は、**AV** を押す、または画面にタッチします。
- ソースをDVDプレーヤーに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**AV** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。



オプション

別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。

8. DVD プレーヤーの使い方

映像を操作する

映像を再生する

- 1 ▶ にタッチします。



早送り・早戻しする

パネルスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ▶▶、または ◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▶▶ (右側)：映像を進めるとき
◀◀ (左側)：映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ◀◀、または ▶▶ を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



いま見ているチャプターを繰り返し再生する

- 1 CHAPTERリピート にタッチします。



ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(次ページ)

映像を一時止める

1 **⏸** にタッチします。

- 一時停止中 (**⏸**) に **⏮** を短くタッチするとスロー再生し、 **⏸** にタッチするとコマ送り再生します。



映像を止める

1 **■** にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **AV** を押す、または画面にタッチします。

2 **NEXT** にタッチします。

3 **メニュー**、**トップメニュー**、または**ダイレクト** にタッチします。

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。



画面を直接タッチして操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



ディスクによって、表示されるメニューをダイレクトタッチ操作画面から操作できない場合があります。

8. DVD プレーヤーの使い方

タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

- 1 ダイレクトタッチ操作画面で  にタッチします。



- 2 , , ,  にタッチし、メニューを選びます。

- **ダイレクト** にタッチすると画面に直接タッチして操作することができます。



- 3 **決定** にタッチします。

DVD を止める

- 1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39 ページ)、「ソースの切り替え方」(329 ページ)を参照してください。

- 2 **OFF** にタッチします。



ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 、または を押します。

- （右側）：次のチャプターを選ぶとき
- （左側）：頭出し・前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

タイトル番号



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。



3 **決定** にタッチします。

8. DVD プレーヤーの使い方

メニュー番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 **+** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、メニュー番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。



5 **決定** にタッチします。

スイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1  にタッチします。

- **AV** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1  にタッチします。

2  にタッチします。

3 **移動** にタッチします。

- タッチすることによりタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。



画面にマルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えることができます。

1  にタッチします。

2 **アングル** にタッチします。

マルチアングルマーク



3 **アングル切換** にタッチします。

- **アングル切換** にタッチすることによりアングル番号が替わり、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

アングル番号



8. DVD プレーヤーの使い方

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。



3 **字幕切換** にタッチします。

- **字幕切換** にタッチすることにより字幕番号が替わり、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。



3 **音声切換** にタッチします。

- **音声切換** にタッチすることにより音声番号が替わり、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

音声番号および言語



DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

3 **初期設定** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機 能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	473
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	474
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	475
映像出力切換	画面サイズを設定します。	476



初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ (**AV**) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(464 ページ参照)

8. DVD プレーヤーの使い方

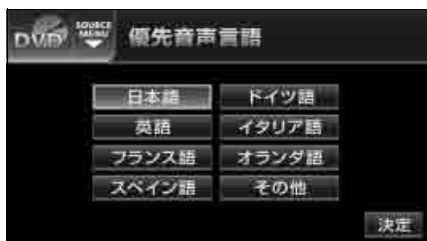
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(477 ページ) を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

字幕言語を設定する

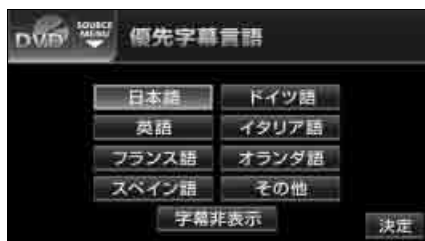
再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(469 ページ参照) で言語を切り替えてください。

コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(477 ページ) を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

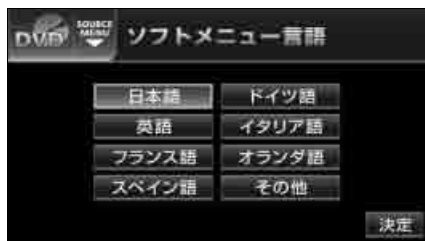
メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(477 ページ) を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先されるソフトメニュー言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語のメニューに切り替わらない場合があります。

8. DVD プレーヤーの使い方

マルチアングルマークの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。



チェック

マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

1

初期設定画面で

マルチアングルマーク にタッチします。

- タッチすることにより「表示」と「非表示」が切り替わります。



2

決定 にタッチします。

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。



視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。



- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

8. DVD プレーヤーの使い方

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチすることにより下図の順に画面サイズが切り替わります。

4:3 (パンスキャン) → 16:9 → 4:3 (レターボックス)



2 **決定** にタッチします。

● 4:3 (パンスキャン)

左右両端がカットされた映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

● 16:9

通常のワイドサイズで表示されます。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

● 4:3 (レターボックス)

上下両端が黒く表示された映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。



- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アプバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタル語
2023	トウイ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラビュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

9. VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。



チェック

エンジンスイッチが ON または ACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースを VTR に切り替えた場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)

SOURCE MENU
呼び出しスイッチ



AVスイッチ

MENUスイッチ

主音量調整／ソース切替スイッチ

VTRを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

2 VTRを選択します。

- VTR画面になります。
- **AV** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。
- VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
- **AV** を押すと再度、表示します。

VTR設定画面の切り替え

VTRでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- SFC、EQ、POSなどの音質調整
- 画面モード(ワイドモード)の切り替え

1 **設定** にタッチします。

VTRを終わる

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39 ページ)、「ソースの切り替え方」(329 ページ)を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

1. iPod プレーヤーの使い方

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルを再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。



チェック

iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続コード」をお買い求めください。走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



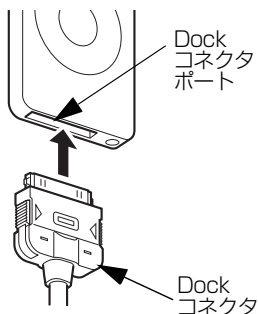
iPod を接続する



チェック

- iPodに接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- ご使用になる iPod および接続コードの適合については、ECLIPSE ホームページを確認してください。

- 1 iPodと接続コードのDock コネクタを接続します。



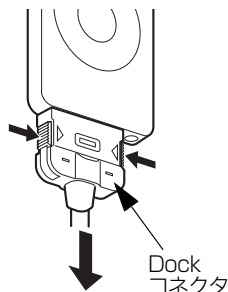
1. iPod プレーヤーの使い方

iPod を取りはずす



エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはソースをiPod 以外に切り替えてください。

- 1 Dock コネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずします。



- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod 保護のため、iPodからDockコネクタを取りはずさないでください。



- 本機とiPodを接続しても、ソースは自動でiPodに切り替わりません。
- iPodを本機に接続すると、iPodに“ECLIPSE”が表示されます。また、“ECLIPSE”が表示されている間はiPodによる操作をすることができません。
- iPodの電源をOFFにしたまま接続すると、“ECLIPSE”が表示されず“充電済”マークが表示されることがあります。この場合、iPodのいずれかのボタンを押すと、“ECLIPSE”が表示されます。
- ご使用になるiPodによっては接続中に“ECLIPSE”が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリーが充電されます。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番や表示項目がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。
- 映像ファイルが入っているiPodを接続すると、曲名リストに映像ファイル名が表示される場合がありますが、映像ファイルの再生には対応していません。また、曲名リストが重複する場合があります。

iPod を聞く

- 1 iPod を本機に接続した状態で、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(329 ページ) を参照してください。

- 2 **iPod** (ディスプレイ立ち上げ時)、または iPod (ディスプレイ収納時) を選択します。

- iPod で最後に聞いていた音楽ファイルの再生を始めます。

早送り・早戻しする

- 1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側)：曲を進めるとき
 (左側)：曲を戻すとき
 早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

- 1 、または  を押します。

-  (右側)：次の音楽ファイルを選ぶとき
 (左側)：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



ワンポイント

- iPod に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPod の接続をはずし、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にして、再度エンジンスイッチを ON、または ACC にした後、iPod 本体をリセットしてから再度接続してください。
- アーティスト名や曲名(トラック名称)などは、半角で最大 32 文字、全角で最大 16 文字まで表示できます。(名称によっては、表示できない場合があります。)

1. iPod プレーヤーの使い方

聞きたい音楽ファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルを探すことができます。

1 **MENU** にタッチします。

2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。

- 選択したモードのリスト画面が表示されます。



3 聞きたいリストにタッチします。

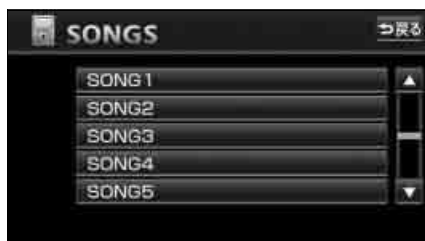
- SONGS 画面が表示されるまで繰り返します。各選曲モードにより、SONGS 画面が表示されるまでの順序は下記ようになります。

選曲モード	表示順序
PLAY LIST	PLAY LIST 画面 → SONGS 画面
ARTISTS	ARTISTS 画面 → ALBUMS 画面 → SONGS 画面
ALBUMS	ALBUMS 画面 → SONGS 画面
SONGS	SONGS 画面
GENRES	GENRES 画面 → ARTISTS 画面 → ALBUMS 画面 → SONGS 画面
COMPOSERS	COMPOSERS 画面 → ALBUMS 画面 → SONGS 画面

- **▶PLAY** にタッチすると、その時点で再生対象となっている全ファイルを再生します。

4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。
- 6個以上リストがある場合は、**▲**・**▼** にタッチするとリストを切り替えることができます。



- 各リストの表示文字数は、半角で最大32文字、全角で最大16文字です。
- 全ての選曲モードで **ALL** ボタンは表示されません。

再生中のリストを表示する

1 **LIST** にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを収録しているリストが表示されます。
- 現在再生している音楽ファイルが一番上に表示されます。
- 音楽ファイルにタッチすると、選んだ音楽ファイルが再生されます。

同じ音楽ファイルを繰り返し再生して聞く

1 **RPT** にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。
- **RPT** が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

今聞いているリストの中からランダムに聞く

1 **TRACK SHUFFLE** にタッチします。

- 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。
- 一度 **TRACK SHUFFLE** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **TRACK SHUFFLE** にタッチすると解除されます。

リストをランダムに聞く

リストをランダムに再生することができます。ただし、リスト内の音楽ファイルは先頭から順に再生されます。

1 **ALBUM SHUFFLE** にタッチします。

- 一度 **ALBUM SHUFFLE** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **ALBUM SHUFFLE** にタッチすると解除されます。

iPod を止める

1 ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」(39 ページ)、「ソースの切り替え方」(329 ページ)を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



本機で **RPT**、**TRACK SHUFFLE**、または **ALBUM SHUFFLE** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はリピート、またはシャッフル再生の設定に切り替わります。

1. iPod プレーヤーの使い方

対応可能なiPodについて

本機に対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSE ホームページを確認してください。

※ 最新のiPodソフトウェアにてお使い下さい。最新のiPodソフトウェアは、Apple社のWebサイトからバージョンアップすることができます。



- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPodおよびiTunesは、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 写真表示機能、ビデオ映像表示機能には対応していません。
- オーディオブック、podcast機能には対応していません。
- iPodの動作に関しては保証致しかねますのでご了承ください。

2. AUXの使い方

市販のポータブルオーディオなどを本機のアUX（RCA）端子※に接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を本機で再生することができます。

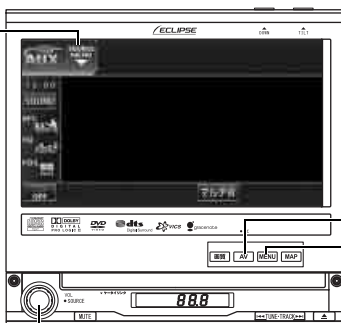
※ AUX端子とVTR入力の音声端子は共用です。



チェック

- ポータブルオーディオを接続する場合は、「接続コード」をお買い求めください。
- 本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認ください。

SOURCE MENU
呼び出しスイッチ



AVスイッチ

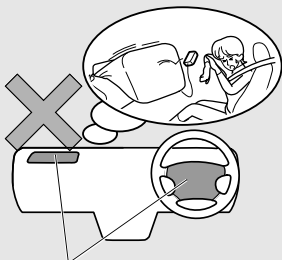
MENUスイッチ

主音量調整／ソース切替スイッチ

ポータブルオーディオをお使いになる前に



警告



SRSエアバッグ展開部

接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRS エアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

※ SRS エアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



接続コード

ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

2. AUX の使い方

ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）



チェック

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていることを確認してください。

1

接続コードをポータブルオーディオに接続します（取りはずします）。

ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

1

接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

2

オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（329 ページ）を参照してください。

3

AUXを選択します。

- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

ポータブルオーディオを終わる

1

ディスプレイが立ち上がっているときにオーディオのソースを切り替えます。

- 「ディスプレイの立ち上げ・収納」（39 ページ）、「ソースの切り替え方」（329 ページ）を参照してください。

2

OFF にタッチします。

- AUXを終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。（音声は出力されません。）



重要

接続コードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。



ワンポイント

- 運転中は、ポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意下さい。
- オーディオのソースがAUXのときに音量を調整すると、AUX用の音量レベルとして記憶させることができます。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライターソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

1. マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオ、DVDなどの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。また、オーディオ機能以外のルート情報や簡易電卓を表示することができます。



マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。



●ナビゲーション画面+簡易電卓画面

マルチウィンドウ画面の表示

■ パネルスイッチから表示する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **マルチW** にタッチします。



3 各項目にタッチすると次ページのマルチウィンドウ画面を表示します。

※ **ワンセグ** はAVN078HDmk II のみ表示されます。



■ タッチスイッチから表示する

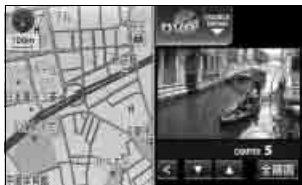
1 オーディオ操作画面で、**マルチW** にタッチします。

- 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



通常のワンセグ、または DVD が選択されている場合、マルチメニュー画面で**オーディオ**にタッチしても、ワンセグ、または DVD 画面が表示されます。他のオーディオ画面を表示する場合はソースを切り替えてください。(329 ページ参照)

1. マルチウィンドウ機能

表示画面	機能	ページ
	DVD 画面の表示 チャプターの切り替えができます。	490
	オーディオ画面の表示 FM、AM、CD、DVD、DTV、ワンセグ、CDCH、MDCH、MP3/WMA、MUSIC JUKE、VTR、AUX、iPodの画面を表示することができます。	491
	ルート情報画面の表示 目的地までのルート情報を表示することができます。	491
	電卓の表示 8ケタまでの四則演算を行うことができます。また、演算結果を記録したり、記録内容を表示することができます。	492
	ワンセグ画面の表示 ※ AVN078HDmk IIのみ チャンネルの切り替えができます。	490

マルチウィンドウ画面の操作

画面サイズの調整

ソースがDTV、ワンセグ、DVD、またはVTRの場合、マルチウィンドウの画面サイズ（右画面）を切り替えることができます。



DTV画面のたてサイズは切り替えることができません。

■ 画面の比率を切り替える

1 **<** にタッチします。

- 30 : 70 の割合の画面に切り替わります。
- **>** にタッチすると、50 : 50 の画面にもどります。
- 映像部分にタッチすると、たてのサイズを引き伸ばした画面になります。（次ページ参照）



■ 全画面に切り替える

1 **全画面** にタッチします。

- **マルチW** が表示されているときに **マルチW** にタッチすると、マルチウィンドウ画面にもどります。



マルチウィンドウ機能を解除するときは **MAP** を押してください。

1. マルチウィンドウ機能

■ 画面のたてサイズを切り替える

1 画面の映像部分にタッチします。

- たてのサイズを引き伸ばした画面に切り替わります。
- 再度、映像部分にタッチすると、もとのサイズにもどります。
- たてのサイズを引き伸ばした画面に切り替えた場合、操作スイッチなどは表示されなくなります。



DTV・ワンセグ・DVD画面の操作

DTV・ワンセグではチャンネルを、DVDではチャプターを切り替えることができます。DTV操作の詳細については「DTVの使い方」(434 ページ)を、ワンセグ操作の詳細については「ワンセグの使い方」(454 ページ)を、DVD操作の詳細については「DVDプレーヤーの使い方」(463 ページ)を参照してください。



マルチウィンドウ機能使用中は、DVDのダイレクトタッチ機能を使用することができません。



1 ▲、▼ にタッチします。

- DTV・ワンセグ画面では、タッチすることにより1ステップずつチャンネルが切り替わります。DVD画面では、ディスクに記録されているチャプターを順に切り替えます。



ルート情報画面の操作

目的地までのルートを、設定した地点やインターチェンジ、道路の種類などに区分し、道路名称や区間の距離を表示します。

1 ▲、または ▼ にタッチします。

- インターチェンジ・ジャンクション・目的地・通過道路・道路種別の変わり目でルート情報を分割して表示します。



- **全画面** にタッチすると、通常のルート情報（案内道路情報）を表示します。詳しくは「ルート情報（案内道路情報）の表示」（179 ページ）を参照してください。

オーディオ画面の操作

AM・FMでは放送局の切り替え、DTV・ワンセグではチャンネルの切り替え、CD・DVD・MUSIC JUKE・MP3/WMA・CDCH・MDCH・iPodモードでは曲、チャプター、リストを切り替えることができます。

各オーディオ操作やVTR・AUX操作の詳細については、各操作ページを参照してください。

ソースを切り替える

マルチウィンドウ画面を表示しながら、簡単にソースを切り替えることができます。

1 SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチし、各ソースにタッチします。

- ソースが切り替わり、マルチウィンドウ画面にもどります。ただし、DVD、DTV、ワンセグ、VTRに切り替えたときは全画面になります。
- 切り替えたいソースが表示されないときは、**次ページ** にタッチします。



1. マルチウィンドウ機能

電卓画面の操作

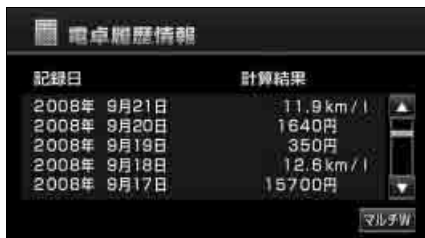
電卓を使い、最大8ケタまでの四則演算を行うことができます。小数点は第1位まで表示します。



■ 履歴を表示する

記録した内容を表示します。

1 **履歴** にタッチします。



タッチスイッチ	機能
$\div$ $\times$ $\cdot$ $\div$	四則演算（たす・ひく・かける・わる）
$=$	イコール
AC	オールクリアする
$\triangleright$	入力した数値をひと桁元にもどす
円 $\cdot$ km/l	数値に単位を付ける（再度タッチすると非表示になります。）

■ 記録する

数値と単位、その日付を記録します。

1 **記録** にタッチします。



電卓履歴情報は最大20個記録することができます。記録数が20個を超える場合、最も古い情報から削除し、新しい情報を追加します。

ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと

ナビゲーションの機能概要および初期状態について

ナビゲーションの各種設定で設定する各項目の機能概要や購入直後の設定について説明しています。

	項目	機能概要	初期状態	ページ
地図表示設定	2D  時フロントワイド	ノースアップ表示（1画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	しない	112
	2D  時フロントワイド 右画面の地図で表示	2画面表示の右画面がノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	しない	112
	2D  時フロントワイド	ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	する	112
	2D  時フロントワイド 右画面の地図で表示	2画面表示の右画面がヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	する	112
	3D  時のルート方向アップ	（目的地案内中に）3D表示のとき、ルートが表示されている方向の地図を広く表示することができます。	しない	124
	3D地図表示設定	3D地図表示の見下ろす角度を調整することができます。	約23°	122
	3Dビル表示	バーチャタウンマップにビルを表示することができます。	する	123
		バーチャタウンマップに表示するビルの高さ（階数）を設定することができます。	3階以上	123
	行政区画塗り分け表示	リアルワイドマップ表示中に行政区画を塗り分けして表示することができます。	する	127
	昼の地図色	昼画の地図表示色を変更することができます。	ノーマル	93
	夜の地図色	夜画の地図表示色を変更することができます。	ノーマル	93
	自転車マーク変更	地図に表示される自転車マークを変更することができます。	ノーマル	93
	リアルワイドマップ表示	地図マークのイラスト表示や道路の太さをより実際の道路に近づけて表示することができます。	する	126
	地図の文字サイズ変更	地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替えることができます。	中	94
	立体ランドマーク表示	地図に立体的な施設マーク（3Dランドマーク）を表示することができます。	する	129
	シーズンレジャーランドマーク表示	桜などの季節になると、地図に桜や紅葉の名所をマーク表示することができます。	する	128
	地図スクロール時の地名表示	地図スクロール時に地図中心（ )の地名を表示することができます。	する	100

項目	機能概要	初期状態	ページ
自動表示切替設定	交差点拡大図自動表示	(目的地案内中に) 分岐する交差点に近づく、自動的に交差点拡大図を表示することができます。	する 198
	リアル交差点拡大図	(目的地案内中に) 分岐する交差点に近づく、リアルな交差点拡大図を表示することができます。	する 200
	カットインムービーガイド	カットインムービーガイド情報のある交差点で立体的な案内画面を動画で表示することができます。	する 200
	高速分岐模式図自動表示	(目的地案内中に) 高速道路走行中、分岐点に近づく、自動的に高速分岐案内図を表示することができます。	する 215
	レーンリスト自動表示	(目的地案内中に) 走行する交差点の名称と車線レーンのリスト図を表示することができます。	する 203
	ターンリスト自動表示	最終目的地まで走行する道路名称、ターン方向及び距離のリスト図を表示することができます。	しない 213
	都市高マップ自動表示	(目的地案内中に) 都市高速を走行すると、自動的に都市高速マップを表示することができます。	しない 217
	高速路線マップ自動表示	高速道路を走行すると、自動的に高速路線マップを表示することができます。	する 118
	駐車場マップ自動表示	収録されている地下駐車場に入ったとき、自動的に駐車場マップを表示することができます。	する 120
案内表示設定	縮尺切替メッセージ表示	縮尺切り替え時に地図表示切り替えを通知するメッセージを表示することができます。	しない 107
	踏切警告	自車マークが踏切に近づく、警告マークと音声で案内することができます。	しない 131
	合流警告	高速道路走行中、自車マークが合流道路に近づく、警告マークと音声で案内することができます。	しない 131
	カーブ警告	自車マークが急カーブに近づく、警告マークと音声で案内することができます。	しない 131
	交通事故多発区間警告	一般道では、交通事故が多発している地点にマーク表示します。高速道路では、警告マークと音声で案内することができます。	しない 130
	レーン警告	一般道の右左折専用レーンを音声で案内することができます。都市高速のレーン減少地点を警告マークと音声で案内することができます。	しない 131
	料金案内	(目的地案内中に) 料金所に近づく、料金を画面と音声で案内することができます。	する 207
	料金所レーン案内	(目的地案内中に) 料金所に近づく、レーンの案内を画面と音声で案内することができます。	する 210
	県境案内	都道府県をこえたときに、マークと音声で案内することができます。	する 132
	3D交差点拡大図	(目的地案内中に) 分岐する交差点に近づく、3Dで交差点拡大図を表示することができます。	しない 202
	到着予想時刻表示	平均車速を変更することができます。(目的地までの到着予想時刻を計算する基準となります)	一般道路：30km/h 有料道路：60km/h 高速道路：80km/h VICS情報・交通データ考慮 ON 205

1. 知っておいていただきたいこと

項目	機能概要	初期状態	ページ
音声設定	VICS渋滞・規制音声自動発声	(目的地案内中に) ルート上(約10km以内)のVICS情報を自動的に音声で案内することができます。	する 260
	自動音声案内	(目的地案内中に) 交差点や分岐点、目的地に近づく自動的に音声で案内することができます。	する 220
	他モード時の案内	ナビゲーション以外の画面を表示しているときに、ナビゲーションの音声案内をすることができます。	する 221
	操作説明音声	表示している画面の操作手引き(説明)を音声で案内することができます。	する 97
	交差点目印案内	目的地案内中に分岐する交差点付近の目印を案内することができます。	する 221
	ハートフル音声	自宅に到着したときなどに「お疲れさまでした」などの気のきいたフレーズの音声を出力することができます。	する 98
ルート系設定	自動再探索	(目的地案内中に) ルートからはずれたとき、自動的にルートを再探索することができます。	する 229
	ルート学習	よく通る道を考慮したルートを探索することができます。	する 171
	ルート学習結果の消去	学習したルートの結果を消去することができます。	－ 172
	交通状況学習結果の表示	交通状況の学習結果を地図表示することができます。	－ 268
	交通状況学習結果の消去	交通状況の学習結果を消去することができます。	－ 269
	季節規制メッセージ表示	季節規制区間(冬期通行止め道路など)を含むルートを探索したときに、メッセージを表示することができます。	する 177
	渋滞統計データを考慮	渋滞統計データおよびビーコンより受信した渋滞・規制情報 ^{※1} を考慮したルートの探索を設定することができます。	する 173
その他	スイッチ表示設定	地図画面に表示するタッチスイッチを設定することができます。	 以外非表示 102
	周辺施設 走行中呼出ジャンル	走行中に簡易操作で表示できる施設マーク(周辺施設の6項目)を変更することができます。	GS コンビニ レストラン 駐車場 銀行 郵便局 138
	車両情報設定 ^{※2}	車両情報(ナンバープレートの分類・車両寸法)を設定することができます。	5・7 未入力 208
	目的地履歴の消去	過去に設定した目的地の履歴を消去することができます。	－ 195
	画面切り替え時の動画表現	画面を切り替えるとき、ゆっくした動きの表現に変更することができます。	しない 95
	ショートカット	地図画面によく使う機能をショートカットスイッチとして表示することができます。	－ 103
	時計表示	地図画面にGPS時計を表示することができます。	する 95
	ナビ補正	現在地の修正や距離の補正をすることができます。	－ 308 309

※1 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時

※2 目的地が設定されているときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

共通操作関係

メッセージ	原因	処置
画像編集のため、オーディオ OFF します	オーディオソースがMUSIC JUKEのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオソースを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読めません ディスクが正しいかご確認ください	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。(60ページ参照)
画像ファイルを表示できません	画像の容量が大きすぎるため。 壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。(60ページ参照)
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。(60ページ参照)
画像ファイルの消去に失敗しました	何かしらの原因で、HDDから画像データが消去できなかったため。	再度消去してください。消去できない場合は、販売店に相談してください。
通信できませんでした もう一度操作して下さい	取得したデータに不備があったため。 接続先との通信が途絶えてから30秒以上経過したため。	しばらくしてから再度、赤外線通信を行ってください。
録音中は赤外線通信を行うことができません	録音中に赤外線通信を行おうとしたため。	録音を中止してから赤外線通信を行ってください。(403、404、405ページ参照)
壁紙の登録に失敗しました	何かしらの原因で、画像データを壁紙に登録できなかったため。	画像データを確認してください。(60ページ参照)

1. 知っておいていただきたいこと

ナビゲーション関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません※	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（105ページ参照）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（136ページ参照）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（136ページ参照）
自宅が登録されていません。 自宅登録を行いますか？ はい いいえ	自宅が登録されていないときに、 自宅 にタッチしたため。	はい にタッチするとメモリ地点登録画面を表示します。（234ページ参照） いいえ にタッチするともとの画面にもどります。
自宅が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、 自宅周辺 にタッチしたため。 （目的地を追加する場合）	自宅を登録してからお使いください。 （234ページ参照）
特別メモリ地点が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（234ページ参照）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

※ 各種設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

メッセージ	原因	処置
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。(139ページ参照)
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(ワンタッチメモリ地点登録のときを除く)	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(800mスケール図以下)で行ってください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地が遠すぎます 直線距離5000km以内に目的地の変更をお願いします	直線距離5000kmをこえる目的地を設定したため。	目的地は、直線距離5000km以内に設定してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	目的地を設定した数が5カ所のときに、さらに設定(追加)しようとしたため。	不要な目的地を消去してから設定(追加)してください。(186ページ参照)
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
都市高マップは200m図より詳細な地図では表示できません※	都市高マップ表示中に200mスケール図より詳細な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。(105ページ参照)
都市高マップは1.6km図より広域な地図では表示できません※	都市高マップ表示中に1.6kmスケール図より広域な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。(105ページ参照)
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(234ページ参照)

※ 各種設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点を登録した数が400 カ所のときに、さらに登録しよう としたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録 してください。(244ページ参照)
VICS文字(図形)情報を受信中 です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していない ため。	しばらくしてもメッセージを表示する 場合、選局しなおしてください。 (253ページ参照)
VICS情報は1.6km図より広 域の地図には表示されません※	VICS表示中に1.6kmスケール図 より広域の地図にしたため。	1.6kmスケール図以下の詳細な地図に 切り替えてください。(105ページ参照)
VICSの文字(図形)情報を受 信していません VICS選局で周波数を ご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局 を選局していないか、または情報 を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信して ください。(253ページ参照)
渋滞情報が変わりました 新しいルートでご案内します	ルート上にビーコンからのVICS 情報を受信して、新しいルートを 再探索したため。	渋滞を避けた新しいルートで案内しま す。
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開 します	自動送り機能を走行中にしたた め。	停車してからご使用ください。
〇〇〇〇のため FM多重放送を受信できません	ラジオ受信中にFM多重放送を受 信しようとしたため。	FM多重の放送を行っている放送局を受 信してください。(272ページ参照)
ETCカードが挿入されていま せん	ETCカードが挿入されていない ため。	ETCカードを挿入してお使いください。
ETCカードが読めません カードをお確かめ下さい	ETCカードが正しく読めないた め。	カードをお確かめの上、正しく挿入して ください。
ETCゲートを通過できません	本機とETC車載器の接続に異常 があるか、セットアップがされて いないため。	お近くの販売店にお問い合わせくださ い。
ETCカードに書き込みできま せん カードをお確かめ下さい	ETCカードにデータを書き込む 事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会 社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗し ました	ETC車載器と料金所間における データ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があ るため。	お近くの販売店にお問い合わせくださ い。

メッセージ	原因	処置
ETCゲートを通過できません 徐行して、料金所で一旦停止し て下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通 行不可&徐行」の通知があった場 合に表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってくだ さい。 (末尾にエラーコードが表示されている 場合は、次ページを参照してください。)
ETCゲートを通過できます 徐行して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通 行可&徐行」の通知があった場合 に表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してくださ い。
ETCカードが挿入されました	ETC車載器にカードを挿入し、確 認されたときに表示されます。	—

1. 知っておいていただきたいこと

■ETC統一エラーコード一覧

エラーコード	原 因	処 置	お問い合わせ先
01	ETCカード挿入異常	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。	—
02	データの処理異常	「ETCカード挿入時」 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。 「ETC利用時」 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
03	ETCカード異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。	ETCカード発行会社
04	ETCユニットの故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
05	ETCカード情報の異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであることをご確認の上、再度挿入してください。	お買い上げの販売店
06	ETCユニット情報の異常	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
07	通信異常（ETCアンテナ外れ検知時含む）	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
	ETCアンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
—	ETCが利用不可	「予告アンテナ通過時」 ETCがご利用できません。ETC混在車線、または一般車線に進入し、係員の指示にしたがってください。 「料金所通過時」 ETCがご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。	お買い上げの販売店
	ETCユニットの未セットアップ	車両の情報などがETCユニットに登録されていません。ETCユニットのセットアップ作業をご依頼ください。	お買い上げの販売店

オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
CD 検索中です	CDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
再生できるディスクが入っていません	CDプレーヤー、またはCDチェンジャー（MDチェンジャー）に再生可能なディスクが入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でCDプレーヤー、またはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にDTV、ワンセグ、またはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
iPodとの通信に失敗しました	iPodからの応答がないため。	Dockコネクタを再接続してください。（479ページ参照）
iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。 iPodとの接続が検知できないため。	最新のソフトウェアをApple社のWebサイトからダウンロードしてください。 販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
再生できるファイルがありません	CD-R/RWに再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているCD-R/RWを入れてください。
音楽データがありません	MUSIC JUKEに何も録音されていないときに、オーディオソースをMUSIC JUKEに切り替えようとしたため。	MUSIC JUKEに録音してからオーディオソースをMUSIC JUKEに切り替えてください。（402ページ参照）
HDDの容量が一杯になったので録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。（423、427ページ参照）

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(423、427ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を停止します	アナログ録音時、連続録音時間が300分に達したため。	再度、 AV を1秒以上押して録音を続けてください。
録音完了トラックがありませんので、CDを再生します	デジタル録音開始後、1曲も録音完了せずに終了したため。	再度、録音する場合は、 AV を1秒以上押してください。
音飛びしましたので、録音をやり直します	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまでしばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに操作した場合、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
受信したタイトルがありません	FM de TITILEで受信したタイトルがない、またはHDDに保存したCD情報がないため。	CD情報インジケータが表示されるまでお待ちください。
受信した新譜情報がありません	FM de TITILE plusで受信した新譜情報がないため、またはHDDに保存した新譜情報がないため。	新譜情報受信メッセージが表示されるまでお待ちください。
ジャケット写真を表示できませんでした	ジャケット写真を表示する有効期限が切れているため。	有効期限の切れたジャケット写真は表示することができません。
	受信した新譜情報に不備があるため。	受信した新譜情報に不備がある場合、ジャケット写真を表示できません。ご了承ください。
更新するデータベースがありません	受信したCDタイトルや新譜情報が1つも存在しないときに、 タイトル更新 や 更新 にタッチしたため。	FM多重チューナー設定が「CD情報」であることを確認してください。また、受信できるまでお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	AV を1秒以上押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(423ページ参照)

メッセージ	原因	処置
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(427ページ参照)
プレイリストが一杯です	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(414、423 ページ参照)
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(427ページ参照)
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。(403、404、405ページ参照)
異常検知でMusic Juke停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしてください。
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
Music Juke準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	オーディオソースをMUSIC JUKEに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンスイッチをOFF (LOCK) にし、再度車のエンジンスイッチをACCまたはONにしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
高温のため、録音を停止します ※ 1	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のため、録音を停止します ※ 1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。

※ 1 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
異常検知でDVD 停止中です ※ 2	何らかの原因でDVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD 停止中です ※ 1	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVD は演奏できません	対応していないDVD を入れているため。	対応しているDVD を入れてください。 (325、460 ページ参照)
このDVD はリージョンが違うので再生できません	対応していないリージョンコードのDVDを入れているため。	対応しているリージョンコードのDVDを入れてください。(460 ページ参照)
受け付けられないコードです	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。
ICカードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい	IC (B-CAS) カードが正しく差し込まれていない、もしくは故障しているため。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
放送を受信できません	IC (B-CAS) カードのセキュリティエラーのため。	IC (B-CAS) カードの動作確認をしてください。(451 ページ参照)
	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の受信エリア外にいるため。	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できるエリアに移動するか、受信可能なチャンネルに切り替えてください。

※ 1 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

※ 2 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

共通操作関係

症 状	考えられること	処 置
エンジンスイッチをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください。(70ページ参照)
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。(71ページ参照)
画面が乱れる、ノイズが入る	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの(例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの(例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込む画像のファイル形式は適切ですか？	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。(60ページ参照)
「データ確認中です」というメッセージが消えない	ディスクへの書き込み形式は適切ですか？	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。(60ページ参照)
バッテリーターミナルをはずした後、エンジンスイッチをONにしたら操作ができなくなった。	ESNにより、本機がロックされた。	お客様相談窓口にご連絡してください。

1. 知っておいていただきたいこと

ナビゲーション関係

症 状	考えられること	処 置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(99ページ参照)
自車マーク  が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(99ページ参照)
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？	GPSマークは3個以上のGPS衛星から電波を受信すると表示されます。 SYSTEM CHECK画面でGPS受信感度をご確認ください。(283ページ参照) 場所を移動してもGPS受信感度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか？	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。 (196ページ参照)
	案内の音量が小さく（音声OFFに）になっていませんか？	音量を大きくしてください。 (96ページ参照)
音声案内がGマークの手前で終了する。	目的地周辺のルートが細街路（水色）ではありませんか？	音声案内は濃い青色のルートの最終地点手前100mで終了します。(174ページ参照) 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
実際の現在地と異なる場所に自車マーク  が表示されている。(自車マーク  がずれている。)	GPS衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マーク  がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク  がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(308ページ参照)

1. 知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処 置
距離補正画面で 自動補正 がトーンダウンしている。	ナビゲーションを取り付けた直後ではありませんか？	取り付け直後（別のお車からの載せ換え含む）はGPS受信と車速信号により自動で距離の補正をしており、 自動補正 にタッチすることができません。GPSの受信状態が良好な道路をしばらく走行してください。走行して改善されない場合は、お買上の販売店にご相談ください。
目的地設定画面・ナビメニュー画面の一部がトーンダウンしている。	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
50音・住所などがトーンダウンしている。		
メモリ地点などトーンダウンしている。		
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか？	1項目ずつ動かしてください。（91ページ参照）
目的地案内中に自動で2画面表示になる。 （右側は25m または 50m スケール）	細街路を走行していませんか？	故障ではありませんので、そのままご使用ください。（204 ページ参照） 案内図替 にタッチすると、1 画面表示になります。（別の細街路に入った場合は再度2画面表示に切り替わります。）
高速道路上で案内が終了してしまう。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。（169 ページ参照）目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。 故障ではありませんのでそのままご使用ください。

1. 知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処 置
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっていませんか？	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定が全て OFF になっていませんか？	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアを外れていませんか？	VICSの提供エリアは、「 VICSサービスエリアについて 」528 ページを参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データにバージョンアップしてください。（バージョンアップは有償です。）
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。 VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。
ハートフル音声で今日の日付の案内をしない。	エンジンスイッチをACC、またはONにして、すぐに目的地設定などの操作をしていませんか？	しばらくの間、エンジンスイッチをACC、またはONの状態にしていると音声を発声します。
	ナビゲーション起動時に、現在地画面以外の画面が表示されていませんか？	現在地画面を表示させてください。（99ページ参照）

症 状	考えられること	処 置
自宅に到着してもハートフル音声 が「お疲れ様でした。」と発声 しない。	各種設定の「ハートフル音声」が しない になっていませんか？	各種設定の「ハートフル音声」の する にタッチしてください。
	自宅をメモリ地点に登録してい ますか？	メモリ地点に自宅を登録してください。 (237 ページ参照)
	自宅を目的地に設定しています か？	自宅を目的地に設定してください。 (168 ページ参照)
	自宅周辺では案内されないこと があります。	故障ではありませんので、そのままご使 用ください。
各種設定画面で「車両情報設定」 の 変更する がトーンダウンし ている。	目的地が設定されていません か？	目的地を消去してください。(186 ペー ジ参照)

1. 知っておいていただきたいこと

オーディオ・ビジュアル関係

症 状	考えられること	処置
音が出ない	音量が0になっていませんか？	VOL スイッチを回して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていますか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。（325 ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがありませんか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。（326 ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。（325、460 ページ参照）
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（465 ページ参照）
DVD再生時、リヤスピーカーから台詞が出力されない	5.1 c h 対応のDVDソフトを再生していませんか？ 5.1 c h 対応のDVDソフトの主音声（台詞）はフロントスピーカー又はセンタースピーカー（センタースピーカー取付時）から出力されます。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
DVD再生時、字幕/音声の切り替えができない	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	字幕 、 音声 での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。（465 ページ参照）

症 状	考えられること	処置
画面に MD CHANGER が表示されない	MD チェンジャーが正しく接続されていますか？	MD チェンジャーとの接続を確認してください。
画面に CD CHANGER 、 CD CHANGER2 が表示されない	C D チェンジャーが正しく接続されていますか？	C D チェンジャーとの接続を確認してください。
FM de TITLE が受信できない	お車がFM de TITLEを受信できない地域にありませんか？	受信できる地域（放送局）をご確認ください（532 ページ参照）
CDを再生しても自動で録音されない	デジタル録音モードが「SELECT」になっていませんか？	デジタル録音モードの設定を確認してください。（400 ページ参照） 「SELECT」に設定されている場合は、 AV を1秒以上押し、録音したいトラックを選択すると録音が始まります。
	デジタル録音出来ないCDを再生していませんか？（399 ページ参照）	再生中に AV を1秒以上押してアナログ録音をしてください。
CDを録音できない	録音できないCDを再生していませんか？	MP3/WMAはMUSIC JUKEへの録音が出来ません。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンを押して画面を消していませんか？	MAP を押してください。（70 ページ参照）
音声は出るが、D T Vやワンセグ映像が出ない（停車中）	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない	ポータブルオーディオの電源が入っていますか？	ポータブルオーディオの電源を入れてください。
	ポータブルオーディオが再生されていますか？	ポータブルオーディオを再生してください。

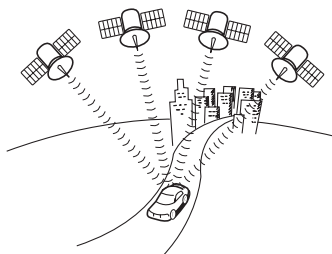
1. 知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の映像、音が出ない	B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	B-CASカードを正しく差し込んでください。（432 ページ参照）
	オーディオソースがVTR入力になっていませんか？	オーディオソースをDTV、ワンセグに切り替え、番組を選択してください。
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の映像が止まって音が出ない	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
	B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	B-CASカードを正しく差し込んでください。（432 ページ参照）
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）が受信できない	お車が地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できない地域にありますか？	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できる地域に移動してください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

広域地図、詳細地図

広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1/2048万、1/1024万、1/512万、1/256万、1/128万、1/64万、1/32万、1/16万、1/8万、1/4万、1/2万、1/1万、1/5000、1/2500です。

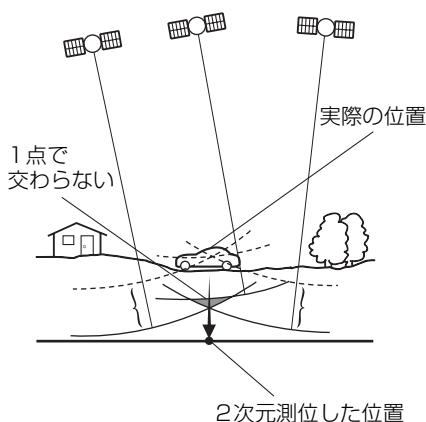
測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機では3個以上のGPS衛星の電波を受信して測位可能な場合に、現在地画面上の左上隅に「GPS」を表示します。(メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」は表示しません。)

2. 用語説明

2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自転車位置の表示の誤差も少なくなります。

振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電氣的に検出する振動ジャイロセンサーと路面の傾斜を検出する傾斜計（Gセンサー）で現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

スーパーオーディオCD (SACD)

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

- シングルレイヤーディスク
HD層*が1層のみのディスク
 - デュアルレイヤーディスク
HD層*が2層のみのディスク
 - ハイブリッドレイヤーディスク
HD層*とCD層*が合わさった2層のディスク
- *HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA	音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。
Mixed Mode CD	音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。
MP3	MP3はMPEG Audio LayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。
ID3タグ	MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレーヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。
エンコーダ	WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。
ATRAC3 (アトラックスリー)	「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮できるので、1枚のCDに複数の音楽を録音することができます。

2. 用語説明

SCMS (シリアルコピー マネジメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとてもし少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）です。

Gracenote 音楽認識サービス

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®]により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください：
www.gracenote.com

コピーコントロールCD レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」と言います。

ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

AAC	AAC（アドバンスド・オーディオ・コーディング）とは音声圧縮方式のひとつです。デジタル放送における5.1chサラウンドはAACを採用しています。
データ放送	通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加したりすることができます。
ハイビジョン	高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
マルチビュー放送	1つの番組を複数の映像に分けて放送することです。例えば野球の放送を、ピッチャーの映像、バッターの映像、バックスクリーンからの映像、というように3つのアングルから選んで楽しむことができます。

3. 市街図収録都市リスト

都道府県	市区町村名
北海道	札幌市
	函館市
	小樽市
	旭川市
	室蘭市
	釧路市
	帯広市
	北見市
	夕張市
	岩見沢市
	網走市
	留萌市
	苫小牧市
	稚内市
	美唄市
	芦別市
	江別市
	赤平市
	紋別市
	士別市
	名寄市
	三笠市
	根室市
	千歳市
	滝川市
	砂川市
	歌志内市
	深川市
	富良野市
	登別市
	恵庭市
	伊達市
	北広島市

都道府県	市区町村名
	石狩市
	当別町
	釧路町
青森県	青森市
	弘前市
	八戸市
	黒石市
	五所川原市
	十和田市
	三沢市
	むつ市
岩手県	盛岡市
	宮古市
	大船渡市
	奥州市
	花巻市
	北上市
	久慈市
	遠野市
	一関市
	陸前高田市
	釜石市
	二戸市
	滝沢村
宮城県	仙台市
	石巻市
	塩竈市
	大崎市
	気仙沼市
	白石市
	名取市
	角田市
	多賀城市

都道府県	市区町村名
	岩沼市
	七ヶ浜町
	利府町
秋田県	秋田市
	能代市
	横手市
	大館市
	由利本荘市
	男鹿市
	湯沢市
	大仙市
	鹿角市
山形県	山形市
	米沢市
	鶴岡市
	酒田市
	新庄市
	寒河江市
	上山市
	村山市
	長井市
	天童市
	東根市
	尾花沢市
	南陽市
福島県	福島市
	会津若松市
	郡山市
	いわき市
	白河市
	南相馬市
	須賀川市
	喜多方市

都道府県	市区町村名
	相馬市
	二本松市
	西郷村
茨城県	水戸市
	日立市
	土浦市
	古河市
	石岡市
	筑西市
	結城市
	龍ヶ崎市
	下妻市
	常総市
	常陸太田市
	高萩市
	北茨城市
	笠間市
	取手市
	坂東市
	牛久市
	つくば市
	ひたちなか市
	鹿嶋市
	潮来市
	守谷市
	神栖市
	つくばみらい市
	大洗町
	東海村
栃木県	宇都宮市
	足利市
	栃木市
	佐野市

都道府県	市区町村名
	鹿沼市
	日光市
	小山市
	真岡市
	大田原市
	矢板市
	那須塩原市
群馬県	前橋市
	高崎市
	桐生市
	伊勢崎市
	太田市
	沼田市
	館林市
	渋川市
	藤岡市
	富岡市
	安中市
	富士見村
	玉村町
埼玉県	川越市
	熊谷市
	川口市
	行田市
	秩父市
	所沢市
	飯能市
	加須市
	本庄市
	東松山市
	春日部市
	狭山市
	羽生市

都道府県	市区町村名
	鴻巣市
	深谷市
	上尾市
	草加市
	越谷市
	蕨市
	戸田市
	入間市
	鳩ヶ谷市
	朝霞市
	志木市
	和光市
	新座市
	桶川市
	久喜市
	北本市
	八潮市
	富士見市
	ふじみ野市
	三郷市
	蓮田市
	坂戸市
	幸手市
	鶴ヶ島市
	日高市
	吉川市
	さいたま市
	三芳町
	毛呂山町
	越生町
	滑川町
	嵐山町
	小川町

都道府県	市区町村名
	ときがわ村
	川島町
	吉見町
	鳩山町
	横瀬町
	皆野町
	長瀬町
	小鹿野町
	東秩父村
	美里町
	神川町
	上里町
	寄居町
	騎西町
	北川辺町
	大利根町
	宮代町
	白岡町
	菖蒲町
	栗橋町
	鷲宮町
	杉戸町
	松伏町
千葉県	千葉市
	銚子市
	市川市
	船橋市
	館山市
	木更津市
	松戸市
	野田市
	香取市
	茂原市

都道府県	市区町村名
	成田市
	佐倉市
	東金市
	匝瑳市
	旭市
	習志野市
	柏市
	勝浦市
	市原市
	流山市
	八千代市
	我孫子市
	鴨川市
	鎌ヶ谷市
	君津市
	富津市
	浦安市
	四街道市
	袖ヶ浦市
	八街市
	印西市
	白井市
	富里市
	山武氏
	いすみ市
	酒々井町
	印旛村
	本埜村
	栄町
	多古町
	東庄町
	横芝光町
	大網白里町

3. 市街図収録都市リスト

都道府県	市区町村名
	九十九里町
	芝山町
	一宮町
	睦沢町
	長生村
	白子町
	長柄町
	長南町
	大多喜町
	御宿町
東京都	東京23区
	八王子市
	立川市
	武蔵野市
	三鷹市
	青梅市
	府中市
	昭島市
	調布市
	町田市
	小金井市
	小平市
	日野市
	東村山市
	国分寺市
	国立市
	福生市
	狛江市
	東大和市
	清瀬市
	東久留米市
	武蔵村山市
	多摩市

都道府県	市区町村名
	稲城市
	羽村市
	あきる野市
	西東京市
	瑞穂町
	日の出町
	桧原村
	奥多摩町
神奈川県	横浜市
	川崎市
	横須賀市
	平塚市
	鎌倉市
	藤沢市
	小田原市
	茅ヶ崎市
	逗子市
	相模原市
	三浦市
	秦野市
	厚木市
	大和市
	伊勢原市
	海老名市
	座間市
	南足柄市
	綾瀬市
	葉山町
	寒川町
	大磯町
	二宮町
	中井町
	大井町

都道府県	市区町村名
	松田町
	山北町
	開成町
	箱根町
	真鶴町
	湯河原町
	愛川町
	清川村
新潟県	新潟市
	長岡市
	三条市
	柏崎市
	新発田市
	小千谷市
	加茂市
	十日町市
	見附市
	村上市
	燕市
	糸魚川市
	妙高市
	五泉市
	佐渡市
	上越市
	阿賀野市
富山県	富山市
	高岡市
	射水市
	魚津市
	氷見市
	滑川市
	黒部市
	砺波市

都道府県	市区町村名
	小矢部市
石川県	金沢市
	七尾市
	小松市
	輪島市
	珠洲市
	加賀市
	羽咋市
	白山市
	野々市町
	内灘町
福井県	福井市
	敦賀市
	越前市
	小浜市
	大野市
	勝山市
	鯖江市
	あわら市
山梨県	甲府市
	富士吉田市
	甲州市
	都留市
	山梨市
	大月市
	韮崎市
	南アルプス市
	中央市
長野県	長野市
	松本市
	上田市
	岡谷市
	飯田市

都道府県	市区町村名
	諏訪市
	須坂市
	小諸市
	伊那市
	駒ヶ根市
	中野市
	大町市
	飯山市
	茅野市
	塩尻市
	千曲市
	佐久市
	東御市
	軽井沢町
	下諏訪町
岐阜県	岐阜市
	大垣市
	高山市
	多治見市
	関市
	中津川市
	美濃市
	瑞浪市
	羽島市
	恵那市
	美濃加茂市
	土岐市
	各務原市
	可児市
	山県市
	瑞穂市
	下呂市
	岐南町

都道府県	市区町村名
	笠松町
	坂祝町
	富加町
静岡県	静岡市
	浜松市
	沼津市
	熱海市
	三島市
	富士宮市
	伊東市
	島田市
	富士市
	磐田市
	焼津市
	掛川市
	藤枝市
	御殿場市
	袋井市
	下田市
	裾野市
	湖西市
	伊豆市
	御前崎市
	伊豆の国町
	清水町
	新居町
愛知県	名古屋市長
	豊橋市
	岡崎市
	一宮市
	瀬戸市
	半田市
	春日井市

都道府県	市区町村名
	豊川市
	津島市
	碧南市
	刈谷市
	豊田市
	安城市
	西尾市
	蒲郡市
	犬山市
	常滑市
	江南市
	小牧市
	稲沢市
	新城市
	東海市
	大府市
	知多市
	知立市
	尾張旭市
	高浜市
	岩倉市
	豊明市
	日進市
	田原市
	愛西市
	清須市
	北名古屋市長
	弥富市
	東郷町
	長久手町
	豊山町
	春日町
	大口町

都道府県	市区町村名
	扶桑町
	七宝町
	美和町
	甚目寺町
	大治町
	蟹江町
	飛島村
	阿久比町
	東浦町
	南知多町
	美浜町
	武豊町
	一色町
	吉良町
	幡豆町
	幸田町
	三好町
	音羽町
	小坂井町
	御津町
三重県	津市長
	四日市市長
	伊勢市長
	松阪市長
	桑名市長
	伊賀市長
	鈴鹿市長
	名張市長
	尾鷲市長
	亀山市
	鳥羽市長
	熊野市長
	いなべ市長

3. 市街図収録都市リスト

都道府県	市区町村名
	玉城町
	度会町
滋賀県	大津市
	彦根市
	長浜市
	近江八幡市
	東近江市
	草津市
	守山市
	栗東市
京都府	京都市
	福知山市
	舞鶴市
	綾部市
	宇治市
	宮津市
	亀岡市
	城陽市
	向日市
	長岡京市
	八幡市
	京田辺市
	京丹後市
	木津川市
	大山崎町
	久御山町
	井手町
	宇治田原町
	笠置町
	和束町
	精華町
	南山城村
大阪府	大阪市

都道府県	市区町村名
	堺市
	岸和田市
	豊中市
	池田市
	吹田市
	泉大津市
	高槻市
	貝塚市
	守口市
	枚方市
	茨木市
	八尾市
	泉佐野市
	富田林市
	寝屋川市
	河内長野市
	松原市
	大東市
	和泉市
	箕面市
	柏原市
	羽曳野市
	門真市
	摂津市
	高石市
	藤井寺市
	東大阪市
	泉南市
	四條畷市
	交野市
	大阪狭山市
	阪南市
	島本町

都道府県	市区町村名
	豊能町
	能勢町
	忠岡町
	熊取町
	田尻町
	岬町
	太子町
	河南町
	千早赤阪村
兵庫県	神戸市
	姫路市
	尼崎市
	明石市
	西宮市
	洲本市
	芦屋市
	伊丹市
	相生市
	豊岡市
	加古川市
	たつの市
	赤穂市
	西脇市
	宝塚市
	三木市
	高砂市
	川西市
	小野市
	三田市
	加西市
	篠山市
	養父市
	猪名川町

都道府県	市区町村名
	稲美町
	播磨町
奈良県	奈良市
	大和高田市
	大和郡山市
	天理市
	橿原市
	桜井市
	五條市
	御所市
	生駒市
	香芝市
和歌山県	和歌山市
	海南市
	橋本市
	有田市
	御坊市
	田辺市
	新宮市
	岩出町
鳥取県	鳥取市
	米子市
	倉吉市
	境港市
島根県	松江市
	浜田市
	出雲市
	益田市
	大田市
	安来市
	江津市
岡山県	岡山市
	倉敷市

都道府県	市区町村名
	津山市
	玉野市
	笠岡市
	井原市
	総社市
	高梁市
	新見市
	備前市
	瀬戸内市
	真庭市
	美作市
	赤磐市
	浅口市
	吉備中央町
	和気町
	早島町
	里庄町
	矢掛町
	鏡野町
	勝央町
	奈義町
	西粟倉村
	美咲町
	久米南町
広島県	広島市
	呉市
	竹原市
	三原市
	尾道市
	福山市
	府中市
	三次市
	庄原市

都道府県	市区町村名
	大竹市
	東広島市
	廿日市市
	府中町
	海田町
	熊野町
	坂町
山口県	下関市
	宇部市
	山口市
	萩市
	周南市
	防府市
	下松市
	岩国市
	山陽小野田市
	光市
	長門市
	柳井市
	美祢市
	和木町
徳島県	徳島市
	鳴門市
	小松島市
	阿南市
香川県	高松市
	丸亀市
	坂出市
	善通寺市
	観音寺市
	さぬき市
	東かがわ市
愛媛県	松山市

都道府県	市区町村名
	今治市
	宇和島市
	八幡浜市
	新居浜市
	西条市
	大洲市
	四国中央市
	伊予市
高知県	高知市
	室戸市
	安芸市
	南国市
	土佐市
	須崎市
	四万十市
	宿毛市
	土佐清水市
福岡県	北九州市
	福岡市
	大牟田市
	久留米市
	直方市
	飯塚市
	田川市
	柳川市
	嘉麻市
	朝倉市
	八女市
	筑後市
	大川市
	行橋市
	豊前市
	中間市

都道府県	市区町村名
	小郡市
	筑紫野市
	春日市
	大野城市
	宗像市
	太宰府市
	前原市
	古賀市
	福津市
	那珂川町
	宇美町
	篠栗町
	志免町
	須恵町
	新宮町
	久山町
	粕屋町
	芦屋町
	水巻町
	岡垣町
	遠賀町
	二丈町
	志摩町
	刈田町
	古富町
佐賀県	佐賀市
	唐津市
	鳥栖市
	多久市
	伊万里市
	武雄市
	鹿島市
長崎県	長崎市

3. 市街図収録都市リスト

都道府県	市区町村名	都道府県	市区町村名
	佐世保市		延岡市
	島原市		日南市
	諫早市		小林市
	大村市		日向市
	五島市		串間市
	平戸市		西都市
	松浦市		えびの市
	長与町		清武町
	時津町	鹿児島県	鹿児島市
	波佐見町		薩摩川内市
熊本県	熊本市		鹿屋市
	八代市		枕崎市
	人吉市		いちき串木野市
	荒尾市		阿久根市
	水俣市		名瀬市
	玉名市		出水市
	天草市		伊佐市
	山鹿市		指宿市
	菊池市		南さつま市
	宇土市		霧島市
大分県	大分市		西之表市
	別府市		垂水市
	中津市	沖縄県	那覇市
	日田市		うるま市
	佐伯市		宜野湾市
	臼杵市		宮古島市
	津久見市		石垣市
	竹田市		浦添市
	豊後高田市		奄美市
	杵築市		糸満市
	宇佐市		沖縄市
宮崎県	宮崎市		豊見城市
	都城市		南風原町

4. 地図データについて

地図データについて

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社と株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。渋滞考慮探索機能（交通情報推定機能）はアイシン・エイ・ダブリュ株式会社の提供です。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図および 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。（測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 15 企指向第 2 号）

●この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 06-052T）

●この地図に使用している事故多発区間警告データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

●この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しました。

●スマート IC（ETC 専用）について

スマート IC は ETC 専用のインターチェンジのため、実際の走行の際には ETC を使用できる状態であればご利用頂けません。また、スマート IC は乗降方向（上り下り）や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

●道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●道路交通情報データについて

道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。

データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

●統計交通情報について

統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

©2009 財団法人 日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エイ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD&（株）トヨタマップマスター&（株）昭文社

本製品のデータ格納機能として、株式会社ACCESSのAVE-File(TM)を搭載しています。

Copyright© 2000-2004 ACCESS CO., LTD.

4. 地図データについて

交通規制データ・高速道路料金データについて

- ・ 使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株)トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。
- ・ 使用している高速道路・都市高速の料金データは、2008年10月現在のもので、(一部新設道路を除く)

VICSサービスエリアについて

(09年3月現在)

収録されているVICSエリアは、下記の都道府県が対象となります。

北海道（札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区、室蘭地区、帯広地区）、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、静岡県、長野県、愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

VICS提供情報エリアが拡大されても、本データベースでは新しく拡大された提供情報エリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

個人宅電話番号・名称データについて

- この地図に使用している個人宅電話番号・名称データは日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」（発刊年月：2007年9月～2008年9月）のデータを使用しています。
- 当社は、お客様個人に関する情報の重要性を認識し、厳重な管理を行っております。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総 則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（機乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重量型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重量表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことに、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

- 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める月額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ない困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

5. VICS 情報有料放送サービス契約約款

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

6. Gracenoteメディアデータベースのご利用について

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用してはお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

7. FM de TITLEサービス放送局について

FM de TITLEが受信できる放送局

放送局名	愛称	放送局名	愛称
FM北海道	air-G	FM滋賀	E-Radio
FM青森	AFB	fm osaka	EASY851
FM岩手	FMI	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM Kobe
FM秋田	Co-Much FM	FM山陰	V-air
FM山形	BOY-FM	FM岡山	—
FM仙台	Date-FM	広島FM放送	—
ふくしまFM	—	FM山口	FMY
FM栃木	レディオ・ベリー	FM香川	—
FMぐんま	—	FM徳島	Passion Wave
TOKYO FM	TOKYO-FM・TFM	FM高知	Hi-Six
K-MIX	K-MIX	FM愛媛	—
FM AICHI	FMA	FM福岡	BEAT STATION
FM三重	—	FM佐賀	—
岐阜FM	レディオ エイティ	FM長崎	SMILE-FM
FM新潟	—	FM中九州	FMK
FM長野	—	FM大分	Air radio FM88
FMとやま	—	FM宮崎	JOY-FM
FM石川	HelloFive	FM鹿児島	μFM
FM福井	—	FM沖縄	—

8. 商標について

<音響技術について>

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。

Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



9. バッテリーの交換時について

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、エンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中（約1分間）は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

下記のように画面がかわります。

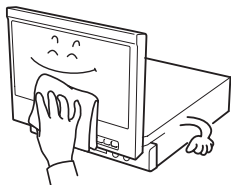


10.お手入れについて

本機のお手入れについて

- 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

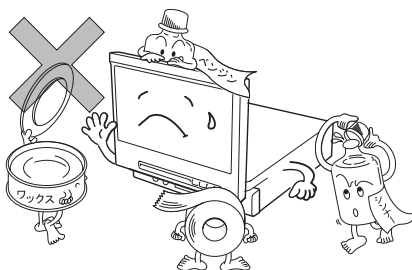
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- トランクドアやバックドアを開けたときに、エレメントが車両（ボディ）に当たらないような角度にしてください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

11.仕様

<GPSアンテナ>

寸法	26 (W) × 16 (H) × 6 (D) mm (突起部を除く)
重量	約 86 (g)
電源電圧	4.2V ~ 5.0V
消費電流	10mA (最大)
作動温度	-30℃ ~ +85℃
保存温度	-40℃ ~ +100℃

<ディスプレイ>

液晶パネル	7.0 型ワイド低反射パネル
画面寸法	153.6 (W) × 87.12 (H) mm
画素数	1,152,000 個 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
動作温度範囲	-20℃ ~ +65℃
保存温度範囲	-40℃ ~ +85℃

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	● AM522 ~ 1,629kHz ● FM76 ~ 90MHz
実用感度	● AM22μV (S/N20dB) ● FM14dBf (新 IHF)
周波数特性	30 ~ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	35dB (1kHz)

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	90dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	88dB

<DVD部>

高調波歪み率	0.01% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	90dB (1kHz)

<共通部>

定格出力	15W × 4 (1kHz、1%4Ω) (EIAJ)
最大出力	50W × 4 (試験電圧 14.4V)
適合負荷インピーダンス	4Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V (10.5 ~ 15.8V) アース専用
消費電流	● 0.5W × 4 出力時 約 3.5A ● 最大約 15A
外形寸法	横幅 180mm・高さ 100mm・奥行 165mm
質量 (重量)	AVN978HDTVmk II : 約 3.3kg AVN078HDmk II : 約 2.3kg

<HDD (ハードディスクドライブ) 部>

容量	40GB
使用温度範囲	-10℃ ~ +60℃

<DTV部※>

※AVN978HDTVmk IIのみ

受信チャンネル	470MHz ~ 770MHz (UHF 帯: 13ch ~ 62ch)
インピーダンス	75Ω
アンテナ	4ch (フロント×4)
使用電源	DC13.2V (10.5V ~ 16.0V)
消費電流	0.55A (at 13.2V) (アンテナアンプ除く)
動作温度範囲	-30℃ ~ +65℃
外形寸法	横幅 178mm・高さ 28mm・奥行 159.2mm (前面パネル除く)
質量 (重量)	770g

<ワンセグ・チューナー部※>

※AVN078HDmk IIのみ

受信周波数	470MHz ~ 770MHz (UHF 帯: 13ch ~ 62ch)
インピーダンス	75Ω
アンテナ	フロント 1ch

11.仕様

<バックアイカメラ BEC108 (別売) >

撮像素子	1/4 インチ カラー CCD
CCD 画素数	約 27 万画素
水平解像度	300TV (中心) 以上
カメラ	f = 1.3mm
焦点距離	1 : 3.0
F 値	135°、105°
画角 (水平、垂直)	NTSC
TV 方式	1Vp-p (75Ω)
標準映像出力レベル	1.4 lux (25IRE)
最低被写体照度	自動
ホワイトバランス方式	1 : 1600 以上
自動感度調整範囲	5.7V ~ 8.4V
電源電圧	最大 130mA (DC6V ± 0.3V 時)
消費電流	12m
ケーブル長	-20℃ ~ +60℃
使用温度範囲	-30℃ ~ +80℃
保存温度範囲	
外形寸法カメラユニット (W × H × D)	約 27mm × 22mm × 24mm
質量 (重量)	約 200g (ケーブル含む)

<バックアイカメラ BEC308 / BEC309 (別売) >

撮像素子	1/4 インチ カラー CMOS
CMOS 画素数	約 31 万画素
水平解像度	300TV (中心) 以上
カメラ	f = 1.3mm
焦点距離	1 : 3.0
F 値	135°、105°
画角 (水平、垂直)	NTSC 準拠
TV 方式	1.0Vp-p (75Ω)
標準映像出力レベル	1.4 lux (25IRE)
最低被写体照度	自動
ホワイトバランス方式	1 : 1600 以上
自動感度調整範囲	DC5.7V ~ 8.4V
電源電圧	100mA MAX (DC 6V ± 0.3V 時)
消費電流	12.0m
カメラコード長	2.0m
スイッチコード長	-20℃ ~ +60℃
使用温度範囲	-30℃ ~ +80℃
保存温度範囲	
外形寸法カメラユニット (W × H × D)	約 27mm × 22mm × 24mm (突出部除く)
質量 (重量)	約 230g (スイッチ、コード含む)

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますので
ご了承ください。

12.索引

共通索引

五十音順

ア

オープニング画面

- オープニング画面を切り替える 64
- お好みの画像データに書き換える 65
- 携帯電話に保存した画像データを
オープニング画面に設定する 67
- 使用できる画像データについて 69
- お手入れについて 535

カ

壁紙 (Pic-CLIP)

- 壁紙を切り替える 55
- お好みの画像データに書き換える 56
- 携帯電話に保存した画像データを
壁紙に設定する 58
- 使用できる画像データについて 60
- 画像データを保存する 61
- 画像データを消去する 63

画面

- 画質調整画面を表示する 70
- 夜画・昼画表示に切り替える 70
- 画面を消す 70
- 画質の調整 71

故障とお考えになる前に

- 共通操作関係 507
- ナビゲーション関係 508
- オーディオ・ビジュアル関係 512

個人情報の初期化 83

こんなメッセージが
表示されたときは

- 共通操作関係 497
- ナビゲーション関係 498
- オーディオ・ビジュアル関係 503

サ

- 仕様 536
- 操作音の設定 53

タ

ディスク

- 各ディスク (CD・DVD) の
入れ方 42
- 各ディスク (CD・DVD) の
出し方 45

ディスプレイ

- 立ち上げ 39
- 収納 40
- 角度調整 41
- 位置 (前後) の調整 41
- 自動立ち上げの設定 52

ナ

ナビゲーション音声

- 出力位置を切り替える 54

ハ

バッテリーの交換時について 534

パネルスイッチ照明

- 設定する 72

本機

- 各部の名称と操作 35
- 電源の入れ方・切り方 38
- モードについて 46
- 作動条件について 47
- 各モードの呼び出し 48

12.索引



用語説明.....515



ラジオアンテナの設定 73

アルファベット／数字



E-iSERV

E-iSERV について 49

E-iSERV へのアクセスについて 50

赤外線通信について 51

ESN

ESN 設定画面を表示する.....75

ESN を作動する 75

ロックを解除する 77

暗証番号を変更する 81

セキュリティインジケータの表示を
設定する 82

ESN を解除する 79

ナビゲーション索引

五十音順

ア

案内道路情報 179

迂回メモリ地点

登録する 245

修正する 246

消去する 247

音声案内

目的地案内中の音声案内の例 219

自動音声案内を設定する 220

交差点目印案内を設定する 221

音量

調節する 96

高速時の自動音量切り替えを
設定する 96

オンルートスクロール

開始する 223

施設を設定する 223

操作する 224

カ

画面切り替え時の動画表現 95

カレンダー機能 292

季節規制区間

回避する 177

メッセージ表示を設定する 177

距離の補正 309

クイックサーチ 137

区間別探索条件

変更する 184

県境案内 132

現在地

表示する 99

修正する 308

交差点拡大図 197

交差点・側道・レーン（車線）案内

分岐しない交差点 197

分岐する交差点 197

交差点拡大図の自動表示を
設定する 198

交差点拡大図を解除する 198

3D イラスト拡大図 199

立体交差点拡大図 199

難交差点拡大図 199

リアル交差点拡大図 199

カットインムービーガイドを
設定する 200

カットインムービーガイドを
解除する 201

3D 交差点拡大図 202

側道案内拡大図 202

側道案内拡大図を解除する 202

レーン（車線）リスト図表示 203

レーンリスト図を解除する 204

高速分岐案内

自動表示を設定する 215

解除する 216

高速路線マップ

縮尺を切り替える 117

自動表示を設定する 118

解除する 118

高速路線マップに切り替える 119

交通事故多発区間警告 130

交通状況学習機能

交通状況学習機能について 268

学習結果の表示 268

学習結果の消去 269

交通データ情報

設定する 266

表示する 267

12.索引

サ

細街路の案内	204
シーズンレジャーランドマーク表示	128
市街図収録都市リスト	520
市街図の表示	
切り替える	108
縮尺を切り替える	108
解除する	109
施設の内容を表示する	109
自転車マーク	
切り替える	93
施設の表示	
走行中に簡易操作で表示する	133
施設ランドマークを消去する	134
複数ジャンルを表示する	134
周辺の施設を検索する	136
ルートを考慮したリストを 表示する	137
施設の情報を表示する	137
シティドライブモード画面	
操作する	116
解除する	116
自動再探索	229
車両情報	
設定する	208
表示する	316
ジャンクションレーンアシスト	215
渋滞考慮機能	
渋滞考慮について	265
渋滞考慮ルート探索	173
周辺施設走行中呼び出しジャンル	138
乗降インターチェンジ (IC)	
指定する	188
指定を解除する	189
情報付施設	284
情報メニュー画面	270
ショートカットスイッチ表示	
設定・表示する	103
解除する	104

スポットインフォメーション

検索・表示・編集	284
ソフトウェアキーボードの使い方	288
精度と誤差	317
全ルート図の再表示	222
全ルート図表示	
ルートの表示	174
細街路の表示	174
見方	175
走行軌跡	
表示する	110
解除する	110
操作説明音声	97
操作ヒント機能	
操作ヒント画面について	293
表示する	294

タ

ターンリスト図案内

見方	212
自動表示を設定する	213
解除する	213

タッチスイッチの表示

切り替える	101
設定する	102

他モードでの案内

地図データ

表示する	315
地図データについて	527

地図の移動

移動する	100
地名表示を設定する	100

地図の縮尺

切り替える	105
目的地までの縮尺に切り替える	106
縮尺切替メッセージ表示を 設定する	107

地図の操作

位置を変更する	162
施設内容を表示する	162
提携駐車場を検索する	163
住所を検索する	164

地図の表示色	93

地図の向き	111

地図の名称（文字サイズ）

切り替える	94

地図の呼び出し方法

50 音・名称で呼び出す	141
主要施設で呼び出す	150
住所で呼び出す	152
電話番号で呼び出す	153
郵便番号で呼び出す	155
ジャンルで呼び出す	155
メモリ地点で呼び出す	158
履歴で呼び出す	159
マップコードで呼び出す	159
赤外線通信で呼び出す	160

駐車場マップ

自動表示を設定する	120
解除する	120

通過道路

指定する	190
指定を修正する	193
指定を解除する	194

電話帳機能	291

到着予想時刻表示	205

到着予想時刻／残距離表示

切り替える	222

道路形状警告（踏切警告・合流警告・ カーブ警告・レーン警告）	131

時計表示	95

都市高速マップ

自動表示を設定する	217
解除する	218

ナ

ナビゲーション画面の見方	86

ナビゲーションの機能概要と 初期状態	494

ナビゲーションの設定の記憶

記憶することのできる設定項目	311
記憶する	312
呼び出す	313
名称を変更する	313
消去する	314

ナビメニュー画面	88

ノースアップ表示	111

ハ

バーチャタウンマップ	121

ハートフル音声	98

ハイパーリルート	229

ハイパーレーンアシスト	203

バックアイカメラ

映像を映す	307

ビーコン即時案内	296

ビルディングクイックサーチ	109

フェリー航路の案内	205

フロントワイド表示

切り替える	112
設定する	112

ヘディングアップ表示	111

ボイスヘルプ	97

補正

現在地を修正する	308
距離を補正する	309

12.索引



メモリ地点の登録

地点の登録について	233
登録する	234
修正・入力する	235
消去する	244

メンテナンス機能

メンテナンスメニュー画面に ついて	276
時期を設定する	277
案内を設定する	279
案内について	279
設定を更新する	279
設定を消去する	280
販売店を設定する	281
販売店を修正・消去する	282

目的地

追加する	182
並び替える	185
消去する	186

目的地案内

開始する	196
中止・再開する	196
デモンストレーション（デモ）	196

目的地設定

目的地設定・ルート探索について	165
地図スクロールから設定する	167
登録地点から設定する	168
地図の呼び出し方法から設定する	169

目的地の予約

設定する	230
案内	231
消去する	232

目的地履歴の消去



ラストゴールメモリーの消去

リアルワイドマップ

表示を設定する	126
行政区域塗り分け表示を設定する	127

リスト画面の切り替え方

料金案内

料金所レーン案内

自動表示を設定する	210
解除する	211

ルート学習探索

設定する	171
学習結果を消去する	172

ルート情報

ルート探索

ルートの再探索

ルートの再探索について	225
再探索する	228



ワンタッチスクロール

アルファベット／数字

E

ETCシステム

初めて使うときは	299
ETCについて	300
ETCメニュー画面を表示する	301
走行中の表示について	302
履歴を表示する	304
登録情報の表示	304
各項目を設定する	305

F

FM多重放送

表示する	272
放送局を切り替える	272
番組を切り替える	273
独立情報番組のページ送り	273
連動情報番組の文字情報を 繰り返し見る	274
文字情報の記録・呼び出し・消去	275

S

SYSTEM CHECK機能	283

V

VICS情報

VICSについて	248
VICS メディア概要	249
VICS 情報提供内容と表示	252
放送局を選択する	253
表示を設定する	256
表示道路色を切り替える	257
VICS 情報の表示について	258
VICS 情報を地図表示する	259
VICS 情報を消去する	259

渋滞・規制音声案内	260
VICS 図形情報を表示する	261
VICS 文字情報を表示する	262
VICS 表示マークの種類	263
用語説明	264
問い合わせ先	264

W

Wサイトナビ	113

数字

2画面表示

切り替える	113
右画面を操作する	113
解除する	114

2メディア/3レベル対応VICSユニット

ユニットの構成について	295
割り込み情報を表示する	296
渋滞考慮探索	298

3D表示

切り替える	121
バーチャタウンマップを表示する	121
バーチャタウンマップの視点を 調整する	122
見下ろす角度を調整する	122
ビル表示を設定する	123
ビル表示の高さを設定する	123
地図向きを回転する	124
ルート方向アップ表示を設定する	124
解除する	125

3Dランドマーク表示

表示を設定する	129
内容を表示する	129

5ルート探索機能	180

5ルート同時表示	180

12.索引

オーディオ索引

五十音順

ア

イコライザ

選択する	341
手動で調整する	342
記憶する	342
リセットする	343
自動で調整する	343

エリアスイッチ

ラジオ	361
DTV	439

オートタイトリング機能.....383

音

主音量を調整する	334

音質

音質調整画面を表示する.....	335
SOUND 調整画面を表示する	338
SETTING 画面を表示する	338
SFC を設定する.....	339
EQ を調整する	341
POS を調整する	344
音質補正を設定する	346
LOUDNESS を設定する	346
サブウーファを設定する.....	347
サラウンドシステムを設定する	348
スピーカーを調整する.....	351

カ

機能スイッチ.....356

画面

画面スイッチの表示を切り替える	356
機能スイッチを表示する.....	356
モードを切り替える	358

局名スイッチ.....361

緊急警報放送

DTV	441
ワンセグ	458

サ

サブウーファ

位相を切り替える	347
出力を調整する	347

サラウンドシステム

Dolby Pro Logic II を設定する	348
CENTER WIDTH を設定する	349
COMPRESSION を調整する	349
CENTER LEVEL を調整する.....	350
REAR LEVEL を調整する	350

ジャケット写真

表示を設定する	420

新譜情報

表示する	392
受信メッセージの表示を設定する	393
携帯電話で見る	394
更新する	395

スピーカー

サイズを設定する	351
タイムアライメントの調整.....	353
出力レベルを調整する.....	355

ソース

切り替える	329
操作画面を表示する	330



タイトル情報

受信について	388
保存について	388
表示について	388
受信する	389
CD タイトルを表示する	389
CD 情報インジケータの表示を 設定する	391
新譜情報を表示する	392
新譜情報受信メッセージの表示を 設定する	393
携帯電話で新譜情報を見る	394
CD タイトルを更新する	395
新譜情報を更新する	395

タイムアライメント

タイムアライメントとは	336
手動で調整する	353
自動で調整する	354

タッチスイッチを設定する

画面スイッチの表示を切り替える	356
機能スイッチを表示する	356

地上デジタルTV放送

地上デジタル TV 放送に ついて	328, 429
B-CAS カードについて	430
B-CAS カードを差し込む	432
B-CAS カードを取り出す	433
初回起動時に設定する	433
見る	434
バンドを切り替える	435
見たいチャンネルを選ぶ	436
チャンネルを記憶する	437
エリアスイッチについて	439
音声多重放送を切り替える	439
画面表示・音声の切り替え	440
緊急警報放送を受信したときは	441
DTV を終わる	441
EPG (電子番組表) を見る	442

EPG (電子番組表) で 見たい番組を探す	442

EPG (電子番組表) で 番組の情報を見る	443
データ放送を見る	444
データ放送を操作する	445
初期設定画面に切り替える	448
初期設定をする	448
B-CAS カードの動作確認をする	451
個人情報を初期化する	453

ディスク

使用できるディスクについて	325
取扱いについて	326
新しいディスクについて	327
レンタルディスクについて	327
特殊形状のディスクについて	327
ディスクのアクセサリについて	327

データベース

Gracenote メディアデータ ベースについて	381
メディアクリックデータ ベースについて	382
オートタイリング機能について	383
ジャケット写真について	384
情報の表示について	385
更新について	386

データ放送

見る	444
操作する	445

電子番組表

見る	442
番組を探す	442
番組の情報を見る	443
ワンセグ	458

時計表示

トラック

情報を編集する	424
消去する	427

12.索引

ハ

バーコード.....	364
ハードディスク	
容量を確認する	396
ハーモナイザー	346
早送り・早戻し	
CD	363
MP3/WMA	367
CD チェンジャー	374
MD チェンジャー	376
MUSIC JUKE	411
DVD	464
iPod	481
パラメトリックイコライザ	336
ビデオ	
見る	478
設定画面に切り替える	478
終わる	478
プレイリスト	
マイセレクトへのプレイリストを 作成する	414
名称を入力する	417
カナ、英字、数・記号を入力する	418
名称を編集する	419
タイトル情報を再取得する	420
並び替える	422
削除する	423
編集	
マイセレクトへプレイリストを 作成する	414
プレイリストの名称を入力する	417
ジャケット写真の表示を設定する	420
タイトル情報を再取得する	420
プレイリストを並び替える	422
プレイリストを削除する	423
トラックタイトルを変更する	425
アーティストを変更する	426
ジャンルを変更する	426
トラックを消去する	427

ポータブルオーディオ

接続する（取りはすす）.....	486
聞く	486
終わる	486

ポジショニングセレクター

ポジションを設定する.....	344
音量バランスを調整する	345

マ

マルチウインドウ

マルチウインドウ画面の表示	487
画面サイズを調整する	489
DTV・ワンセグ・DVD 画面 の操作	490
ルート情報画面の操作	491
オーディオ画面の操作	491
電卓画面の操作	492

ラ

ラウドネス.....

ラジオ

聞く	359
聞きたい放送局を選ぶ.....	359
放送局を記憶する	360
記憶した放送局を変更する	361
エリアスイッチについて	361
局名スイッチについて	361
止める	361

録音

録音できるソースと 録音方式について	398
デジタル録音について	399
アナログ録音について	399
デジタル録音モードを設定する	400
オートトラックマークを設定する	401
録音ビットレートを設定する	401
CD を再生しながら自動で 録音する	403
CD の中からお好みの トラック（曲）を録音する	404
CD プレーヤー以外のソースから 録音する	405

ワ

ワイドモード	358

ワンセグ

見る	454
見たいチャンネルを選ぶ	455
チャンネルを記憶する	455
記憶したチャンネルを変更する	456
設定画面に切り替える	457
音声多重放送を切り替える	457
字幕を切り替える	458
緊急警報放送を受信したときは	458
EPG（電子番組表）を見る	458

アルファベット／数字

A

ALBUM SHUFFLE	483

AUX

ポータブルオーディオを接続する （取りはずす）	486
ポータブルオーディオを聞く	486
ポータブルオーディオを終わる	486

B

B-CASカード

差し込む	432
取り出す	433
動作確認をする	451

C

CDタイトル

表示する	389
インジケータ表示を設定する	391
更新する	395

CDチェンジャー

聞く	374
聞きたい曲を選ぶ	374
早送り・早戻しする	374
聞きたい CD を選ぶ	374
聞きたい曲や同じ CD を 繰り返し聞く	375
曲の順番をランダムに聞く	375
止める	375

12.索引

CDプレーヤー

聞く	362
聞きたい曲を選ぶ	363
早送り・早戻しする	363
同じ曲を繰り返し聞く	363
曲の順番をランダムに聞く	363
携帯電話でアルバム情報を見る	364
止める	364
ディスクについて	325
CENTER LEVEL	350
CENTER WIDTH	349
COMPRESSION	349

D

DISC RAND

CD チェンジャー	375
MD チェンジャー	377

DISC RPT

CD チェンジャー	375
MD チェンジャー	377

Dolby Pro Logic II

DTV

B-CAS カードについて	430
B-CAS カードを差し込む	432
B-CAS カードを取り出す	433
初回起動時に設定する	433
見る	434
バンドを切り替える	435
見たいチャンネルを選ぶ	436
チャンネルを記憶する	437
エリアスイッチについて	439
音声多重放送を切り替える	439
画面表示・音声の切り替え	440
緊急警報放送を受信したときは	441
DTV を終わる	441
EPG（電子番組表）を見る	442
EPG（電子番組表）で 見たい番組を探す	442

EPG（電子番組表）で番組の 情報を見る	443
データ放送を見る	444
データ放送を操作する	445
初期設定画面に切り替える	448
初期設定をする	448
B-CAS カードの動作確認をする	451
個人情報を初期化する	453

DVDプレーヤー

DVD ビデオの特長	459
ディスクについて	460
操作の流れについて	462
見る	463
映像を操作する	464
ディスクメニューを操作する	465
止める	466
見たい映像を探す	467
スイッチの表示を切り替える	469
画面表示・音声の切り替え	469

DVDプレーヤーの設定

音声言語を設定する	472
字幕言語を設定する	472
メニュー言語を設定する	473
マルチアングルマークの表示を 設定する	474
視聴制限を設定する	475
映像出力を切り替える	476
言語コード一覧	477

E

EPG

見る	442
番組を探す	442
番組の情報を見る	443
ワンセグ	458

EQ

選択する	341
手動で調整する	342
記憶する	342
リセットする	343
自動で調整する	343

G

Gracenote メディアデータベース

Gracenote メディアデータ ベースについて	381
データベース情報の表示	385
更新する	386

H

HARMONIZER

346

HDD

容量を確認する	396

HOME

367

I

iPod プレーヤー

接続する	479
取りはずす	480
聞く	481
早送り・早戻しする	481
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	481
聞きたい音楽ファイルを リストから探す	482
再生中のリストを表示する	483
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	483
音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	483
止める	483
対応可能な iPod について	484

L

LOUDNESS

346

M

MCDB

メディアクリックデータベース (MCDB) について	382
データベース情報の表示	385
更新する	387

MDチェンジャー

聞く	376
聞きたい曲を選ぶ	376
早送り・早戻しする	376
聞きたい MD を選ぶ	376
聞きたい曲や同じ MD を 繰り返して聞く	377
曲の順番をランダムに聞く	377
MD のタイトルや曲名などを 表示する	378
止める	378

MP3/WMA

聞く	366
聞きたいフォルダを選ぶ	366
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	366
早送り・早戻しする	367
1 つ上の階層を表示する	367
現在の階層を表示する	367
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	367
順番をランダムに聞く	367
音楽ファイル情報などを表示する	368
止める	368
MP3/WMA について	369

12.索引

MUSIC JUKE

概要	379
構成	379
データベースについて	381
データベース情報の表示について	385
データベースを更新する	386
タイトル情報の受信について	388
タイトル情報を受信する	389
タイトル情報を表示する	389
タイトル情報を更新する	395
ハードディスクの容量を確認する	396
操作の流れについて	397
録音について	398
録音方式を設定する	400
録音する	402
聞く	406
表示・再生について	407
再生中のプレイリストの中で聞きたい トラック（曲）を選ぶ	407
プレイモード・プレイリストから 聞きたいトラック（曲）を選ぶ	408
“AGENT” から選ぶ	410
早送り・早戻しする	411
聞きたいトラック（曲）を 繰り返し聞く	411
トラック（曲）の順番を ランダムに聞く	412
トラック（曲）情報などを 表示する	413
携帯電話でアルバム情報を見る	413
止める	413
マイセレクトへプレイリストを 作成する	414
プレイリストの名称を入力する	417
プレイリスト名称を編集する	419
タイトル情報を再取得する	420
プレイリストを並び替える	422
プレイリストを削除する	423
トラック情報の編集	424
トラックを消去する	427

MUTE	334

P

PHASE CONTROL	347
PLAYLIST RAND	412
PLAYLIST RPT	411
POS ポジションを設定する	344
音量バランスを調整する	345

R

RAND CD	363
MP3/WMA	367
CD チェンジャー	375
MD チェンジャー	377
MUSIC JUKE	412
REAR LEVEL	350
RPT CD	363
MP3/WMA	367
CD チェンジャー	375
MD チェンジャー	377
MUSIC JUKE	411
iPod	483

S

SETTING 画面	338
SFC 設定する	339
調整する	340
リセットする	340
SOUND 調整画面	338

T

TRACK SHUFFLE.....483

V

VOL

音量を調整する 334

VTR

見る 478

設定画面に切り替える.....478

終わる.....478

W

WOOFER LEVEL.....347

数字

2次元バーコード.....364

MEMO

MEMO

MEMO

凡例

表示① … リアルワイドマップ画面

表示①	表示②	内容
		高速・都市高・有料道路
		国道
		主要地方道
		県道
		その他の道路(巾5.5m 以上)
		その他の道路(巾3.0m 以上)
		トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		踏切
		ボトルネック踏切*
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23 区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
		インターチェンジ
		スマートインターチェンジ
		サービスエリア
		パーキングエリア
		信号機
		駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル

表示② … 通常地図画面

表示①	表示②	内容
		港湾
		空港・飛行場
		学校
		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

・表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

・VICS情報表示中は、道路の色が異なります。(対象一般道：緑、対象高速道：紫)

製品に対するお問い合わせにつきましては、
お買い上げの販売店までご連絡ください。

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2012